

# 「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく 利根川上流域の減災に係る取組

## 第2期5か年の取組状況のフォローアップ ～各構成員の取組事例～

令和8年5月27日

利根川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

### 目次

令和7年度	2
令和6年度	92
令和5年度	185
令和4年度	273
令和3年度	364

# 令和7年度 各構成員の取組事例

## ハード対策

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>A) 洪水を河川内で安全に流す対策</b>	取組事例なし	
1 洪水を河川内で安全に流す対策		
<b>B) 危機管理型ハード対策</b>		
2 危機管理型ハード対策		
<b>C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備</b>	-	-
3 雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤整備	取組事例なし	
4 簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		
5 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布		
6 河川防災ステーションや水防拠点の整備		
河川防災ステーション・水防拠点整備に係る自治体視察受入の実施	利根川上流河川事務所	11
7 水防活動を支援するための水防資機材等の配備	-	-
ドローン操縦訓練、河川調査及び映像伝送による情報の共有訓練	小山市	12
<b>8 庁舎、災害拠点病院や自家発電装置等の耐水化</b>	取組事例なし	
<b>9 対策本部、警戒本部等設置時の情報収集伝達設備</b>	-	-
スマートバス停を活用した情報配信システム（実証実験）	埴町	13
第3級陸上特殊無線技士の養成・状況把握訓練の実施	利根川上流河川事務所	14
防災通信機器操作訓練の実施	利根川上流河川事務所	15
ドローン（UAV）を活用した情報伝達	利根川上流河川事務所	16
<b>10 排水機場の耐水化等、水門等操作の水圧対策</b>	取組事例なし	

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組 (1/5)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知</b>	-	-
<b>11 まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充</b>	-	-
まるごとまちごとハザードマップを整備	小山市	17
<b>12 越水開始予測情報の提供</b>	実施事例なし	
<b>13 自治体や住民の視点に立った浸水シミュレーション情報の提供</b>		
<b>14 立ち退き避難が必要な浸水危険区域情報の提供</b>		
<b>E) 避難計画、情報伝達方法等の改善</b>	-	-
<b>15 洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）</b>	実施事例なし	
<b>16 住民等への情報伝達方法の改善</b>	-	-
市民向け出前講座を行い、洪水ハザードマップ等について周知	さいたま市	18
<b>17 市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実</b>	実施事例なし	
<b>18 リアルタイム情報の提供やプッシュ型洪水予報の情報発信</b>		
<b>19 避難指示等の発令基準の改善</b>	-	-
避難情報の判断（・伝達マニュアルの見直し）	栃木県	19
<b>20 避難場所・避難経路の再確認と改善</b>	-	-
令和7年度板倉町総合防災訓練を実施	板倉町	20
水害想定した車中避難訓練の実施	野田市	21
避難情報の判断（・伝達マニュアルの見直し）	栃木県	22
<b>21 避難誘導體制の充実</b>	-	-
令和7年度板倉町総合防災訓練を実施	板倉町	20
防災アプリを活用した複数避難所での避難者受付検証	境町	23
避難訓練への地域住民の参加促進	上尾市	24
<b>22 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進</b>	-	-
避難訓練への地域住民の参加促進	上尾市	24

4

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組 (2/5)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>F) 企業防災等に関する事項</b>	実施事例なし	
<b>23 不特定多数の利用する地下施設の避難計画の作成及び訓練の促進</b>		
<b>24 大規模工場の避難計画の作成及び訓練の促進</b>	-	-
<b>G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等</b>		
<b>25 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表</b>	実施事例なし	
<b>26 氾濫特性を考慮した被害シナリオと緊急避難及び広域避難計画の策定</b>		
<b>27 広域避難のための避難場所の確保</b>		
<b>28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知</b>	-	-
防災ハザードマップを活用した広域避難訓練を実施	久喜市	25
柏市防災ガイドブック及び洪水ハザードマップの更新を実施	柏市	26
江戸川区水害ハザードマップ改定	江戸川区	27
<b>H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成</b>	-	-
<b>29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成</b>	-	-
マイ・タイムライン作成を実施	坂東市	28
洪水ハザードマップの更新	板倉町	29
オンライン情報共有『防災意思疎通WEBライン』の体制構築	利根川上流河川事務所	30
<b>30 タイムラインに基づく実践的な訓練</b>	-	-
令和7年度風水害対応職員訓練を実施	小山市	31
自治体が行う災害対策本部運営訓練等への参加	水戸地方気象台	32
<b>31 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）</b>	実施事例なし	
<b>I) 防災教育や防災知識の普及</b>	-	-
<b>32 水防災の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置</b>	-	-
防災学習会開催キットのホームページへの掲載	熊谷市	33

5

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 (3/5)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>33 地域防災力の向上のための人材育成</b>	—	—
令和7年度 地域防災勉強会を実施	古河市	34
避難所開設・運営研修会を実施	小山市	35
防災士資格取得補助を実施	伊奈町	36
地域版タイムライン作成研修を実施	上里町	37
市町村防災担当者講習会等の実施	水戸地方気象台	38
気象防災ワークショップ（埼玉版シナリオの風水害編）を実施	熊谷地方気象台	39
気象情報に関する講演を実施	銚子地方気象台	40
気象防災ワークショップの実施 ～毎年の取組みとして～	東京管区気象台	41
<b>34 共助の仕組みの強化</b>	—	—
自主防災組織同士の連携促進	宮代町	42

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 (4/5)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催</b>	—	—
令和7年度 古河市水害対応総合訓練を実施	古河市	43
住民参加型広域避難訓練	常総市	44
令和7年度避難所開設・運営訓練を実施	小山市	45
出前講座を活用した水防災に関する普及啓発活動の実施	館林市	46
小学校区における避難訓練の開催	玉村町	47
自主防災組織主導避難訓練	明和町	48
町民を対象とした防災教育の実施	邑楽町	49
加須市総合水害広域避難訓練を実施	加須市	50
市民に対する研修、職員に対する訓練の実施	本庄市	51
第10回吉川市減災プロジェクトin北谷小学校を実施	吉川市	52
防災出前講座の実施	松伏町	53
出前なんでも講座やマイ・タイムライン作成講習会を実施	群馬県	54
孤立集落支援に係る実動訓練の実施について	佐野市	55
オンラインによる台風説明会を実施	熊谷地方気象台	56
佐野市総合防災訓練の実施について	佐野市	57
「気象台オンライン解説」を実施	熊谷地方気象台	58
気象台主催の説明会の実施、協議会や市町村の避難訓練等における講話	水戸地方気象台	59
台風説明会の開催、休日前天気解説の実施	宇都宮地方気象台	60
伊勢崎市で「受講者特化型」の出前講座を実施	前橋地方気象台	61
<b>36 教員を対象とした講習会の実施</b>	—	—
教員を対象とした講習会の実施	小山市	62
教員を対象とした講習会の実施	小山市	63
水防災教育を行う教職員を対象に水防災教育ポータル作成を実施	利根川上流河川事務所	64



## ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組（5/5）

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>37 小中学生を対象とした防災教育の実施</b>	—	—
市内小学生を対象とした防災スポーツ	常総市	65
小学生を対象とした防災教育の実施	取手市	66
中学生を対象としたオンライン防災講演会の実施	境 町	67
防災体験学習会を実施	小山市	68
小中学校における防災教育支援の実施	館林市	69
防災教育を実施	板倉町	70
授業で、マイタイムライン出前講座を実施	春日部市	71
出前講座等を活用した講習会の実施	鴻巣市	72
マイ・タイムライン作成授業の実施	茨城県	73
県内小学校に高学年用の防災教育教材を配布	群馬県	74
小中学生を対象とした防災教育の実施	宇都宮地方気象台	75
小中学校における水災害教育への取組	栃木県	76
小中学校における水災害教育への取組	栃木県	77
小中学生向けに出前講座や水防学校による水防災教育の実施	利根川上流河川事務所	78
<b>38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知</b>	—	—
足利市防災フェアの開催 ～商業施設を活用した防災啓発～	足利市	79
ハザードマップを活用した防災講座の実施	杉戸町	80
更新した洪水ハザードマップについて、HP等にて幅広く周知を実施	流山市	81
水災害の被害状況や教訓・備え等の防災知識を住民への周知するための展示やホームページへの情報掲載	栃木県	82
イオンと共同で防災イベントを実施	前橋地方気象台	83



## ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化</b>	—	—
<b>39 河川水位等に係る情報提供</b>	—	—
県河川情報システムのスマートフォン向けサイトの改良	茨城県	84
<b>40 河川の巡視区間、水防活動の実施体制の見直し</b>	実施事例なし	
<b>41 水防資機材の情報共有や相互支援の仕組みの構築</b>	—	—
排水ポンプ車実動訓練を実施する	小山市	85
<b>42 効率的、効果的な水防活動のため、洪水に対しリスクが高い区間情報の提供</b>	実施事例なし	
<b>43 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検の実施</b>		
<b>44 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施</b>		
<b>45 水防団同士の連絡体制の確保等による水防体制の強化</b>		
<b>46 関係機関及び住民が連携した実働水防訓練の実施</b>	—	—
栃木市総合防災訓練を実施	栃木市	86
隣接市町と連携しての水防技術講習会等の実施	上里町	87
「第73回利根川水系連合・総合水防演習」に参加	宇都宮地方気象台	88
<b>47 水防活動の担い手となる水防団員の募集や水防協力団体の指定の促進</b>	実施事例なし	
<b>48 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築</b>		
<b>49 庁舎、災害拠点病院等の水害時における対応強化</b>	—	—
災害対策本部立上げ訓練を実施	五霞町	89

ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組

取組内容	実施主体者	ページ番号
K) 氾濫水の早期排水のための効果的な施設運用	取組事例なし	
50 氾濫特性を踏まえた的確な排水機場の運用、水門の操作、排水ポンプ車の配置		
L) 緊急排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施	-	-
51 関係機関、自治体が共同して緊急排水計画(案)を作成	取組事例なし	
52 関係機関、自治体が連携した排水訓練の実施	-	-
栃木県排水ポンプ車の排水操作訓練を実施	栃木県	90
排水作業の実地訓練を実施	東京都	91
M) BCP(業務継続計画)に関する事項	取組事例なし	
53 水害時に行政機能を維持するBCPの策定		
54 水害に対応した企業BCP策定への支援		
N) 生活再建及び社会経済活動の回復のための民間力の活用		
55 生活再建及び社会経済活動の回復のための民間力の活用		
O) 水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援	取組事例なし	
56 水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援		
P) 適切な土地利用の促進		
57 適切な土地利用の促進		

- ハード対策
- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
- No.6 河川防災ステーションや水防拠点の整備

利根川上流  
河川事務所

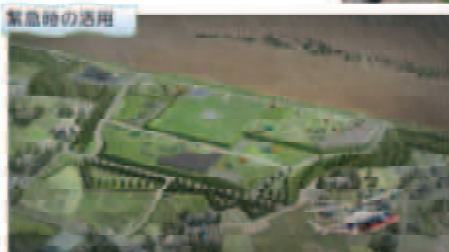
■ 河川防災ステーション・水防拠点整備に係る自治体視察受入の実施

第3期の取組方針における、河川防災ステーションや水防拠点の整備に係る市区町への助言の一環として、今後において河川防災ステーション・水防拠点の整備を検討している自治体・関係機関を対象に、平成20年度に災害復旧活動の拠点として、水防センターやヘリポート、備蓄資材置場を整備した大高島地区河川防災ステーションにおいて、11月7日(金)に視察の受入を行いました。

参加自治体：高崎市・藤岡市・玉村町・神川町・上里町

参加機関：高崎河川国道事務所

大高島地区河川防災ステーション





ハード対策

C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No.7 水防活動を支援するための水防資機材等の配備

小山市

### ■ドローン操縦訓練、河川調査及び映像伝送による情報の共有訓練

- ・ドローンにより広域の被害状況の確認や情報収集を行うための基本操縦訓練。
- ・河川の水位や形状の調査。
- ・飛行時のリアルタイムの映像をWeb会議(ZOOM)を活用し、警防本部などに情報共有する訓練。

河川調査



夜間における上空からの映像伝送



ハード対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組  
C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No.9 災害対策本部、警戒本部等設置時の情報収集伝達手段

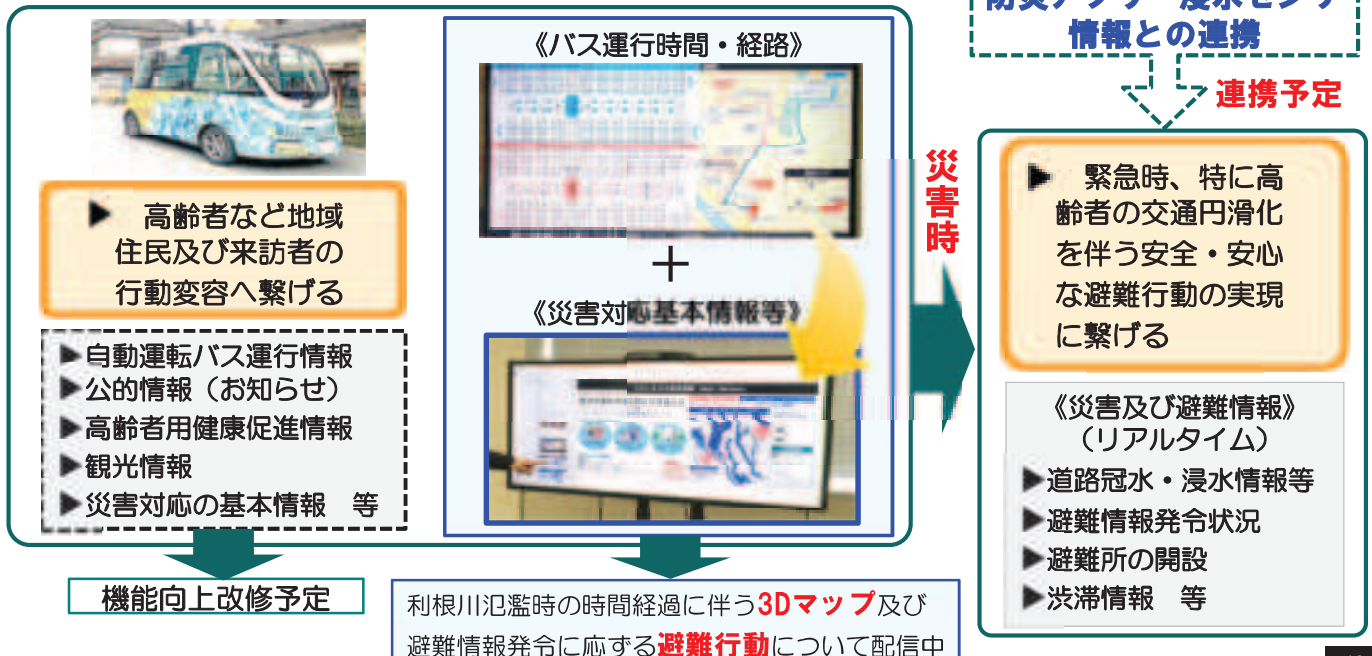
境町

### ■スマートバス停を活用した情報配信システム（実証実験）

境町で既に運行している自動運転バスのスマートバス停を活用

- 平時はバス時刻表、高齢者の健康維持（フレイル予防）や観光等の情報配信
- 非常時は、災害情報や避難上右方等を効果的に配信し、早期避難を促す仕組み

#### 《平常時のスマートバス停による情報発信の一例》



■ 第3級陸上特殊無線技士の養成・状況把握訓練の実施

国土交通省では、河川管理者として出水による堤防等河川管理施設の状況を把握する必要があります。より確実に現地状況を伝達するため、デジタル無線電話装置を利用しています。

国土交通省が整備するデジタル無線電話装置（K-λ）は、災害発生時に通信事業者回線に障害が発生した場合においても、災害現場から情報連絡が可能な通信設備ですが、K-λを使用するためには、電波法に基づく「第3級陸上特殊無線技士」資格が必要です。

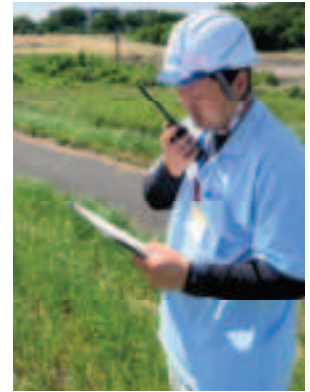
本事務所においても、本年度において、職員9名が法規（電波法）及び無線工学に係る知識を取得し、修了試験を通じて「第3級陸上特殊無線技士」資格の取得を行いました。

また、円滑に河川管理施設の状況の伝達ができるよう、5月28日には、河川管理施設の状況を伝達する状況把握訓練を実施いたしました。

無線機



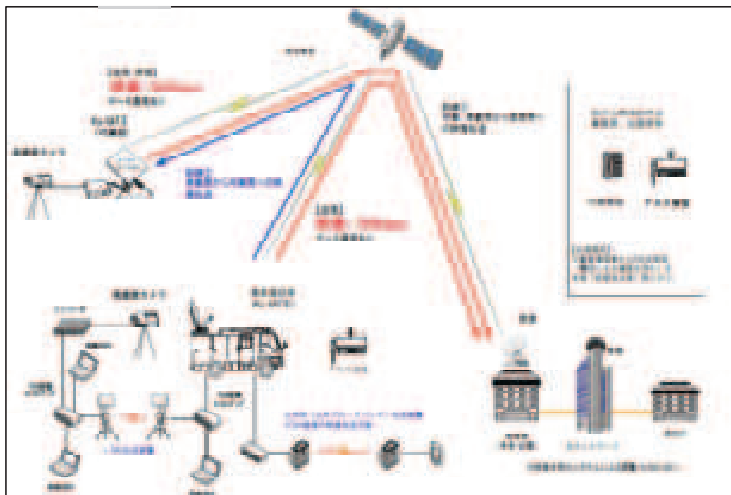
訓練の様子



■ 防災通信機器操作訓練の実施

関東地方整備局では、災害発生時における現地での災害対策本部の設置や、被災箇所情報収集・伝達を行う際に、安定した通信確保を図るため、国土交通省関東地方整備局防災業務計画に基づき、電気通信担当職員の防災通信機器操作習熟及び技術向上並びにTEC-FORCE（情報通信班）派遣を想定した防災通信機器操作訓練を実施しています。

本事務所において、本年度は、埼玉ブロックの幹事事務所として、6月25日（水）に、衛星通信車設営訓練、衛星通信車に常備されている機器の操作訓練、Ku-SAT II 設営・映像配信訓練、「公共BB」通信装置の設置・操作訓練、「i-RAS」通信装置の設置・操作訓練の各種訓練の運営・実施を行いました。



衛星通信車



ハード対策

C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No. 9 対策本部、警戒本部等設置時の情報収集伝達設備

利根川上流  
河川事務所

### ■ドローン（UAV）を活用した情報伝達

関東地方整備局では、TEC-FORCE高度化プランの一環として、災害時の被災状況調査等に利用するドローン隊（操縦者）の育成に取り組んでおり、実際にTEC-FORCE活動で利用をしています。

平時においても、災害時の情報伝送を円滑に行えるよう、用地業務における買取範囲内の支障物件の確認、計画検討業務における現地調査、広報業務における空撮を用いた広報用写真の撮影にそれぞれドローンを活用し、技能の習熟に努めています。

また、令和7年5月14日に行われた洪水対応演習においても、現地で撮影した映像や写真等を伝送する訓練も実施しました。



#### 洪水対応演習

(令和7年5月14日実施)

- ・出水時における実践的な演習を行うことで、防災体制に万全を期する。
- ・演習では、Teamsを用いた画像等伝送、ドローンによる撮影も実施。



#### 災害時に活躍するドローン (R6.8.1山形県TEC-FORCE活動)

16



ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知

No.11 まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充

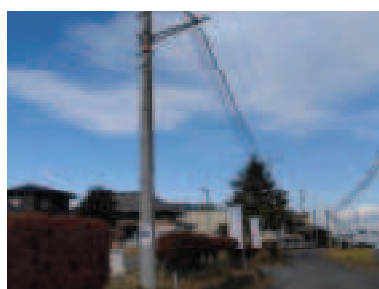
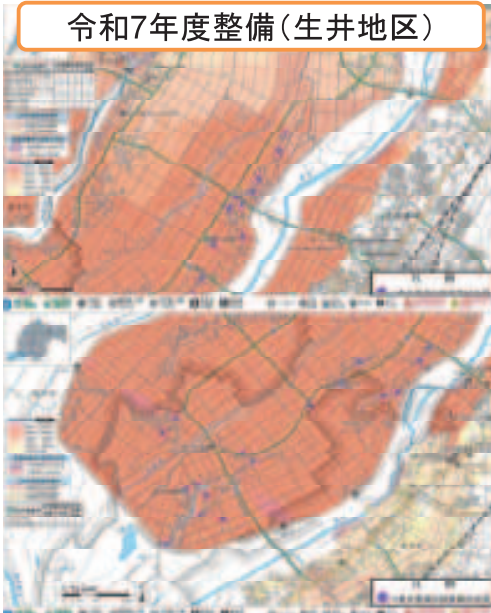
小山市

### ■まるごとまちごとハザードマップを整備

▶生井地区の自治会、自主防災組織と協働して普段目に留まる電柱を抽出し、防災への興味の有無に関わらず浸水のリスクに気づいてもらえるように、電柱公告により想定浸水深を表示した。

▶水害に対する住民の防災意識の向上と、的確な避難行動による逃げ遅れゼロを目指す。

#### 令和7年度整備(生井地区)



17

## ■ 市民向け出前講座を行い、洪水ハザードマップ等について周知

自主防災組織や市内企業、要配慮者利用施設等からの要請を受け、防災課職員が出前講座を実施。【風水害編】と【地震編】それぞれを実施し、【風水害編】では、台風や大雨時の避難行動や洪水ハザードマップの見方、自助による備蓄の必要性について説明。  
市からの防災情報や洪水・内水・土砂災害ハザードマップをまとめて確認することができる「さいたま市防災アプリ」について周知を行い、登録を促した。

### 出前講座の様子



#### 【出前講座(風水害編)】の内容

- (1) 河川洪水時、避難の必要はあるか？
- (2) 台風が近づいてきたらどうするか？
- (3) 何を持って避難するのか？
- (4) 災害の後、自宅で避難生活を送るために何が必要か？

#### 【出前講座】の効果

- ・地図情報システム(GIS)で洪水ハザードマップを確認する方法について説明し、理解を得ることができた。
- ・防災アプリについて周知を行い、登録することで平常時から防災情報を受け取ることが可能となった。

18

## ■ 避難情報の判断（・伝達マニュアルの見直し）

### 【具体事例】 避難指示・避難所運営研修会(1回目)の実施

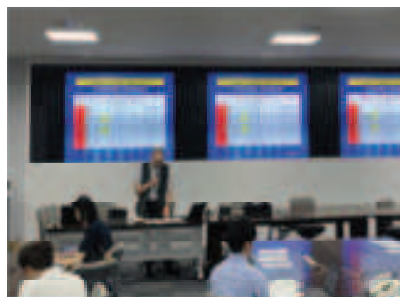
□市町職員における避難指示等発令能力向上及び市町職員・県職員における避難所運営に関する力向上を目的とし、座学及び実働による研修会を実施した。

#### ■ 実施時期

令和7(2025)年7月25日(金)

#### ■ 対象者

市町職員及び県職員66名  
(内訳→対面:23名、オンライン:38名)



↑座学の様子



↑実働の様子

#### ■ 実施内容

##### 【座学】

- ・避難情報発令に関する基礎知識
- ・能登半島地震を踏まえた以下の事項を含む避難所の開設・運営に関する基礎知識  
(避難所ごとのマニュアル作成の必要性、スフィア基準、適温の食事の提供、トイレの確保・設置、地震・大雨など複合災害への対応、要配慮者・男女共同参画の視点等への配慮)

##### 【実働】

- ・避難所の使用方法のシミュレーション、検討結果の発表及び意見交換

#### ■ 講師

(一社)減災・復興支援機構

19

- ソフト対策④逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- No.20 避難場所・避難経路の再確認と改善、No.21 避難誘導体制の充実

板倉町

## 令和7年度板倉町総合防災訓練を実施

○9月28日(日)、板倉町総合防災訓練を実施

- 前半：住民避難訓練(水害を想定)
- 後半：会場訓練(主に地震を想定)

避難訓練では、板倉町洪水時住民避難計画に基づき、指定された避難場所へ主に車で避難を実施。住民約1,000人が参加。



### 【住民避難訓練】

新たな試みとして、避難場所や避難経路の状況をドローンで撮影し、災害対策本部のモニターにて上映することで、情報共有を図る。

(操縦：日本ドローン協会群馬事業所)



### 【会場訓練】

自衛隊による炊き出し訓練や、応急給水訓練のほか、災害対策車両や防災関連ブースの展示を実施。



20

- ソフト対策①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- No.20 避難場所・避難経路の再確認と改善

野田市

## 水害想定した車中避難訓練の実施

○令和元年度に関東地方に上陸した台風19号の気象情報を想定し、災害協定に基づき民間事業者である株式会社ヤマダデンキのヤマダアウトレット＆ホビー館野田店駐車場を会場に、車中避難場所の開設や避難誘導などの実動訓練を初めて実施した。

○訓練の概要は、商業施設の管理者との連絡手段の確認、駐車位置の確認、避難者の受入方法の確認等を行った。

○訓練後、検証会を実施し、参加していただいたNPO法人首都圏防災士連絡会の方々からの御助言をもとに、「野田市車中避難場所の手引き」の改訂を行った。



21

■避難情報の判断（・伝達マニュアルの見直し）

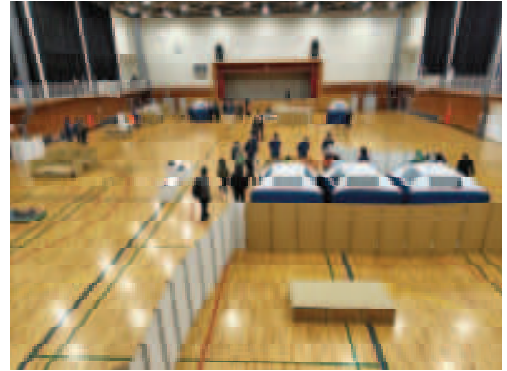
【具体事例】 避難指示・避難所運営研修会（2回目）の実施

□能登半島地震で課題となった避難生活環境の改善を踏まえ、避難所運営に携わる市町職員及び住民を対象に、実際の下野市の避難所（石橋体育センター）を会場とした実践的な実働の研修会を実施した。

■実施時期  
 令和8（2026）年1月30日（金）

■対象者  
 下野市職員、下野市住民（自主防災組織等）

- 実施内容
- ・避難所運営に関する基本的な知識に関する座学
  - ・避難所の空間配置図やレイアウト図の検討
  - ・空間配置図やレイアウト図をもとにした、パーティションや段ボールベッドの設置等避難所の開設における作業の確認



↑研修の様子

■講師  
 （一社）減災・復興支援機構

■防災アプリを活用した複数避難所での避難者受付検証

総合防災訓練の場において、同時3か所に開設した指定広域避難場所での避難者受付に境町防災アプリ「Sakaiinfo」でのQRコード受付、マイナンバーカードによる受付及び手入力による受付を同時に実施して、不具合の無いことを確認した。

【手書受付】

【QRコード受付】

【マイナンバーカード受付】

■避難訓練への地域住民の参加促進

令和7年度上尾市住民避難訓練の実施

上尾市内6地区、各地区1ヶ所ずつ指定避難所を選定し、年間で計6回行う住民参加型の避難訓練。避難行動要支援者避難訓練・中学生のボランティア参加も同時に実施。

〈内容〉

・避難訓練

避難所までの避難を通じて、避難経路の確認および経路上の危険箇所の把握する訓練。

・協定企業等によるブース展示

市と災害時応援協定を締結している企業等のブース展示を通じ、防災に関する周知・啓発を図る。

・避難判断トレーニング講座

外部講師による災害時の情報収集や避難判断に関する講座。

〈効果〉

・避難訓練

避難経路および経路上の危険箇所の把握や、住民同士の関係性の向上、災害時における協力体制の構築。

・協定企業等によるブース展示

ブースの展示・見学を通じた住民の防災意識向上や協定事業者同士の顔の見える関係づくりの構築。

・避難判断トレーニング講座

自然災害から身を守り、被災した場合でも的確に判断し行動できる知識の習得。

避難訓練の様子



協定企業等によるブース展示の様子



避難判断トレーニング講座の様子



■防災ハザードマップを活用した広域避難訓練を実施

・昨年度までの経緯・背景

従来の防災ハザードマップと令和元年東日本台風を契機に水害リスクの実態を整理し避難方法を示した啓発紙（洪水避難決断ブック）の内容を組み合わせた新たな防災ハザードマップを令和5年3月に全戸配布した。

具体的には次の内容を防災ハザードマップに反映させた。

- ・市内水害リスクの啓発
- ・広域避難や在宅避難を含む避難方法
- ・在宅避難可否判定フロー
- ・マイ・タイムライン作成欄 等

・実施内容・今年度の実施状況

参加住民は、サイレン吹鳴を合図に避難を開始し、バス配車予定地である学校で受付及びバスに乗車。その後、比較的安全な市内避難所へバスで避難。バスは災害協定先であるバス業者に委託。

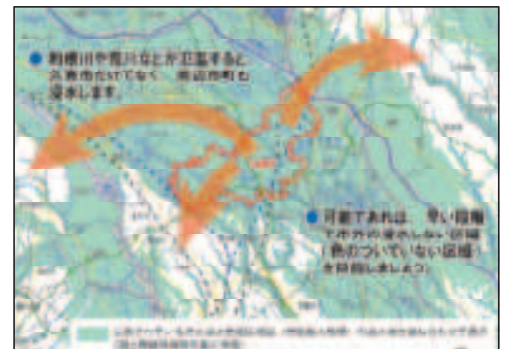
【開催日時】 令和7年9月6日（土）8：15～12：00

※市総合防災訓練の訓練項目として実施

【対象者】 訓練参加重点地区の住民、災害協定先バス会社、市職員（合計約30名）

・実施効果

- ・広域避難に関する住民への周知
- ・参加者のイメージアップ、
- ・広域避難支援の実効性確保 等



広域避難に関する内容を防災ハザードマップに反映



広域避難訓練における住民受付

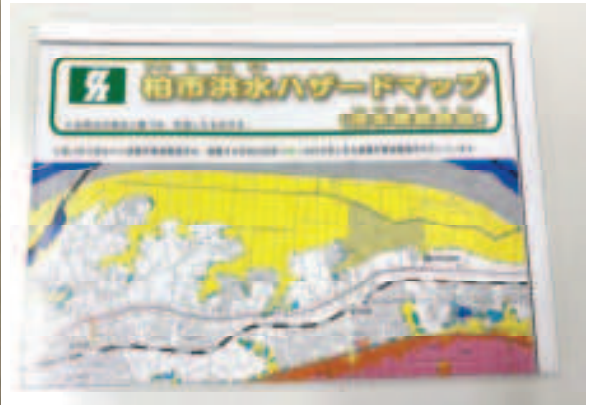
- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等
- No.28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知

柏市

## ■ 柏市防災ガイドブック及び洪水ハザードマップの更新を実施

➢ 柏市防災ガイドブックと洪水ハザードマップを最新の情報に更新し、当課窓口や近隣センターの窓口での配架を行っている。また、地域での訓練や講習会等で住民に配布及び活用している。

➢ ハザードマップと併せて、防災情報等を掲載することで、理解を深められるようにしている。また、どの年代でも見やすいように作成している。



26

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等
- No.28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知

江戸川区

## ■ 江戸川区水害ハザードマップ改定

### ■ 実施内容

- 従来のハザードマップから見やすさ、分かりやすさを追求し、R5年度に有識者による検討委員会 区議会議員、連合町会長、小・中学校 P T A や各関係団体、無作為抽出で選出した区民の方々による意見聴取会を実施し、区民にわかりやすい内容として概要版と詳しく知りたい方用の本編を作成。
- 大規模水害が予想される時とされない時の「とるべき行動」、「避難計画」を記載した。
- 令和6年12月に東京都の高潮浸水想定区域図が見直され、地図面の改定を行った。
- 作成した、今年の7月に概要版を全戸配布した。
- 英語、中国語、やさしい日本語の概要版においても転入者へ配布するように作成をした。
- 今年の8月から9月にかけて、ハザードマップ改定の説明会を区内6カ所にて開催し説明を行い、広域避難に対する普及啓発も行った。



27

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

坂東市

■マイ・タイムライン作成を実施

市民の皆さんと行政が力をあわせ、市民一人ひとりが生き生きと暮らす、豊かで住みよいまちづくりを推進するために、「坂東市まちづくり出前講座」を実施しています。出前講座は、地震・洪水等の災害時、どのように対応すべきか？市の防災体制について、皆さんの要請に応じて市の職員が講師として、公民館や集会場等に出向く制度です。出前講座では、自治会や企業への学習会、学校の授業、子供会やPTA活動の一環として、スライドやビデオを使用して、防災に関する基礎知識や対応方法を気軽に学べる講座を実施しています。



マイ・タイムライン作成講座  
坂東市立東中学校  
【令和7年7月4日】



マイ・タイムライン作成講座  
坂東市立七郷小学校  
【令和7年9月10日】



マイ・タイムライン作成講座  
坂東市立中川小学校  
【令和7年9月12日】

- ソフト対策①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

板倉町

■洪水ハザードマップの更新

○更新の経緯・内容

板倉町では、令和2年6月に防災マップを作成したが、災害対策基本法等の改正のほか、令和5年に策定した板倉町洪水時住民避難計画の内容を反映させた。

これまでの冊子タイプではなく、見やすさ分かりやすさを考慮し、A1版両面のマップタイプとし、町外への自主的な広域避難を強く推奨するとともに、多くの住民が実施することとなる、車での避難、車中での避難をするうえでの、事前の備えや留意点について周知を図るもの。



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

利根川上流  
河川事務所

## ■ オンライン情報共有『防災意思疎通WEBライン』の体制構築

水位上昇時等にWEB会議（Teams）を活用して行政機関と情報共有を行うオンライン情報共有『WEBライン』の体制構築を令和4年度に行いました。

令和7年度においては、令和7年台風第9号（R7.7.31）、令和7年台風第15号（R7.9.4）の発生時において、台風の進路、気象情報、管内水位観測所の水位状況の情報共有を行いました。



30

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.30 タイムラインに基づく実践的な訓練

小山市

## ■ 令和7年度風水害対応職員訓練を実施

本格的な出水期を迎えるにあたり、風水害発生時における迅速かつ的確な対応の実現に向けて、シナリオを作成せず、実践的なブラインド型訓練を実施した。

各種災害事案の状況付与に基づき各部局において調整、連携、判断、対応を実施。

【期日】令和7年7月2日（水）

【会場】小山市役所 本庁舎6階 災害対策室

【参加者】本部長、副本部長、本部員・連絡員、危機管理課職員など 91名

【重点項目】災害時の切迫感・緊迫感を再現し、判断・情報収集力の向上及び共有の徹底を図る

本部員・連絡員による事案への調整・連携↓



【参加者所感】

・全体的には被害発生状況に応じた対応ができていた。個々の市民にどのように情報を届けるか、その仕組みづくりを日ごろから考える必要があると感じた。

・今回の訓練では状況対応に追われ、事案の深掘りが不十分であった。

31

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.30 タイムラインに基づく実践的な訓練

■ 自治体が行う災害対策本部運営訓練等への参加

自治体を実施した災害対策本部訓練等において、シナリオ作成等の準備段階から協力し、模擬ホットライン等の実施により、実際の訓練にも参加した。

- ・5月10日 令和7年度茨城県・小美玉市避難力強化訓練
- ・5月20日 茨城県風水害対応図上訓練
- ・6月23日 桜川市災害対策本部運営訓練
- ・6月28日 つばみらい市防災訓練
- ・7月26日 令和7年度洪水・土砂災害対応訓練（常陸太田市）



つばみらい市防災訓練 気象台長から市長への模擬ホットライン

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.32 水防災の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置

■ 防災学習会開催キットのホームページへの掲載

自主防災組織からの依頼が多い「防災ハザードマップ」の講演について、訓練・研修の開催が重なる時期などにおいては、職員の派遣だけでは対応しきれないこともあり、地域防災力向上の観点からも、組織のリーダーや、地域の防災士らが中心となった勉強会が開催できるよう、投影用の資料や講演者用の台本、理解度の確認用のテスト及び解説を、ホームページへ掲載した。

開催にあたっての備品の借用や資料印刷費への補助金については、危機管理課が窓口となって対応している。



かんたんなテストと解説

投影資料と台本



ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No.33 地域防災力の向上のための人材育成

## ■令和7年度 地域防災勉強会を実施

古河市

古河市の災害特性や災害時に役立つスマートフォンの活用術を紹介する地域防災勉強会を5会場にて行い、延べ約220名が参加した。

講座内では、スマートフォン・タブレット等の機器を使い、災害時のスマートフォン活用のポイント、災害時に役立つアプリケーションの使い方などを紹介し、参加者は持参したスマートフォン等を用いて各種アプリケーションの操作を行った。



34



ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No.33 地域防災力の向上のための人材育成

## ■避難所開設・運営研修会を実施

小山市

大規模災害発生時に円滑な避難所の開設・運営を図るため、自主防災会向け「防災リーダー講習会」、防災士向け「防災士スキルアップ研修」を市消防本部と連携して、初めて実施。

具体的には、パーティションや簡易トイレなどの資機材取扱いや受付事務補助、備蓄倉庫見学を行った。

【期日】令和7年11月8日(土)、15日(土)

【会場】小山市立羽川小学校体育館、間々田小学校体育館

【参加者】自主防災会、防災士、消防団、市職員など 延べ110名

避難者受入れレイアウトの確認↓

備蓄倉庫の見学↓



<参加者所感>いざという時に、頭でわかっているけど体が動かないことは多いので、今回の経験を生かして、有事の際に対応していきたい。

35

## ■防災士資格取得補助を実施

### 昨年度までの経緯・背景

各地区における共助の取り組みの一環として、地域防災の担い手となる人材を育成し、地域防災力の向上を図ることを目的として、防災士資格取得費用について補助金交付事業を開始した。

### 実施内容・今年度の実施状況

- 防災士資格取得補助金交付要綱の作成
- 自主防災組織連絡協議会にて周知し、実施希望者の受付の実施

### 実施効果

- 防災士資格の受講まで至ってはいないが、資格取得補助を受けるにあたって町内の自主防災組織での活動や町防災訓練への参加を依頼する予定。

36

## ■地域版タイムライン作成研修を実施

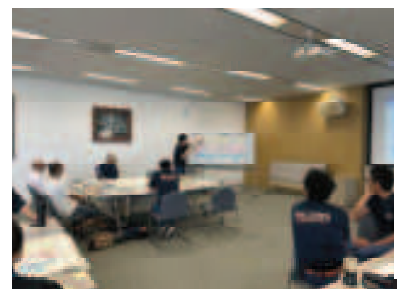
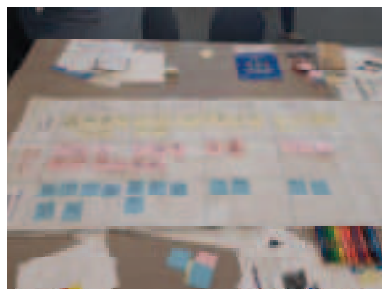
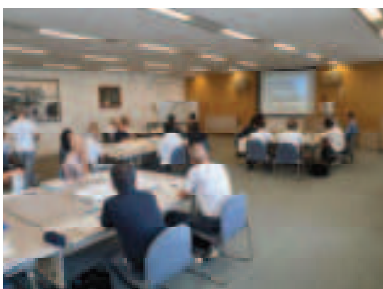
台風や大雨などの災害に備え、地域でどんな行動をとるのか事前に整理しておく必要があるため、地域版タイムライン作成研修を実施した。

町のハザードマップを使用して、危険箇所・避難所の確認・避難経路を再確認した。

普段からできること・高齢者等避難・避難指示を段階ごとに各団体が書き出し、表にしたことにより、地域でどんな行動をとるのか事前に整理することができた。

地域の各団体・関係者が集まり、顔を合わせることで、防災意識がより一層高まり、災害時の横のつながりや支援・協力による、地域防災力の向上が期待される。

- 実施日：令和7年8月23日(土) 講師：(一財)消防防災科学センター3名  
参加者：自主防災組織8名、民生委員6名、消防団員8名、社会福祉協議会職員2名、町職員4名。



37

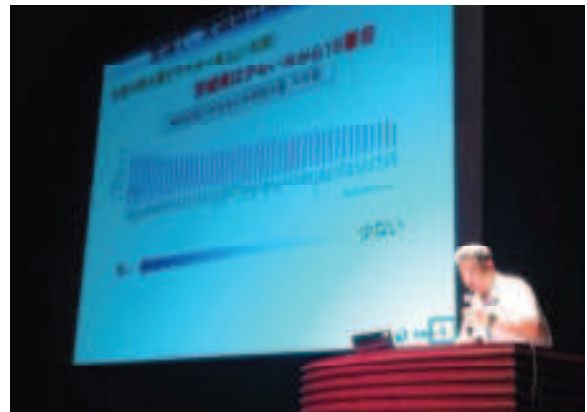
■市町村防災担当者講習会等の実施

各市町村防災担当者等の災害対応能力向上を目的として、茨城県が実施する「茨城県災害対応勉強会」に参画し、災害対応勉強会の一部として、水戸地方気象台・茨城県市長会・茨城県町村会との共催により、「災害対応講習会」をオンラインで実施した。また、自治体が主催する防災士養成講座や自主防災組織リーダー研修会等において講師として参加、防災知識や防災気象情報の利活用等について解説した。

- ・4月24日 令和7年度防災・危機管理担当課長会議
- ・5月16日 災害対応講習会
- ・6月19日 茨城県立消防学校消防職員初任教育第119期初任科研修
- ・7月12日 いばらき防災大学
- ・7月17日 坂東市自主防災リーダー研修会
- ・7月27日 中・高生向け防災士要講座
- ・7月29日 警察学校にて茨城県警職員向けに講義
- ・8月30日 日立市防災士養成講座
- ・8月30日 つくば市地域防災リーダー研修会



いばらき防災大学での講義



坂東市自主防災リーダー研修会

■気象防災ワークショップ（埼玉版シナリオの風水害編）を実施

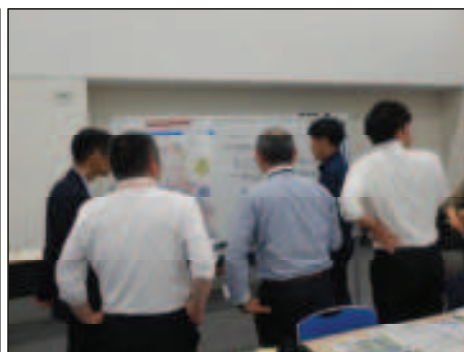
○市町村防災担当者を対象とした気象防災ワークショップ（埼玉版シナリオの風水害編）を埼玉県と共催して2回開催（対面形式）。

- ・ワークショップは令和元年東日本台風（台風第19号）の想定シナリオを用いて実施。
- ・1回目は県内15市町20名及び県職員1名の計21名、2回目は県内16市町19名及び県職員2名の計21名が参加。
- ・参加者は、気象台から発表される防災気象情報や刻々と変化する気象状況を受け、市町村の防災担当者としてどのように判断し防災対応を行うかを、グループで検討し発表。

○実施日  
 ・5月21日、5月28日



気象台による場面解説



グループワークを実施



検討結果発表

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組  
I) 防災教育や防災知識の普及  
No.33 地域防災力の向上のための人材育成

■ 気象情報に関する講演を実施

◎ 気象情報に関する講演を実施

概要

「2025年夏の天候について」と題して令和7年度利根川下流部利水者懇談会において講演を実施。

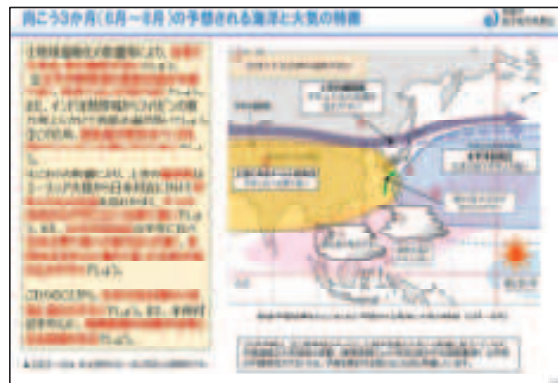
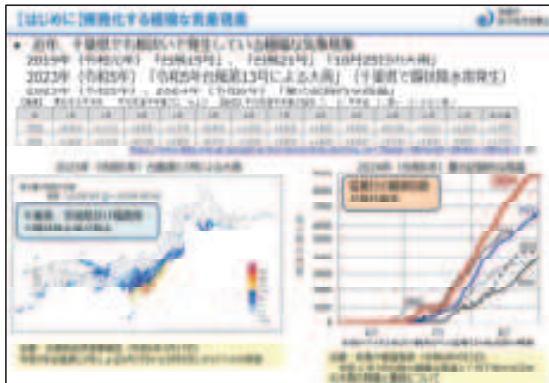
詳細

日時：2025年5月23日

場所：利根川下流河川事務所

実施形式：対面 + web（合計で約30名参加）

内容：近年の夏において、台風や線状降水帯による極端な気象現象が頻発している状況を紹介し、注意喚起した。また、今夏の天候の見通しとその要因を解説した。

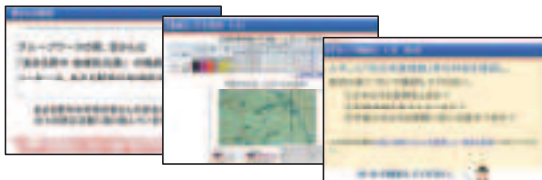


講演資料の一部

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組  
I) 防災教育や防災知識の普及  
No.33 地域防災力の向上のための人材育成

■ 気象防災ワークショップの実施 ～毎年の取組みとして～

- 区市町村が発令する避難情報を疑似体験するグループワーク。
- このワークショップを通じて、防災気象情報を適切に理解し、自治体の体制の強化や避難情報の発令のタイミングなど判断のポイントを学んでいただき防災対応力の向上を目指す。
- 本年は、出水期前に全区市町村を対象に実施した（東京都主催）ほか、要望のあった江東区を対象に個別にワークショップを実施。



気象防災ワークショップ資料（東京版）

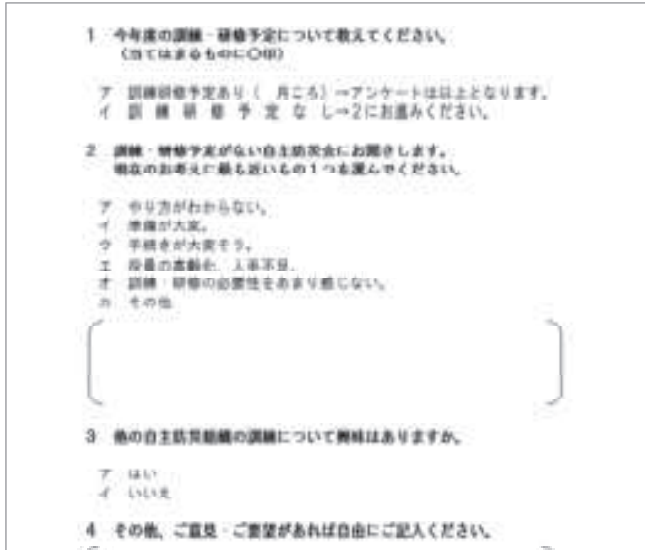
気象防災ワークショップ実施の様子

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.34共助の仕組みの強化

宮代町

### ■ 自主防災組織同士の連携促進

- ・ 5月 直近3年間、訓練等未実施地区の選定。
- ・ 9月 避難行動要支援者制度説明会にて、積極的に取り組んでいる地区の事例発表を実施。
- ・ 9月 令和7年度、訓練等実施予定のない地区へのアンケート実施。
- ・ 11月 他地区防災訓練の見学幹旋。
- ・ 11月 職員によるモデル地区の見学。見学希望者による他地区防災訓練見学。
- ・ 2月 (予定) 自主防災組織連絡協議会によるモデル事例発表・見学者振り返り。



■ 実施したアンケート。  
 3「他の自主防災組織の訓練について興味はありますか」という質問に「ア (はい)」と答えた地区を中心に、近隣地区での防災訓練を照会し、見学を幹旋。

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35水防災に関する説明会や避難訓練の開催

古河市

### ■ 令和7年度 古河市水害対応総合訓練を実施

令和7年6月29日、水害を想定し、浸水想定区域内から区域外の避難先まで、訓練参加者自身の車で実際に避難をおこなう実働型の「古河市水害対応総合訓練」を実施し、訓練内ではさいごの逃げ込み施設（避難場所）へ避難してきた避難者・避難行動要支援者等を対象とするバスを用いた避難もおこなった。関係者を含め、約490人が訓練に参加した。

避難所運営訓練(避難行動要支援者の対応)



自家用車での避難の様子



防災スマホ講座



訓練会場内では市職員を対象とするシナリオ訓練に加え、避難者の受け入れ先自治組織との協働した避難所開設・運営訓練や、ボランティア主体の防災装備品体験ブースの運営、発災時のスマートフォン活用方法についての講座等を実施した。

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35水防災に関する説明会や避難訓練の開催

常総市

### ■ 住民参加型広域避難訓練

■ 台風による洪水を対象とし、避難指示等発令に着目した常総市からつくば市への広域避難訓練を実施した。また、同地区在住の避難行動要支援者の方にも訓練に参加していただき、個別避難計画の実効性の確認及び計画の更新を実施した。

【開催日】 令和7年10月11日（日）9時30分～11時30分

【訓練対象地区】 常総市三妻地区

【訓練会場】 豊里柔剣道場：つくば市今鹿島4262

#### 【訓練内容】

9時30分～避難指示発令（常総市三妻地区）防災行政無線  
広域避難開始：対象地区（常総市三妻地区約60名参加）  
\* 車移動

9時30分～避難所受け入れ開始

避難所到着後・・・順次、避難所に避難し、受付及び避難所設営を実施

- 受付は、実災害時担当部署が対応
- 受付後に、避難者が協力し間仕切りテント及びエアーマットの設営を行う（設営補助は、職員及び防災士が担当）
- 避難行動要支援者へのヒアリング（避難経路の確認や計画更新について）

11時15分～避難所設営終了

警察挨拶及び講評



44

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

小山市

### ■ 令和7年度避難所開設・運営訓練を実施

迅速かつ円滑な避難所の開設・運営に加え、今回は、災害時の外国人支援の意識づけを目的として、外国人相談員の協力のもと、外国人の視点を取り入れた講話とHUG（避難所運営ゲーム）を用いた演習を実施。

具体的には外国人避難者からの要望等を想定して、実際に一部事案において外国人相談員が外国語（スペイン語）で話し、その対応・支援方法についての訓練も実施。

また、資機材（パーテーション、簡易トイレ）の取り扱いの実技訓練も実施。

【期日】令和7年5月23日（金）

【会場】小山市役所本庁舎6階 大会議室

【参加者】指定避難所開設初期対応担当市職員、外国人相談員など 87名

スペイン語でHUGカードを読み上げる外国人相談員 ↓



外国人目線の避難所運営に関する講義 ↓



45

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

館林市

## ■ 出前講座を活用した水防災に関する普及啓発活動の実施

- 概要
 

出前講座を活用し、行政区をはじめとする地域や任意団体に対して水防災を始めとした防災知識について普及啓発活動を実施
- 内容
 

震災・風水害を中心とした説明を実施。水害については避難情報の概要、ハザードブックの活用方法、避難についての説明
- 成果及び今後の予定
 

令和7年度は10月現在で3回の出前講座の依頼があり、水害の概要及び避難について普及啓発することができた。今後も、出前講座を通じて持続的に普及啓発を実施する。

行政区に対する説明（令和7年5月）



行政区に対する説明（令和7年10月）



46

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

玉村町

## ■ 小学校区における避難訓練の開催

- ▶ 町職員においては、災害時の職員参集、避難所開設、受け入れを実施
- ▶ 地元区は住民を避難所へ誘導。防災士や避難民の中で手伝ってくれる人は避難所運営の手助け。
- ▶ 地元消防団と消防署員による、煙体験、水消火器体験、応急救護体験を実施。
- ▶ 避難住民に対し、段ボールベッド、土のう積み、簡易トイレ、備蓄食料等を展示・PR。
- ▶ 屋外で実施する予定であったが、雨天のため急遽体育館内での実施となった。



避難民受け入れ時



煙体験・簡易トイレ・パーテーション等の展示

47

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

明和町

■ 自主防災組織主導避難訓練

○明和町は町内全域が浸水想定区域である。当町としては広域避難を前提としているが、町内の緊急避難場所の確保も推進している。ただし今まで東部地区には緊急避難場所が1つしかない状況であった。

○「JR東日本リネン（株）明和工場」が令和7年度に東部工業団地に進出。

○避難場所として協定締結予定となっている当該工場に、地域住民が避難することを見立て、避難訓練を実施した。（斗合田区自主防災組織主導にて参加者約40名）

○あくまで広域避難が出来ない者や、避難が遅れたかたへの手段となるものであるが、非常に有意義なものとなった。

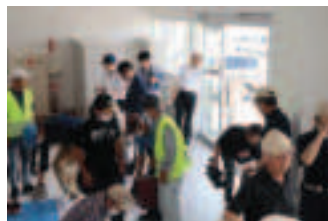
このあたりの集落から近い緊急避難場所の確保が急務！



訓練参加者



JR東日本リネン(株)明和工場



避難の様子



避難場所となるスペースにて参加者に対し防災講話をしている様子

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

邑楽町

■ 町民を対象とした防災教育の実施

▶令和7年6月29日(日)に役場職員が講師となり町民を対象とした防災教室を実施した。

▶邑楽町で懸念される災害や災害時の情報収集の方法、防災対策についてスライドを利用して解説した。

防災教室の様子



使用したスライド(抜粋)



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

加須市

## ■ 加須市総合水害広域避難訓練を実施

訓練日時：令和7年6月15日（日）午前8時30分～10時30分  
 参加人数：1, 201名  
 会場：水害時避難場所（34箇所）、バス発着所（9箇所）  
 訓練内容：【広域避難訓練】

- ①バスによる水害広域避難区域バス発着訓練
- ②自家用車による避難場所への市内広域避難訓練
- ③交通誘導訓練（警察による信号機手動操作により、避難者の通行を円滑にする訓練）

### 【避難場所開設・運営訓練】

- ①避難場所開設・運営訓練（運営マニュアルの説明、避難場所施設及備蓄品の確認、避難所運営委員会各班による訓練、避難者と受入側の交流）
- ②避難場所入退所管理アプリ訓練(マイナンバーカードを利用した避難場所入退所受付)

### 【LINEを活用した災害対策情報収集室との連携訓練】

- ①LINEアプリを活用して各避難場所、交通誘導箇所及び避難所の状況の情報収集等連携を行う訓練

#### 広域避難訓練

【バスによる広域避難】



#### 避難場所開設・運営訓練

【避難場所入退所管理アプリ受付】



【段ボールベッド設置】



#### LINEを活用した 災害対策情報収集室との 連携訓練



50

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

本庄市

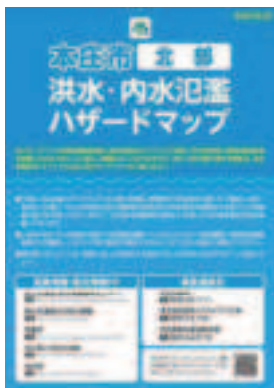
## ■ 市民に対する研修、職員に対する訓練の実施

### ○市民に対する研修

- ・ハザードマップを活用した出前講座の実施
- ・指定避難所への避難を想定した、防災訓練の実施

### ○職員に対する訓練

- ・避難所担当職員を対象とした、避難所開設・物資輸送訓練を実施
- ・「安否確認訓練」及び「非常参集訓練」を実施



本庄地域防災訓練



避難所開設・物資輸送訓練

洪水・内水氾濫ハザードマップ表紙

51

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

吉川市

## ■ 第10回吉川市減災プロジェクトin北谷小学校を実施

### ◇概要◇

「自助・共助」をテーマとして、市民参加型の訓練を実施。  
水害時における避難所の開設・運営や、震災時における資機材展開訓練など、より実践的な訓練を行い、避難行動の理解促進や地域コミュニティによる減災力の向上を図る。

### ◇訓練詳細◇

日程 11月22日（土）

場所 吉川市立中央中学校（吉川市中央二丁目21番地1）

対象 木売新田自治会、富新田自治会

内容 避難所開設訓練、避難者受付訓練、資機材展開訓練、防災設備研修（自衛隊車両、消防車両資器材、LPガス設備、災害用トイレ、移動型郵便局）



52

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

松伏町

## ■ 防災出前講座の実施

### ◇出前講座等を活用した講習会の実施

#### 背景

- 近年全国各地で頻発する大規模災害に備えるため、自分の身は自分で守る「自助」及び地域は地域の皆様で守る「共助」を中心に、町民の皆様に防災講座を実施した。

#### 実施状況・効果

- 学校、自主防災組織を対象に3件の講座を実施  
参加人数延べ80人

#### 講習会内容

- 【災害に強いまちづくり】2件  
災害の基礎知識、備えておくべき防災グッズ、家具転倒防止対策、食料の備蓄などの講義
- 【マイ・タイムラインをつくろう】1件  
災害の基礎知識、地震・洪水ハザードマップの見方、マイ・タイムラインの必要性と作成方法などの講義



埼玉県立越谷西特別支援学校松伏分校（R7.5.26）



松伏町田島地区自主防災会（R7.10.26）

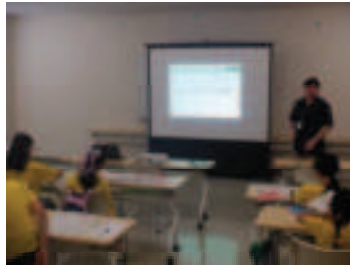
53

■ 出前なんでも講座やマイ・タイムライン作成講習会を実施

・県内にある地域団体からの要請を受け、県職員が講師になる「出前なんでも講座」において、「水害に備えて」をテーマに講習会を実施。  
 ・県減災対策協議会において市町村と連携し、水害リスクのある地区を対象にマイ・タイムライン作成講習会を実施。

【出前なんでも講座】

令和7年	6月17日	介護施設勉強会
令和7年	8月7日	下川淵学童保育所
令和7年	8月21日	桃井こどもクラブ
令和7年	9月2日	新町長寿センター
令和7年	9月7日	板井区防災訓練
令和7年	9月9日	上野中学校
令和7年	9月12日	千代田町立東小学校
令和7年	9月28日	イオンチアーズクラブ太田
令和7年	10月12日	板鼻第5区自治会
令和7年	10月29日	桐生市立南小学校
令和7年	12月3日	群馬県身体障害福祉団体連合会
令和7年	12月6日	日本スタディグループ勉強会
令和7年	12月17日	高崎商業高校
令和8年	2月6日	利根沼田指導員会



出前なんでも講座 イオンチアーズクラブ太田



出前なんでも講座 桐生市立南小学校



マイ・タイムライン作成講習会 上野村

【マイ・タイムライン作成講習会】

令和7年 9月24日 上野村

■ 孤立集落支援に係る実動訓練の実施について

大雨及び大規模な地震発生に伴う土砂流出による孤立集落の発生を想定した実動訓練を栃木県及び防災関係機関と実施した。

※主な訓練参加団体

総務省関東総合通信局、陸上自衛隊、栃木県警察本部、栃木県佐野警察署、インフラ関係（2団体）、ドローン関係（6団体）



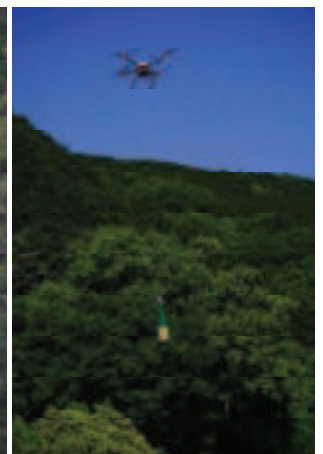
(自衛隊ヘリの孤立集落到着)



(ヘリによる孤立集落外への輸送)



(防災ヘリによる救助訓練)



(ドローンによる情報収集・物資輸送訓練)



(多機関による合同調整所運営)



(バイクによる情報収集訓練)

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

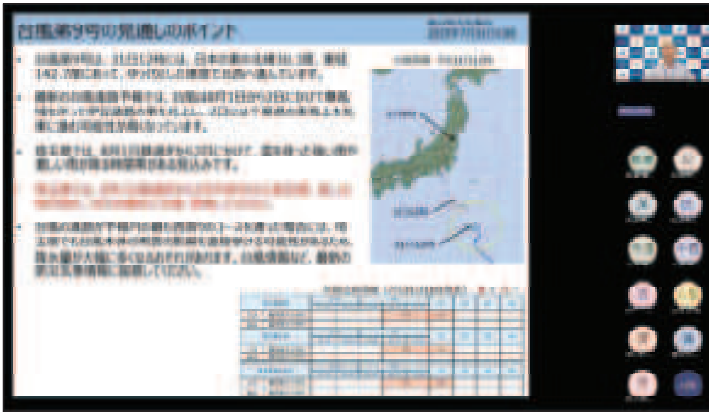
■ オンラインによる台風説明会を実施

○埼玉県及び関東地方整備局（利根川上流河川事務所）と共催で、オンラインによる台風説明会を2回実施。

- ・埼玉県、市町村、報道機関等に Microsoft Teams を使用したWeb形式で開催。
- ・説明資料を関係機関にメールで共有。
- ・リアルタイムで参加できなかった機関向けに説明録画を限定公開。

○実施日

- ・7月31日（台風第9号）
- ・9月4日（台風第15号）



説明会開催（熊谷地方気象台）

種別	2019年7月31日	2019年8月1日
雨量	200%	120%
風速	200%	120%
暴風範囲	200%	120%

台風説明会資料の一部

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

■ 佐野市総合防災訓練の実施について

大規模な地震発生に伴う家屋の倒壊や土砂災害により多数の負傷者が発生。災害対策本部を設置し各防災機関の協力を得て、情報収集、救助、救急救護及び消火等の初動体制など災害応急対策を実施した。

※主な訓練参加団体

陸上自衛隊、栃木県（警察本部、消防防災航空隊）、国土交通省関東地方整備局（渡良瀬川河川事務所、宇都宮国道事務所）、地元防災会、災害協定機関など（約40団体）



（災害対策本部設置）



（自助・共助による避難訓練）



（道路啓開）



（公助による救出救助）



（土砂災害救出）



（応急救護処置）



（高所からの救出）



（一斉放水）

■「気象台オンライン解説」を実施

- 県及び市町村に予報官が直接解説する「気象台オンライン解説」を出水期に30回実施。
  - ・当日05時または11時予報で、早期注意情報の [中] [高] を今日または明日に発表し、かつ「埼玉県気象情報」を発表した（またはする）場合。
  - ・Microsoft Teams を使用したWeb形式で10分程度で解説（自由参加型）。
  - ・リアルタイムで参加できなかった場合、録画の利用やホットラインで対応。
  - ・予報シナリオにあった予想資料を表示し、気象台のもつ危機感を共有。

○実施日

- ・6月17日、23日、25日、26日 ・7月1日、2日、9日、10日、14日、15日、16日、22日、23日、24日、25日
- ・8月1日、6日、8日、18日、19日、21日、25日、27日 ・9月10日、11日、12日、17日、18日 ・10月31日



気象解説資料

■気象台主催の説明会の実施、協議会や市町村の避難訓練等における講話

茨城防災気象連絡会や常陸河川国道事務所と共同で説明会を実施したほか、協議会における講演、市町村が実施する避難訓練の中で講話やブース展示の機会をいただき防災知識の普及に取り組んだ。

- ・5月10日 令和7年度茨城県・小美玉市避難力強化訓練（講話）
- ・5月25日 令和7年度鉾田市総合防災訓練（ブース出展）
- ・6月13日 日立港安全対策協議会総会（講演）
- ・6月27日 茨城防災気象連絡会
- ・6月29日 令和7年度水害から命を守るための避難訓練（かすみがうら市）（講話）
- ・7月 3日 久慈川・那珂川洪水予報業務に関する説明会（常陸河川国道事務所との共催）
- ・7月 6日 令和7年度鹿嶋市総合防災訓練（講話・ブース出展）
- ・7月14日 大洗港入出港安全対策協議会総会（講演）
- ・7月24日 鹿島港災害対策協議会台風等対策専門部会（講演）
- ・7月26日 令和7年度取手市水害時避難想定訓練（講話）
- ・8月30日 令和7年度ひたちなか市総合防災訓練（講話・ブース出展）



鉾田市防災訓練での展示



茨城防災気象連絡会



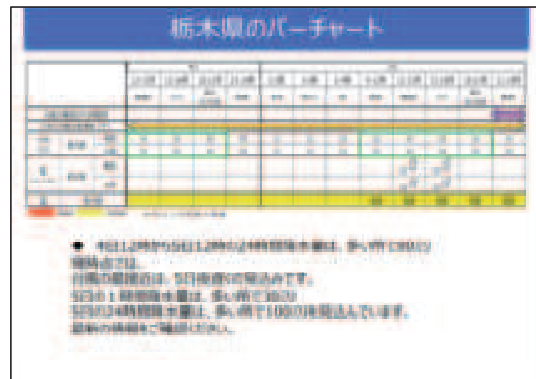
かすみがうら市防災訓練での講話

■ 台風説明会の開催、休日前天気解説の実施

- 台風の接近等に伴う影響や防災上の留意事項について、台風説明会を対面およびオンライン形式で開催（状況に応じ下館河川事務所と共催）し、栃木県関係部局と各市町関係機関等に注意・警戒の呼びかけを行い解説資料を提供。
  - ・台風説明会開催状況（令和7年度 3回実施）  
 7月13日（台風第5号）、7月31日（台風第9号）下館河川事務所と共催、  
 9月4日（台風第15号）
- 休日前等に早期注意情報〔中〕以上発表等した場合、栃木県関係部局と各市町に対し、Web会議を活用し予測状況、警戒事項等を説明し、警戒の呼びかけを実施（令和7年度 6回実施）。



台風説明会後取材の様子



台風説明会資料一部抜粋

■ 伊勢崎市で「受講者特化型」の出前講座を実施

伊勢崎市役所において、市内避難所担当職員約90名を対象に出前講座を行った。伊勢崎市では、ほとんどの職員が実際に避難所を開設した経験がなく、職員の防災意識をいかに高めるかが課題の一つであった。そこで受講職員に「我が事」感を持ってもらうべく、避難所担当職員が利用する「避難所開設マニュアル」に沿う形式で防災気象情報の適切な利活用について講演を行うなど、「受講者特化型」の講演を実施した。講演は新聞、報道機関にも取り上げられ、気象台の業務のアピールにもつなげることができた。今回の講演を受け、伊勢崎市治水課より内水対策検討会議への参画の打診があり、関係機関との連携の強化にもつなげることができた。



受講者（避難所担当職員）の様子



講演及び報道機関からの取材（右上挿入部）の様子

■教員を対象とした講習会の実施

令和7年度 防災リーダー講習会

教職員の防災に関する理解や対応能力、防災教育に関する指導力等、専門的な知識や資質の向上を図るとともに、各校の災害安全に関わる取組の改善・充実に生かすことを目的に平成25年度より開催している。本年度は演習と講話を組合せ、避難所運営ゲームHUGと講話を実施した。

【期日】令和7年8月8日(金) 【会場】小山市桑市民交流センター 【参加者】34名

- 【内容】(1)演習「避難所運営ゲームHUG」  
 講師：小山市総務部危機管理課  
 (2)講話「栃木県の気象災害と気象情報の利活用」  
 講師：宇都宮地方気象台防災気象官



■教員を対象とした講習会の実施

令和7年度 防災教育セミナー

防災に関する演習や講話を通して、教職員の防災意識を高めるとともに、各校の防災教育の改善・充実に図ることを目的に平成24年度より開催している。

【期日】令和7年12月5日(金) 【会場】小山市立文化センター 【参加者】41名(予定)

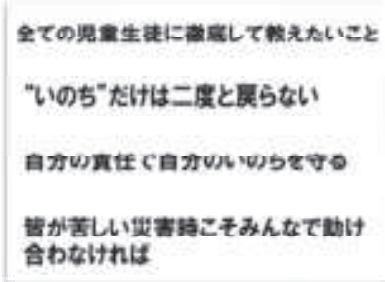
【内容】

- (1)講話「今後の防災教育の展開」(予定)  
 講師に常葉大学名誉教授重川先生をお迎えし、学校における継続的な防災教育の重要性や命を守るための避難の在り方等についてご講話いただいた。
- (2)参加者による意見交換「今後の防災教育の在り方」(予定)  
 既存の避難訓練計画が教科等と連動しているか、教科等で取り扱う知識・理解等が避難訓練等の活動に生かされているか、同じ学校区の保育所や小・中・義務教育学校が連携して取り組める防災教育にはどのようなものがあるか、などの視点で協議を行った。

講師による講話



講師資料より



意見交換のようす



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.36 教員を対象とした講習会の実施

利根川上流  
河川事務所

## ■ 水防災教育を行う教職員を対象に水防災教育ポータルを作成を実施

水防災教育の推進を目的に、利根川上流域の学校で授業を行う先生方が防災教育に取り組んでいただく際に役立つ情報・コンテンツを取りまとめた、水防災教育ポータルを作成しました。

教科書などに付属して授業に利用できる副読本の公開や、地域の実情に応じて副読本に掲載できる画像・映像の資料集の公開を行っています。

なお、防災教育に慣れてない先生方でも授業展開をする前に、事前に水防災教育の重要性や水害リスクを確認できるように啓発動画ページやQ&Aページも公開しております。

<https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/education/index.html>



64

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.37小中学生を対象とした防災教育の実施

常総市

## ■ 市内小学生を対象とした防災スポーツ

近年、台風や線状降水帯による大雨による水害を始めとする大規模な自然災害が全国各地で頻発、激甚化しており、地域が一丸となった災害対策が求められている。そうした中、災害初動期の公助による応急対策の限界により、自助・共助の役割の重要性が改めて注目されている。こうした地域住民による顔の見える関係性・コミュニティによる防災力の向上及び楽しみながら防災についての知識を習得し、防災意識の高揚につなげてもらうことを目的に本事業を開催した。今年度は水害をメインのテーマとして本事業を実施した。

- 【実施期間】 令和7年10月～12月
- 【実施場所】 常総市内小学校6校
- 【主 体】 常総市、株式会社シंक
- 【実施内容】
  - ・レスキュータイムアタック（共助）
  - ・キャットサイクルレース（復旧）
  - ・ウォーターレスキュー（水害発生時における共助）
  - ・防災知識トレーニング（知識取得・啓発）



65

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

取手市

## ■ 小学生を対象とした防災教育の実施

- 小学生を対象とした防災教育の実施
- ✓ 小学校の総合学習授業の中で、水災害教育に取り組んでいく

○市内小学校で毎年実施し、災害時の避難行動について理解を深めるため  
マイタイムライン作成講座を実施した。(令和2年度より継続実施)

### 【目的】

- ・地域と継続的な地域連携の防災訓練を実施することで地域と学校の繋がりを強化する。
- ・防災に関する体験活動を通じ、児童の危機管理能力を高める。

### 【参加者】

小学校児童、学校職員、取手市役所

### 【内容】

- ・マイ・タイムライン作成講座



66

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

境町

## ■ 中学生を対象としたオンライン防災講演会の実施

将来を担う中学生を対象に、近年の災害環境や境町の災害特性を踏まえ、「中学生として水害にどう立ち向かうのか」をテーマにご講演をいただきました。本講演を通じて、「自らの命は自ら守る」意識を高め、水害時の心構え、身を守る術などについて学んでもらうことを目的に開催しました。

- 【期 日】 令和7年10月27日(金)
- 【会 場】 境町立第一中学校、同第二中学校 (Web開催)
- 【参 加 者】 各中学校の全学年生徒及び教員 633名

【講演概要】 利根川が氾濫した場合、町の95%が浸水域にある境町の災害特性を踏まえ、東日本大震災における「釜石の奇跡(※)」を例に、第一「想定にとらわれるな」、第二「その状況下での最善を尽くせ」、第三「率先避難者たれ」の避難三原則を忠実に実行し、命を守ってもらいたいとの内容でした。

※東日本大震災の津波から中学生の率先避難により小学生、園児、高齢者等を支え避難し、約3,000人の命を救った事例

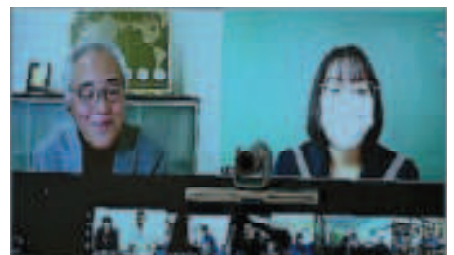
- 【成 果】 講演後、生徒からは「いざという時に率先避難することが必要だと理解した」「境町は、知らないうちに災害から僕達を守る努力をしてくれていることを初めて知った」などの感想が聞かれました。
- また、各中学校からの質問を受付けたが、災害時の避難において中学生としてできることは何か、連絡・救助要請手段の方法や避難所におけるペットの問題など前向きな質問が寄せられ、今回の講話の成果が確認できました。



【Web講演会の進行(町役場)】



【22か所を繋いで講演中の様子】



【中学生からの感想を聞く片田特任教授】

67

■防災体験学習会を実施

災害時に避難所となる学校における防災体験や防災学習を通して、「自分の命は自分で守る」ということ  
 もたちの「生きる力」の育成を目的として、防災体験学習会を実施。  
 具体的には、防災講義を実施したのちに避難所開設体験としてパーティションや簡易トイレの設置作業を  
 実施。併せて防災カードゲームや非常食の試食も行った。

【期日】令和7年11月22日(土)

【会場】小山市立絹義務教育学校(前期課程) 体育館

【参加者】児童、保護者、学校教員、市職員など 20名

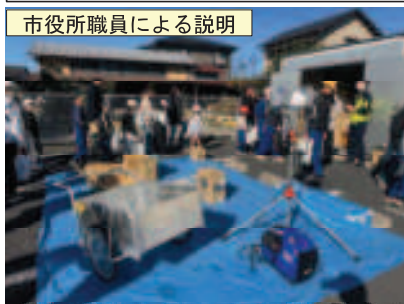
危機管理課職員による防災講義 ↓

避難所開設体験(パーティション・簡易トイレの設置) ↓



■小中学校における防災教育支援の実施

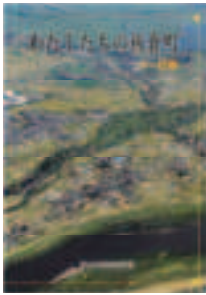
- 概要  
小中学校において、関係機関や地域団体等と連携した防災教育支援を実施した。
- 実績  
10か所(小学校8か所、中学校2か所)
- 教育形式  
座学、実物見学、防災訓練等
- 成果及び今後の予定  
座学だけでなく防災士との交流や小中学校に設置している防災倉庫等の活用により、児童生徒の理解促進に資することができた。引き続き、小中学校における防災教育に対する支援の拡充を目指す。



- ソフト対策④逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

■ 防災教育を実施

○学習指導計画に組み込んだ防災教育の実施



町内小学校の3・4年生が使用する社会科副読本  
「わたしたちの板倉町(十一訂版)」 令和2年4月1日発行

4年生の学習項目「自然災害からくらしを守る」で、水防災に関する防災教育を実施

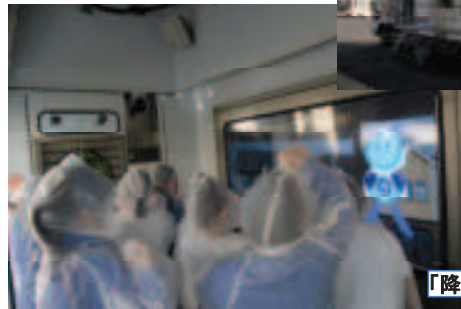
学習指導計画にあわせて「水防学校」を開催  
水防災に対する理解と関心を高めるため、見て、聞いて、体験して学ぶことのできる防災教育を実施し、災害時には、自らの安全を確保するための行動ができるようにすることで、地域の防災力向上を図る。

○水防学校の開催・・・小学校4年生を対象とした水防教育

利根川上流河川事務所様にご協力をいただき、令和7年10月27日(月)、西小学校との児童約50名が参加



洪水についての学習



「降雨体験車」体験



- ソフト対策 ④逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

■ 授業で、マイタイムライン出前講座を実施

○春日部市では、「春日部市災害ハザードマップ」を基に、市内で起こりうる最大浸水被害想定の下、水害対策に関する意識啓発のために『マイタイムライン』出前講座を実施しています。

○令和6年度 講座実施回数8回、合計252人の学生さんに講座を実施しました。





ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

## ■ 出前講座等を活用した講習会の実施

鴻巣市

### ◇職員出前講座による防災教育の促進

#### 経緯・背景

- 小学生を対象とした防災に関する授業を継続的に実施。
- 令和元年東日本台風で避難所を開設し、2,650人が避難したことから避難所としての学校の機能を周知。
- 参加者は教師・生徒・保護者・学校医等。

#### 実施内容

- 自助・共助の取組を推進する講座
- 指定避難所内の防災倉庫の説明（備蓄物資の紹介等）
- 発電機・防災井戸の操作講習

#### 実施状況

- 職員出前講座実施件数及び人数（11月末時点）  
小学校での実施件数：3件  
小学校での参加人数：95人



72



ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

## ■ マイ・タイムライン作成授業の実施

茨城県

- 水害時の逃げ遅れによる人的被害ゼロに向け、住民が適切な避難行動を取れるようにするため、「マイ・タイムライン」の普及に努めている。
- 特に令和4年度からは、国や市町村等と連携し、洪水ハザード内にある全小学校において「マイ・タイムライン」の作成授業を実施しており、災害の怖さや自分の命は自分で守る“自助”の大切さを認識してもらうなど、防災教育に取り組んでいる。
- 令和7年度実績（見込み）：全96校のうち62校について県で講師派遣予定（※）  
※その他は国や市町村等で実施



マイ・タイムライン作成授業の様子

73

■県内小学校に高学年用の防災教育教材を配布

・昨年度実施したモデル事業の結果を踏まえ、高学年用の防災教育教材を作成。県内の小学校へ配布した。



手引き



スライド教材



副読本



防災教育必携(資料編)

■小中学生を対象とした防災教育の実施

- 栃木県教育委員会主催の、とちぎ子どもの未来創造大学「体験気象学」  
 ・8月4日に那須町、8月19日に宇都宮市、8月20日に益子町で開催
- 宇都宮市教育委員会主催の、宮っ子チャレンジウィーク「中学生社会体験学習」  
 ・11月11日～13日に中学生計5名参加 宇都宮地方気象台で開催
- 上記の防災教育において、気象庁（気象台）の業務説明や気象実験等を実施し、防災知識の啓発等を実施



とちぎ子どもの未来創造大学の様子



宮っ子チャレンジウィークの様子

■小中学校における水災害教育への取組

【概要】

台風やゲリラ豪雨等で急激に河川が増水することによる水難事故の発生防止のため、県内の小中学校等へ県土整備部職員（各出先土木事務所職員）が出向き、リーフレット等を用いた出前講座を実施した。

令和7年度実施校（18校）

- ・ 7月1日（火） 宇都宮市立雀宮東小学校
- ・ 7月1日（火） 茂木町立中川小学校
- ・ 7月1日（火） 那須塩原市立箒根学園
- ・ 7月1日（火） 那須烏山市立烏山小学校
- ・ 7月2日（水） 日光市立轟小学校
- ・ 7月2日（水） 真岡市立真岡東小学校
- ・ 7月2日（水） 栃木市立赤津小学校
- ・ 7月2日（水） 塩谷町立玉生小学校
- ・ 7月2日（水） 大田原市立両郷中央小学校
- ・ 7月2日（水） 那珂川町立馬頭小学校
- ・ 7月2日（水） 佐野市立佐野小学校
- ・ 7月3日（木） 茂木町立茂木小学校
- ・ 7月3日（木） さくら市立熟田小学校
- ・ 7月4日（金） 那須町立学びの森小学校
- ・ 7月10日（木） 宇都宮市立上河内東小学校
- ・ 7月10日（木） 上三川町立明治小学校
- ・ 7月11日（金） 足利市立梁田小学校
- ・ 7月15日（火） 矢板市立泉小学校



【水難事故に関する説明】  
(宇都宮市立雀宮東小学校)



【ライフジャケット着用体験】  
(佐野市立佐野小学校)

■小中学校における水災害教育への取組

○流域治水の普及啓発に係る学習教材を用いた出前講座の実施

令和6年度に「県民への流域治水の普及啓発」をテーマに、宇都宮大学と連携し、小学生向けの学習教材（カードゲーム）を作成した。

令和7年度は、本教材を活用し、県内の小学校及び中学校で流域治水に関する出前講座を実施した。



【教材の一例】



【流域治水に関する説明の様子】



【教材を実際に使用する様子】

■小中学生向けに出前講座や水防学校による水防災教育の実施

水防災教育とは、水害に関する知識や心構えを持ち、減災のための準備をする能力を育成するための教育です。近年、気候変動等の影響により、毎年のように全国各地で水害が発生しており、一人ひとりが水害から自らの命を守るための知識・能力を身につけることが大切です。

利根川上流河川事務所では、学校等に出向き、水害に対する注意点や日頃からの備え、心構えなど、防災・減災対策について講座を行っています。

■令和7年度の実施状況



板倉町立西小学校 (R7.10.27)



久喜市立栗橋南小学校 (R7.6.10)

令和7年度の水防災教育実施一覧	
R7.6.10 久喜市立栗橋南小学校 (出前講座)	R7.10.27 板倉町立西小学校 (板倉町水防学校)
R7.9.3 行田市立行田中学校 (出前講座)	R7.11.11 柏市立柏中学校 (柏市総合防災訓練)
	R8.1.20 千代田町立西・東小学校 (千代田町水防学校)

■足利市防災フェアの開催 ～商業施設を活用した防災啓発～

目的・背景

多くの市民が利用する商業施設において、買い物ついでに気軽に立ち寄れるイベントを開催し、防災に関心の薄い層も含めた幅広い世代の防災意識向上を図りました。

■実施概要

- ・日時：令和7年9月27日 (土)
- ・場所：コムファースト (アピタ足利店)
- ・来場者数：約700名
- ・協力：足利コミュニティFM株式会社、損害保険ジャパン株式会社、防衛省自衛隊地方協力本部足利地域事務所

■主な内容

FM局による公開生放送や、紙食器作り・ハザードマップ確認などの防災ワークショップを実施し、楽しみながら防災知識を習得できる場を提供しました。併せて、自衛隊車両や防災資機材の展示、防災ラジオの紹介を行い、災害時の活動や情報の備えを具体的にイメージさせるとともに、災害用備蓄食の配布を通じて、家庭における食料備蓄の重要性を呼びかけました。



▲災害用備蓄食の配布



▲紙食器作り

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

杉戸町

■ **ハザードマップを活用した防災講座の実施**

○防災知識の住民への周知

- ・令和3年に作成した洪水ハザードマップを活用し、ハザードマップの見方や日頃の備えについて等の講座を実施した。
- ・備蓄している防災資機材についての解説や、体験等を実施した。

防災講座実施の様子



80

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

流山市

■ **更新した洪水ハザードマップについて、HP等にて幅広く周知を実施**

・令和5年9月に、国土交通省が公表した『水害ハザードマップ作成チェックシート』に基づいて、流山市洪水ハザードマップの内容の時点更新を実施し、更新したハザードマップをホームページ等にて幅広く周知している。



主な変更点  
(地図面)

- ・R2洪水ハザードマップ及びR5洪水ハザードマップ大堀川版の紙媒体の統合
- ・災害時一時避難施設箇所の時点更新
- ・避難所の時点更新
- ・土砂災害警戒区域の時点更新
- ・要配慮者利用施設の明示(QRコード)
- ・早期の立退き避難が必要な区域の避難強調を新しく明示
- ・河川監視カメラの明示(CCTVカメラ)
- ・アンダーパスの情報の詳細表示(QRコードで詳細閲覧できるよう)
- ・地下街の明示(南流山駅及び南流山駅前駐輪場)

(表紙 情報面)

- ・表紙に内水及び土砂災害ハザードマップのQRコード追加
- ・気象情報及び防災気象情報を最新版に修正(R8出水期より)
- ・情報収集の時点更新(X・防災メール)や拡充(浸水ナビ・重ねるハザードマップ)
- ・マイタイムライン作成用紙のQRコード追加
- ・災害の備えチェックリストの時点更新
- ・自助・共助・公助の追加(共働の推進)

81

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

No.38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

■ 水災害の被害状況や教訓・備え等の防災知識を住民への周知するための展示やホームページへの情報掲載

栃木県

○「川の日セミナー」を実施

令和7年7月7日の川の日、「とちぎの川」について県民と共に考えるきっかけづくりとして、「川の日セミナー」を実施。

流域治水に関する講演や活動紹介を行った。



【川の日セミナーの実施状況】



【川の日セミナー ポスター】

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

No.38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

■ イオンと共同で防災イベントを実施

前橋地方気象台

民間会社であるイオンモール高崎の主催する防災イベント「わたしたちの防災大作戦2025」に参加し、住民への防災知識の普及に努めた。イベントには昨年同様に群馬県や高崎市、自衛隊、群馬県警察本部などの協力のもとで開催されたが、今年は気象台の呼びかけで高崎河川国道事務所も参加した。協力機関からは特殊車両や防災関連装備や資材を展示、気象台からはオープニングセレモニー会場にて気象の仕組みを学ぶ実験、パネル展示（気象業務150周年と利根川近代改修150周年のコラボパネル等）を行った。あいにくの天気だったが、イベントには親子連れなどの家族を中心に約7000人が来場し、大盛況であった。



開始前の集合写真(右は高崎河川国道事務所)



150周年コラボパネル



実験イベントの様子



オープニングセレモニー

- 主催  
イオンモール株式会社 イオンモール高崎
- 後援  
群馬県、高崎市
- 協力  
陸上自衛隊第12後方支援隊、前橋地方気象台、高崎河川国道事務所、群馬県警察本部、高崎北警察署、高崎北消防署、群馬県赤十字血液センターなど

- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- No.39 河川水位等に係る情報提供

茨城県

■ 県河川情報システムのスマートフォン向けサイトの改良

実施した内容を記載

- スマートフォンが世の中に広く普及したことから、スマートフォンから災害情報を入手することが多くなっている。そのため、利用者特性や利用場面を踏まえ、スマートフォン端末の性能やサイズによる制約条件を十分に考慮したサイトを新たに構築した。
- 既存のスマートフォンサイトから利便性を大きく向上させ、災害情報が速やかに伝わるサイトを構築した



- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- No.41 水防資機材の情報共有や相互支援の仕組みの構築

小山市

■ 排水ポンプ車実動訓練を実施する

・間中地内 西清水川排水路にて、排水要領及び資機材の取扱いの確認。排水ポンプを水路に設定し排水作業を実施する。

設定状況



排水状況



- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- No.46 関係機関及び住民が連携した実働水防訓練の実施

栃木市

■ 栃木市総合防災訓練を実施

- 実施日：令和7年10月4日(土)
- 会場：藤岡渡良瀬運動公園
  - ・東日本大震災及び令和元年東日本台風等の教訓等を踏まえ、実践的かつ効果的な訓練を行い、防災関係機関の連携による災害発生時の様々な被害への応急対応力や広域的な対応力等を検証するとともに、住民の防災意識の高揚を図った。

救出・救助訓練(栃木消防・小山消防合同)



地元消防団による一斉放水訓練



- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- No.46 関係機関及び住民が連携した実働水防訓練の実施

上里町

■ 隣接市町と連携しての水防技術講習会等の実施

隣接する本庄市及び神川町の水防団と、それぞれ坂東上流水害予防組合、神流川水害予防組合を構成している。年に1度、定期的に合同で水防技術講習会等を行っている。

講習会では、構成市町の水防団(消防団)役員及び事務局が集まり、水防技術や知識を取得することと併せて、一緒に訓練等を実施することで他市町の水防団との顔の見える関係を構築し、水防体制の強化に取り組んだ。

- 実施日：令和7年6月22日(日) 神川町B&G海洋センター 1・2分団：22名
- 令和7年7月26日(土) 児玉郡市広域消防本部 3・4分団：14名

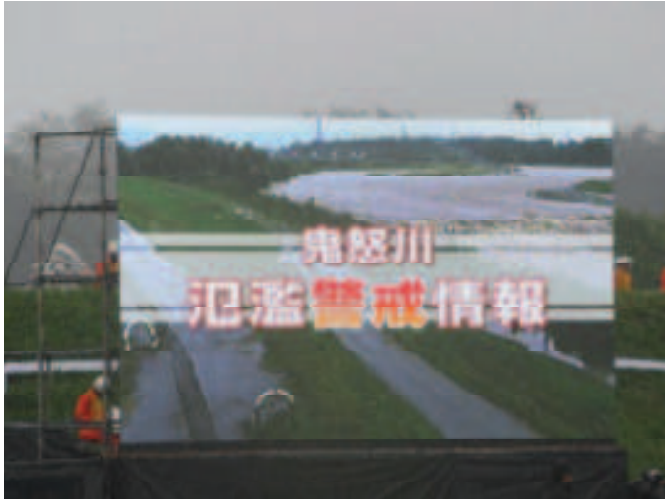


- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- No.46 関係機関及び住民が連携した実働水防訓練の実施

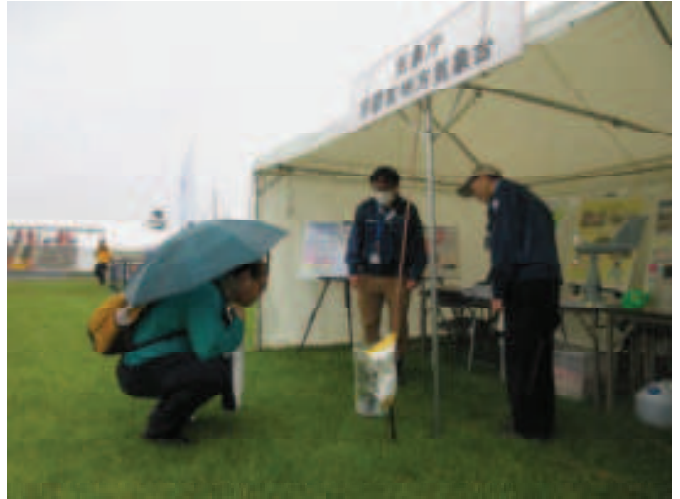
宇都宮地方気象台

■「第73回利根川水系連合・総合水防演習」に参加

5月17日に行われた「第73回利根川水系連合・総合水防演習」に参加しブース出展等実施。気象に関するパネル展示やパンフレット等配布を行い、雨量計等の気象観測機器の動作説明、来場者と共にペットボトルを使った雲や竜巻を作る簡易的な実験を行った。



訓練会場の様子



宇都宮地方気象台ブース出展の様子

- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防対策の強化
- No.49 庁舎、災害拠点病院等の水害時における対応強化

五霞町

■災害対策本部立上げ訓練を実施

水害時における初期対応、災害対策本部立ち上げ、災害対策本部会議、避難所開設までの流れを確認し、各部各班の役割を理解し、災害対処能力の向上を図ること目的に訓練を実施しました。

① 災害対策本部会議訓練（本部）  
水害時における災害対策本部立上げまでの目安や流れを確認、避難指示等に関する意思決定までの流れを理解する訓練を実施。



② 災害対策本部会議訓練（各部）  
本部からの情報を各部が各班に伝え、正確な指示と報告を共有する訓練を実施。



- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- L) 緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施
- No.52 関係機関、自治体が連携した排水訓練の実施

栃木県

■ 栃木県排水ポンプ車の排水操作訓練を実施

【概要】

災害発生時に迅速かつ的確な排水作業を行う目的で、栃木県排水ポンプ車の操作研修を兼ねた訓練を、関係機関と連携し実施した。

～栃木県排水ポンプ車～

栃木土木事務所 1台、安足土木事務所 2台 計3台  
 (排水能力30m<sup>3</sup>/s 令和3年度配備)

訓練実施日：令和7年5月27日 安足土木事務所 一級河川 旗川 右岸 白旗橋下  
 令和7年6月5日 栃木土木事務所 杣井木川排水機場



【栃木県排水ポンプ車全景】



【排水ポンプ車 排水操作訓練状況】

- ソフト対策③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- L) 緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施
- No.52 関係機関、自治体が連携した排水訓練の実施

東京都

■ 排水作業の現地訓練を実施

■ 実施目的

- ◆ 東京都職員及び水防管理団体職員等による排水ポンプの操作習熟、連携強化

■ 実施結果

操作訓練  
 (水防管理団体職員及び消防職員が参加)



東京都における排水作業準備計画  
 に基づく関係機関連携訓練



デジタルツインで表現された浸水状況図



関係機関による排水候補地の現地確認

【訓練連携機関】

- ・国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所
- ・東京都 建設局河川部 第四建設事務所
- ・水防管理団体 板橋区
- ・水防関係機関 東京消防庁

デジタルツイン技術を活用した浸水状況図作成。関係機関と共有することで、より実践的なイメージを持ち合わせた訓練が可能となる。

■ 次年度の訓練予定

- ◆ 排水ポンプを有する事務所毎に操作訓練を実施予定
- ◆ 水防管理団体に操作訓練への参加を依頼し、合同で訓練を実施
- ◆ 「東京都における排水作業準備計画」を踏まえた訓練を引き続き実施予定



# 令和6年度 各構成員の取組事例

## ハード対策

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>A) 洪水を河川内で安全に流す対策</b>	－	－
<b>1 洪水を河川内で安全に流す対策</b>	－	－
染谷川周辺3か年緊急冠水対策事業（上小橋地内染谷川橋梁の架設）	境町	100
<b>B) 危機管理型ハード対策</b>	取組事例なし	
<b>2 危機管理型ハード対策</b>	取組事例なし	
<b>C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備</b>	－	－
<b>3 雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤整備</b>	－	－
県河川情報システムにおける新たなメール配信サービスの運用開始	茨城県	101
<b>4 簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置</b>	－	－
水防災情報の発信強化	東京都	102
<b>5 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布</b>	－	－
J:COMの緊急地震速報端末装置の配布を実施	伊奈町	103
<b>6 河川防災ステーションや水防拠点の整備</b>	取組事例なし	
<b>7 水防活動を支援するための水防資機材等の配備</b>	－	－
ドローン操縦資格及び小型船舶操縦士（船外機付き救命ボート用）の増員	小山市	104
<b>8 庁舎、災害拠点病院や自家発電装置等の耐水化</b>	取組事例なし	
<b>9 対策本部、警戒本部等設置時の情報収集伝達設備</b>	－	－
災害対策本部の機能強化	柏市	105
<b>10 排水機場の耐水化等、水門等操作の水圧対策</b>	取組事例なし	

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組 (1/4)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知</b>	-	-
<b>11 まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充</b>	-	-
まるごとまちごとハザードマップを整備	小山市	106
まるごとまちごとハザードマップ整備と連携した避難行動の啓発を実施	太田市	107
想定浸水深看板設置の実施	八潮市	108
河川沿いの想定浸水深が深い地域への標識看板の設置	上里町	109
<b>12 越水開始予測情報の提供</b>	実施事例なし	
<b>13 自治体や住民の視点に立った浸水シミュレーション情報の提供</b>		
<b>14 立ち退き避難が必要な浸水危険区域情報の提供</b>		
<b>E) 避難計画、情報伝達方法等の改善</b>	-	-
<b>15 洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）</b>	実施事例なし	
<b>16 住民等への情報伝達方法の改善</b>	-	-
防災アプリ「Sakinfo（サカインフォ）」のリニューアル	境町	110
LINE拡張機能を用いたPush型災害情報の発信	小山市	111
防災ラジオの整備・周知	鴻巣市	112
住民向け出前講座を行い、参加者に安心安全メールの登録を周知	白岡市	113
防災情報等架電サービスの導入	上里町	114
<b>17 市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実</b>	実施事例なし	
<b>18 リアルタイム情報の提供やブッシュ型洪水予報の情報発信</b>		
<b>19 避難指示等の発令基準の改善</b>	-	-
避難情報の判断（・伝達マニュアルの見直し）	栃木県	115
<b>20 避難場所・避難経路の再確認と改善</b>	-	-
避難情報の判断（・伝達マニュアルの見直し）	栃木県	116

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組 (2/4)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>21 避難誘導体制の充実</b>	-	-
令和6年度「古河市地域防災訓練」を実施	古河市	117
避難訓練への地域住民の参加促進	上尾市	118
令和6年度桶川市総合防災訓練を実施	桶川市	119
<b>22 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進</b>	-	-
要配慮者利用施設（入居者施設）における合同避難訓練の実施	千代田町	120
<b>F) 企業防災等に関する事項</b>	実施事例なし	
<b>23 不特定多数の利用する地下施設の避難計画の作成及び訓練の促進</b>		
<b>24 大規模工場の避難計画の作成及び訓練の促進</b>		
<b>G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等</b>	-	-
<b>25 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表</b>	実施事例なし	
<b>26 氾濫特性を考慮した被害シナリオと緊急避難及び広域避難計画の策定</b>	-	-
住民参加型広域避難訓練	常総市	121
<b>27 広域避難のための避難場所の確保</b>	実施事例なし	
<b>28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知</b>	-	-
防災ハザードマップを活用した広域避難訓練を実施	久喜市	122
<b>H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成</b>	-	-
<b>29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成</b>	-	-
マイ・タイムライン作成を実施	坂東市	123
小学校にてマイタイムライン作成講座を実施	小山市	124
洪水ハザードマップの更新	さいたま市	125
<b>30 タイムラインに基づく実践的な訓練</b>	-	-
住民参加型 避難所運営訓練の実施	明和町	126
自治体が行う災害対策本部運営訓練等への参加	気象庁 水戸地方気象台	127
<b>31 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）</b>	実施事例なし	
<b>I) 防災教育や防災知識の普及</b>	-	-



ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組 (3/4)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>32 水防災の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置</b>	実施事例なし	
<b>33 地域防災力の向上のための人材育成</b>	-	-
自主防災再組織によるHUG訓練を実施	佐野市	128
3D都市モデル浸水ワークショップ開催	熊谷市	129
蓮田市リーダー養成講座を実施	蓮田市	130
宮代町防災・防犯マスター講座開催	宮代町	131
気象防災ワークショップの実施 ～毎年の取組みとして～	気象庁 東京管区气象台	132
市町村防災担当者講習会等の実施	気象庁 水戸地方气象台	133
気象防災ワークショップの実施	気象庁 宇都宮地方气象台	134
<b>34 共助の仕組みの強化</b>	-	-
男女共同参画部局と連携した防災講座、避難所設営体験を実施	上里町	135
<b>35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催</b>	-	-
令和6年度総合防災訓練（広域避難訓練）	境町	136
出前講座を活用した水防災に関する普及啓発活動の実施	館林市	137
町民を対象とした防災教育の実施	邑楽町	138
加須市総合水害広域避難訓練を実施	加須市	139
水害啓発動画の作成・活用	草加市	140
水防訓練の実施	越谷市	141
第9回吉川市減災プロジェクトin北谷小学校を実施	吉川市	142
防災出前講座の実施	松伏町	143
ハザードマップ説明会を実施	葛飾区	144
出前なんでも講座やマイ・タイムライン作成講習会を実施	群馬県	145
台風説明会の開催、气象台いばらき防災TVの試行	気象庁 水戸地方气象台	146
台風説明会を開催	気象庁 宇都宮地方气象台	147
オンラインによる台風説明会を実施	気象庁 熊谷地方气象台	148
「气象台オンライン解説」を実施	気象庁 熊谷地方气象台	149



ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組 (4/4)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>36 教員を対象とした講習会の実施</b>	-	-
教員を対象とした講習会の実施（令和6年度 防災リーダー講習会）	小山市	150
教員を対象とした講習会の実施（令和6年度 防災教育セミナー）	小山市	151
令和6年度学校安全総合支援事業における中核教員向け講義の実施	気象庁 水戸地方气象台	152
水防災教育学習サイト（水防災教育ポータル）の構築	利根川上流河川事務所	153
<b>37 小中学生を対象とした防災教育の実施</b>	-	-
水防災クイズ大会	常総市	154
小学生を対象とした防災教育の実施	取手市	155
小中学生を対象とした防災教育の実施	小山市	156
小中学校における防災教育支援の実施	館林市	157
避難所宿泊体験教室の開催	玉村町	158
防災教育の充実	板倉町	159
町内中学校で、防災学習会を実施	上里町	160
マイ・タイムライン作成の小学校授業を実施	野田市	161
マイ・タイムライン作成授業の実施	茨城県	162
小中学校における水災害教育への取組	栃木県	163
小中学生を対象とした防災教育を実施	気象庁 宇都宮地方气象台	164
<b>38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知</b>	-	-
ハザードマップを活用した講座、避難訓練の実施	本庄市	165
マイタイムライン作成に係る出前講座を実施	春日部市	166
ハザードマップを活用した防災講座の実施	杉戸町	167
イオンと共同で防災イベントを実施	気象庁 前橋地方气象台	168
水災害の被害状況や教訓・備え等の防災知識を住民への周知するための展示やホームページへの情報掲載	栃木県	169

ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

取組内容	実施主体者	ページ番号
J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	-	-
39 河川水位等に係る情報提供	実施事例なし	
40 河川の巡視区間、水防活動の実施体制の見直し		
41 水防資機材の情報共有や相互支援の仕組みの構築		
ドローンの運行及び保守点検を実施する	小山市	170
42 効率的、効果的な水防活動のため、洪水に対しリスクが高い区間情報の提供	実施事例なし	
43 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検の実施		
44 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施		
45 水防団同士との連絡体制の確保等による水防体制の強化		
46 関係機関及び住民が連携した実働水防訓練の実施	-	-
栃木市総合防災訓練を実施	栃木市	171
総合防災訓練での関係機関・住民との対応要領確認	館林市	172
隣接市町と連携しての水防技術講習会等の実施	上里町	173
予報当番者による重要水防箇所共同巡視への参加	気象庁 前橋地方気象台	174
「第72回利根川水系連合・総合水防演習」に参加	気象庁 銚子地方気象台	175
市町防災訓練等への参加	利根川上流河川事務所	176
47 水防活動の担い手となる水防団員の募集や水防協力団体の指定の促進	実施事例なし	
48 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	-	-
令和6年度小山市水防訓練を実施	小山市	177
49 庁舎、災害拠点病院等の水害時における対応強化	実施事例なし	
五霞町防災訓練「避難力強化訓練」を実施	五霞町	178

ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組

取組内容	実施主体者	ページ番号
K) 氾濫水の早期排水のための効果的な施設運用	取組事例なし	
50 氾濫特性を踏まえた的確な排水機場の運用、水門の操作、排水ポンプ車の配置		
L) 緊急排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施	-	-
51 関係機関、自治体が共同して緊急排水計画(案)を作成	取組事例なし	
52 関係機関、自治体が連携した排水訓練の実施	-	-
建設業協同組合との可動式排水ポンプ排水訓練の実施	流山市	179
栃木県排水ポンプ車の排水操作訓練を実施	栃木県	180
排水ポンプ車の実地訓練を実施	東京都	181
M) BCP(業務継続計画)に関する事項	-	-
53 水害時に行政機能を維持するBCPの策定	-	-
職員防災訓練(水害編)の実施	江戸川区	182
54 水害に対応した企業BCP策定への支援	取組事例なし	
N) 生活再建及び社会経済活動の回復のための民間力の活用		
55 生活再建及び社会経済活動の回復のための民間力の活用		
O) 水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援		
56 水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援		
P) 適切な土地利用の促進	取組事例なし	
57 適切な土地利用の促進		
E) 避難計画、情報伝達方法等の改善	利根川上流河川事務所	183
16 住民等への情報伝達方法の改善		
20 避難場所・避難経路の再確認と改善		
22 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進		
構成機関の取組課題を共有する意見交換会の開催		
I) 防災教育や防災知識の普及	利根川上流河川事務所	184
36 教員を対象とした講習会の実施		
水防災教育副読本を活用したテンプレート教材及び活用シナリオの作成		



ハード対策

A) 洪水を河川内で安全に流す対策  
No.1 洪水を河川内で安全に流す対策

境町

### ■ 染谷川周辺3か年緊急冠水対策事業（上小橋地内染谷川橋梁の架設）

#### 1 工事の目的

ゲリラ豪雨等による大雨や台風時の道路冠水は、染谷川周辺を中心に頻発していたため、令和3年度から「染谷川周辺3か年緊急冠水対策事業」と位置づけ、集中的に河川改修を実施

今回の橋梁架設箇所はこれまで小さなボックスカルバートが設置されており、ボトルネックとなっていたところを大断面のボックスカルバートに整備した。

#### 2 工事概要

- (1) 事業名 市街地地区道路整備事業（都市再生整備）
- (2) 場所 境町上小橋五差路付近（町道1-23号線）
- (3) 規模 ボックスカルバート長11.90m 幅員10.15m

【完成後の状況（R5.5）】



【H27関東・東北豪雨冠水状況】



【周辺図】



【着工前の状況】



【空撮による景況】



【下流側からの景況】



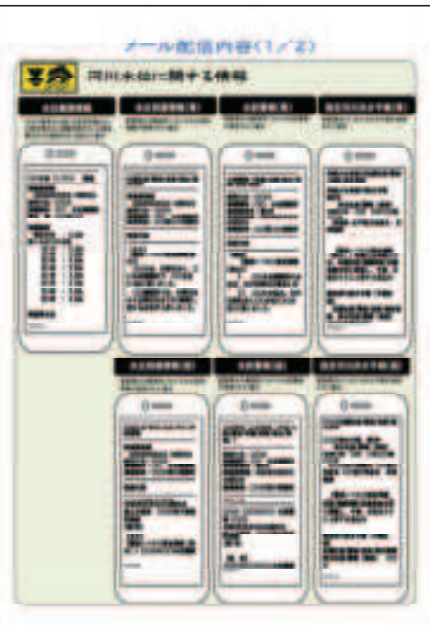
ハード対策

C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No.3 雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤整備

茨城県

### ■ 県河川情報システムにおける新たなメール配信サービスの運用開始

- 近年、登録人数の上限を超え、情報発信にも時間を要していることから、新しいメール配信システムを構築し、新システムの運用を開始。
- 新たに「地震情報」について配信するほか、「水防警報」などについても新たに配信を行っている。
- 登録可能人数についても拡大し、水防関係職員に加え、消防団員（本部員、分団長等）の方の登録も可能。





ハード対策

C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No.4 簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置

東京都

### ■水防災情報の発信強化

#### ■河川監視カメラの映像公開

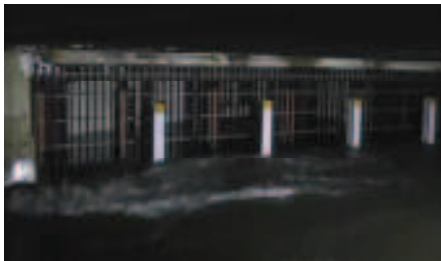
- 令和元年東日本台風を契機に河川の状況を分かり易くリアルタイムに伝えるため、河川監視カメラ等観測機器の設置拡大を推進
- 令和6年末時点で、158箇所の映像を公開  
※東京都水防災総合情報システム  
東京都水防チャンネル (YouTube) で公開中



東京都水防チャンネル(You Tube)

#### ■調節池情報の公開

- 都民の迅速な避難行動につながる河川の状況をわかりやすく提供するため、調節池の貯留率、取水口カメラ映像を公開開始※  
※東京都水防災総合情報システム、東京都水防チャンネル (YouTube) で公開中



取水口のカメラ映像



調節池の貯留率



ハード対策

C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No.5 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

伊奈町

### ■J:COMの緊急地震速報端末装置の配布を実施

- ・避難行動要支援者を対象にJ:COMの緊急地震速報端末（戸別受信機）を配布。
- ・令和5年度中に設置を希望する対象者に、株式会社ジェイコムが提供する防災情報サービス用端末を配布し、その利用料を負担するもの。なお、設置月を含む1年間は利用料無料とする。





ハード対策

C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No.7 水防活動を支援するための水防資機材等の配備

小山市

### ■ドローン操縦資格及び小型船舶操縦士（船外機付き救命ボート用）の増員

- ・水害発生時の被害状況の把握のため、ドローン操縦資格を4名取得する。（他資格取得者10名）
- ・水害発生時の住民の避難・救助で使用するボートを操船するため、小型船舶操縦士（船外機付き救命ボート）の免許を2名取得する。（他免許取得者、現役活動隊員18名）



104



ハード対策

C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No.9 対策本部、警戒本部等設置時の情報収集伝達設備

柏市

### ■災害対策本部の機能強化

- 災害対策本部の場所を庁議室から低層棟3階執務室全体に変更  
→既にフリーアドレス化された低層棟3階では、机の組み換えや電源や電話の配線が不要となり、迅速な本部の設置が可能になった  
→十分なスペースが確保できたため、情報連携も支障なく行えるようになった
- マルチモニター（庁議室）とモニター（各対応部署執務室）を設置  
→物理的に離れている災害対策本部と対応部署（土木部・消防局・上下水道局）で、情報を複数の職員が同時に確認することができ、必要な支援・対応を迅速に決定・実施できる



●マルチモニター（9面×20台） 庁議室



●モニター（4面×55型） 危機管理部、土木部、消防局、上下水道局

105

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知
- No.11 まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充

小山市

■ まるごとまちごとハザードマップを整備

- ▶ 中河原地区のまちづくり推進協議会と協働でまち歩きを行い、住民が普段目に留まる電柱を抽出し、防災への興味の有無に関わらず浸水のリスクに気づいてもらえるように電柱公告により想定浸水深を表示した。
- ▶ 先行した中河原地区の事業実施をきっかけに地域全体の取組みに発展した。



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知
- No.11 まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充

太田市

■ まるごとまちごとハザードマップ整備と連携した避難行動の啓発を実施

- 令和6年2月に、「まるごとまちごとハザードマップ」として、指定避難所80箇所に「対象とする災害の種類」や「避難所区分（第1避難所等）」、「ピクトグラム（図記号）」を記載した看板を設置。
- 看板の整備に合わせ、市民の適切な避難行動につながるよう、避難や避難する場所、避難のイメージを、防災の日（9月1日）に防災特集号として市広報誌に掲載し周知した。



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知

No.11 まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充

八潮市

## ■ 想定浸水深看板設置の実施

### 経緯・背景

八潮市は、河川に囲まれおり、水害のリスクが高いため、浸水深や避難所等の位置など水害関連標識を生活空間である「まちなか」に表示することにより、平常時から防災意識を高めるとともに、発災時には、市民一人ひとりが命を守るための主体的な避難行動をしていただくよう促し、被害を最小限にとどめることなどを目的に導入を検討し、令和5年度と令和6年度の2か年で実施している。

### 取組概要

八潮市洪水地震ハザードマップの更なる普及浸透を図るため、平時より水害への意識を高め、発災時には命を守るための主体的な避難行動を促し、被害を最小限に留めるため、洪水時における避難所等の認知度及び危機意識の向上を図ることを目的として、想定浸水深表示看板等を設置するものである。

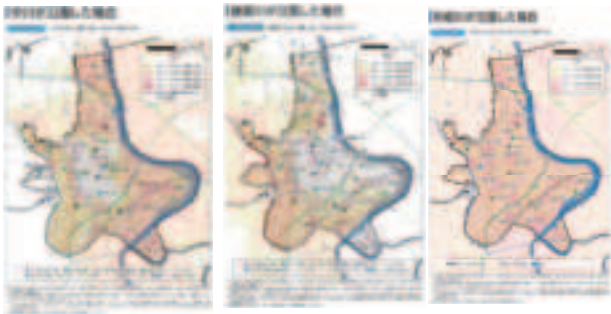
### 取組内容の工夫点・留意点・課題

想定浸水深表示看板は、当初、合計で88か所の設置を計画し、令和5年度は、半分の44か所の電柱に設置した。  
 令和6年度は、当初の計画での空白地域を解消するため、73か所に増設し、合計で117か所の電柱に設置した。  
 また、看板とあわせて、当市に最も影響が見込まれる利根川と身近な河川(中川または綾瀬川)の想定浸水深にあたる電柱部分にテープの貼り付けを行い、より水害の危険を身近に感じられるように工夫した。  
 さらに、想定浸水深表示ステッカーを作製し、より多くの人目に触れるよう、学校、公共施設、コンビニ、大型スーパー、ドラッグストア、金融機関、防災行政無線子局など300か所に掲示した。

### 取組による効果

想定浸水深等の洪水情報を表示することにより、学校では子供たちが、街なかでは高齢者等が目にする機会が増え、災害への備えに対して意識の醸成を高めることを期待できる。

浸水想定区域図(中川、綾瀬川、利根川)



施工イメージ



想定浸水深表示看板



想定浸水深表示ステッカー

108

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知

No.11 まるごとまちごとハザードマップの整備・拡充

上里町

## ■ 河川沿いの想定浸水深が深い地域への標識看板の設置

町の西側及び北側に、それぞれ神流川、烏川・利根川が流れている。地域の洪水による浸水のリスクについて知ってもらい、水防災への意識を高めることを目的に、生活空間である「まちなか」に想定浸水深標識看板を設置している。

行政区長からの提案をきっかけに取り組んでいる事業であり、現地に想定浸水深を表示することで、多くの方に浸水リスクを認識してもらい、日頃より避難行動について考えてもらうことにつなげたい。

町内の水害リスクの高い地域への設置を計画的に実施しており、3年度目(合計90か所)となる。

今年度は、神流川地域(勅使河原・五明・長浜地区)の電柱30か所に設置する。



109

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- No.16 住民等への情報伝達方法の改善

境町

### ■ 防災アプリ「Sakainfo (サカインフォ)」のリニューアル

防災アプリ「Sakainfo (サカインフォ)」が、マイナンバーカードを使用し、スマホ等に登録する新たな防災アプリ「New Sakainfo (ニュー サカインフォ)」としてリニューアルしました。  
 これにより、現在のサカインフォの機能はそのまま新たな機能が追加され、避難所の受付に設置されたQRコードをスマホで読み込むだけで受付が完了するなど、より利便性が向上します。



- 【運用開始時期】  
令和6年6月1日から
- 【新たな機能】
- ①マイナンバーカードによる登録  
(個人情報の管理・認証が容易で正確・安全)
- ②QRコードの読み込み可能  
(避難所受付が迅速)
- ③URLへのリンク、画像添付など
- ④アンケート機能  
(択一式、複数回答、自動集計)



【防災アプリによる受付】



【マイナンバーカード受付】



【受付要領案内表示】

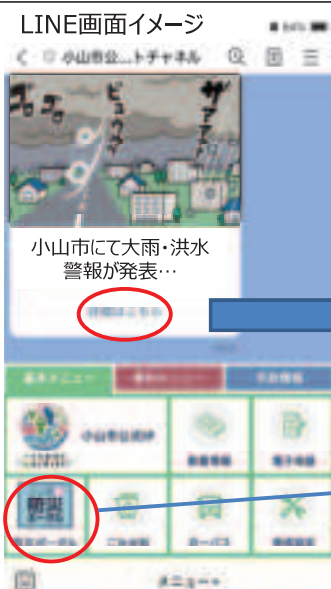
- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- No.16 住民等への情報伝達方法の改善

小山市

### ■ LINE拡張機能を用いたPush型災害情報の発信

気象警報の発表や避難所の開設情報など、災害時に必要とされる情報を広く迅速に周知することを目的に、令和7年1月末に運用を開始した。

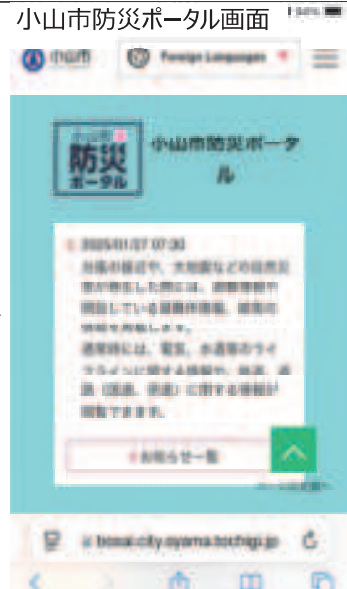
幅広い世代で利用率の高いLINE(アプリ)を用いたPush型の情報発信手段の整備により、従来のSNSより多くの市民に災害情報が届くことを期待している。また、既存の小山市安全安心情報メールに自動連携しており、配信手段も簡略化している。市公式LINEに、防災情報発信の核となる小山市防災ポータルサイトへのリンクを常時配置し、詳細な災害情報はポータルサイトに誘導する。



<特徴>

- ・専用の防災アプリを開発した場合と比べ、導入時から一定の利用者が確保でき、費用も圧縮できる。
- ・市広報部門との連携により平時からも防災情報のリンク先の提供が可能。

平時から、一目でわかるアイコンをメニューに表示し、簡単にアクセスできるようにリンク先を提供



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- No.16 住民等への情報伝達方法の改善

鴻巣市

### ■防災ラジオの整備・周知

令和元年東日本台風の際、防災行政無線による避難指示が聞き取れなかったとの意見が多く寄せられた。このことから、災害時により確実に情報伝達ができるよう、防災行政無線の放送内容を屋内で聞くことができる「防災ラジオ」を整備し令和3年度より貸与を実施。

自治会長、自主防災組織代表者、民生委員、公共施設、社会福祉施設等には無償で貸与を行っているほか、1台3,000円で希望者へ有償貸与を行っている。

令和6年度では、市の広報誌やホームページのほか、市民を対象とした職員出前講座においても、防災ラジオの周知を行った。自治会や自主防災組織へは複数台の有償貸与が可能となっており、実際に自治会員や役員用に複数台貸与を行っている団体も見られる。

実施状況(令和7年1月1日時点)

無償貸与台数:約1,000台 有償貸与台数:約1,500台



文字盤付き防災ラジオ



112

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- No.16 住民等への情報伝達方法の改善

白岡市

### ■住民向け出前講座を行い、参加者に安心安全メールの登録を周知

- ◆自主防災組織やPTA等からの要請により防災に関する職員出前講座を実施。地震・風水害に関する被害想定や平常時からできる防災について説明した。
- ◆日頃から防災行政無線が聞こえない等の問い合わせがあるため、出前講座の機会を捉えて、平常時からできることの一つとして安心安全メールの登録を促した。



出前講座の様子

#### 【白岡市の情報伝達手段】

- ①防災行政無線  
フリーダイヤル 0120-055-757
- ②安心安全メール
- ③市公式ホームページ
- ④市公式X(旧ツイッター)
- ⑤市公式LINE
- ⑥NHKのデータ放送

随時出前講座を行うことで、自主防災組織役員を中心に安心安全メールの認知度が高まった。

113

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- No.16 住民等への情報伝達方法の改善

上里町

## ■防災情報等架電サービスの導入

高性能スピーカーの導入も図り、防災行政無線の更新(デジタル化)を行った。しかし、すべてのお宅の部屋の中まで、広報塔からの音声を届けるのは不可能である。特に台風などの暴風雨の状況下では、広報塔からの音声の伝達は難しくなる。

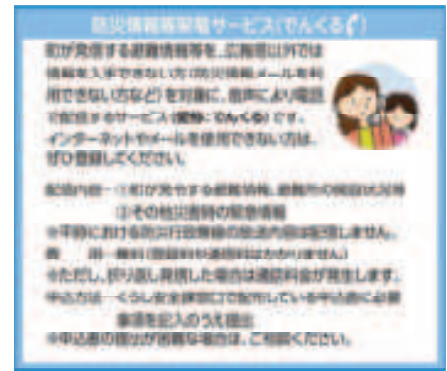
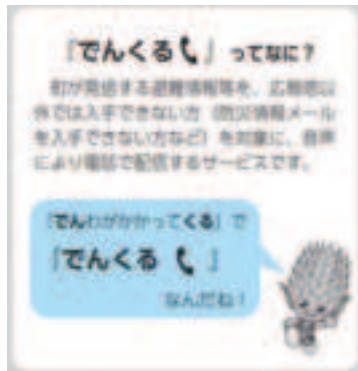
防災行政無線放送の聞き直しができる無料の「電話応答サービス」、文字で情報を届ける「防災情報メール」等により情報伝達の多重化・多様化に取り組んでいるが、高齢者等を中心に音声でのプッシュ通知(受動的な情報の入手)を望む方がいる。

家の中にも防災行政無線からの情報を音声で届けるため、広報塔と同じ内容を音声により電話で配信する「防災情報等架電サービス」を導入した。

(※令和6年3月1日サービス開始 令和7年1月現在82人登録)

○対象者:町内在住の方で、インターネットやメールを利用できない方等

○配信内容:町が発令する避難情報、避難所の開設状況等



114

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- No.19 避難指示等の発令基準の改善

栃木県

## ■避難情報の判断(・伝達マニュアルの見直し)

### 【具体事例】 避難指示等に関する研修会の実施

□災害時の市町の初動対応のあり方や避難指示等の発令に関して、事例紹介やグループワークを交え、より現実に即した理解を深めることを目的として研修会を開催した。

#### ■実施時期

令和6(2024)年6月25日(火)

#### ■対象者

市町職員 24名

#### ■実施内容

- 適切な避難指示等についての座学研修
- 過去の事例分析
- 風水害時の対応シミュレーション等についてのグループワーク

#### ■講師

(株)防災&情報研究所



グループワークでの意見交換の様子

115

## ■避難情報の判断（・伝達マニュアルの見直し）

### 【具体事例】 避難所運営に関する研修会の実施

□避難所の開設・運営のための平時からの準備や災害時の対応、避難所の感染症対策等に関して、事例紹介やワークショップを交え、より現実に即した理解を深めることを目的として研修会を開催した。

■実施時期  
令和6(2024)年7月25日(木)

■対象者  
市町職員 30名

■実施内容  
・避難所の実情とその課題についての座学研修  
・実際の避難所運営時の諸課題について実践的に学ぶワークショップ

■講師  
(一社)減災・復興支援機構



ワークショップの様子

116

## ■令和6年度「古河市地域防災訓練」を実施

○令和6年6月30日、水害を想定し浸水想定区域内から区域外の避難先まで避難をする、実動型の「古河市地域防災訓練」を実施

### 【訓練内容】

- ・自治会協力のもと、避難行動要支援者を対象としたバス避難訓練
  - ・訓練参加者自身の車で実際に避難をおこなう自家用車避難訓練等実施
- 関係者を含め、約590人が訓練に参加



### バス避難訓練

→水害時、避難行動要支援者を対象とする茨城県バス協会貸切委員会県西支部との協定に基づいた訓練を実施



### 自家用車避難

→浸水想定区域内の市民を対象とし、実際の避難所まで自家用車で避難をおこなう

117

■ 避難訓練への地域住民の参加促進

令和6年度上尾市住民避難訓練の新規実施

上尾市内6地区、各地区1ヶ所ずつ指定避難所を選定し、年間で計6回行う災害時住民避難訓練。避難行動要支援者避難訓練・中学生のボランティア参加も同時に実施。

〈内容〉

・避難訓練

避難所までの避難を通じて、避難経路の確認および経路上の危険箇所の把握する訓練。

・協定企業等によるブース展示

市と災害協定を締結している企業等のブース展示を通じ、防災に関する周知・啓発を図る。

・避難判断トレーニング講座

外部講師による災害時の情報集約や避難判断に関する講座。

〈効果〉

・避難訓練

避難経路および経路上の危険箇所の把握や、住民同士の関係性の向上、災害時における協力体制の構築。

・協定企業等によるブース展示

ブースの展示・見学を通じた住民の防災意識向上や協定事業者同士の顔の見える関係づくりの構築。

・避難判断トレーニング講座

自然災害から身を守り、被災した場合でも的確に判断し行動できる知識の習得。

避難訓練の様子



協定企業等によるブース展示の様子



避難判断トレーニング講座の様子



■ 令和6年度桶川市総合防災訓練を実施

◆ 内容

令和7年1月26日(日)に令和6年度桶川市総合防災訓練を実施。

消防団、自主防災組織等と協力し、市民の避難誘導を安全に行えるように訓練を行った。

また、ペットを連れてくる避難者も想定し、実際にペット同行避難も行い、避難誘導に関する注意点、避難所にペットを受け入れる体制の確認を行った。



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- No.22 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

千代田町

### ■ 要配慮者利用施設（入居者施設）における合同避難訓練の実施

令和6年6月15日（土）午前9時より、水災害を想定した要配慮者利用施設（入居者施設）3施設で、町タイムライン及び各施設「避難確保計画」に沿った行動計画を検証するため、安全に配慮した合同避難訓練を実施しました。異なる施設から同一避難所への初めての避難訓練ということで、町当局及び各施設ともそれぞれの課題を検証することができ、大変有意義な訓練となりました。



施設から避難所へ到着し、避難所へ避難している様子

120

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等
- No.26 氾濫特性を考慮した被害シナリオと緊急避難及び広域避難計画の策定

常総市

### ■ 住民参加型広域避難訓練

○台風による洪水を対象とし、避難指示等発令に着目した常総市からつくば市への広域避難訓練

【訓練内容】

- 9時 避難指示発令（常総市五箇地区）防災行政無線
- 広域避難開始：対象地区（常総市五箇地区約35名参加）＊車移動
- 9時～ 避難所受け入れ開始
- 避難所到着後・・・順次、避難所に避難し、受付及び避難所設営を実施
  - 受付は、実災害時担当部署が対応
  - 受付後に、避難者が協力し間仕切りテント及びエアーマット、段ボールベッドの設営を行う（設営補助は、職員及び防災士が担当）
- 11時 避難所設営訓練終了



121

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等
- No.28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知

久喜市

■防災ハザードマップを活用した広域避難訓練を実施

▶ 昨年度までの経緯・背景

従来の防災ハザードマップと令和元年東日本台風を契機に水害リスクの実態を整理し避難方法を示した啓発紙（洪水避難決断ブック）の内容を組み合わせた新たな防災ハザードマップを令和5年3月に全戸配布した。

- 具体的には次の内容を防災ハザードマップに反映させた。
- ・市内水害リスクの啓発
- ・広域避難や在宅避難を含む避難方法
- ・在宅避難可否判定フロー
- ・マイ・タイムライン作成欄 等

▶ 実施内容・今年度の実施状況

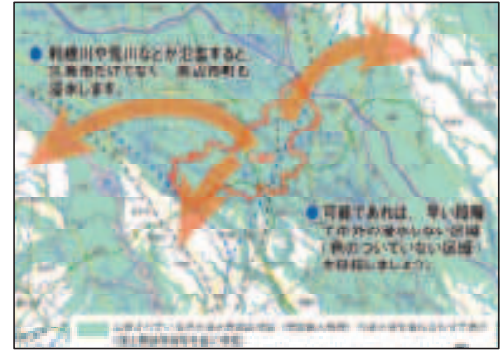
参加住民は、サイレン吹鳴を合図に避難を開始し、バス配車予定地である学校で受付及びバスに乗車。その後、比較的安全な市内避難所へバスで避難。バスは災害協定先であるバス業者に委託。

【開催日時】 令和6年9月7日（土）8：45～10：30  
 ※市総合防災訓練の訓練項目として実施

【対象者】 訓練参加重点地区の住民、災害協定先バス会社、市職員（合計約70名）

▶ 実施効果

- ・広域避難に関する住民への周知
- ・参加者のイメージアップ、
- ・広域避難支援の実効性確保 等



広域避難に関する内容を防災ハザードマップに反映



広域避難訓練における住民受付

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

坂東市

■マイ・タイムライン作成を実施

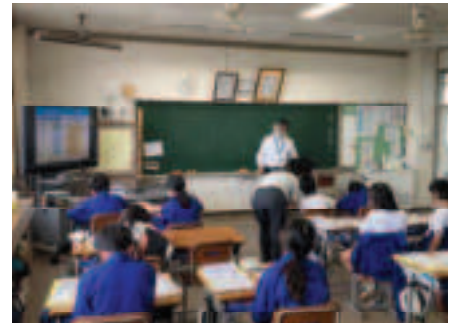
市民の皆さんと行政が力をあわせ、市民一人ひとりが生き生きと暮らす、豊かで住みよいまちづくりを推進するために、「坂東市まちづくり出前講座」を実施しています。出前講座は、地震・洪水等の災害時、どのように対応すべきか？市の防災体制について、皆さんの要請に応じて市の職員が講師として、公民館や集会場等に出向く制度です。出前講座では、自治会や企業への学習会、学校の授業、子供会やPTA活動の一環として、スライドやビデオを使用して、防災に関する基礎知識や対応方法を気軽に学べる講座を実施しています。



防災出前講座  
 中矢作行政区  
 【令和6年6月15日】



マイ・タイムライン作成講座  
 坂東市立東中学校  
 【令和6年7月1日】



マイ・タイムライン作成講座  
 坂東市立中川小学校  
 【令和6年9月25日】

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

小山市

## ■ 小学校にてマイタイムライン作成講座を実施

令和6年度から、出前講座のメニューとして「マイタイムラインをつくろう」を追加した。各児童の自宅の場所に応じたマイタイムラインの作成を通して、水防災への意識を高め、自分や家族の命を守る大切さを学んでもらうことを目的に、浸水想定区域内の小学校の児童を対象にマイタイムライン作成講座を実施した。

【期日】令和6年9月25日(水)

【会場】小山市立小山第一小学校

【参加者】6年生の児童 58名

【活動内容】講師：小山市役所総務部危機管理課職員



前面スライドにて水害の危険性を把握 ↓

CCTV画像にて増水の様子を視覚的に説明 ↓



124

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

さいたま市

## ■ 洪水ハザードマップの更新

### ➤ 更新の経緯

最新版が令和4年3月作成であったため、時点更新が必要であった。また、令和5年9月に公表された水害ハザードマップ作成チェックシートにおいて、見直しが必要な箇所があった。

### ➤ 更新内容

洪水ハザードマップ全5種類を更新。浸水エリアや想定浸水深の変更はなかったため、情報面や地図面における避難所などの時点更新が主な更新内容となった。最新版は令和7年1月に完成し、令和6年度中に配布開始予定。

洪水ハザードマップ（利根川・江戸川版）

表紙



情報面



地図面



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.30 タイムラインに基づく実践的な訓練

明和町

### ■ 住民参加型 避難所運営訓練の実施

地域防災コミュニティの核となる人材（①町議会議員、②自主防災組織、③防災士）と町内避難所担当職員を対象とした「避難所運営訓練」を、講師を招き実施した。  
 避難のタイミングの説明や、実際の避難所で発生した事例をどのように解決するかグループワークで検討・発表を行う事、避難所で用いる備品（簡易ベッド、パーティション）の組立等、実践的な訓練を行った。  
 今後も住民参加型の実践的な訓練を企画し、逃げ遅れゼロに向け取組を行っていきたい。



グループワーク



備品組立の様子

126

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.30 タイムラインに基づく実践的な訓練

水戸地方気象台

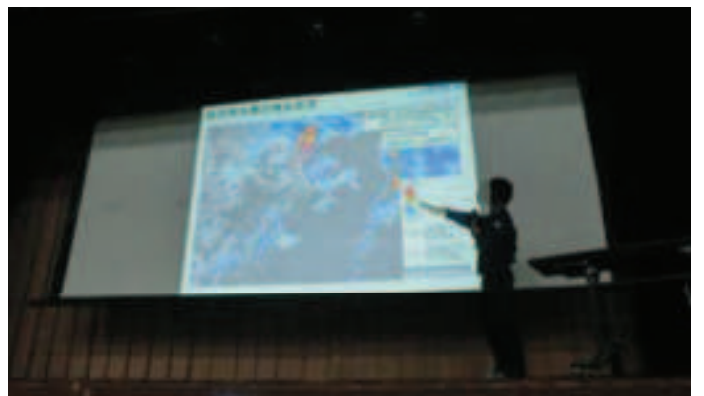
### ■ 自治体が行う災害対策本部運営訓練等への参加

➤ 自治体を実施した災害対策本部訓練等に参加し、シナリオ作成段階での協力、訓練の中では、ホットラインを実施するなどを実施した。

- ・6月19日 令和6年度日立市災害対策本部運営訓練
- ・6月23日 茨城県・五霞町避難力強化訓練
- ・6月29日 令和6年度災害対応訓練（風水害）（常陸太田市）
- ・6月30日 高萩市総合防災訓練
- ・7月13日 茨城県・八千代町避難力強化訓練



茨城県・五霞町避難力強化訓練  
気象台長からのホットラインを実施



茨城県・八千代町避難力強化訓練  
訓練後の講話を実施

127

■ ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組  
I) 防災教育や防災知識の普及  
No.33 地域防災力の向上のための人材育成

佐野市

### ■ 自主防災再組織によるHUG訓練を実施

○日 時：令和6年7月14日

○対象地域：新吉水南町会

○主な内容

- ・ 地元の防災士がファシリテーターとなり、自主防災組織を対象としたHUG訓練を実施した。訓練には、約30名が参加し、ゲームを通じて避難所の課題について検討した。



128

■ ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組  
I) 防災教育や防災知識の普及  
No.33 地域防災力の向上のための人材育成

熊谷市

### ■ 3D都市モデル浸水ワークショップ開催

市内在住の防災士12名が参加して、3D都市モデルを活用して河川の決壊をシミュレーションし、浸水リスクの体感をしたり、避難ルートの算出などの操作を行ったりし、避難誘導のタイムリミットの検討について、お互いに意見交換をしてもらう機会を設けた。



129

## ■蓮田市リーダー養成講座を実施

令和6年10月5日（土）自主防災組織リーダーの防災意識の高揚と知識の向上を図ることを目的とする講座を開催。

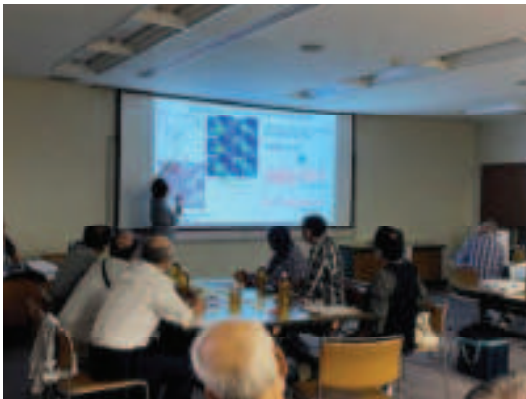
### 【講座内容】

- ①大雨防災ワークショップ（気象予報士、埼玉県防災士会）
- ②救命救護訓練（蓮田市消防本部、消防団員）
- ③防災講話タイムラインについて（埼玉県自主防災組織リーダー養成指導員）

参加者：44名

自主防災組織の他、自主防災組織のない自治会や防災士も参加し、防災学習を通して、自主防災組織の必要性を伝えた。来年度も開催予定。

### ・大雨防災ワークショップ



### ・救命救護訓練



130

## ■宮代町防災・防犯マスター講座開催

この講座は、防災と防犯の両分野において、基礎知識を学びながら、全6回の講座を通して防災・防犯に関する地域のリーダーとなってもらうことを目的とした講座となります。

### 【講座一覧】

- 第1回：自主防災組織リーダー養成講座
- 第2回：自主防災組織リーダー養成講座
- 第3回：マイタイムラインの作成
- 第4回：防災学習センターの見学
- 第5回：泥棒と割れ窓理論  
防犯に関する普及啓発
- 第6回：犯罪の発生傾向と対策  
防火防災について



131

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.33 地域防災力の向上のための人材育成

東京管区気象台

## ■ 気象防災ワークショップの実施 ～毎年の取組みとして～

- 市区町村が発令する避難情報を疑似体験するグループワーク。
- このワークショップを通じて、防災気象情報を適切に理解し、自治体の体制の強化や避難情報の発令のタイミングなど判断のポイントを学んでいただき防災対応力の向上を目指す。
- 気象庁では、すべての自治体を対象に実施。毎年の取組みとして改善を重ねていく。



気象防災ワークショップ実施の様子

気象防災ワークショップ資料（東京版）

132

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.33 地域防災力の向上のための人材育成

水戸地方気象台

## ■ 市町村防災担当者講習会等の実施

- 各市町村防災担当者等の災害対応能力向上を目的として、茨城県が実施する「茨城県災害対応勉強会」に参画し、災害対応勉強会の一部として、水戸地方気象台・茨城県市長会・茨城県町村会との共催により、「災害対応講習会」をオンラインで実施した。
- 防災土養成講座や自主防災組織研修会等において、防災知識や防災気象情報の利活用等について普及啓発を実施した。

- ・5月15日 災害対応講習会
- ・7月13日、2月2日 稲広副団長連絡会幹部研修会
- ・7月19日 自主防災組織リーダー研修会
- ・9月1日 日立市防災土養成講座
- ・9月28日、11月4日 いばらき防災大学
- ・11月10日 潮来市区長会研修
- ・11月15日 牛久市・稲敷市・阿見町、稲敷消防本部（2署）勉強会



災害対応講習会の気象台側の様子



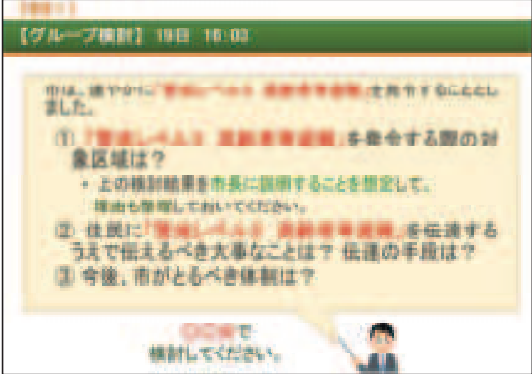
稲広副団長連絡会幹部研修会の様子

133

■ 気象防災ワークショップの実施

- 宇都宮地方気象台において、気象防災ワークショップ（土砂災害編）をオンライン形式で実施。
- 気象庁等から提供される気象情報を適切に使い、的確なタイミングで防災体制の強化や迅速な避難情報の判断・伝達を実施できるよう演習。
- 全ての自治体を対象に毎年実施し、改善を重ねて防災対応力向上を目指す。

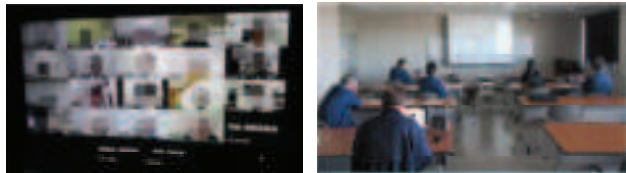
開催日時：令和6年12月19日（午後）  
開催場所：宇都宮地方気象台  
参加者：  
【グループワーク】栃木県内各市町防災担当職員（17名）  
【スタッフ】 宇都宮地方気象台職員（8名）



気象防災ワークショップ資料一部抜粋

参加者の感想

- ・担当1年目で避難指示の発令タイミング等が分からない中、気象防災ワークショップで学ぶことができとても良かった。
- ・他市町での災害の際の対応について、情報共有ができ参加して良かった。
- ・他市町の防災職員と議論でき、同様の悩みを持っていることが把握でき、有意義な気象防災ワークショップであった。



気象防災ワークショップの様

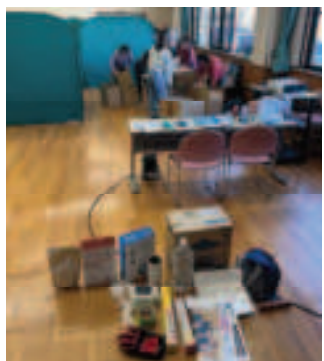
■ 男女共同参画部局と連携した防災講座、避難所設営体験を実施

積極的に活動を行っている女性団体連絡協議会が主体となり、防災講座及び避難所設営体験を男女共同参画部局と連携して実施した。

ハザードマップを活用した防災講座後は、パーティション、段ボールベッドを設置して避難所設営も体験した。

アンダーパスの危険性や家屋倒壊等氾濫想定区域、必ず複数人で行動するなど、もしもの時の対応を学んでもらった。

○実施日：令和7年1月18日（土） 35名参加



■令和6年度総合防災訓練（広域避難訓練）

1 訓練概要

昨年度及び本年7月の洪水避難訓練成果を反映し、浸水域にある全町民を対象とした令和6年度境町総合防災訓練を実施した。本訓練は、利根川氾濫の危険性に伴う広域避難を焦点とし、災害対策本部会議の決定に基づく避難情報伝達訓練、町外の広域避難所へ避難（バスによる必要配慮者の輸送支援を含む。）を実施した。

2 防災訓練のデジタル化施策（新規）

- (1) 防災アプリ（QRコード）及びマイナンバーカードを使用した避難所受付
- (2) 国土交通省宇都宮国道事務所との合同デジタル防災訓練（4足歩行ロボット等による調査状況をWeb会議で共有）
- (3) 3D都市モデル浸水シミュレーション（利根川氾濫時の浸水状況を3Dマップで紹介）

3 時期・場所

- (1) 時期：令和6年9月28日（土）
- (2) 場所：役場及び茨城県立総和工業高校

4 訓練参加者

784人（避難者：534人（バス輸送42人、職員及び関係機関等250人）

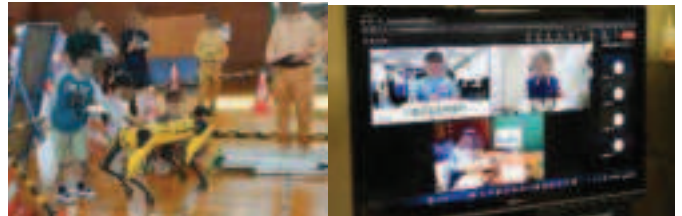


【要配慮者のバス協会による避難輸送支援】



【防災アプリによる避難者受付】

【3D都市モデル浸水シミュレーション】



【宇都宮国道事務所との合同訓練】

■出前講座を活用した水防災に関する普及啓発活動の実施

○ 概要

出前講座を活用し、行政区をはじめとする地域や任意団体に対して水防災を始めとした防災知識について普及啓発活動を実施

○ 内容

震災・風水害を中心とした災害全般的に関する説明を実施、水災害については避難情報の概要、避難要領、ハザードブックの活用方法、について説明

○ 成果及び今後の予定

説明会にて水災害の概要及び避難要領について普及啓発することができた。今後も、機会を通じて持続的に普及啓発を実施する。



行政区に対する説明



任意団体に対する説明

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

邑楽町

■ 町民を対象とした防災教育の実施

- ▶ 令和6年9月3日(火)に役場職員等が講師となり町民を対象とした防災講話を実施した。
- ▶ 災害の備えに役立つクイズの他、災害時にも活用できるポリ袋を使ったバッククッキングの実習を行った。

防災対策講話の様子



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

加須市

■ 加須市総合水害広域避難訓練を実施

訓練日時：令和6年6月16日(日)  
 参加人数：1,110名  
 会場：水害時避難場所(35箇所)、バス発着所(9箇所)  
 訓練内容：【広域避難訓練】

- ①バスによる水害広域避難区域バス発着訓練
- ②自家用車による避難場所への市内広域避難訓練
- ③交通誘導訓練(警察による信号機手動操作により、避難者の通行を円滑にする訓練)
- 【避難場所開設・運営訓練】
- ①避難場所開設・運営訓練(運営マニュアルの説明、避難場所施設及備蓄品の確認、避難所運営委員会各班による訓練、避難者と受入側の交流)
- ②避難場所入退所管理アプリ訓練(マイナンバーカードを利用した避難場所入退所受付)



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の実施

草加市

## ■ 水害啓発動画の作成・活用

### 背景

近年、台風などの水害が発生するリスクが高まっていることから、市民に対し水害リスク及び命を守る方法を周知するために作成したものです。

### 実施内容

草加市特有の水害リスク、マイ・タイムラインの作成方法等を、わかりやすく動画でまとめ、You Tube配信しています。

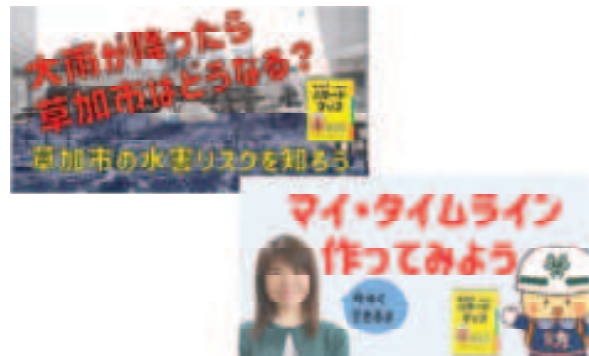
### 実施効果

令和4年5月から配信を始め、総再生回数約19,000回となっています。  
(4部構成になっている動画の合計再生数)

【チラシ】



【動画】



140

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

越谷市

## ■ 水防訓練の実施

激甚化・頻発化する水災害に備え、水防技術の習得・向上を図るため、関東地方防災エキスパートを講師として招き、水防訓練を実施した。

職員の技術向上により、水防活動の強化につながった。

### 【訓練内容】

- ・縄結び
- ・土のうづくり
- ・積み土のう工



141

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

吉川市

## ■ 第9回吉川市減災プロジェクトin北谷小学校を実施

### ◇概要◇

「自助・共助」をテーマとして、市民参加型の訓練を実施。  
水害時における避難所の開設・運営や、震災時における資機材展開訓練など、より実践的な訓練を行い、避難行動の理解促進や地域コミュニティによる減災力の向上を図る。

### ◇訓練詳細◇

日程 11月10日（日）

場所 吉川市立北谷小学校（高富857）

対象 木売新田自治会、富新田自治会

内容 避難所開設訓練、避難者受付訓練、資機材展開訓練、防災設備研修（EV車展示、LPガスの使い方、災害時のトイレ）



142

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

松伏町

## ■ 防災出前講座の実施

### ◇出前講座等を活用した講習会の実施

#### 背景

- 近年全国各地で頻発する大規模災害に備えるため、自分の身は自分で守る「自助」及び地域は地域の皆様で守る「共助」を中心に、町民の皆様に防災講座を実施した。

#### 実施状況・効果

- 各自治会、自主防災組織を対象に8件の講座を実施  
参加人数延べ190人

#### 講習会内容

- 【災害に強いまちづくり】5件  
災害の基礎知識、備えておくべき防災グッズ、家具転倒防止対策、食料の備蓄などの講義
- 【マイ・タイムラインをつくろう】3件  
災害の基礎知識、地震・洪水ハザードマップの見方、マイ・タイムラインの必要性と作成方法などの講義



143

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

葛飾区

■ハザードマップ説明会を実施

- ▷区民向けに、ハザードマップや水害の知識啓発のための説明会を区内3ヶ所で実施
- ▷SNS（XやLINE等）を用いて広報を実施
- ▷引き続き、来年度も区内3ヶ所で開催予定



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

群馬県

■出前なんでも講座やマイ・タイムライン作成講習会を実施

- 県内にある地域団体からの要請を受け、県職員が講師になる「出前なんでも講座」において、「水害に備えて」をテーマに講習会を実施。
- 県減災対策協議会において市町村と連携し、水害リスクのある地区を対象にマイ・タイムライン作成講習会を実施。

【出前なんでも講座】

- 令和6年 6月20日 車郷小学校
- 令和6年 6月26日 わせが高等学校
- 令和6年 7月16日 清陵高校
- 令和6年 7月18日 太田流通センター卸協同組合
- 令和6年 8月 1日 放課後等デイサービス スリーナインワークス
- 令和6年 8月21日 しんでん児童クラブ
- 令和6年 8月29日 放課後児童クラブあかいし
- 令和6年 9月 4日 新町中学校
- 令和6年 9月10日 上野中学校
- 令和6年 9月29日 井野町3町内自主防災会
- 令和7年 1月15日 特別養護老人ホーム 生糸の街

【マイ・タイムライン作成講習会】

- 令和6年 1月22日 川場村・昭和村（利根沼田振興局）



出前なんでも講座  
R6.7 清陵高校



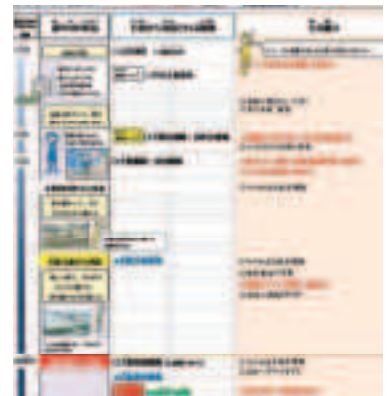
出前なんでも講座  
R6.7 太田流通センター卸協同組合



マイ・タイムライン作成講習会  
R6.11 川場村・昭和村



マイ・タイムライン作成動画



マイ・タイムライン作成講習会資料

■台風説明会の開催、気象台いばらき防災TVの試行

- 台風の接近等に伴う影響や防災上の留意事項等について、台風説明会を実施（状況に応じ常陸河川国道事務所と共催）し、関係機関に警戒を呼びかけるとともに解説資料を提供した。
- 顕著な現象が予想される場合に、今後の気象の見通しや留意事項等について、オンラインで自治体に予報官が直接解説する「気象台いばらき防災TV」の試行を実施した。
- 関係機関と連携した防災対応を行うため説明会等を実施した。

- ・8月10日、15日、28日、30日 台風説明会（常陸河川国道事務所と共催）
- ・5月13日、27日、6月17日、7月19日、23日、8月9日、14日、23日、9月26日、11月1日 気象台いばらき防災TV
- ・5月15日 災害対応講習会（茨城県及び茨城県市長会・町村会との共催、オンライン開催）
- ・6月27日 茨城防災気象連絡会（対面、オンラインでのハイブリッド開催）
- ・7月3日 久慈川・那珂川洪水予報業務に関する説明会（常陸河川国道事務所との共催）



台風説明会（オンライン開催）の気象台側の様子



茨城防災気象連絡会の気象台の様子

■台風説明会を開催

- 台風の接近等に伴う影響や防災上の留意事項等について、台風説明会を対面とオンライン形式で開催（宇都宮地方気象台と関東地方整備局の共同開催）。
- 栃木県関係部局と各市町関係機関等に注意、警戒の呼びかけを行い解説資料を提供。

令和6年度台風説明会開催状況

- ・令和6年8月15日 台風第7号
- ・令和6年8月30日 台風第10号



台風説明会の模様  
(場所：宇都宮地方気象台)

栃木県のバーチャート

日	時間	雨量
30日	12時~31日12時	24時間降水量は、多い所で100.2mm
31日	12時~02日12時	24時間降水量は、多い所で130.2mm
1日	12時~02日12時	24時間降水量は、多い所で120.2mm

● 30日12時から31日12時の24時間降水量は、多い所で100.2mm  
 ● 31日12時から02日12時の24時間降水量は、多い所で130.2mm  
 ● 1日12時から02日12時の24時間降水量は、多い所で120.2mm  
 観測点では  
 1日から上述の気象庁の発表で動きが早まって(予想) 栃木県に大雨~と発表された地域は0.2日~1日発表された地域は1.0時間30分~40分  
 24時間100から120mmを記録している  
 最新情報をご確認ください。

留意事項

- 栃木県では、9月3日にかけて、警報級の大雨となる可能性があります。
- 南からの暖かく湿った空気が流れ込むため、断続的に雷を伴った激しい雨の降る所がある見込みです。
- これまでに降った大雨により、地盤の緩んでいる所があります。土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒してください。

最新の防災情報に留意してください。

台風説明会解説資料一部抜粋

■オンラインによる台風説明会を実施

○埼玉県及び関東地方整備局（利根川上流河川事務所）と共催で、オンラインによる台風説明会を4回実施しました。

- ・埼玉県、市町村、報道機関等に Zoom を使用したWeb形式で開催。
- ・説明資料を関係機関にメールで共有。
- ・リアルタイムで参加できなかった機関向けに説明録画を限定公開。

○実施日

- ・8月15日（台風第7号）
- ・8月26日（台風第10号）
- ・8月28日（台風第10号）
- ・8月30日（台風第10号）



説明会開催（熊谷地方気象台）



台風説明会資料の一部

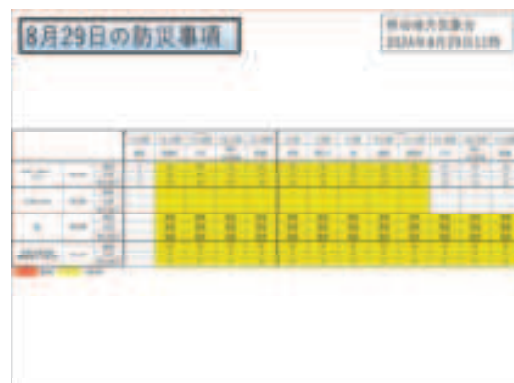
■「気象台オンライン解説」を実施

○県及び市町村に予報官が直接解説する「気象台オンライン解説」を出水期に30回実施しました。

- ・当日05時または11時予報で、早期注意情報の [中] [高] を今日または明日に発表し、かつ「埼玉県気象情報」を発表した（またはする）場合。
- ・Zoom を使用したWeb形式で10分程度で解説（自由参加型）。
- ・リアルタイムで参加できなかった場合、録画の利用やホットラインに対応。
- ・予報シナリオにあった予想資料を表示し、気象台のもつ危機感を共有。

○実施日

- ・6月3日、17日、7月12日、16日、19日、22日～26日、31日、8月5日～10日、14日、19日～21日、29日、9月2日、3日、9日、13日、18日、19日、27日、11月1日、



気象解説資料

■教員を対象とした講習会の実施

令和6年度 防災リーダー講習会

教職員の防災に関する理解や対応能力、防災教育に関する指導力等、専門的な知識や資質の向上を図るとともに、各校の災害安全に関わる取組の改善・充実に生かすことを目的に平成25年度より開催している。本年度は座学と実技を合わせ、防災に関する講話と災害図上訓練DIGを実施した。

【期日】令和6年8月9日(金) 【会場】小山市桑市民交流センター 【参加者】35名

- 【内容】(1)講義「防災に関する講話」  
講師:小山市総務部危機管理課  
(2)実技「災害図上訓練DIG」  
講師:栃木県防災士会



■教員を対象とした講習会の実施

令和6年度 防災教育セミナー

防災に関する演習や講話を通して、教職員の防災意識を高めるとともに、各校の防災教育の改善・充実に図ることを目的に平成24年度より開催している。

【期日】令和6年12月6日(金) 【会場】小山市役所本庁舎6階会議室 【参加者】35名

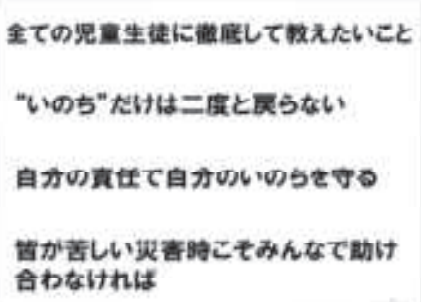
【内容】

- (1)講話「今学校に求められる防災教育」  
講師に常葉大学名誉教授重川先生をお迎えし、学校における継続的な防災教育の重要性や命を守るための避難の在り方等についてご講話いただいた。
- (2)参加者による意見交換「各校の防災教育の取組について」  
講話の内容や事務局より提示した視点をもとに、参加者が自校の避難訓練の在り方や防災に関わる取組等の検証を行い、中学校区ごとに意見交換を行った。

講師による講話



講師資料より



意見交換のようす



■令和6年度学校安全総合支援事業における中核教員向け講義の実施

- 茨城県による標記事業に当台職員が協力。中核教員勉強会（境町）において防災情報の利活用に関して講義を行った。
- 五霞町教育委員会より、当台職員が当該事業の実践委員会委員（自然防災アドバイザー）に依頼され、実践委員会や中核教員研修会等に出席して助言や講義を行った。

茨城県学校安全総合事業への参加  
・6月26日 実践委員会・勉強会  
・7月30日、10月15日 中核教員勉強会

五霞町学校安全総合事業への参加  
・9月27日、1月14日 実践委員会  
・10月30日 中核教員研修会  
・11月6日 防災教育ワークショップ  
・12月13日 防災体験学習



学校安全中核教員勉強会（県立境特別支援学校）での講義



第2回実践委員会での講義（五霞町立五霞中学校）

■水防災教育学習サイト（水防災教育ポータル）の構築

- 水防災教育の実施状況、教材、授業結果などを蓄積し、共有・継承することを目的として、利根川上流河川事務所「水防災教育ポータル」を構築した。
- 今後、教職員等が利根川上流域の水害リスクを理解し、地域特性を捉えた水防災教育の実施を支援するためのフレームワークを作成し、「水防災教育ポータル」とあわせて公開する予定。
- 「水防災教育ポータル」のデモサイトをご覧になりたい方は事務所防災対策課までご連絡ください。

取組紹介	協議会のフォローアップ調査にて収集した「小中学生を対象とした防災教育の実施」の取組事例を以下のカテゴリ別に掲載。 ・学習指導計画への組み込み・防災リーダー認定 ・マイ・タイムライン作成・体験学習・防災講話・出前講座	学校教育教材	教材を編集可能なデータ形式にて格納し自由にダウンロードして利用できるようにする他、指導計画及び解説動画も併せて格納。指導計画は改定履歴を蓄積し、他の先生の苦慮した点や工夫点を継承できる仕組み。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------



授業動画	授業風景の撮影・公開が許可された場合は、教職員の問いかけの工夫点や児童の反応等を編集し、限られた時間で授業のポイントやイメージが掴めるように工夫した水防災授業ダイジェスト版の動画を掲載予定。	小学校別水害リスク見える化マップ	作成した「小学校別水害リスク見える化マップ」へのリンクに加え、使いかたや授業での活用例を掲載。	Q&A	河川や水防災に関する基本知識や授業で扱いテーマをQ&A形式で整理。Q&Aの中から教職員自ら疑問点に対する解決策を探す仕組みとした。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------	-------------------------------------------------	-----	-------------------------------------------------------------------

## ■水防災クイズ大会

○常総市の水害対策が若年層ではあまり知られていないという気づきから、中学生が考えた水防災にまつわるクイズで小学生と楽しく水防災について学ぶ防災クイズ大会

【内容】市内小学4年生を対象とした防災クイズ大会

- ・メリット①楽しく防災について学習できる
- ②主催者と一緒に学べる
- ③小学生が学んだことを家の人に話すことで親世代にも広めることができる

1/28 水防災クイズ大会当日



154

## ■小学生を対象とした防災教育の実施

- 小学生を対象とした防災教育の実施  
✓小学校の総合学習授業の中で、水災害教育に取り組んでいく

○市内小学校で毎年実施し、災害時の避難行動について理解を深めるためマイタイムライン作成講座を実施した。(令和2年度より継続実施)

### 【目的】

- ・地域と継続的な地域連携の防災訓練を実施することで地域と学校の繋がりを強化する。
- ・防災に関する体験活動を通じ、児童の危機管理能力を高める。

### 【参加者】

小学校児童、学校職員、取手市役所

### 【内容】

- ・マイ・タイムライン作成講座



155

■小中学生を対象とした防災教育の実施

令和6年度 防災体験学習

講話や体験活動を通して、子どもたちの防災への意識を高め、自分の命を守るとともに助け合い協力して活動することの大切さを学んでもらうことを目的に、過去に水害を受けた経験のある地域の小学校を会場に防災体験学習を実施した。

【期日】令和6年11月9日(土) 【会場】小山市立羽川西小学校

【参加者】4～6年の希望する児童及び保護者 23名

【活動内容】講師：小山市総務部危機管理課職員及び小山市教育委員会教育総務課職員

- (1) 防災講話「災害から命を守るために  
～災害時の対応と災害への備え～」
- (2) 避難所開設体験  
★パーティション設置体験 ★簡易トイレ設置体験
- (3) 防災体験学習  
★防災カードゲーム
- (4) 非常食体験  
★非常食の実食体験



パーティション設置体験



簡易トイレ設置体験



非常食体験

■小中学校における防災教育支援の実施

- 概要  
小中学校に対して、市とその他関係機関、地域団体等と連携して地域の災害特性、市の防災業務及び学校等における避難所用物品についての防災教育支援を実施した。
- 実績  
6か所（小学校5か所、中学校1か所）
- 教育形式  
座学、実物見学、防災訓練等
- 成果及び今後の予定  
座学だけでなく防災士との交流や現地現物の活用により、教育効果の高い支援に繋げることができた。引き続き、小中学校における防災教育に対する支援の拡充を目指す。



市役所職員による説明



消防組合と連携した教育支援



防災士による教育支援

■避難所宿泊体験教室の開催

- ▶小学生（保護者同伴可）を対象とした避難所宿泊体験教室を行った。
- ▶講師は、玉村町と防災アドバイザー協定を締結している群馬大学金井教授に依頼した。
- ▶水害についての座学、非常持ち出し品について、非常食を食べる、寝る場所作りなどをメニューとした。  
（非常食は町の備蓄品のほか、災害時の協定締結事業所より協賛品として提供いただいた。）



非常持ち出し品を考える



寝る場所作り

■防災教育の充実

○学習指導計画に組み込んだ防災教育の実施



町内小学校の3・4年生が使用する社会科副読本  
「わたしたちの板倉町(十一訂版)」 令和2年4月1日発行

4年生の学習項目「自然災害からくらしを守る」で、水防災に関する防災教育を実施

学習指導計画にあわせて「水防学校」を開催  
水防災に対する理解と関心を高めるため、見て、聞いて、体験して学ぶことのできる防災教育を実施し、災害時には、自らの安全を確保するための行動ができるようにすることで、地域の防災力向上を図る。

○水防学校の開催・・・小学校4年生を対象とした水防教育

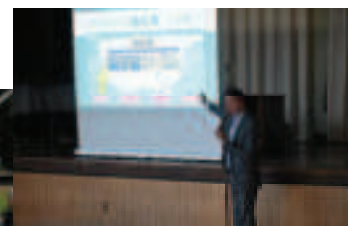
令和6年10月31日(水)、東小学校において、西小学校との合同開催 児童約90名が参加

【利根川上流河川事務所】  
「洪水」についての学習



【利根川上流河川事務所】  
災害対策車両見学

【板倉町】  
浸水想定のパネル展示  
タブレットによるAR洪水体験



【NHK前橋放送局】  
アナウンサーによる気象防災講話

■町内中学校で、防災学習会を実施

中学校の「総合的な学習の時間」を活用し、自らの学びの場であり、また、実際に避難所となる体育館で防災学習に取り組み、災害リスクを「我がこと」として捉えてもらった。当事者意識を醸成することで、この学習を家庭へ持ち帰り家族等と共有するとともに、高齢者などの避難行動等の支援の必要性も理解してもらった。いざという時に「地域の役に立つ」という意識を持ってもらうことができた。「令和6年能登半島地震」について、実際に被災地支援で避難所運営をしてきた職員の講話により、災害発生時にどう助け合えばいいのか、真剣に考えてもらった。

- 講話 ①避難所の状況・・・水の絶対的な重要性、ゴミ回収、炊き出し、トイレ  
②校長の判断・・・命を守るため避難所を教室に変えた  
③当たり前の生活・・・とても幸せなことで感謝しなければならない！

また、防災倉庫から備蓄品（パーティション、段ボールベット）を運搬することから始め、実際に設置し、避難所開設を体験してもらった。

○実施日：令和6年11月7日（木） 上里中学校 第1学年：132人



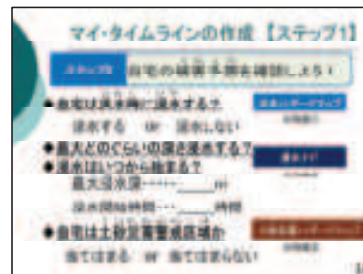
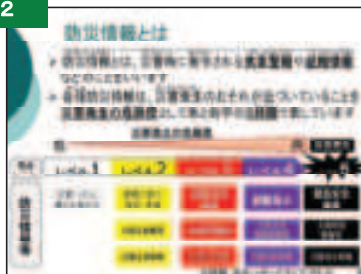
■マイ・タイムライン作成の小学校授業を実施

- 市では市民の命を守る自助の取り組みとして、平時からのマイ・タイムライン（防災行動計画）の作成が重要と位置づけ、市の小学校（20校）の授業の一環として、防災安全課職員にてマイ・タイムライン作成の授業を実施。（令和5年度から実施し、本年度も実施している）
- 授業（90分）では、風水害に関する基本知識（地震と風水害の違い、避難情報、警戒レベル、避難行動等）や、洪水ハザードマップの見方、浸水ナビの操作方法（タブレット利用）を勉強してもらいながら、マイ・タイムラインの作成方法の説明と個別ワークにて作成・発表等を実施。

1-①



2



1-②



【写真説明】

1. 授業風景

1-①: パワポを使って説明(適宜クイズを交えて生徒が挙手して発表)

1-②: 生徒がタブレットPCを使用して浸水ナビを確認

2. 発表資料の一部

■マイ・タイムライン作成授業の実施

- 水害時の逃げ遅れによる人的被害ゼロに向け、住民が適切な避難行動を取れるようにするため、「マイ・タイムライン」の普及に努めている。
- 特に令和4年度からは、国や市町村等と連携し、洪水ハザード内にある全小学校において「マイ・タイムライン」の作成授業を実施しており、災害の怖さや自分の命は自分で守る“自助”の大切さを認識してもらうなど、防災教育に取り組んでいる。
- 令和6年度実績（見込み）：全98校のうち61校について県で講師派遣予定（※）  
※その他は国や市町村等で実施



マイ・タイムライン作成授業の様子

■小中学校における水災害教育への取組

【概要】

台風やゲリラ豪雨等で急激に河川が増水することによる水難事故の発生防止のため、県内の小中学校等へ県土整備部職員（各出先土木事務所職員）が出向き、リーフレット等を用いた出前講座を実施した。

令和6年度実施校（18校）

- ・ 7月1日（月） 塩谷町立玉生小学校
- ・ 7月2日（火） 真岡市立真岡東小学校
- ・ 7月3日（水） 日光市立今市第三小学校
- ・ 7月3日（水） 壬生町立稲葉小学校
- ・ 7月3日（水） 那珂川町立小川小学校
- ・ 7月4日（木） 上三川町立明治南小学校
- ・ 7月4日（木） 茂木町立茂木小学校
- ・ 7月4日（木） 矢板市立矢板小学校
- ・ 7月4日（木） 那須塩原市立鍋掛小学校
- ・ 7月5日（金） 茂木町立逆川小学校
- ・ 7月5日（金） 大田原市立親園小学校
- ・ 7月5日（金） 佐野市立あそ野学園義務教育学校
- ・ 7月9日（火） 宇都宮市立雀宮東小学校
- ・ 7月11日（木） 宇都宮市立上河内東小学校
- ・ 7月11日（木） 那須烏山市立江川小学校
- ・ 7月12日（金） 足利市立毛野南小学校
- ・ 7月16日（火） 鹿沼市立板荷小学校
- ・ 7月18日（木） 高根沢町立北小学校



【水難事故に関するDVD鑑賞】  
（足利市立毛野南小学校）



【ライフジャケット着用体験】  
（佐野市立あそ野学園義務教育学校）

■小中学生を対象とした防災教育を実施

- 栃木県教育委員会主催の、とちぎ子どもの未来創造大学「体験気象学」
  - ・令和6年7月24日鹿沼市、8月1日矢板市、8月23日足利市で開催
- 宇都宮市教育委員会主催の、宮っ子チャレンジウィーク「中学生社会体験学習」
  - ・令和6年11月26日～28日中学生計5名 宇都宮地方気象台で開催
- 上記の防災教育において、気象庁（気象台）の業務説明や気象実験等実施し、防災知識の啓発等を実施。



とちぎ子どもの未来創造大学の模様



宮っ子チャレンジウィークの模様

■ハザードマップを活用した講座、避難訓練の実施

○防災知識の住民への周知

- ・ハザードマップを活用した出前講座の実施
- ・避難訓練に中心とした「地域防災訓練」の実施

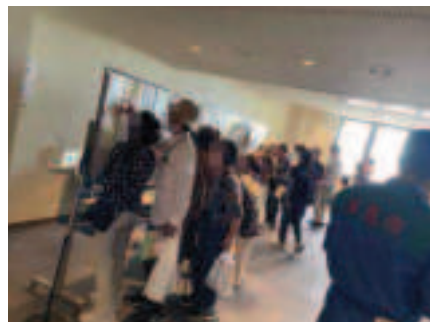


洪水・内水氾濫ハザードマップ表紙

・地域防災訓練の写真



避難訓練の様子



水害リスクの周知の様子



避難所開設の様子

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

春日部市

■ **マイタイムライン作成に係る出前講座を実施**

○春日部市では、「春日部市災害ハザードマップ」を基に、市内で起こりうる最大浸水被害想定の下、水害対策に関する意識啓発のために『マイタイムライン』出前講座を実施

○実施内容

市内小中学校や、自主防災組織、防災イベント等にて実施

各家庭の状況を考慮しながら、浸水深・避難先等を確認しマイタイムライン作成のサポートをします。

○昨年度実施結果

令和5年度の講座実施回数13回、合計839人



166

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

杉戸町

■ **ハザードマップを活用した防災講座の実施**

○防災知識の住民への周知

- ・令和3年に作成した洪水ハザードマップを活用し、ハザードマップの見方や日頃の備えについて等の講座を実施した。
- ・備蓄している防災資機材についての解説や、体験等を実施した。

防災講座実施の様子



167

■イオンと共同で防災イベントを実施

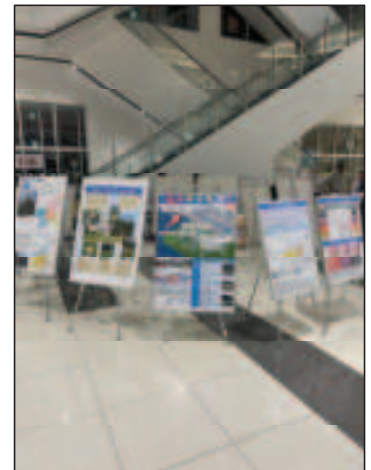
民間会社であるイオンと共同で防災イベント「わたしたちの防災大作戦2024」を開催、住民への防災知識の普及に努めた。イベントには群馬県や高崎市、自衛隊、群馬警察本部などの協力をもとに開催され、協力機関からは特殊車両や防災関連装備や資材を展示、気象台からも気象現象の仕組みを学ぶ実験、パネル展示などを行った。

イベントには親子連れなどの家族を中心に、約6000人が来場した。

- 主催  
イオンモール株式会社  
イオンモール高崎
- 後援  
群馬県、高崎市
- 協力  
陸上自衛隊第12後方支援隊、  
前橋地方気象台、群馬県警察本部、高崎北警察署、高崎北消防署、群馬県赤十字血液センターなど



親子連れなど家族が多く、親子そろって説明に耳を傾けていた



防災に関する展示パネル

■水災害の被害状況や教訓・備え等の防災知識を住民への周知するための展示やホームページへの情報掲載

○流域治水の普及啓発に係る学習教材の作成

- ・宇都宮大学と連携し、大学のカリキュラムである「地域プロジェクト演習」の一環として、「県民への流域治水の普及啓発」をテーマに、小学生向けの学習教材を作成した。
- ・令和6年11月、同大学附属小学校の5年生に対し、社会科の授業の一環として、教材を活用した出前講座を実施した。また、講座の実施前後でアンケート調査を行い、小学生の流域治水に対する理解度の変化を確認した。
- ・今後も、出前講座等により、本教材を活用しながら、流域治水の自分事化を図る。



【流域治水に関する講座の様子】



【教材(カードゲーム)を実際に使用する様子】

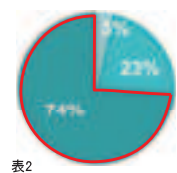
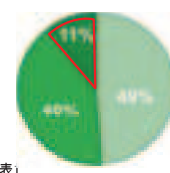
【流域治水に関する小学生の理解度】

(事前アンケート)  
流域治水という言葉を知っていますか(表1)

・知らない	49%
・聞いたことはあるが意味は知らない	40%
・聞いたことがあり意味も分かる	11%

(事後アンケート)  
授業を通して流域治水について学べましたか(表2)

・よく分からなかった	3%
・言葉だけは覚えた	23%
・意味を理解することができた	74%



【出前講座に出席した小学生の感想】

- ・流域治水について理解ができ、ゲームとして学べたので楽しかった。
- ・勉強のゲームなのに、楽しく学べた。
- ・家族でやったら流域治水のことを知りながら、楽しく遊べそう。

- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- No.41 水防資機材の情報共有や相互支援の仕組みの構築

小山市

■ ドローンの運行及び保守点検を実施する

- ・ドローン運行に関する手続き、保守点検等  
無人航空機の飛行に関する許可・承認、緊急消防援助隊に関する事項、賠償保険、通信費（映像の送受信）、機体の保守点検等
- ・定住自立圏構成市町の結城市（筑西広域市町村圏事務組合消防本部）と連携し、水害発生時を想定した合同訓練を実施する。



170

- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- No.46 関係機関及び住民が連携した実働水防訓練の実施

栃木市

■ 栃木市総合防災訓練を実施

- 実施日：令和6年11月30日（土）
- 会 場：栃木市大平運動公園
- ・東日本大震災及び令和元年東日本台風等の教訓等を踏まえ、実践的かつ効果的な訓練を行い、防災関係機関の連携による災害発生時の様々な被害への応急対応力や広域的な対応力等を検証するとともに、住民の防災意識の高揚と知識の向上を図った。

救出・救助訓練



消防による一斉放水訓練



171

## ■ 総合防災訓練での関係機関・住民との対応要領確認

### ○ 概要

令和6年度館林市総合防災訓練の中で関係機関・住民との対応要領確認する項目を実施するとともに、防災に関する啓発を行った。

### ○ 実施日及び場所

令和6年10月6日（日）館林城ゆめひろば

### ○ 参加人数

約800名

### ○ 内容及び成果

総合防災訓練の中で、各関係機関が連携する訓練及び住民が参加する訓練を実施し、対応要領を確認した。住民参加型訓練では簡易水防工法を実施した。また、展示ブースを設け、住民に対する啓発活動も実施した。

関係機関による連携要領確認



住民参加訓練（簡易水防工法）



展示ブースにおける啓発活動



172

## ■ 隣接市町と連携しての水防技術講習会等の実施

隣接する本庄市及び神川町の水防団と、それぞれ坂東上流水害予防組合、神流川水害予防組合を構成している。年に1度、定期的に合同で水防技術講習会等を行っている。

講習会では、構成市町の水防団（消防団）役員及び事務局が集まり、水防技術や知識を取得することと併せて、一緒に訓練等を実施することで他市町の水防団との顔の見える関係を構築し、水防体制の強化に取り組んだ。

○実施日： 令和6年6月30日（日） 神川町B&G海洋センター 1・2分団：19人  
令和6年7月20日（土） 児玉郡市広域消防本部 3・4分団：12人



173

ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組  
J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化  
No.46 関係機関及び住民が連携した実働水防訓練の実施

前橋地方気象台

### ■ 予報当番者による重要水防箇所の共同巡視への参加

渡良瀬川の重要水防箇所の共同巡視に、気象台の予報当番者も参加。注意報や警報などの重要な防災情報を発表するうえでの注意箇所を、目視により確認を行った。これにより、より災害をイメージした注意報・警報などを発表することができるようになった。

また洪水予報担当者、防災担当者、予報当番者が共通の意識を持つことができた。



6/13 渡良瀬川河川事務所 共同点検  
(群馬県桐生市)



6/24 高崎河川国道事務所 共同点検  
(群馬県玉村町)

174

ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組  
J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化  
No.46 関係機関及び住民が連携した実働水防訓練の実施

銚子地方気象台

### ■ 「第72回利根川水系連合・総合水防演習」に参加

5月18日に行われた「第72回利根川水系連合・総合水防演習」にブース出展し大雨・強風や台風のパネルを展示した。また、キキクル(危険度分布)の説明やパンフレットなどの配布を行った。また、雨量計等の観測機器の説明も行った。



出展ブースの様子

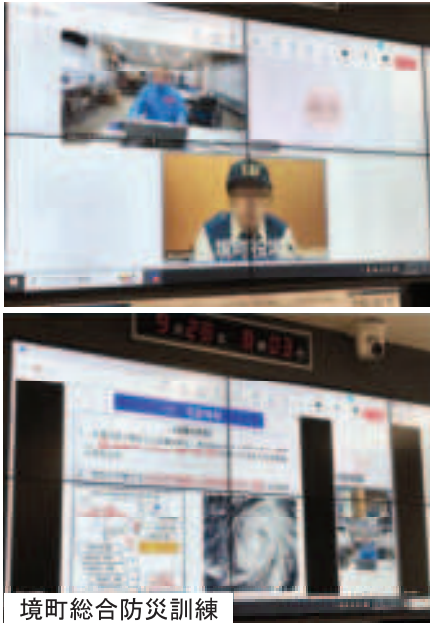


観測機器の説明

175

■市町防災訓練等への参加

市町の防災訓練等へホットライン・机上訓練にて参加しました。  
 令和6年 6月23日(日) 五霞町避難力強化訓練（事務所長がホットラインでの参加）  
 令和6年 8月 7日(水) 古河市災害対策本部図上訓練（古河市役所にて参加）  
 令和6年 8月22日(木) 行田市災害対応シミュレーション訓練（事務所長がホットラインでの参加）  
 令和6年 9月28日(土) 境町総合防災訓練（災害対策本部会議に事務所長WEB出席）



境町総合防災訓練



古河市災害対策本部図上訓練

■令和6年度小山市水防訓練を実施

台風などによる本格的な出水期を迎えるにあたり、水防活動の指揮系統の確認及び水防工法の技術継承を図るとともに、水防関係機関との緊密な連携と地域住民の協力体制の確保を行い、水防体制に万全を期すことを目的に、水防訓練を実施した。

特に、水防工法訓練（土のうこしらえ）では、地元建設業者による土砂の運搬を行い、その場で土のう作成を行うなど、実災害時における手順等の確認を行った。

【期日】令和6年9月7日(土)

【会場】小山市石ノ上河川広場

【参加者】消防団、自主防災会、防災関係機関・団体など 約250名

小山建設業協同組合による土砂搬入 ↓

土のうを作成する消防団 ↓



- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- No.49 庁舎、災害拠点病院等の水害時における対応強化

五霞町

## ■五霞町防災訓練「避難力強化訓練」を実施

降雨による災害の危険性が高まる出水期を前に、利根川での洪水を想定とし、町の災害対策能力の向上、町民の避難行動を起こす意識の向上と定着化を図ることを目的として「避難力強化訓練」を実施。

- 日 時：令和6年6月23日（日）
- 場 所：五霞町中央公民館講堂
- 参加者：五霞町役場職員、町民、民生委員・児童委員、五霞町社会福祉協議会等

災害対策本部会議の様子



マイナンバーカードを活用した受付の様子



本部会議を見守る参加者の様子



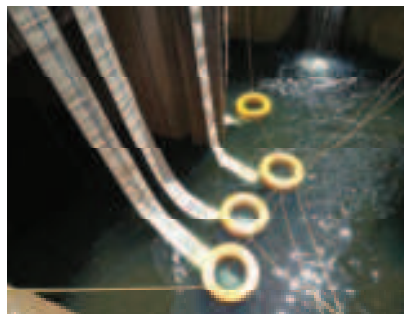
178

- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- L) 緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施
- No.52 関係機関、自治体が連携した排水訓練の実施

流山市

## ■建設業協同組合との可動式排水ポンプ排水訓練の実施

令和5年度に更新した可動式排水ポンプにおいて、有事の際に対応できるように、出水期前に点検及び操作訓練を行った。災害協定を締結している流山市建設協同組合と合同で実施し、双方ともに機器の動作確認を行った。また、電源は商用電源使用、発電機使用の2パターンあり、どのような場合でも、稼働できるように、訓練を実施した。



点検状況



訓練状況

179

- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- L) 緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施
- No.52 関係機関、自治体が連携した排水訓練の実施

栃木県

## ■ 栃木県排水ポンプ車の排水操作訓練を実施

### 【概要】

災害発生時に迅速かつ的確な排水作業を行う目的で、栃木県排水ポンプ車の操作研修を兼ねた訓練を、関係機関と連携し実施した。

なお、栃木県排水ポンプ車は、県内における浸水の早期解消を目的とし、令和3年度に合計3台配備した（栃木土木事務所1台、安足土木事務所2台）。

訓練実施日：令和6年5月21日 安足土木 秋山川 葛生大橋上  
 令和6年6月3日 栃木土木 杣井木川排水機場



【栃木県排水ポンプ車全景】



【排水ポンプ車 排水操作訓練状況】

180

- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- L) 緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施
- No.52 関係機関、自治体が連携した排水訓練の実施

東京都

## ■ 排水ポンプ車の実地訓練を実施

### ■ 実施目的

- ◆ 東京都職員及び水防管理団体職員等による排水ポンプ車の操作習熟、連携強化

### ■ 実施結果

#### 操作訓練 （水防管理団体職員及び消防職員が参加）



#### 東京都における排水作業準備計画 に基づく関係機関連携訓練



- 【訓練参加機関】
- ・国土交通省 荒川下流河川事務所
  - ・東京都 建設局河川部 第五建設事務所 第六建設事務所
  - ・関係区 墨田区 葛飾区 江戸川区
  - ・協定締結機関 東京都コンクリート 圧送協同組合

### ■ 次年度の訓練予定

- ◆ 排水ポンプ車を有する事務所毎に操作訓練を実施予定
- ◆ 水防管理団体に操作訓練への参加を依頼し、合同で訓練を実施
- ◆ 「東京都における排水作業準備計画」を踏まえた訓練を引き続き実施予定

181

- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- M) BCP (業務継続計画) に関する事項
- No.53 水害時に行政機能を維持するBCPの策定

## ■職員防災訓練（水害編）の実施

### ●取組概要

#### ▷各部対応訓練

- 令和5年度に策定した江戸川区業務継続計画（水害編）の非常時優先業務を参考に大規模水害時を想定した訓練を実施。フェーズについては、台風上陸3日前から発災直後までを想定。

#### <取組による効果>

職員一人ひとりが役割を自覚し、災害対応力の向上につなげるとともに、訓練を重ね課題解決へつなげる。



- No.16 住民等への情報伝達方法の改善
- No.20 避難場所・避難経路の再確認と改善
- No.22 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

## ■構成機関の取組課題を共有する意見交換会の開催

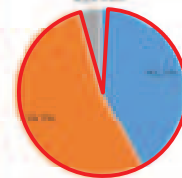
- 市区町を中心に各構成機関が相互に問題解決を図り、取組の進捗を促すことを支援するため、幹事会に続けて「『水防災意識社会再構築ビジョン』に基づく利根川上流域の減災に係わる意見交換会」を開催した。
- 構成機関へのフォローアップ調査時に収集した各取組に関する課題を参考に、3つのテーマを設定し、テーマごとに各2自治体からの事例報告と質疑応答、その他の意見交換を行った。
- 分科会形式で、オンライン会議でも意見交換ができる程度の人数としたことで、課題に対する解決策などを協議しやすい場となった。

表 各テーマの参加機関数及び事例報告内容

No	テーマ	参加機関・事例報告参加者数	事例報告内容
1	住民への情報伝達・避難情報の発令	23機関・31名	上里町 防災情報等架電サービスの導入 館林市 中小河川における避難情報発令基準の追加
2	避難場所の確保・避難訓練	8機関・9名	久喜市 防災ハザードマップを活用した広域避難訓練を実施 上尾市 避難訓練への地域住民の参加促進
3	要配慮者の避難誘導	6機関・10名	古河市 水害時の避難行動要支援者への事前連絡ネットワーク 千代田町 要配慮者利用施設（入居者施設）における合同避難訓練の実施

### 参加者アンケート結果（一部抜粋）

今後の取組促進や課題解決の参考になったか



他機関に詳しく話を聞きたいと思ったか



(理由等)

- ・同じような悩みや疑問を抱えている自治体の解決策を聞くことができた
- ・少人数のグループで質問しやすい雰囲気だった 等



テーマ1 意見交換の様子

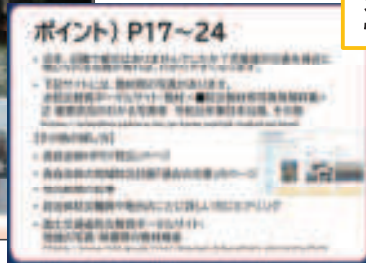
ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No.36 教員を対象とした講習会の実施

## ■水防災教育副読本を活用したテンプレート教材及び活用シナリオの作成

- ▶ 過年度作成された教材（副読本）「水害からいのちを守るために 私たちの利根川」をもとに、地域の水害特性や自治体が提供する情報等が必要に応じて追加してオリジナルの教材を作成し、授業を実践するためのフレームワークとして、次の資料を作成した。
  - ①副読本『水害からいのちを守るために 私たちの利根川』テンプレート教材
  - ②副読本『水害からいのちを守るために 私たちの利根川』活用シナリオ
- ▶ 作成した資料及び水防災教育ポータルについて、小学校教員や自治体教育委員会職員に意見照会を行った。



副読本スライドに、教職員が地域の情報を調べてオリジナル教材を作るための情報の調べ方と追加情報を掲載するスライドを追加

テンプレート教材の一部（副読本のスライドと追加したスライドのイメージ）



水防災教育フレームワークの全体構成。テンプレート教材の全体像と使いかたを例示

活用シナリオの一部

### ヒアリング実施概要

- ①板倉町立東小学校  
日時：令和7年5月8日（木）  
対象：T教員（社会科）
- ②境町教育委員会教育学習課  
日時：令和7年5月14日（水）  
対象：S指導主事（元 小学校教頭）
- ③深谷市立八基小学校  
日時：令和7年5月16日（金）  
対象：K教員（教務主任）



板倉町立東小学校でのヒアリングの様子

### <主な意見>

- 授業に関連する教材や素材を教員が自ら探すのは難しい。本教材のように、**必要な資料や調べ方がまとまっている教材が望ましい**。
- 理科や社会科の授業では、教科書に沿って進めることが中心ではあるが、**関連する内容のスライド単位で活用できそう**である。
- **垂直避難訓練や自治体の出前講座、マイ・タイムライン作成の授業の前後に活用**することで、理解を深めることができる。
- 授業で扱うのは難しいので、**朝の会や帰りの会など、授業以外の短い時間に活用**できるようになっているとよい。
- 調べ方や加筆の仕方等のポイントは、**教科用教科書の朱書のように、各ページに吹き出しで示す**方法が良い。



# 令和5年度 各構成員の取組事例

## ハード対策

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>A) 洪水を河川内で安全に流す対策</b>	取組事例なし	
1 洪水を河川内で安全に流す対策		
<b>B) 危機管理型ハード対策</b>		
2 危機管理型ハード対策		
<b>C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備</b>	-	-
3 雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤整備	取組事例なし	
4 簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	-	-
ワンコイン浸水センサ実証実験への参加	境町	193
水防災情報の発信強化	東京都	194
5 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	-	-
防災ラジオの有償配付を実施	越谷市	195
民生委員等に対する戸別受信機説明会を実施	白岡市	196
6 河川防災ステーションや水防拠点の整備	取組事例なし	
7 水防活動を支援するための水防資機材等の配備	-	-
ドローン操縦訓練、河川調査及び映像伝送による情報の共有訓練	小山市	197
桶川市止水板設置費補助金の交付を開始	桶川市	198
8 庁舎、災害拠点病院や自家発電装置等の耐水化	取組事例なし	
9 対策本部、警戒本部等設置時の情報収集伝達設備	-	-
河川水位確認を目的としたAI解析による実証実験	江戸川区	199,200
10 排水機場の耐水化等、水門等操作の水圧対策	取組事例なし	

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組 (1/4)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知</b>	-	-
<b>11 まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充</b>	-	-
河川沿いの想定浸水深が深い地域への標識看板の設置	上里町	201
洪水ハザードマップの更新を実施	流山市	202
<b>12 越水開始予測情報の提供</b>	実施事例なし	
<b>13 自治体や住民の視点に立った浸水シミュレーション情報の提供</b>		
<b>14 立ち退き避難が必要な浸水危険区域情報の提供</b>		
<b>E) 避難計画、情報伝達方法等の改善</b>	-	-
<b>15 洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）</b>	実施事例なし	
<b>16 住民等への情報伝達方法の改善</b>	-	-
防災情報等架電サービスの導入	上里町	203
<b>17 市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実</b>	実施事例なし	
<b>18 リアルタイム情報の提供やプッシュ型洪水予報の情報発信</b>		
<b>19 避難指示等の発令基準の改善</b>	-	-
中小河川における避難情報発令基準の追加	館林市	204
避難情報の判断（・伝達マニュアルの見直し）	栃木県	205,206
<b>20 避難場所・避難経路の再確認と改善</b>	-	-
総合防災マップを改訂	伊勢崎市	207
避難情報の判断（・伝達マニュアルの見直し）	栃木県	208
<b>21 避難誘導体制の充実</b>	実施事例なし	
<b>22 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進</b>		

187

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組 (2/4)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>F) 企業防災等に関する事項</b>	取組事例なし	
<b>23 不特定多数の利用する地下施設の避難計画の作成及び訓練の促進</b>		
<b>24 大規模工場の避難計画の作成及び訓練の促進</b>		
<b>G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等</b>	-	-
<b>25 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表</b>	実施事例なし	
<b>26 氾濫特性を考慮した被害シナリオと緊急避難及び広域避難計画の策定</b>	-	-
板倉町洪水時住民避難計画の策定及び避難訓練の実施	板倉町	209
<b>27 広域避難のための避難場所の確保</b>	実施事例なし	
<b>28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知</b>	-	-
防災ハザードマップを作成	栃木市	210
ハザードブック（マップ）の見直し及び広域避難の普及啓発	館林市	211
防災ハザードマップを活用した広域避難訓練を実施	久喜市	212
<b>H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成</b>	-	-
<b>29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成</b>	-	-
マイ・タイムライン作成を実施	坂東市	213
学校授業を活用したマイ・タイムライン作り	五霞町	214
オンライン情報共有『防災意思疎通WEBライン』の訓練及び本番を実施	利根川上流河川事務所	215
<b>30 タイムラインに基づく実践的な訓練</b>	-	-
消防庁、県と連携した「小規模町村災害時初動対応訓練」の実施	明和町	216
水害を想定した町防災訓練を実施し、避難指示での行動を確認	千代田町	217
総合水害広域避難訓練を実施	加須市	218
江東5区広域避難情報発令の図上訓練の実施	葛飾区	219
タイムラインに基づく実践的な訓練を実施	宇都宮地方気象台	220
<b>31 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）</b>	実施事例なし	

188



## ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組 (3/4)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>I) 防災教育や防災知識の普及</b>	-	-
<b>32 水防災の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置</b>	実施事例なし	
<b>33 地域防災力の向上のための人材育成</b>	-	-
防災士を取得した市民と防災担当職員が連携した防災研修	幸手市	221
宮代町防災・防犯マスター講座開催	宮代町	222
気象防災ワークショップの実施 ～毎年の取組みとして～	東京管区気象台	223
市町村防災担当者講習会の実施	水戸地方気象台	224
<b>34 共助の仕組みの強化</b>	実施事例なし	
<b>35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催</b>	-	-
「行動してみよう！水害から命を守る自家用車避難」の実施	古河市	225
「やってみよう！水害から命を守るシミュレーション」	古河市	226
市職員や自主防災組織の方を対象とした避難所開設訓練を実施	常総市	227
令和5年度総合防災訓練及び防災講演会	境町	228
大雨による土砂災害を想定した避難訓練等の実施	佐野市	229
邑楽町総合防災訓練（水災害想定）の実施	邑楽町	230
町民を対象とした防災教育の実施	邑楽町	231
洪水ハザードマップやマイ・タイムラインについての講習会等を実施	熊谷市	232
羽生市総合防災訓練を実施	羽生市	233
避難訓練への地域住民の参加促進	上尾市	234
水害啓発動画の作成・活用	草加市	235
ハザードマップ改訂に伴う説明及び水防災に関する講話の実施	伊奈町	236
自主防災組織と連携した避難訓練、避難所設営体験を実施	上里町	237
出前なんでも講座やマイ・タイムライン作成講習会を実施	群馬県	238
水防災に関する説明会や避難訓練の開催	宇都宮地方気象台	239
オンラインによる台風雨説明会等を実施	熊谷地方気象台	240
気象台オンライン解説の試行	熊谷地方気象台	241

189



## ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組 (4/4)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>36 教員を対象とした講習会の実施</b>	-	-
令和5年度 防災リーダー講習会	小山市	242
令和5年度 防災教育セミナー	小山市	243
令和5年度学校安全総合支援事業における中核教員向け講義の実施	水戸地方気象台	244
水防災教育促進を図るための意見交換会の開催	利根川上流河川事務所	245
<b>37 小中学生を対象とした防災教育の実施</b>	-	-
市内小中学校で防災教育を実施	常総市	246
小学生を対象とした防災教育の実施	取手市	247
令和5年度 防災体験学習	小山市	248
小中学校における防災教育支援の実施	館林市	249
防災教育の充実	板倉町	250
町立西小学校の学校公開に合わせた防災教育支援の実施	千代田町	251
昨年に続き、小学生を対象とした避難所体験教室の実施	千代田町	252
中学生防災リーダー認定講習の実施	川口市	253
小学生を対象とした防災講座の実施	鴻巣市	254
中学生に防災教育を実施	蓮田市	255
町内中学校で、防災学習会を実施	上里町	256
小中学校における水災害教育への取組	栃木県	257
令和5年度学校安全総合支援事業における小学生を対象とした防災教育の実施	水戸地方気象台	258
小中学生を対象とした防災教育の実施	宇都宮地方気象台	259
<b>38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知</b>	-	-
ハザードマップの改変と防災講座開催	玉村町	260
大泉町防災フェアの開催	大泉町	261
浸水履歴マップの作成及び公開型GISへの反映・搭載	さいたま市	262
ハザードマップを活用した講座、避難訓練の実施	本庄市	263
熊本県人吉市長による講演会及びパネルディスカッションの開催	足立区	264
筑波技術大学との防災知識の普及に関する意見交換	水戸地方気象台	265

190

ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

取組内容	実施主体者	ページ番号
J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	-	-
39 河川水位等に係る情報提供	-	-
より迅速かつ的確な情報共有体制の構築	柏市	266
40 河川の巡視区間、水防活動の実施体制の見直し	実施事例なし	
41 水防資機材の情報共有や相互支援の仕組みの構築	-	-
排水ポンプ車実動訓練を実施	小山市	267
42 効率的、効果的な水防活動のため、洪水に対しリスクが高い区間情報の提供	実施事例なし	
43 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検の実施		
44 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施		
45 水防団同士の連絡体制の確保等による水防体制の強化	-	-
隣接市町と連携しての水防技術講習会等の実施	上里町	268
46 関係機関及び住民が連携した実働水防訓練の実施	-	-
令和5年度二市一町合同水防演習	境町	269
47 水防活動の担い手となる水防団員の募集や水防協力団体の指定の促進	実施事例なし	
48 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築		
49 庁舎、災害拠点病院等の水害時における対応強化		

191

ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組

取組内容	実施主体者	ページ番号
K) 氾濫水の早期排水のための効果的な施設運用	取組事例なし	
50 氾濫特性を踏まえた的確な排水機場の運用、水門の操作、排水ポンプ車の配置		
L) 緊急排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施	-	-
51 関係機関、自治体が共同して緊急排水計画(案)を作成	取組事例なし	
52 関係機関、自治体が連携した排水訓練の実施	-	-
栃木県排水ポンプ車の排水操作訓練を実施	栃木県	270
排水ポンプ車の実地訓練について	東京都	271
M) BCP(業務継続計画)に関する事項	取組事例なし	
53 水害時に行政機能を維持するBCPの策定		
54 水害に対応した企業BCP策定への支援		
N) 生活再建及び社会経済活動の回復のための民間力の活用	取組事例なし	
55 生活再建及び社会経済活動の回復のための民間力の活用		
O) 水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援	取組事例なし	
56 水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援		
P) 適切な土地利用の促進	-	-
57 適切な土地利用の促進	-	-
レゾリエントなまちづくりに向けて	上里町	272

192

ハード対策

- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No. 4 簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置

境町

■ワンコイン浸水センサ実証実験への参加

1 目的等

国土交通省水管理・国土保全局が実施する令和5年度ワンコイン浸水センサ実証実験に参加して、冠水ポイント、貯水池及び排水機場、合計18箇所に、リプロ社製の浸水センサを設置して、冠水状況等をリアルタイムで察知し、避難情報発令や通行止め又は通行制限などの生活情報発信に反映

2 全国各自治体等の参加状況 (R5.12.1時点)

参加自治体：53 参加企業：26 センサ製造者：6

【全国参加自治体等の状況】

【浸水センサ設置状況】  
境町：15箇所  
日本気象協会：3箇所  
●：浸水センサ設置場所

センサ属性情報  
センサID: 0054003006  
センサ状態: 浸水なし  
センサ管理者名: 茨城県境町  
観測日時: 2023/12/19 00:50:43  
浸水開始日時:  
設置場所: 境町  
設置高さ: 0.1m  
平均標高: 14.66m (国土院データ)  
緯度: 36.1104072  
経度: 139.8153263

【センサに関連する河川等】  
染谷川、中央排水路、都市排水路

ハード対策

- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No. 4 簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置

東京都建設局

■水防災情報の発信強化

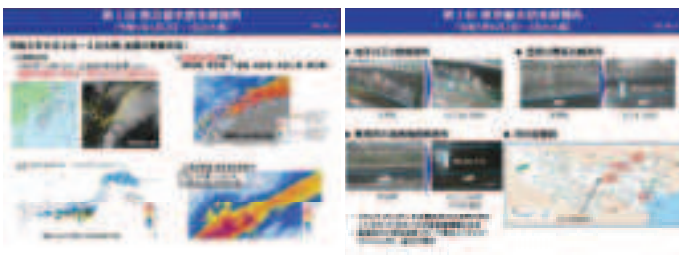
■河川監視カメラの映像公開

- 令和元年東日本台風を契機に河川の状況を分かりやすくリアルタイムに伝えるため、**河川監視カメラ等観測機器の設置拡大**を推進
- 令和5年度末時点で、**149箇所**の映像を公開  
※東京都水防災総合情報システム  
東京都水防チャンネル (YouTube) で公開中



■調節池の貯留実績等の公表

- 水防本部を設置した際には、発表した河川情報や調節池の貯留実績などを取りまとめた「東京都水防本部報告」としてHPで公表





ハード対策

C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No.5 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

越谷市

■防災ラジオの有償配付を実施

- 令和元年度～令和2年度で実施した防災行政無線のデジタル化再整備工事において、市内の音声到達範囲の均一化を図るとともに、市公式SNSやスマートフォンアプリ、電話自動応答サービス等、情報配信の多重化を図ったが、今もなお、防災行政無線が聞こえにくいとの問い合わせがある。
- 災害時における応援協定締結先のコミュニティFM放送局「こしがやエフエム」の電波を使用し、割込装置・自動起動装置により自動で緊急放送を聞くことができる防災ラジオを令和4年度に整備し、有償配付を実施した。令和5年度においても有償配付を実施し、好評だったため、年度内に再度実施予定。



照明機能により非常灯として使用可能

通常は一般のラジオとして使用可能 (AM3局、FM8局)

	局名		局名
FM	ハロー・ハッピー-868	FM	TBSラジオ
FM	NHK-FM	FM	ニッポン放送
AM	NHK 第一	FM	文化放送
AM	NHK 第二	FM	FM NACK5
FM	TOKYO FM	FM	Bay fm
FM	J-WAVE	AM	ラジオ日本



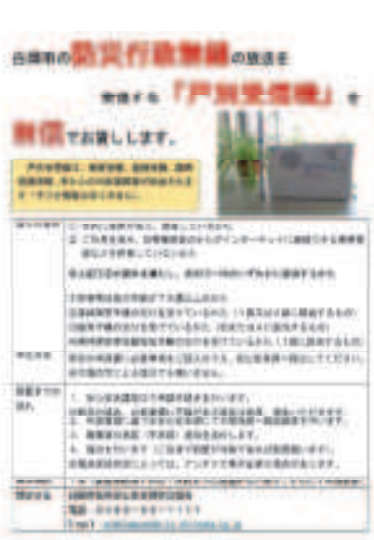
ハード対策

C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No.5 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

白岡市

■民生委員等に対する戸別受信機説明会を実施

- 令和3年度より要配慮者など情報収集が困難な世帯に対する的確な情報伝達を実施するため、屋内でも防災行政無線の放送内容が聴取できる戸別受信機の無償貸与を開始。
- 利用を促進するために、民生委員、児童委員、介護支援専門員に対し、戸別受信機の使用方法や無償貸与の対象者についての説明会を実施した。



配布したチラシ

【戸別受信機無償貸与対象者】

- ①市内に住所があり、居住しているかた
- ②本人を含み、世帯構成員のかたがインターネットに接続できる携帯電話などを所有していないかた
- ◎ 上記①②の要件を満たし、次の(1)～(4)のいずれかに該当するかた
  - (1)世帯構成員の年齢が75歳以上のかた
  - (2)身体障害者手帳の交付を受けているかた(1級または2級に該当するもの)
  - (3)療育手帳の交付を受けているかた(○AまたはAに該当するもの)
  - (4)精神障害者保健福祉手帳の交付を受けているかた(1級に該当するもの)

説明会実施後、民生委員を介して戸別受信機の貸与を実施する件数が増加した。また、民生委員等から戸別受信機に関する問い合わせ等も増え、反響は大きかった。



ハード対策

C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No.7 水防活動を支援するための水防資機材等の配備

小山市

■ドローン操縦訓練、河川調査及び映像伝送による情報の共有訓練

- ドローンにより広域の被害状況の確認や情報収集を行うための基本操縦訓練。
- 河川の水位や形状の調査。
- 飛行した際のリアルタイムの映像をWeb会議（ZOOM）を活用し、警防本部などに情報共有する訓練

河川調査



夜間における上空からの映像伝送



ハード対策

C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備  
No.7 水防活動を支援するための水防資機材等の配備

桶川市

■桶川市止水板設置費補助金の交付を開始

◆背景

- 先進的事例を参考に令和5年度から補助事業を開始。
- いつ発生するか分からない線状降水帯や集中豪雨、大型の台風等による浸水被害に対応するため、重く移動が困難な土のうではなく、各家庭や事務所等建築物の設計状況等に合わせた、止水板設置の補助を行うことで被害の防止や軽減を図る。

◆内容

- 止水板の設置及び関連工事を行う建築物等の所有者又は使用者に補助金を交付。
- 補助金額は事業経費（止水板購入費用・設置工事等）の**2分の1以内**とし、**50万円を限度**とする。

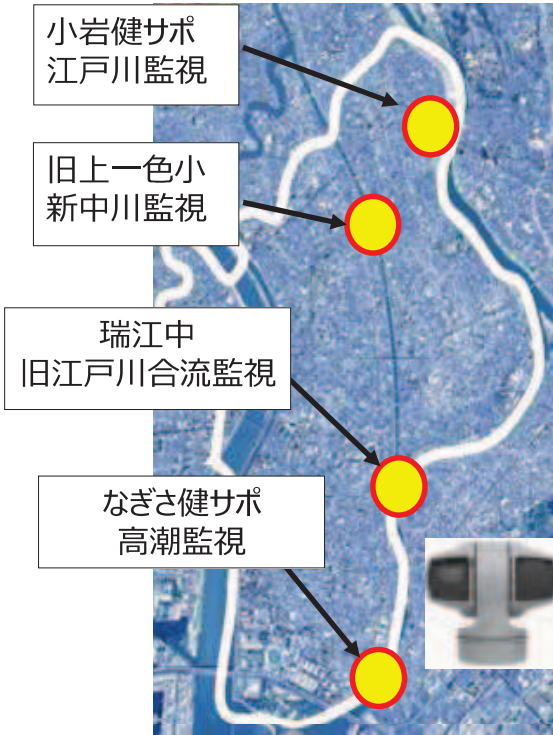
◆実施効果

- 12月末現在、本申請は**1件**、事前相談は**4件**に留まっている。
- 大雨予報のたびに職員が土のうを運搬するケースがあるが、止水板設置費補助により、職員の土のう運搬業務の負担軽減効果も期待できる。

項目	内容
1. 申請対象となる対象者の範囲	1-1 個人事業主・個人住民 企業等の個人に対しては経営者でなければならず、役員等を除く。
2. 対象となる事業	個人事業主の事業活動、個人住民の個人活動に限定する。
3. 申請対象となる事業の種類	個人事業主の事業活動、個人住民の個人活動に限定する。ただし、個人事業主の事業活動に限定する場合は、個人事業主の事業活動に限定する。
4. 申請対象となる事業の金額	個人事業主の事業活動に限定する場合は、個人事業主の事業活動に限定する。個人住民の個人活動に限定する場合は、個人住民の個人活動に限定する。
5. 申請対象となる事業の期間	個人事業主の事業活動に限定する場合は、個人事業主の事業活動に限定する。個人住民の個人活動に限定する場合は、個人住民の個人活動に限定する。
6. 申請対象となる事業の地域	個人事業主の事業活動に限定する場合は、個人事業主の事業活動に限定する。個人住民の個人活動に限定する場合は、個人住民の個人活動に限定する。
7. 申請対象となる事業の申請方法	個人事業主の事業活動に限定する場合は、個人事業主の事業活動に限定する。個人住民の個人活動に限定する場合は、個人住民の個人活動に限定する。
8. 申請対象となる事業の申請時期	個人事業主の事業活動に限定する場合は、個人事業主の事業活動に限定する。個人住民の個人活動に限定する場合は、個人住民の個人活動に限定する。
9. 申請対象となる事業の申請場所	個人事業主の事業活動に限定する場合は、個人事業主の事業活動に限定する。個人住民の個人活動に限定する場合は、個人住民の個人活動に限定する。
10. 申請対象となる事業の申請手数料	個人事業主の事業活動に限定する場合は、個人事業主の事業活動に限定する。個人住民の個人活動に限定する場合は、個人住民の個人活動に限定する。
11. 申請対象となる事業の申請料	個人事業主の事業活動に限定する場合は、個人事業主の事業活動に限定する。個人住民の個人活動に限定する場合は、個人住民の個人活動に限定する。
12. 申請対象となる事業の申請料	個人事業主の事業活動に限定する場合は、個人事業主の事業活動に限定する。個人住民の個人活動に限定する場合は、個人住民の個人活動に限定する。

■ 河川水位確認を目的としたAI解析による実証実験

・河川カメラライブ映像による河川氾濫状況の監視に加え、AI解析を用いた画像解析により水位の確認を行う。



### AI解析イメージ

	入力画像	AIによる水面検出 (緑部分)	イメージ (加工した画像)
日中			
夜間			

### 運用画面イメージ

■ 河川水位確認を目的としたAI解析による実証実験

● 目的

AIが水位を観測・予測を担うことで、水位観測を行う職員の負担軽減や区民への正確かつ 迅速な情報発信につなげる。

● スケジュール (予定)

- 令和5年度 AI解析用カメラ設置
- 令和6年度 データ収集
- 令和7年度 AI解析による水位予測を開始

● 4箇所の選定理由

各カメラの用途としては資料3の地図に記載している施設名の下へ記載  
今回のAI解析では、水位観測を目的としているため、堤防と水面との境を判断する必要があり、堤防との見通しが取れて、画面上で堤防が直線となる箇所を選定するため、記載している4箇所の施設を選定

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知
- No.11 まるごとまちごとハザードマップの整備・拡充

上里町

■ 河川沿いの想定浸水深が深い地域への標識看板の設置

町の西側及び北側に、それぞれ神流川、烏川・利根川が流れている。地域の洪水による浸水のリスクについて知ってもらい、水防災への意識を高めることを目的に、生活空間である「まちなか」に想定浸水深標識看板を設置した。

行政区長からの提案をきっかけに取り組んでいる事業であり、現地に想定浸水深を表示することで、多くの方に浸水リスクを認識してもらい、日頃より避難行動について考えてもらうことにつなげたい。

町内の水害リスクの高い地域への設置を計画的に実施しており、2年度目となる。

今年度は、烏川と神流川が合流している地域（黛・西金地区）の電柱30か所に設置した。



201

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知
- No.11 まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充

流山市

■ 洪水ハザードマップの更新を実施

- 令和3年7月に改正された「水防法第14条」の規定により、新たに作成が必要となった県内の小規模河川91河川「想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図」を千葉県が令和4年3月29日に指定・公表した。流山市では、大堀川及び今上落が新たに追加された。
- それに伴い、令和2年9月に作成した流山市洪水ハザードマップを令和5年9月に更新し、市内を流れるすべての河川の洪水浸水想定区域図となった。近隣自治会に配布及び回覧を実施した。



202



## ■避難情報の判断（・伝達マニュアルの見直し）

### 【具体事例】 避難指示等に関する研修会の実施

- 災害時の市町の初動対応のあり方や避難指示等の発令に関して、事例紹介やグループワークを交え、より現実に即した理解を深めることを目的として研修会を開催した。

#### ■実施時期

令和5（2023）年7月25日（火）

#### ■対象者

市町職員 26名

#### ■実施内容

- ・適切な避難指示等についての座学研修
- ・過去の事例分析
- ・風水害時の対応シミュレーション等についてのグループワーク

#### ■講師

（株）防災＆情報研究所



グループワークでの意見交換の様子

205

## ■避難情報の判断（・伝達マニュアルの見直し）

### 【具体事例】 防災トップセミナーの実施

- 災害時に市町長等がリーダーシップを発揮し、的確な対応がとれるよう知識の習得を目的とするもの。市町長対象と副市町長対象とを交互に開催しており、令和5年度は副市町長を対象に副市町長会議の一部として開催。



■実施時期 令和5（2023）年10月25日（水）

■参加者 県内副市町長等 29名

■内容 「防災気象情報と住民避難」

■実施主体 栃木県

206

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- No.20 避難場所・避難経路の再確認と改善

伊勢崎市

■ 総合防災マップを改訂

【令和5年度の実施状況】

初版から5年が経過し、この間に災害対策基本法と水防法が改正されたことにより改訂し市内全戸に配布しました。その後、解説動画を作成してYouTubeとホームページにアップして周知しました。



伊勢崎市のマスコットキャラ「くわまる」を配置して親しみやすく、また黄色で目立つものにしました。

YouTubeを観ながら、防災について理解を深めてもらいます。



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- No.20 避難場所・避難経路の再確認と改善

栃木県

■ 避難情報の判断（・伝達マニュアルの見直し）

【具体事例】 避難所運営に関する研修会の実施

➢ 避難所の開設・運営のための平時からの準備や災害時の対応、避難所の感染症対策等に関して、事例紹介やワークショップを交え、より現実に即した理解を深めることを目的として研修会を開催した。

- 実施時期  
令和5（2023）年6月8日（木）
- 対象者  
市町職員 30名
- 実施内容
  - ・避難所の実情とその課題についての座学研修
  - ・実際の避難所運営時の諸課題について実践的に学ぶワークショップ
- 講師  
（一社）減災・復興支援機構



避難所受付の訓練の様子

- ソフト対策④逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

No.26 氾濫特性を考慮した被害シナリオと緊急避難及び広域避難計画の策定

## ■板倉町洪水時住民避難計画の策定及び避難訓練の実施

板倉町

### ○板倉町洪水時住民避難計画の策定

住民の避難場所、避難経路、避難手段等について定めることにより、住民の生命及び財産を確実に守ることを目的とする。この計画において、屋内避難所の絶対的な不足を解消するため、車による避難、車中避難を避難方法の中心としている。

### ○避難場所及び避難経路の指定

- 町内の避難場所への避難を希望する町民に対し、行政区ごとに避難場所を指定し、特定の避難場所への集中を防ぐ。
- また、多数の住民が一斉に避難を開始することにより、深刻な道路渋滞が懸念されることから、行政区ごとに避難経路を指定することで、特定の道路への集中を回避する。



【指定避難経路】

### ○避難をする際のルール

- 避難する車は1世帯につき1台
- 1台につき最低2人は、車中避難とする
- 駐車許可証の発行 等

【駐車許可証レイアウト】



### ○少しでも安全な車中避難とするために

- 最低3日分の水・食料の持参の徹底
- 暑さ対策、エコノミークラス症候群の予防

【洪水時住民避難計画に基づく避難訓練の実施】



【車中避難の手引（暑さ対策の例）】



209

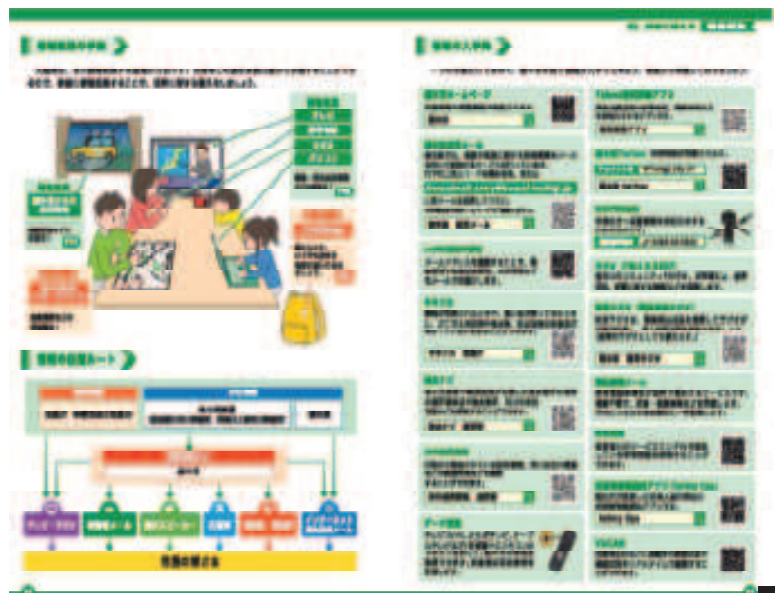
- ソフト対策①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知

No.28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知

## ■防災ハザードマップを作成

栃木市

- 栃木県が作成した中小河川の浸水想定区域図、土砂災害警戒区域の新規指定・変更箇所等を反映したハザードマップを作成し、全戸配布した。
- また、新規転入者に配布予定。



210

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等
- No.28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知

■ハザードブック（マップ）の見直し及び広域避難の普及啓発

◆概要

令和4年度に見直しを実施したハザードブックにおいて、広域避難に関する記述を追加した。また、5月に市内各公民館で説明会を開催し、その後も要請を受けた行政区での出前講座や青年会議所が主催するイベントにおいて説明を実施した。

◆説明実施

19カ所（公民館11カ所、行政区等7カ所、イベント参加1箇所）

◆成果及び今後の予定

説明会にて広域避難の概要について普及啓発することができた。今後も、機会を通じて普及啓発を実施する。



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等
- No. 28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知

■防災ハザードマップを活用した広域避難訓練を実施

▶ 昨年度までの経緯・背景

従来の防災ハザードマップと令和元年東日本台風を契機に水害リスクの実態を整理し避難方法を示した啓発紙（洪水避難決断ブック）の内容を組み合わせた新たな防災ハザードマップを令和5年3月に全戸配布した。

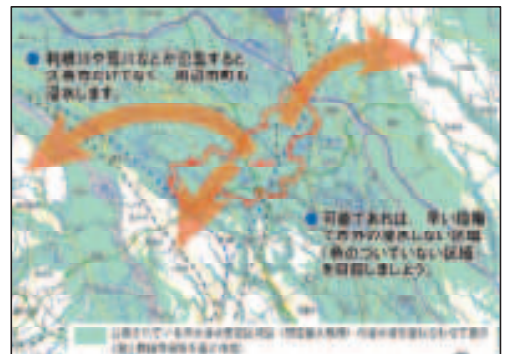
- 具体的には次の内容を防災ハザードマップに反映させた。
- ・市内水害リスクの啓発
- ・広域避難や在宅避難を含む避難方法
- ・在宅避難可否判定フロー
- ・マイ・タイムライン作成欄 等

▶ 実施内容・今年度の実施状況

参加住民は、サイレン吹鳴を合図に避難を開始し、バス配車予定地である学校で受付及びバスに乗り。その後、比較的 안전한市内避難所へバスで避難。バスは災害協定先であるバス業者に委託。  
 【開催日時】 令和5年9月2日（土）8：45～10：30  
 ※市総合防災訓練の訓練項目として実施  
 【対象者】 訓練参加重点地区の住民、災害協定先バス会社、市職員（合計約30名）

▶ 実施効果

- ・広域避難に関する住民への周知
- ・参加者のイメージアップ、
- ・広域避難支援の実効性確保 等



広域避難に関する内容を防災ハザードマップに反映



広域避難訓練における住民受付

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

坂東市

■ **マイ・タイムライン作成を実施**

市民の皆さんと行政が力をあわせ、市民一人ひとりが生き生きと暮らす、豊かで住みよいまちづくりを推進するために、「坂東市まちづくり出前講座」を実施しています。出前講座は、地震・洪水等の災害時、どのように対応すべきか？市の防災体制について、皆さんの要請に応じて市の職員が講師として、公民館や集会場等に出向く制度です。出前講座では、企業の学習会、学校の授業、子供会やPTA活動の一環として、スライドやビデオを使用して、防災に関する基礎知識や対応方法を気軽に学べる講座を実施しています。



マイ・タイムライン作成講座  
坂東市立東中学校  
【令和5年7月4日】



マイ・タイムライン作成講座  
坂東市立中川小学校  
【令和5年9月26日】



マイ・タイムライン作成講座  
坂東市立七郷小学校  
【令和5年9月27日】

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

五霞町

■ **学校授業を活用したマイ・タイムライン作り**

中学校3年間で計画的・系統的な防災教育を実施することにより、防災に対する意識を高め将来にわたって(いつでも・どこでも)生きる基礎的な知識をもち、状況に応じて必要な行動が取れる生徒を育成することを目的にマイタイムライン作りを実施。

- 日 時：令和5年6月30日(木)
- 場 所：五霞中学校
- 参加者：五霞中学校生徒及び保護者  
防災士(役場職員)  
五霞町役場 生活安全課  
五霞町役場 教育委員会



オンラインにて説明を受ける



各親子でのマイタイムライン作りの様子



各グループでのマイタイムライン作りの様子

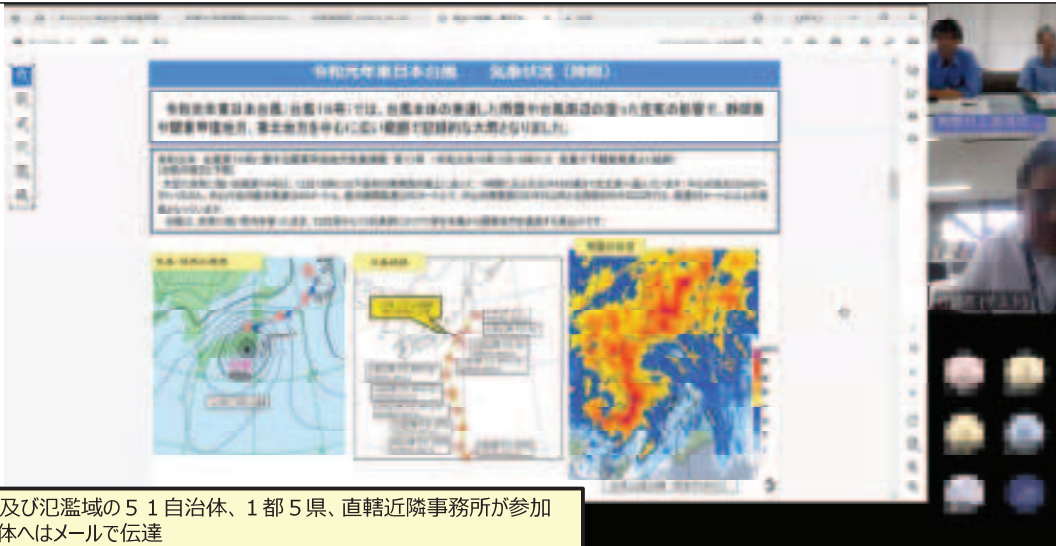
- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

利根川上流  
河川事務所

## ■ オンライン情報共有『防災意思疎通WEBライン』の訓練及び本番を実施

○令和4年10月より運用開始した水位上昇時等にWEB会議（Teams）を活用し、行政機関と情報共有を行うオンライン情報共有『WEBライン』について、今年度は減災対策協議会構成員の方々と訓練及び本番を実施。

- ・令和5年 6月30日 当事務所からの情報提供に際し、個別にカメラ・音声・画面共有・チャット機能の確認
- ・令和5年 7月21日 前回の改善状況の確認と実運用での留意点・課題について意見交換
- ・令和5年 8月10日 台風7号に対するWEBライン実施
- ・令和5年10月30日 「渡良瀬川下流部 洪水予報」対象の県、市、町、河川事務所において『水位予測情報の共有会議』演習実施



利根川上流沿川及び氾濫域の5自治体、1都5県、直轄近隣事務所が参加  
※欠席の4自治体へはメールで伝達

215

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.30 タイムラインに基づく実践的な訓練

明和町

## ■ 消防庁、県と連携した「小規模町村災害時初動対応訓練」の実施

- 大規模な浸水被害を想定した「小規模町村災害時初動対応訓練」を図上訓練として実施。
- 災害発生直前から、発災後3日までのシナリオをコントローラーから次々と付与され、避難情報発令のタイミング等を確認した。
- 実際に災害対策本部会議を開き、対応方針を決定する等、リアルな災害現場対応を再現した。

参加機関：明和町職員（60名）消防庁、気象庁、県（危機管理課、館林行政県税事務所）、群馬県警館林警察署、明和消防署 計80名以上参加



災害対策本部会議の様子



コントローラーの様子

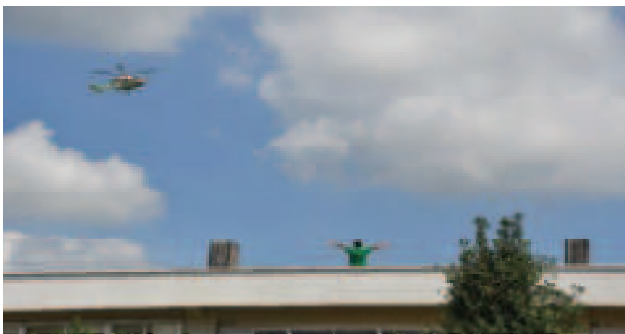
216

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.30 タイムラインに基づく実践的な訓練

千代田町

■ 水害を想定した町防災訓練を実施し、避難指示での行動を確認

令和5年9月3日（日）町立千代田中学校にて、水害を想定した「第21回千代田町防災訓練」を実施しました。まだまだ厳しい暑さの残る中でしたが、総参加人員約600名は、避難指示時に防災無線から吹鳴されるサイレンの合図で参集し、大粒の汗を流しながらそれぞれの種目を体験、災害時の行動について確認してくれていました。（写真右上：各展示ブースの様子。写真右下：炊出しと記念品の非常持ち出し袋の配付を受ける参加者。）



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.30 タイムラインに基づく実践的な訓練

加須市

■ 総合水害広域避難訓練を実施

大型台風の接近を想定した図上訓練と大型台風の接近・上陸を想定した避難情報の発令による広域避難、避難場所開設及び運営訓練と分けて実施しました。

図上訓練 (実施日：令和5年5月12日)

避難場所訓練 (実施日：令和5年7月2日)

第1部 災害対策運営本部運営訓練	
参加者	災害対策本部員（市長を含む）
訓練内容	加須市地域防災計画（風水害対策編）に基づく利根川・渡良瀬川・荒川タイムラインの対応事項において、進行役による質問と担当本部員からの回答を繰り返し、各担当部（局）の対応を確認する「学習型訓練方式」による訓練方法により実施。
第2部 情報連携訓練	
参加者	ホットライン関係団体（熊谷地方気象台、利根川上流河川事務所、荒川上流河川事務所、渡良瀬川河川事務所、行田県土整備事務所）及び災害対策本部員
訓練内容	ホットライン関係団体との情報連携訓練（オンライン使用）ホットラインのタイミングの確認、及び関係団体からの情報共有を実施。

広域避難訓練	
参加者	自治協力団体（北川辺地域、大利根地域、樋遣川地区、大越地区）、民生委員・児童委員、加須警察署
訓練内容	バス、自家用車による広域避難。加須警察による交通誘導訓練（信号機の調整）を実施。
避難場所開設・運営訓練	
参加者	自治協力団体（加須地域・騎西地域）、民生委員・児童委員、久喜中央三菱自動車販売(株)
訓練内容	避難場所の開設・運営訓練（令和5年度座学のみ） 【新規取組】 ・水害時避難場所へ避難してきた災害時要援護者を福祉避難所へ誘導。 ・災害時応援協定に基づき、電気自動車による電力供給。



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 (2/2)
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No.30 タイムラインに基づく実践的な訓練

葛飾区

### ■江東5区広域避難情報発令の図上訓練の実施

令和5年11月30日に全国初となる複数自治体及び関係機関で連携した広域避難情報発令の図上訓練を実施しました。

江東5区（墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区）をはじめとして、東京都（総合防災部）、内閣府（防災担当）、国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所及び気象庁東京管区気象台と共に、大型で猛烈な台風が東京に上陸することを想定し、広域避難の検討から広域避難情報の発令までの流れをロールプレイング形式で訓練しました。

訓練当日の時刻	出	内容
10:00~10:20	20	開会 訓練が盛況な進行の様子をリモートでの配信 （配信先：関係機関）
10:20~11:10	50	演習① 両国地区関係機関の緊急会議 （17分以降の配信 10:25分頃より開始）
11:10~12:00	50	演習② 両国地区関係機関の緊急会議 （17分以降の配信 11:15分頃より開始）
12:00~12:30	30	休憩
13:00~13:30	30	演習③ 国土交通省関東地方整備局及び気象庁との連携 （17分以降の配信 13:10分頃より開始）
13:30~14:40	50	演習④ 国土交通省関東地方整備局及び気象庁との連携 （17分以降の配信 14:10分頃より開始）
14:40~15:30	50	演習⑤ 国土交通省関東地方整備局及び気象庁との連携 （17分以降の配信 15:10分頃より開始）
15:30~15:45	15	休憩
15:45~16:30	45	閉会の挨拶・挨拶 ～参加者からの振り返り ・参加者からの感想（演習中、演習後、休憩中） ・当日の感想

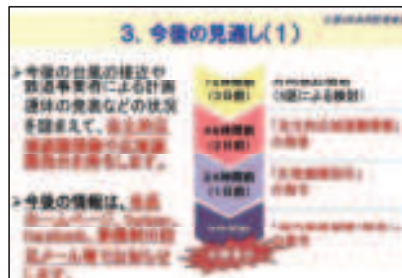
訓練スケジュール（場面ごと）



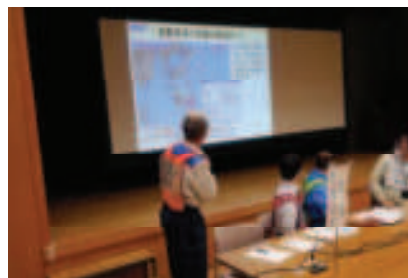
訓練風景：全体



訓練風景：災害情報収集



合同記者会見資料



訓練風景：合同記者会見

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- No. 30 タイムラインに基づく実践的な訓練

宇都宮地方  
気象台

### ■タイムラインに基づく実践的な訓練を実施

- 令和5年度栃木県・塩谷町防災図上総合訓練に参加（令和5年7月18日開催）。
- 想定気象状況として、令和元年東日本台風を利用し、現地災害対策本部（栃木県）と連携した防災対応を行う訓練において気象解説を実施。



防災図上訓練開催の様子（場所：栃木県庁）

### ■ 防災士を取得した市民と防災担当職員が連携した防災研修

- 自治会で自主防災組織を立ち上げ、さらに、市の助成を受けて、防災士の資格を取得し、地域の防災リーダーとなっていた。
- 本地域の防災士が中心となり、防災訓練等の今後の活動計画等を地域で話し合いを行った。また、市の職員も参加しサポートを行った。
- 市の職員によるハザードマップ及びマイ・タイムラインの防災講話を行った。
- 今後も地域の防災士を増し、地域防災力を高めていきたい。

防災士、自治会長、民生委員及び  
班長と今後の防災活動の話し合い風景



市の職員による防災講話風景



221

### ■ 宮代町防災・防犯マスター講座開催

この講座は、防災と防犯の両分野において基礎知識を学びながら、全6回の講座を通して防災・防犯に関する地域のリーダーとなってもらうことを目的とした講座となります。

#### 【講座一覧】

- 第1回：自主防災組織リーダー養成講座
- 第2回：マイ・タイムライン作成について
- 第3回：防犯パトロールについて  
泥棒と割れ窓理論
- 第4回：宮代町地域防災訓練
- 第5回：あなたの住まいの防犯対策  
よくわかる木造住宅の耐震化
- 第6回：犯罪の発生傾向と対策について  
防火防災について



222

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No. 33 地域防災力の向上のための人材育成

東京管区  
気象台

## ■ 気象防災ワークショップの実施 ～毎年の取組みとして～

- 市区町村が発令する避難情報を疑似体験するグループワーク。
- このワークショップを通じて、防災気象情報を適切に理解し、自治体の体制の強化や避難情報の発令のタイミングなど判断のポイントを学んでいただき防災対応力の向上を目指す。
- 気象庁では、すべての自治体を対象に実施。毎年の取組みとして改善を重ねていく。



223

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No. 33 地域防災力の向上のための人材育成

水戸地方  
気象台

## ■ 市町村防災担当者講習会の実施

- 各市町村防災担当者等の災害対応能力向上を目的として、茨城県が実施する「茨城県災害対応勉強会」に参画し、災害対応勉強会の一部として、水戸地方気象台・茨城県市長会・茨城県町村会との共催により、「災害対応講習会」をオンラインで実施した。
- また、各種の防災気象情報を適切に理解し、避難情報発令のタイミングなどに関する検討を行い、防災対応力向上を目指す「気象防災ワークショップ」をオンラインで開催した。

- ・5月19日 (金)、2月5日 (月) 「災害対応講習会」
- ・5月24日 (水)、11月28日 (火) 気象防災ワークショップ (中小河川洪水災害編)
- ・5月31日 (水)、12月1日 (金) 気象防災ワークショップ (土砂災害編)



気象防災ワークショップ (オンライン開催) の気象台側の様子



災害対応講習会の様子 (対面及びオンラインにより実施)

224

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- 1) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

古河市

■「行動してみよう！水害から命を守る自家用車避難」の実施

- 浸水想定区域に居住し、水害時に自家用車で避難を考えている市民の意識向上と避難の実効性向上を図るために、「行動してみよう！水害から命を守る自家用車避難」を9月3日（日）に実施した。
- 訓練参加者は自宅から各自の避難先まで、実際に自家用車で避難し、避難経路の確認や、避難の際に予想される障害（渋滞や冠水）などのリスクを考えてもらった。
- 避難完了後または避難の途中で「ゴヨーふれあいスポーツセンター」に立ち寄り、避難所体験を行った。避難所体験では、避難所の受付方法や避難時の情報取得方法、市職員による避難経路の指導を行った。また、段ボールベッドや仮設トイレ、備蓄品の展示を行った。



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- 1) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

古河市

■「やってみよう！水害から命を守るシミュレーション」

- 新たなマイ・タイムライン作成普及の取組として、スマートフォンで手軽にマイ・タイムラインを作成することができる「やってみよう！水害から命を守るシミュレーション」を公開した。
- マイ・タイムラインの作成を少しでも取り組みやすくするため、スマホから8個の質問に答えるだけで、マイタイムラインを作成できるツールを作成した。また、解説動画もあるので、避難時の注意点やマイ・タイムライン作成時のポイントを理解することができる。
- 8個の質問の回答結果が登録したメールアドレスに送信され、それが自分のマイタイムラインになる。



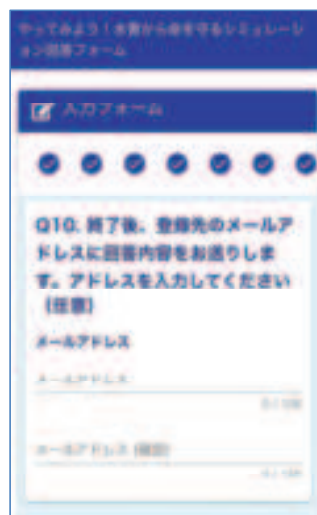
解説動画

質問

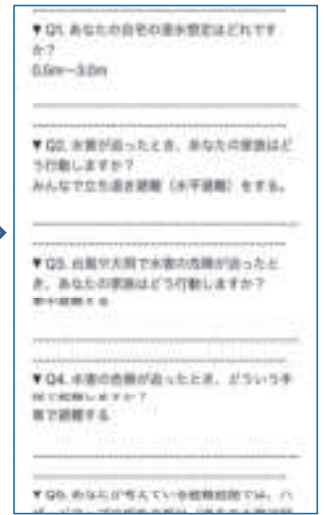


プレイはこちらから

①メールアドレスの入力



②回答結果が届く



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- 1) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

常総市

■市職員や自主防災組織の方を対象とした避難所開設訓練を実施

➤ 避難所開設運営訓練

指定避難所及び福祉避難所の開設担当者と、各団体（防災士連絡協議会・災害ボランティア行政支援隊・自主防災連絡協議会及び各支援隊）が連携して、避難所開設及び受付・収容等について訓練を実施し、実災害時の円滑な避難所運営の資とする。

- 日時：令和5年7月31日
- 場所：指定避難所となる小学校体育館
- 内容：避難所開設及び運営



【避難者受付】  
開設者と避難者に分かれて実施



【段ボールベット設置】



【間仕切りテント】

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- 1) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

境町

■令和5年度総合防災訓練及び防災講演会

1 令和5年度総合防災訓練（広域避難訓練）

- (1) 時期・場所 令和5年10月14日（土）、役場庁舎、町内全域及び県立八千代高校
- (2) 参加者 825名（町民513名/避難車両244台、バス避難者99名/バス6台、関係機関・職員等213人）

2 防災講演会

- (1) 時期・場所 令和5年5月12日（金）、境町中央公民館
- (2) 講師 東京大学大学院 片田敏孝特任教授
- (3) 参加者 区長会、関係機関・団体等の防災リーダー293名

【防災講演会の状況】



主催者挨拶 橋本町長

講師  
東京大学大学院情報学環  
片田 敏孝 特任教授

演題「災害犠牲者『ゼロ』を目指すこれからの境町防災を考える」

【総合防災訓練（広域避難訓練）の状況】



要配慮者のバスによる避難

自家用車による避難

避難所による受付の状況

陸自・職員・女性消防団による合同炊事

終了式の状況

体験訓練の状況

■大雨による土砂災害を想定した避難訓練等の実施

【実施内容】

大雨による土砂災害を想定した避難訓練等を実施した。

○日 時：令和5年6月24日

○対象地区：氷室地区

○訓練会場：氷室地区公民館

○主な訓練内容

- ・避難に関する情報伝達訓練
- ・避難所開設及び運営に関する訓練
- ・栃木県県土整備部安足土木事務所職員による土砂災害模型を使用した実験及び説明等
- ・自宅から避難所への避難訓練
- ・防災講話、AED講習



避難所用ダンボールベッドの作成



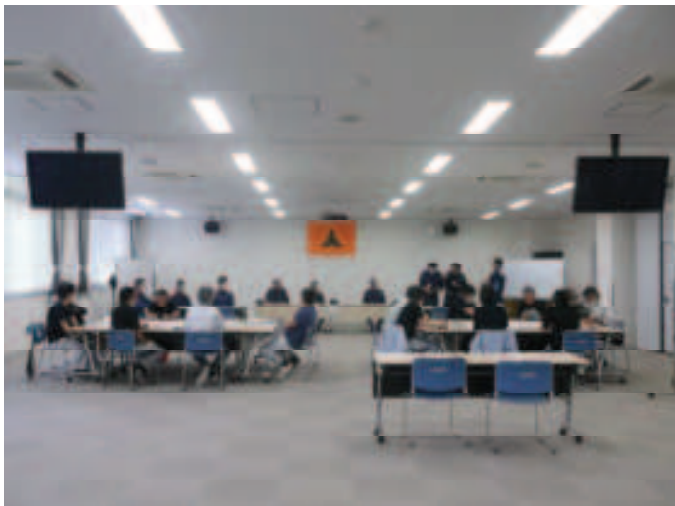
AED講習

■邑楽町総合防災訓練（水災害想定）の実施

- 令和5年9月3日（日）に水災害を想定して総合防災訓練を実施した。
- 大型台風の接近を想定し、職員参集訓練（災害対策本部）・情報伝達訓練（防災行政無線・お知らせメール）・消防団による災害広報訓練を実施した。
- また、並行して自主防災組織及び女性消防隊による避難訓練・避難所設営訓練を実施し、総合的な防災力の強化を図った。

災害対策本部設置訓練

避難所設営訓練



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

邑楽町

■ 町民を対象とした防災教育の実施

- 令和5年12月6日（水）に役場職員が講師となり町民を対象とした防災対策講話を実施した。
- 災害の備えについて、パワーポイントにて説明及び防災クイズを実施することにより、防災知識の向上を図った。

防災対策講話の様子



パワーポイント・防災クイズの一部



231

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

熊谷市

■ 洪水ハザードマップやマイ・タイムラインについての講習会等を実施

1. 自主防災組織等における講義

- 自主防災会等が行う防災訓練に合わせて、当課の職員が洪水ハザードマップの解説や、マイ・タイムラインの作成等の講義を行った。
- 23回実施、約1,000人受講（令和5年度）

2. 地元の大学や直実市民大学における講義

- 市内にキャンパスがある立正大学において、「地方自治論」のうちの1コマで防災に関する講義を行った。  
【令和5年10月3日（火）】 【51人】
- 市が運営する、市内在住・在勤者を対象とした学習の場である、直実市民大学の共通学習において、洪水ハザードマップを使った防災に関する講義を行った。  
【令和5年6月1日（木）】 【55人】

232

- ソフト対策 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

羽生市

## ■ 羽生市総合防災訓練を実施

### ○訓練想定

関東地方の広い範囲で記録的な大雨が続いており、利根川八斗島観測所の水位が避難判断水位に到達し、今後も利根川上流部で雨が降り続く予報であるため、羽生市は、11月19日午前7時30分に、市内全域に高齢者等避難を発した。

### ○訓練種目

- ① 避難誘導訓練（バスによる浸水区域外避難）
- ② 被災地調査訓練（ドローン等）
- ③ 水防工法訓練
- ④ 避難所開設・運営訓練
- ⑤ 浸水域歩行訓練 など



自主防災組織による避難誘導訓練写真  
(バスによる浸水区域外避難)



市水防団による水防工法訓練写真

233

- ソフト対策 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

上尾市

## ■ 避難訓練への地域住民の参加促進

### 令和5年度上尾市住民避難訓練の新規実施

上尾市内6地区、各地区1ヶ所ずつ指定避難所を選定し、年間で計6回行う災害時住民避難訓練。避難行動要支援者避難訓練・中学生のボランティア参加も同時に実施。

#### 〈内容〉

- ・避難訓練  
避難所までの避難を通じて、避難経路の確認および経路上の危険箇所の把握する訓練。
- ・協定企業等によるブース展示  
市と災害協定を締結している企業等のブース展示を通じ、防災に関する周知・啓発を図る。
- ・避難判断トレーニング講座  
外部講師による災害時の情報集約や避難判断に関する講座。

#### 〈効果〉

- ・避難訓練  
避難経路および経路上の危険箇所の把握や、住民同士の関係性の向上、災害時における協力体制の構築。
- ・協定企業等によるブース展示  
ブースの展示・見学を通じた住民の防災意識向上や協定事業者同士の顔の見える関係づくりの構築。
- ・避難判断トレーニング講座  
自然災害から身を守り、被災した場合でも的確に判断し行動できる知識の習得。

避難訓練の様子



協定企業等によるブース展示の様子



避難判断トレーニング講座の様子



234

■水害啓発動画の作成・活用

◆背景

近年、台風などの水害が発生するリスクが高まっていることから、市民に対し水害リスク及び命を守る方法を周知するために作成したものです。

◆実施内容

草加市特有の水害リスク、マイ・タイムラインの作成方法等を、わかりやすく動画でまとめ、You Tube配信しています。

◆実施効果

令和4年5月から配信を始め、総再生回数約13,000回となっています。  
(4部構成になっている動画の合計再生数)

【チラシ】



【R4/5/26利根川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会で紹介された様子】



■ハザードマップ改訂に伴う説明及び水防災に関する講話の実施

実施内容

- 平成28年3月に作成した伊奈町防災マップについて、令和4年度中に想定最大規模降雨に対応した洪水ハザードマップを作成した。
- また、マップ上に洪水時の利用に適さない避難所や、避難方向の矢印を新たに追加することにより、住民にとって伝わりやすい内容となるように実施した。
- ハザードマップの作成に伴い、住民に対しての防災講話による周知を実施した。



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

上里町

■ 自主防災組織と連携した避難訓練、避難所設営体験を実施

モデル地区として設立され、積極的に活動を行っている自主防災組織が主体となり、未組織の周辺地域にも呼びかけての避難訓練及び避難所設営体験を町も連携して実施した。

避難先は、実際に避難所となる地元の中学校体育館とし、避難後は中学校に備蓄されている備蓄品（パーティション、段ボールベッド、全自動トイレ等）を設置して避難所設営も体験した。

地域ごとに、自宅から避難所まで徒歩で、経路や周囲の状況等を確認しながらの避難を行った。また、埼玉県危機管理防災部危機管理課の職員も参加し、断水時の対応策として、中学校に設置されている受水槽の活用方法を周知し、もしもの時の対応を学んでもらった。

○実施日：令和5年10月1日（日） 38名参加



237

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

群馬県

■ 出前なんでも講座やマイ・タイムライン作成講習会を実施

- 県内にある地域団体からの要請を受け、県職員が講師になる「出前なんでも講座」において、「水害に備えて」をテーマに講習会を実施。
- 県減災対策協議会において市町村と連携し、水害リスクのある地区を対象にマイ・タイムライン作成講習会を実施。

【出前なんでも講座】

- 令和5年 6月12日 群馬法科ビジネス専門学校
- 令和5年 7月7日 桐生市高齢者大学
- 令和5年 7月18日 前橋市清陵高校
- 令和5年 7月21日 前橋市もものせ児童クラブ
- 令和5年 7月28日 前橋地方検察庁
- 令和5年 8月25日 日本政策金融公庫
- 令和5年 9月27日 藤岡市美九里東小4年
- 令和5年11月10日 前橋市元総社南こどもクラブ
- 令和5年11月15日 社会福祉総合センター
- 令和5年12月11日 太田地区防火安全協会
- 令和6年 2月6日 高崎市車郷小6年
- 令和6年 2月18日 伊勢崎市百々親友会
- 令和6年 2月28日 群馬県生活協同組合連合会

【マイ・タイムライン作成講習会】

- 令和5年 7月29日 玉村町（玉村町清掃センター）
- 令和5年 9月5日 上野村（上野村役場 会議室）
- 令和5年12月15日 榛東村（榛東村役場 村民ホール）



出前なんでも講座  
R5.12 太田地区防火安全協会



出前なんでも講座  
R5.7 桐生市高齢者大学



マイ・タイムライン作成講習会  
R5.12 榛東村



マイ・タイムライン作成動画



マイ・タイムライン作成講習会資料

238

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組
- 1) 水防災に関する説明会や避難訓練の開催
- No. 35 防災に関する説明会や避難訓練の開催

宇都宮地方  
気象台

## ■ 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

- 台風の接近等に伴う影響や防災上の留意事項等について、台風説明会を対面とオンライン形式で開催。
- 宇都宮地方気象台と関東地方整備局で共同開催し、関係機関に注意、警戒を呼びかけ解説資料を提供（栃木県関係部局と各市町等にはオンラインにても実施）。

○令和5年度台風説明会等開催状況

- ・令和5年8月 4日 台風第6号
- ・令和5年8月10日 台風第7号
- ・令和5年9月 6日 発達する熱帯低気圧
- ・令和5年9月 7日 台風第13号



台風説明会開催の様子  
(場所：宇都宮地方気象台)



台風説明会資料一部抜粋

**留意事項**

- ◆ 栃本県では、各自治体過ぎから激しくかけて、警報級の大雨となる見込みです。
- ◆ これまでに降った大雨により、地盤の緩んでいる所があります。土砂災害に厳重に警戒し、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒してください。

今後の台風の進路により、雨の降り方が変わる可能性もありますので、最新の台風情報に留意してください。

239

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組
- 1) 防災教育や防災知識の普及
- No. 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

熊谷地方  
気象台

## ■ オンラインによる台風雨説明会等を実施

- 埼玉県や関東地方整備局と共同で、オンラインによる台風説明会等を3回実施しました。
- ・ 埼玉県、自治体、報道機関等にZOOMを使用したWeb形式で開催。
- ・ 説明資料を関係機関にメールで共有。
- ・ リアルタイムで参加できなかった機関向けに説明録画を限定公開。

○実施日

- ・ 6月2日
- ・ 8月13日
- ・ 9月6日



説明会開催（熊谷地方気象台）

**警戒・注意報が予想される時間帯(6月2日11時現在)**

自治体	6月2日		6月3日	
	警戒	注意報	警戒	注意報
宇都宮市	12:00~18:00	12:00~18:00	12:00~18:00	12:00~18:00
宇都宮県	12:00~18:00	12:00~18:00	12:00~18:00	12:00~18:00
...	...	...	...	...

※本県では、2日夕方から3日明け方にかけて激しく降り、1時間に50mm以上の非常に強い雨の降る所があるでしょう。3日12時までの24時間雨量は、多い所で150mmに達する見込みです。

警戒・注意報は1つがきくみをとって対象となる時間帯も順に変更します。

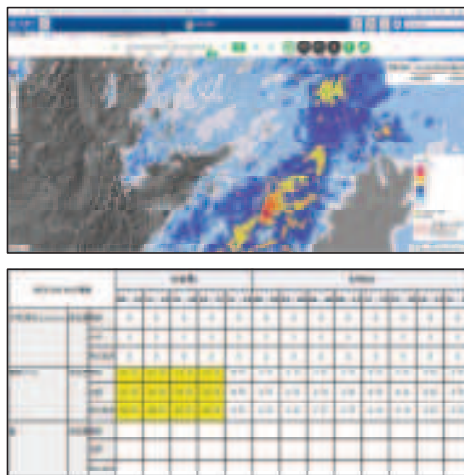
警戒・注意報の発令や撤消の予想は、台風の進路や強さによって変わる可能性があります。気象台が発表する最新の気象情報をご利用ください。

説明会資料の一部

240

■気象台オンライン解説の試行

- 自治体に予報官が直接解説する「気象台オンライン解説」の試行を13回実施しました。
  - ・当日05時、または11時予報で早期注意情報の（中）（高）を今日、または明日に発表した場合。
  - ・自治体にZOOMを使用したWeb形式で10分程度で解説（自由参加型）。
  - ・リアルタイムで参加できなかった場合、録画の利用やホットラインで対応。
  - ・予報シナリオにあった予想資料を表示し、気象台のもつ危機感を共有。
- 実施日
  - ・6月1日、6月8日、6月28日、7月3日、8月9日、8月14日、8月16日、8月18日、8月22日、9月7日、9月15日、9月20日、11月16日



気象解説資料

■令和5年度 防災リーダー講習会

- 教職員の防災に関する理解や対応能力、防災教育に関する指導力等、専門的な知識や資質の向上を図るとともに、各校の災害安全に関わる取組の改善・充実に生かすことを目的に平成25年度より開催している。
- 本年度は座学と実技を組合せ、大地震発生時の避難行動データから得た教訓、防災教育のねらい等を含めた講話と普通救命講習を実施した。

【期日】令和5年8月10日（木） 【会場】小山市桑市民交流センター 【参加者】37名

【内容】

- (1) 講義「防災に関する講話」  
講師：小山市総務部危機管理課
- (2) 実技「AEDを含めた普通救命講習」  
講師：小山消防署職員





ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No.36 教員を対象とした講習会の実施

## 令和5年度 防災教育セミナー

小山市

防災に関する演習や講話を通して、教職員の防災意識を高めるとともに、各校の防災教育の改善・充実を図ることを目的に平成24年度より開催している。

【期日】令和5年12月1日（金） 【会場】小山市役所本庁舎6階会議室 【参加者】36名

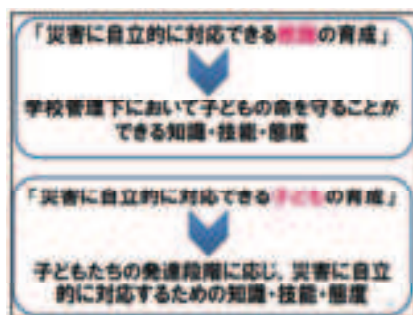
【内容】

- (1) 講話「児童生徒の主体性を育む防災教育」  
講師に常葉大学名誉教授重川先生をお迎えし、学校における継続的な防災教育の重要性や命を守るための避難の在り方等についてご講話いただいた。
- (2) 参加者による意見交換「各校の防災教育の取組について」  
講話の内容や事務局より提示した視点をもとに、参加者が自校の避難訓練の在り方や防災に関わる取組等の検証を行い、中学校区ごとに意見交換を行った。

講師による講話



講師資料より



意見交換のようす



243



ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No. 36 教員を対象とした講習会の実施

## 令和5年度学校安全総合支援事業における中核教員向け講義の実施

水戸地方  
気象台

- 茨城県による標記事業に当台職員が協力。中核教員勉強会（結城市）において防災情報の利活用に関する講義を行った。
- モデル地域となっている結城市の児童・生徒向けの防災ハンドブック作成に情報を提供し、助言した。
- 拠点校が結城特別支援学校であることから、資料「要配慮者支援のための防災情報入手先一覧（水戸地方気象台HPに掲載）」を提供し、利用を呼び掛けた。
- 潮来市教育委員会より、当台職員が当該事業の実践委員会委員（自然防災アドバイザー）に依頼され、実践委員会や中核教員研修会等に出席して助言や講義を行った。



7月25日（火）中核教員勉強会（結城市）



防災ハンドブック（結城市版）

244



ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No.36 教員を対象とした講習会の実施

利根川上流  
河川事務所

## ■水防災教育促進を図るための意見交換会の開催

### ◆実施内容

- ▶ 令和6年2月9日、当流域の10市町の防災・教育関係部局職員を対象に、**水防災教育促進を図るための意見交換会**を開催した。
- ▶ 立ち上げとなった今回は、当流域における水防災教育の実施状況や、実施する上での課題について確認した。

### ◆背景

令和5年度の重点的に取り組むべき取組みとして、「**教員を対象とした講習会の実施**」を掲げている。しかし、本取組みについては、いまだ具体性が見えておらず、支援方法・内容も明確となっていないことから、水防災教育の現状と課題について、当流域での各市区町の状況を把握・確認し、意見・要望を取り入れた支援を目指すものである。

### ◆概要

日時：令和6年2月9日（金）14時～15時30分  
場所：利根川上流河川事務所会議室  
（オンライン併用）  
主催：関東地方整備局 利根川上流河川事務所  
参加機関：（茨城県）古河市、取手市、境町  
（栃木県）小山市、野木町  
（群馬県）館林市、明和町  
（埼玉県）深谷市、久喜市  
（千葉県）柏市

### ◆議題

- ①水防災教育を実施するカリキュラム及び時間的な余裕について
- ②教員向けの防災講習の実施状況について
- ③国交省防災教育ポータル認知度、内容について

### ◆総括

- ①水防災教育は4年生の社会科で実施している市町が多数であり、総合の時間でも補完的に実施する市町も見られた。また、各学校における水防災教育の実施については、教員の判断に委ねられている市町が多く、実施の有無や指導内容には差異が見られた。
- ②教員向けの防災講習の実施について、茨城県では県主導の安全教育研修の一環として、水防災講習が実施されており、各校の代表者が受講し、校内に共有しているとの意見が上がった。また、現時点で防災講習を実施していない市町でも、実施の意欲が見られた。
- ③国交省防災教育ポータルを認知している市町は半数以下であり、周知方法について課題が露わになった。一方で、ポータルに掲載されている教材には好評をいただき、授業や課題の一助として活用する意欲が見られた。

### ◆実施状況



### ◆今後に向けて

今回いただいた意見を基に、「**教員を対象とした講習会の実施**」の取組み促進に向けて、より具体的な支援方法・内容について検討して参ります。今後とも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

245



ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

常総市

## ■市内小中学校で防災教育を実施

OR5年7月～11月に市内の小中学校（18校）で防災スポーツを実施

### 【実施内容】

- ・防災スポーツ…日常からスポーツを通して災害に備え、生き抜く力を備えるための防災学習。ゲーム感覚で楽しみながらも災害時に役立つノウハウを身に付け、防災意識向上、防災行動につなげていくイベント。



◆キャタピラ煙避難  
低い姿勢で煙を吸い込まないように避難する

◆一輪車で物資搬送  
小回りの利く一輪車の操作方法を身に付ける



◆毛布担架障害物  
身の回りのもので担架を作り負傷者を搬送する

246

## ■小学生を対象とした防災教育の実施

▶ 小学校の総合学習授業の中で、水災害教育に取り組んでいく。

### 令和5年度の取組状況

○市内小学校で実施された、地域連携防災訓練の中で、災害時の避難行動について理解を深めるため、マイタイムライン作成講座を実施した。（令和2年度より継続実施）

#### 【目的】

- ・地域と継続的な地域連携の防災訓練を実施することで、地域と学校の繋がりを強化する。
- ・防災に関する体験活動を通じ、児童の危機管理能力を高める。

#### 【参加者】

小学校児童、学校職員、消防署、消防団、取手市役所

#### 【内容】

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| 1年生：通報訓練  | 2年生：消火訓練          |
| 3年生：煙体験   | 4年生：応急処置講習        |
| 5年生：AED講習 | 6年生：マイ・タイムライン作成講座 |



247

## ■令和5年度 防災体験学習

講話や体験活動を通して、子どもたちの防災への意識を高め、自分の命を守るとともに助け合い協力して活動することの大切さを学んでもらうことを目的に、過去に水害を受けた経験のある地域の小学校を会場に防災体験学習を実施した。

【期日】令和5年11月11日（土） 【会場】小山市立中小学校

【参加者】4～6年の希望する児童及び保護者 7名

【活動内容】 講師：小山市総務部危機管理課職員及び小山市教育委員会教育総務課職員

- |                                          |                                  |
|------------------------------------------|----------------------------------|
| (1) 防災講話「災害から命を守るために<br>～災害時の対応と災害への備え～」 | (3) 防災体験学習<br>★防災ダ・ズ・ン ★防災カードゲーム |
| (2) 避難所開設体験<br>★パーティション設置                | (4) 非常食体験<br>★非常食の美食体験           |



避難所開設体験



防災体験学習



非常食体験

248

■小中学校における防災教育支援の実施

◆概要

市内に所在する小中学校の一部に対して、地域の災害特性、市の防災業務及び学校等における避難所用物品についての防災教育支援を実施した。

◆対象施設

6か所（小学校5か所、中学校1か所）

◆教育形式

フィールドワーク（街歩き）、座学、実物見学等

◆成果及び今後の予定

令和4年度はコロナ禍であり4か所（小学校4か所）に留まったが、教育対象施設を拡充した。また、座学だけでなく防災士との交流や現地現物の活用により、教育効果の高い支援に繋がることのできた。引き続き、小中学校における防災教育に対する支援の拡充を目指す。

市役所職員による説明



防災士による教育補助



避難所物品の使用体験



■防災教育の充実

○学習指導計画に組み込んだ防災教育の実施



町内小学校の3・4年生が使用する社会科副読本  
「わたしたちの板倉町（十一訂版）」 令和2年4月1日発行

4年生の学習項目「自然災害からくらしを守る」で、水防災に関する防災教育を実施

学習指導計画にあわせて「水防学校」を開催  
水防災に対する理解と関心を高めるため、見て、聞いて、体験して学ぶことのできる防災教育を実施し、災害時には、自らの安全を確保するための行動ができるようにすることで、地域の防災力向上を図る。

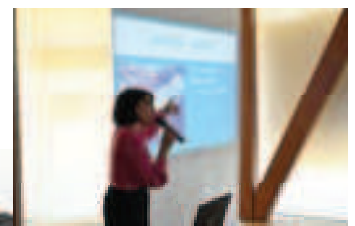
○水防学校の開催・・・小学校4年生を対象とした水防教育

【利根川上流河川事務所】  
「洪水」についての学習



【利根川上流河川事務所】  
災害対策車両見学

【利根川上流河川事務所】  
降雨体験車による降雨体験



【NHK前橋放送局】  
気象予報士による気象防災講話

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- 1) 防災教育や防災知識の普及
- No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

千代田町

### ■ 町立西小学校の学校公開に合わせた防災教育支援の実施

令和5年11月25日（土）、町立西小学校において学校公開に伴う防災教育支援（館林土木事務所・県河川課砂防課・千代田町）ということで、全学年を対象に防災教育を実施しました。写真上2枚が降雨体験を実施している様子。（低学年）下の写真2枚は避難所体験の様子。（高学年）避難所体験した子供たちからは、「災害が起きた際には、この体験を生かしたい。」との多くの意見がありました。



251

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- 1) 防災教育や防災知識の普及
- No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

千代田町

### ■ 昨年引き続き、小学生を対象とした避難所体験教室の実施

令和5年7月29日（土）～30日（日）の2日間、コスメ・ニスト千代田町プラザに於いて、小学生を対象とした「避難所体験教室」を実施しました。講師には昨年同様、群馬大学理工学府の金井教授とゼミ生が指導してくれました。付添いの父兄と子供たちは、初めての避難所体験ということで、真剣な面持ちで取り組んでいました。（写真左：避難所体験についての説明を受けている様子。写真右：パテーションにより仕切った各部屋の様子。）



252

## ■中学生防災リーダー認定講習の実施

### 実施の狙い

- 市として例年出前講座にて市民への防災啓発を行ってきたが、対象者が町会をはじめとする各団体が主になっていたため年齢層が高めとなっていた。
- 中学生に対しての防災リーダー認定講習を行うことにより、児童への防災啓発と並行して、その内容を家庭に持ち帰って話すことにより、子育て世帯（20-50代）へのアプローチも可能となる。
- 講習の実施場所が各中学校であるため、教員も生徒と一緒に講習を聞くことができ、教育関係者への防災における周知啓発も並行して行える。

### 今年度の実施状況

実施日：令和5年8月～9月

実施学校：芝中学校・八幡木中学校・鳩ヶ谷中学校・里中学校

実施内容：2部構成で前半は座学として防災に関する講演を行い、後半は「LEDバールーン」・「簡易トイレ」・「毛布による応急担架」・「水消火器」・「三角巾による応急手当」の実技講習を実施。

4中学校併せて636名の生徒に対して防災リーダー認定講習を実施

253

## ■小学生を対象とした防災講座の実施

- 小学校4年生を対象とした防災に係る授業を実施。
- ハザードマップの説明や、防災倉庫内の資機材の解説、発電機の運転体験等を行った。
- 令和4年度においても同様の防災講座を実施していたが、令和5年度では小学校からの申し込みが増加したため、必然的に防災教育の実施対象となった生徒数が増加した。
- 事前学習を行っているためか、質疑応答の際にはペットとの同行避難や非常時の持ち出し品について等実災害を想定した質問が多くあがった。

実際の授業の様子  
(鴻巣市立広田小学校)



254

■ 中学生に防災教育を実施

日時：令和5年9月9日（土）  
 場所：蓮田市立平野中学校  
 人数：1～3学年 83名  
 内容：防災倉庫の確認と備蓄資機材の使用方法を学ぶ  
 目的：平時の備えを学び、学校、家庭、地域の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにする。



開会式



校内に設置している防災倉庫



プライベートルームテント組み立て

■ 町内中学校で、防災学習会を実施

中学校の「総合的な学習の時間」を活用し、自らの学びの場であり、また、実際に避難所となる体育館で防災学習に取り組み、災害リスクを「我がこと」として捉えてもらった。当事者意識を醸成することで、この学習を家庭へ持ち帰り家族等と共有するとともに、高齢者などの避難行動等の支援の必要性も理解してもらった。いざという時に「地域の役に立つ」という意識を持ってもらうことができた。

「令和元年東日本台風」の際の町内の状況について河川敷や避難所の様子を写真で示し、併せて町の災害対応の動きも説明し、災害発生時にどう行動すればいいのかが、考えてもらった。

- 講話 ①自助・共助・公助・・・行政（公助）の限界と地域（自助・共助）の重要性  
 ②一人ひとりにできること・・・自分にできることは何か  
 ③災害対応に正解はない・・・失敗を恐れず積極的に！

また、防災倉庫から備蓄品（パーテーション、段ボールベット）を運搬することから始め、実際に設置し、避難所開設を体験してもらった。

○実施日： 令和5年6月1日（木） 上里北中学校 第2学年：110人  
 令和5年9月12日（火） 上里中学校 第1学年：161人



■小中学校における水災害教育への取組

【概要】

台風やゲリラ豪雨等で急激に河川が増水することによる水難事故の発生防止のため、県内の小中学校等へ県土整備部職員（各出先土木事務所職員）が出向き、リーフレット等を用いた出前講座を実施した。

令和5年度実施校（19校）

- ・7月3日（月） 塩山町立玉生小学校
- ・7月4日（火） 益子町立益子小学校
- ・7月4日（火） 那須町立田代友愛小学校
- ・7月6日（木） 佐野市立多田小学校
- ・7月6日（木） 日光市立今市第三小学校
- ・7月6日（木） 小山市立小山第一小学校
- ・7月7日（金） 佐野市立田沼小学校
- ・7月7日（金） 鹿沼市立板荷小学校
- ・7月7日（金） 大田原市立西原小学校
- ・7月7日（金） 上三川町立坂上小学校
- ・7月10日（月） 那珂川町立馬頭東小学校
- ・7月13日（木） 宇都宮市立上河内東小学校
- ・7月13日（木） 足利市立毛野小学校
- ・7月13日（木） 茂木町立須藤小学校
- ・7月14日（金） 茂木町立中川小学校
- ・7月18日（火） 真岡市立長沼小学校
- ・7月18日（火） 那須烏山市立境小学校
- ・7月19日（水） 宇都宮市立瑞穂野北小学校
- ・7月27日（木） 那須塩原市立塩原小中学校



【川に関するクイズによる講座】  
 （佐野市立多田小学校）



【ライフジャケット着用体験】  
 （足利市立毛野小学校）

■令和5年度学校安全総合支援事業における小学生を対象とした防災教育の実施

- 潮来市における当該事業（対象：市内の小中学校）の実践委員会や中核教員研修会等に出席して助言や講義を行った。
- 拠点校の潮来市立日の出小学校6年生に対して防災講演会を行った（中核教員が視察）。
- 授業公開（体験型防災教育等）の中で、防災気象情報と警戒レベルとの対応及び地球温暖化に関するパネルの展示とインターネットに接続したPCを使った解説を実施した。



10月20日（金）防災講演会「自然災害から身を守るには～気象災害・地震～」



12月7日（木）授業公開（体験型防災教育等）におけるパネル展示とPCを用いた解説

## ■小中学生を対象とした防災教育の実施

- 栃木県教育委員会主催の、とちぎ子どもの未来創造大学「体験気象学」
  - ・令和5年7月8日栃木市、8月18日那須町で開催
- 宇都宮市教育委員会主催の、宮っ子チャレンジウィーク「中学生社会体験学習」
  - ・令和5年11月28日～30日中学生計4名 宇都宮地方気象台で開催
- 宇都宮市主催の、宮っこトライ「小学生高学年職業体験」
  - ・令和5年12月26日、27日小学生計16名 宇都宮地方気象台で開催
- 上記の防災教育において、気象庁（気象台）の業務説明や気象実験等実施し、防災知識の啓発等を実施



とちぎ子どもの未来創造大学の様子



宮っ子チャレンジウィークの様子



宮っこトライの様子

259

## ■ハザードマップの改変と防災講座開催

- 希望した地区において新しく改定した総合防災マップの説明会を行った。説明会の際に総合防災マップに記載している、玉村町の歴史を解説しながら行った。
- 改定した総合防災マップの使い方と、防災知識の向上を目的とした防災講座を行った。講師は、玉村町と防災アドバイザー協定を締結している群馬大学金井教授に依頼した。



総合防災マップ説明状況



群馬大学金井教授による防災講座



260

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

大泉町

## ■大泉町防災フェアの開催

### 【実施概要】

防災（協定締結企業紹介ブース、消防車両展示など）に関する展示や土のうづくり体験を実施、地域住民の防災に関する理解と防災意識の高揚を図った。参加人数約1,000人。

○災害用トイレトレーの展示



○避難所備品の組立訓練



○水防パネル展示  
(利根川上流河川事務所様より借用)



○土のうづくり体験



261

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- No.38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

さいたま市

## ■浸水履歴マップの作成及び公開型GISへの反映・搭載

さいたま市では、浸水履歴を表形式にまとめた「さいたま市の水害に関する情報について」を公表していた。浸水履歴を平時に住民が見て、水害リスクを認識し、いざという時に的確な避難行動をとることができるよう、令和4年度に、「さいたま市の水害に関する情報について」をマップ化した「さいたま市浸水履歴マップ」を作成した。

また、令和5年8月から、浸水履歴マップを公開型GISであるさいたま市地図情報に反映・搭載した。

さいたま市地図情報の画面



詳細も確認可能



262

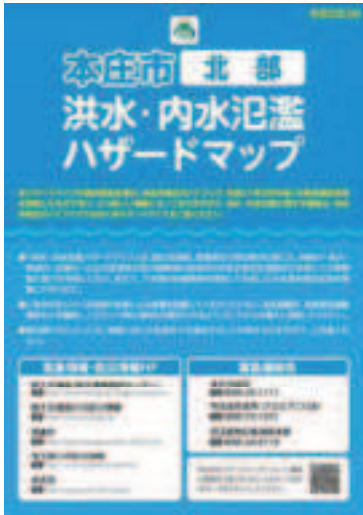
- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- 1) 防災教育や防災知識の普及
- No.38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

本庄市

■ **ハザードマップを活用した講座、避難訓練の実施**

○ **防災知識の住民への周知**

- ・ハザードマップを活用した出前講座の実施
- ・避難訓練に中心とした「総合防災訓練」の実施



洪水・内水氾濫ハザードマップ表紙



総合防災訓練（水害リスクの周知）



総合防災訓練（避難訓練）

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- 1) 防災教育や防災知識の普及
- No.38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

足立区

■ **熊本県人吉市長による講演会及びパネルディスカッションの開催**

① **熊本県人吉市長による水害の教訓を講演**（令和6年1月22日（月）実施）

熊本県を襲った豪雨災害※の経験をふまえ、市長の体験などを主に足立区民にご講演していただいた。  
 ※人吉市では球磨川本流や支流において、堤防決壊、越水、排水路・用水路等の内水氾濫等による大規模な浸水被害が市内の広範囲で発生。これにより、人吉市では21人（災害関連死を含む）の人命が犠牲になり、市全体の約2割にあたる3,398世帯の方が被害を受けた。

② **パネルディスカッション**

足立区長がファシリテーターを務め、熊本県人吉市長、荒川下流河川事務所長、気象防災アドバイザー、水害対策委員会委員長（中川地区）、足立区総合防災行政アドバイザーをパネリストとして、「水害対策で区民を守る。～教訓を活かす、次への備えを始める。進める～」をテーマとし、パネルディスカッションを実施した。



開催状況



開催通知

■ 筑波技術大学との防災知識の普及に関する意見交換

- 視覚・聴覚障害者のための国内唯一の大学である国立大学法人筑波技術大学と防災分野における要配慮者対策の推進にあたっての連携・協力に関する協定を締結（令和5年3月13日）。
- 筑波技術大学の学生による気象台の見学を受け入れるとともに、防災知識の普及に係る意見交換を行った。



11月29日（水）  
水戸地方気象台見学の様子

観測測器を触って説明を聞く視覚障がい学生



筑波技術大学学生との意見交換の様子

水戸地方気象台の要配慮者対策の取組として、対象となる視覚・聴覚障がい者の防災情報に関する理解度や利用の実態、要望などを把握するところから始めている。



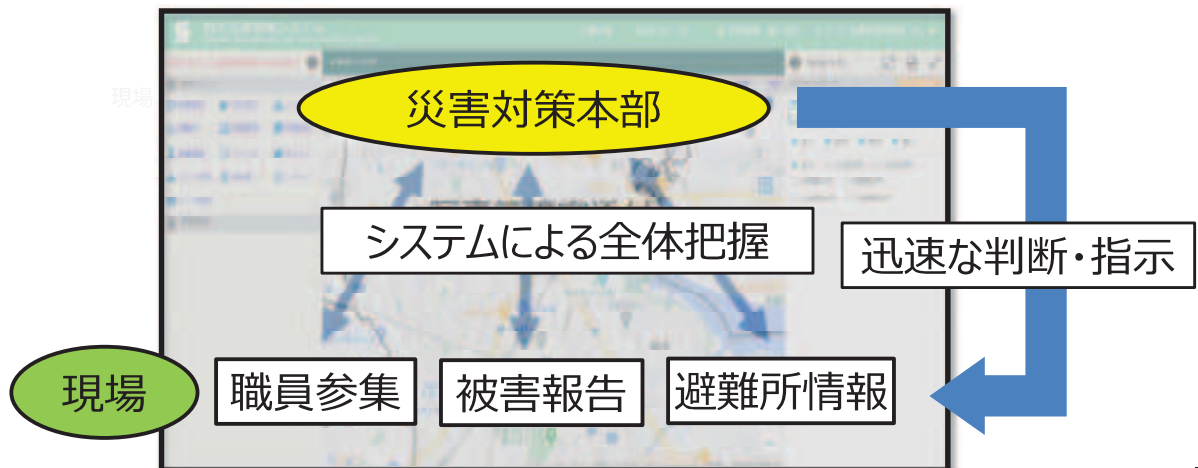
観測露場で説明を受ける聴覚障がい学生  
 手元のスマートフォンに同時文字通訳された説明が表示される

■ より迅速かつ的確な情報共有体制の構築

○ 災害情報システムの導入

従来からの課題として、災害時、市職員の参集状況や市内の被害情報の共有は、電話やFAX等の紙媒体で処理しており、状況が視覚化されない、処理方法や処理速度が職員等により異なる点が挙げられていました。

この課題を解決し、災害対策本部をはじめ各職員が迅速な意思決定と災害対応をするため、今年度から災害時における情報をオンライン上で一元化管理する情報システムを導入し、災害時に活用をしています。



- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- No.41 水防資機材の情報共有や相互支援の仕組みの構築

小山市

### ■ 排水ポンプ車実動訓練を実施

➤ 間中地内 西清水川排水路にて、排水要領及び資機材の取扱いの確認。排水ポンプを水路に設定し排水作業を実施する。

設定状況

排水作業



267

- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- No.45 水防団同士の連絡体制の確保等による水防体制の強化

上里町

### ■ 隣接市町と連携しての水防技術講習会等の実施

隣接する本庄市及び神川町の水防団と、それぞれ坂東上流水害予防組合、神流川水害予防組合を構成している。年に1度、定期的に合同で水防技術講習会等を行っている。

坂東上流水害予防組合では、構成市町の水防団（消防団）役員及び事務局が集まり、河川管理者である国土交通省（高崎河川国道事務所）による水防講習会、事務局からの水防活動に関する講話、児玉郡市広域消防本部からの機材紹介等を実施した。

水防技術や知識を取得することと併せて、一緒に訓練等を実施することで他市町の水防団との顔の見える関係を構築し、水防体制の強化に取り組んだ。

○実施日： 令和5年7月23日（日）



【参考：神流川水防予防組合 水防技術講習会】

268

- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- No.46 関係機関及び住民が連携した実動水防訓練の実施

境町

## ■令和5年度二市一町合同水防演習

### 1 目的

水防法第32条の2の規定に基づき、古河市、坂東市及び境町の二市一町合同水防演習を実施して、利根川の洪水による水害を防御し、堤防保全のため、消防団員に水防工法を習得させる。

### 2 時期、場所

令和5年6月25日（日）、境町本船町地先 利根川左岸堤防

### 3 参加者：200名

#### (1) 演習実施者等

演習本部長：境町長、演習実施部隊：境町消防団長以下110名、指導機関：茨城県境工事事務所、水防車両等展示：利根川上流河川事務所

#### (2) 研修等

古河市消防団、坂東市消防団、その他



杭 接 え



土のう作り



月の輪



竹 と げ



積み土のう



水防機材車両展示

269

- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- L) 緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施
- No.52 関係機関、自治体が連携した排水訓練の実施

栃木県

## ■栃木県排水ポンプ車の排水操作訓練を実施

### 【概要】

- 災害発生時に迅速かつ的確な排水作業を行う目的で、栃木県排水ポンプ車の操作研修を兼ねた訓練を、関係機関と連携し実施した。今後も、毎年出水期前に訓練を実施する。
- なお、栃木県排水ポンプ車は、県内における浸水の早期解消を目的とし、令和3年度に合計3台配備した（栃木土木事務所1台、安足土木事務所2台）。



【栃木県排水ポンプ車全景】



【排水ポンプ車 排水操作訓練状況】

270

- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- L) 緊急排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施
- No.52 関係機関、自治体が連携した排水訓練の実施

東京都建設局

## ■排水ポンプ車の実地訓練について

### 実施の目的

- ◆東京都職員及び水防管理団体職員等による排水ポンプ車の操作習熟、連携強化

### R5 実施結果

**操作訓練**  
(水防管理団体職員及び消防職員が参加)

**東京都における排水作業準備計画**  
(配置訓練、走行訓練、図上訓練)

### 令和6年度以降の訓練について

- ◆排水ポンプ車を有する事務所毎に操作訓練を実施予定
- ◆水防管理団体に操作訓練への参加を依頼し、合同で訓練を実施予定
- ◆引き続き「東京都における排水作業準備計画」を踏まえた訓練を実施予定

271

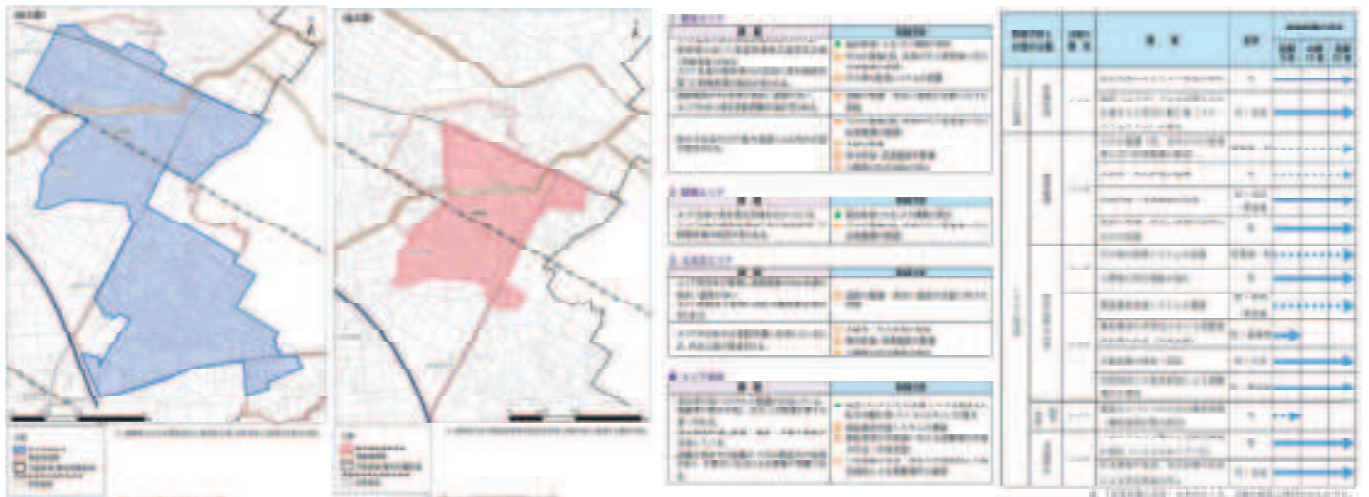
- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- P) 適切な土地利用の促進
- No.57 適切な土地利用の促進

上里町

## ■レジリエントなまちづくりに向けて

令和4年1月に策定された「上里町立地適正化計画」で、居住誘導区域及び都市機能誘導区域を設定したが、これらの区域内ではあっても「家屋倒壊等氾濫想定区域」と重複する箇所は除外している。浸水想定区域においては、河川管理者への河川改修の要請や監視システムの設置などを取組方針としている。

また、エリアごとのマイ・タイムラインの普及や要配慮者支援システムの構築、要配慮者利用施設における避難確保計画作成の推進、民間施設も含めた避難場所の確保などにも取り組むこととしている。



# 令和4年度 各構成員の取組事例

273

## ハード対策

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>A) 洪水を河川内で安全に流す対策</b>		
<b>1 洪水を河川内で安全に流す対策</b>		
第72回利根川治水同盟治水大会を実施	加須市	280
<b>B) 危機管理型ハード対策</b>		
<b>2 危機管理型ハード対策</b>		
第72回利根川治水同盟治水大会を実施	加須市	280
<b>C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備</b>		
<b>3 雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤整備</b>	取組事例なし	
<b>4 簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置</b>		
水防災情報の発信強化	東京都	281
<b>5 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布</b>		
防災行政無線戸別受信機（文字表示機能）の無償貸与	境町	282
防災ラジオの導入	鴻巣市	283
スマートフォン向けアプリ「吉川減災ナビ」の運用を開始	吉川市	284
<b>6 河川防災ステーションや水防拠点の整備</b>		
緊急避難場所として活用できる水防拠点の整備	境町	285
河川防災ステーションや水防拠点の整備	板倉町	286
<b>7 水防活動を支援するための水防資機材等の配備</b>		
ドローン導入・排水ポンプ車運用訓練	小山市	287
<b>8 庁舎、災害拠点病院や自家発電装置等の耐水化</b>	取組事例なし	
<b>9 対策本部、警戒本部等設置時の情報収集伝達設備</b>		
災害対策本部インターネット環境改善	川口市	288
<b>10 排水機場の耐水化等、水門等操作の水圧対策</b>	取組事例なし	

274

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組 (1/3)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知</b>		
<b>11 まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充</b>		
まるごとまちごとハザードマップの整備	上里町	289
浸水リスク標示板の設置	葛飾区	290
<b>12 越水開始予測情報の提供</b>		
<b>13 自治体や住民の視点に立った浸水シミュレーション情報の提供</b>		
<b>14 立ち退き避難が必要な浸水危険区域情報の提供</b>		
	取組事例なし	
<b>E) 避難計画、情報伝達方法等の改善</b>		
<b>15 洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）</b>		
	取組事例なし	
<b>16 住民等への情報伝達方法の改善</b>		
五霞町防災の日 避難所体験会・見学会の開催	五霞町	291,292
住民等への情報伝達方法の改善	さいたま市	293
<b>17 市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実</b>		
<b>18 リアルタイム情報の提供やプッシュ型洪水予報の情報発信</b>		
<b>19 避難指示等の発令基準の改善</b>		
<b>20 避難場所・避難経路の再確認と改善</b>		
防災マップの改訂	伊奈町	294
<b>21 避難誘導体制の充実</b>		
	取組事例なし	
<b>22 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進</b>		
要配慮者利用施設の避難計画作成及び訓練促進	守谷市	295
<b>F) 企業防災等に関する事項</b>		
<b>23 不特定多数の利用する地下施設の避難計画の作成及び訓練の促進</b>		
<b>24 大規模工場の避難計画の作成及び訓練の促進</b>		
	取組事例なし	
<b>G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等</b>		
<b>25 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表</b>		
	取組事例なし	
<b>26 氾濫特性を考慮した被害シナリオと緊急避難及び広域避難計画の策定</b>		
共助の仕組み強化のための取組	常総市	296
<b>27 広域避難のための避難場所の確保</b>		
	取組事例なし	
<b>28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知</b>		
取手市総合防災マップの作成	取手市	297
デジタル地図でのハザードマップの公開	古河市	298
「古河市民洪水シミュレーションゲーム」を作成	古河市	299
ハザードマップを活用した防災講座の実施	杉戸町	300

275

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組 (2/3)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成</b>		
<b>29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成</b>		
オンライン情報共有『防災意思疎通WEBライン』の体制構築	利根川上流河川事務所	301
<b>30 タイムラインに基づく実践的な訓練</b>		
総合水害広域避難訓練を実施	加須市	302
水害図上訓練の実施	葛飾区	303
東京都版気象防災ワークショップの作成	東京管区気象台	304
タイムラインに基づく実践的な訓練	宇都宮地方気象台	305,306
ワークショップの取り組み	前橋地方気象台	307
タイムラインに基づく実践的な訓練の実施に関する勉強会の実施	利根川上流河川事務所	308
<b>31 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）</b>		
	取組事例なし	
<b>I) 防災教育や防災知識の普及</b>		
<b>32 水防災の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置</b>		
	取組事例なし	
<b>33 地域防災力の向上のための人材育成</b>		
地域防災力の向上のための人材育成	小山市	309
洪水ハザードマップやマイ・タイムラインについての講習会の実施	熊谷市	310
市長が国土交通大学校主催の研修に参加	加須市	311
避難所開設訓練の実施	越谷市	312
避難所HUG（風水害版）研修	上里町	313
宮代町防災・防犯マスター講座開催	宮代町	314
職員向け水害対応研修の実施	葛飾区	315
県政出前講座の実施	栃木県	316
避難指示等に関する研修会の実施	栃木県	317
栃木県・市町村防災トップセミナーの実施	栃木県	318
定着化を目指した気象防災ワークショップの実施	東京管区気象台	319
オンラインによる気象防災ワークショップの実施	熊谷地方気象台	320
<b>34 共助の仕組みの強化</b>		
	取組事例なし	

276

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確な避難行動のための取組 (3/3)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催</b>		
災害を我がことと考えるための取組	常総市	321
水防災に関する説明会	境町	322
水防災に関する説明会や避難訓練の開催	佐野市	323
市総合防災訓練（水災害想定）の実施	館林市	324
明和町総合防災訓練	明和町	325
浸水想定区域内の住民に対する広域避難訓練	上尾市	326
水害啓発動画の作成	草加市	327
防災教育の促進（出前講座の実施）	桶川市	328
自主防災組織・避難所運営職員による避難所開設運営訓練	白岡市	329
防災講習会・避難所設営訓練	上里町	330
「マイ・タイムライン」の普及	茨城県	331
避難所運営に関する研修会の実施	栃木県	332
マイ・タイムライン作成支援の実施	群馬県	333
水防災に関する説明会や避難訓練の開催	宇都宮地方気象台	334
オンラインによる台風説明会の実施	熊谷地方気象台	335
<b>36 教員を対象とした講習会の実施</b>		
教員を対象とした講習会の実施	小山市	336,337
教員を対象とした講習会の開催	太田市	338
防災教育の取り組み	前橋地方気象台	339
<b>37 小中学生を対象とした防災教育の実施</b>		
防災教育や防災知識の普及	常総市	340
小学生・高校生に対する防災教育	境町	341
防災対策について出前講座を実施	栃木市	342
小中学生を対象とした防災教育の実施	小山市	343
小中学生を対象とした防災教育の実施	板倉町	344
小中学生を対象とした防災教育の実施	邑楽町	345
小学生を対象とした防災教育講座	久喜市	346
職員による中学生を対象とした出前講座の実施	蓮田市	347
「マイ・タイムライン」の普及	茨城県	348
小中学校における水災害教育への取組	栃木県	349
防災教育の実施	群馬県	350
小中学生を対象とした防災教育の実施	水戸地方気象台	351,352
小中学生を対象とした防災教育の実施	宇都宮地方気象台	353

277

ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知</b>		
「カスリーン75」の取組	千代田町	354
図書館でカスリーン台風コーナーを設置	加須市	355
市民に対する研修、職員に対する訓練の実施	本庄市	356
カスリーン75の取り組み	上里町	357
水害からの避難に関する多言語の動画を作成	江戸川区	358
<b>J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化</b>		
<b>39 河川水位等に係る情報提供</b>		
群馬県リアルタイム水害リスク情報システム	群馬県	359
<b>40 河川の巡視区間、水防活動の実施体制の見直し</b>		
<b>41 水防資機材の情報共有や相互支援の仕組みの構築</b>		
<b>42 効率的、効果的な水防活動のため、洪水に対しリスクが高い区間情報の提供</b>		
<b>43 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検の実施</b>		
<b>44 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施</b>		
<b>45 水防団同士の間連絡体制の確保等による水防体制の強化</b>		
<b>46 関係機関及び住民が連携した実働水防訓練の実施</b>		
五料・川井・飯倉3区合同防災訓練	玉村町	360
京成本線荒川橋梁部における水防訓練の実施	足立区	361
<b>47 水防活動の担い手となる水防団員の募集や水防協力団体の指定の促進</b>		
<b>48 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築</b>		
<b>49 庁舎、災害拠点病院等の水害時における対応強化</b>		

取組事例なし

取組事例なし

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>K) 氾濫水の早期排水のための効果的な施設運用</b>	取組事例なし	
50 氾濫特性を踏まえた的確な排水機場の運用、水門の操作、排水ポンプ車の配置		
<b>L) 緊急排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施</b>	取組事例なし	
51 関係機関、自治体が共同して緊急排水計画(案)を作成		
52 関係機関、自治体が連携した排水訓練の実施	栃木県 362 東京都 363	
栃木県排水ポンプ車の排水操作訓練を実施		
区市町村との合同排水ポンプ車操作訓練		
<b>M) BCP(業務継続計画)に関する事項</b>	取組事例なし	
53 水害時に行政機能を維持するBCPの策定		
54 水害に対応した企業BCP策定への支援		
<b>N) 生活再建及び社会経済活動の回復のための民間力の活用</b>		
55 生活再建及び社会経済活動の回復のための民間力の活用		
<b>O) 水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援</b>		
56 水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援		
<b>P) 適切な土地利用の促進</b>		
57 適切な土地利用の促進		

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ハード対策</li> <li>■ A) 洪水を河川内で安全に流す対策      1 洪水を河川内で安全に流す対策</li> <li>■ B) 危機管理型ハード対策              2 危機管理型ハード対策</li> </ul>	加須市
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----

■ 第72回利根川治水同盟治水大会を実施

➤ 利根川水系の1都5県の関係自治体等が集い、治水事業推進のため国への要望を決議する利根川治水同盟治水大会が加須市で開催されました。

- 日 時：令和4年8月4日(木) 13時30分から
- 会 場：加須文化・学習センター「パストラルかぞ」
- 主 催：利根川治水同盟・第72回利根川治水同盟治水大会実行委員会  
(埼玉県・加須市)
- 後 援：国土交通省、東京都、群馬県、栃木県、茨城県、千葉県
- 概 要：1) 揮毫贈呈、記念写真撮影  
2) 大会(大ホール、サテライト 小ホール)
- 大会規模：参加人数 約600人、来賓 1都5県選出国会議員及び県議会議員ほか



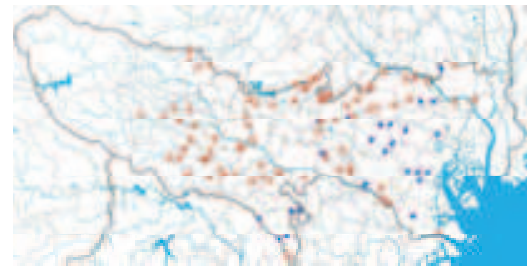
- ハード対策
- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
  - 4 簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置

## ■ 水防災情報の発信強化

### ■ 河川監視カメラの設置拡大

- 住民の避難行動に繋がる水防災情報の発信・充実を図るため、河川の状況を分かり易くリアルタイムに伝える**河川監視カメラの設置拡大**
- 令和4年度は約**30箇所増設**し、合計で114箇所の映像公開中
- 映像は、東京都水防災総合情報システムや東京都水防チャンネル（YouTube）により確認可能
- 今後も、河川監視カメラの増設にあわせて、順次公開数を拡大予定

水防災総合情報システム 河川監視カメラ公開状況



● 令和元年度末における河川監視カメラ公開箇所  
● 令和元年度から令和4年度までに追加公開された箇所



【YouTube 東京都水防チャンネル】

▲QRコード



【スマートデバイス版】 ▲QRコード

【PC版】

### ■ 更なる情報発信に向けた取組

- 都民の迅速な避難行動につながる河川状況をわかりやすく提供するため、「**東京都水防災総合情報システム**」により、水防災情報を発信
- 令和5年3月に**デザインを一新**し、河川監視カメラ、水位、雨量情報を**1画面で統合表示**するなど視認性、利便性を向上
- 今後ともホームページ、YouTube、Twitterなどを積極的に活用し、水防災情報の発信を強化

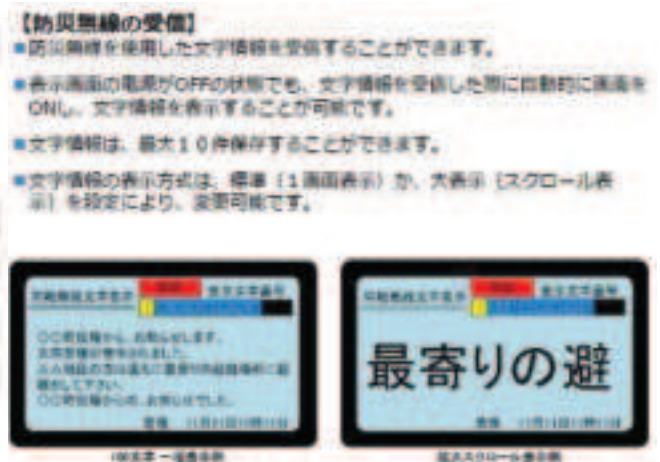
- ハード対策
- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
  - 5 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

## ■ 防災行政無線戸別受信機（文字表示機能）の無償貸与

- 令和3年度  
⇒デジタル式防災行政無線に対応した戸別受信機の配布が概ね終了
- 令和4年度  
⇒聴覚に障がいがあり、従来の防災行政無線の放送を聞き取ることのできない方（手帳保有12世帯）に対し、文字表示機能付戸別受信機を無償貸与



防災行政無線戸別受信機（文字表示機能付）  
NRE-416M



【防災無線の受信】

- 防災無線を使用した文字情報を受信することができます。
- 表示画面の電源がOFFの状態でも、文字情報を受信した際に自動的に電源をONし、文字情報を表示することが可能です。
- 文字情報は、最大10件保存することができます。
- 文字情報の表示方式は、標準（1画面表示）か、大表示（スクロール表示）を設定により、変更可能です。

文字表示要領

- ハード対策
- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
  - 5 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

鴻巣市

### ■防災ラジオの導入

- 令和3年に防災行政無線を280MHz帯のシステムに入れ替え、併せて防災ラジオを導入しました。
- 以前のシステムでも戸別受信機は配備しており、電波の届く範囲に課題があったが、入れ替えを行ったことで改善されました。
- 今後も市民に対し、防災ラジオの有用性を周知し、多くの市民に貸与できるように広報を行う。



文字盤付きラジオ（聴覚障害のある方）

市民配布用チラシ

- ハード対策
- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
  - 5 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

吉川市

### ■スマートフォン向けアプリ「吉川減災ナビ」の運用を開始

- 災害時の情報収集や、普段からの備えに役立つアプリ「吉川減災ナビ」をリリースした。
- 吉川市が発表する避難情報や防災無線の放送内容がプッシュ通知で受け取れるほか、ハザードマップや土のうの配置場所など様々な情報を確認して、いざという時のために備えることができる。

【主な機能】

- 避難指示などの緊急情報をプッシュ通知で受け取れる。
- 地図上で各避難所の開設状況や混雑状況を確認できる。
- ハザードマップなどの防災・減災に関する資料を閲覧できる。



ハード対策

- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
- 6 河川防災ステーションや水防拠点の整備

境 町

■ 緊急避難場所として活用できる水防拠点の整備

- 既存の公園を拡充（拡張、4.5m高上げ・高台化）し、利根川・渡良瀬川の氾濫に抗し得る防災拠点及び緊急避難場所として整備

**防災公園イメージ（約4.3haを拡充）**

- 100人
- 緊急避難場所（駐車場 108台）
- 避難施設になる大型遊具
- 屋内避難所 480人（保育所）
- 物資供給活動（多目的広場）
- 多目的広場
- 駐車場

**事業期間・予算**

令和3年度～令和7年度（予定）  
事業費：490,000千円（国費：224,000千円）

**【背景】**

- ・町の面積の9.5%が浸水想定区域内
- ・平成27年関東・東北豪雨災害で約500棟が浸水被害
- ・H22中央防災会議シミュレーションでは避難率80%でも800人が逃げ遅れ
- ⇒町内に浸水しない緊急避難場所の整備が急務

ハード対策

- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
- 6 河川防災ステーションや水防拠点の整備

板倉 町

■ 河川防災ステーションや水防拠点の整備

○西岡地区洪水時緊急避難場所



○緊急避難場所整備事業

想定最大規模の降雨により、町内の9割以上が浸水するとされる本町において、限られた高台に、車での避難が可能な駐車場方式の緊急避難場所の整備を行った。



○海老瀬地区洪水時緊急避難場所



ハード対策

- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
- 7 水防活動を支援するための水防資機材等の配備

小山市

■ドローン導入・排水ポンプ車運用訓練

➤ ドローンにより広域の被害状況の確認や情報収集を行う。



➤ 排水ポンプ車により浸水被害の抑止並びに軽減を行う。

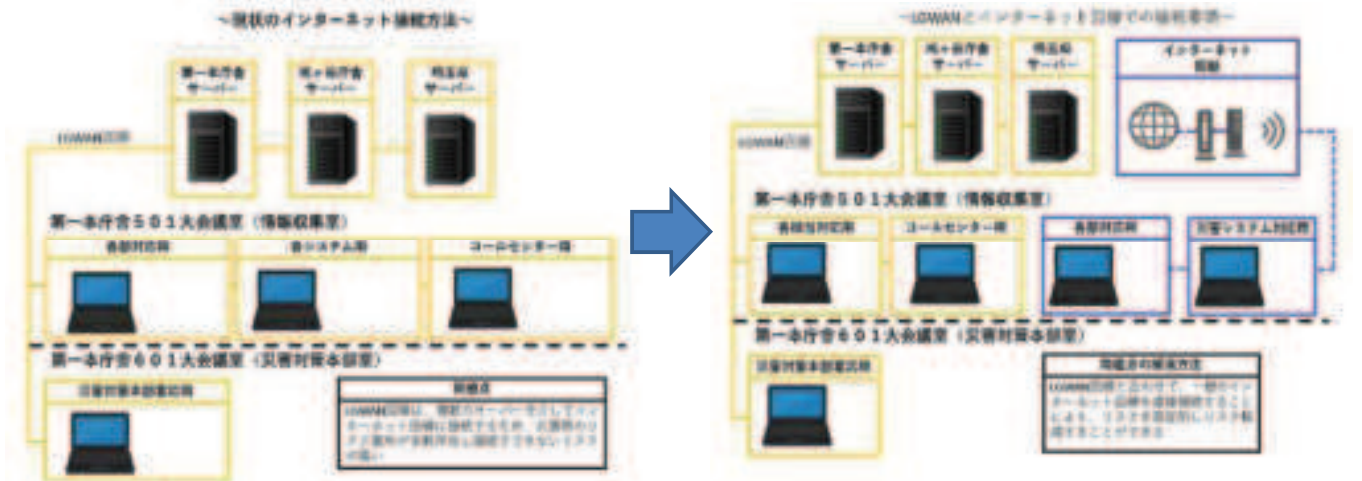
ハード対策

- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
- 9 対策本部、警戒本部等設置時の情報収集伝達設備

川口市

■災害対策本部インターネット環境改善

- 災害時の情報集約は、インターネット回線を使用し、災害情報システムを用いて情報共有・対応指示をしているが、現状のインターネット接続方法は、LGWAN回線で対応している。しかしこの方法では、**複数のサーバを介してインターネットを接続する環境であるため、災害時は通信網の遮断及びアクセス集中による通信障害のリスクが一般の回線に比べ高くなってしまいう問題があった。**
- 令和4年度に、帯域保証型回線でインターネットを接続させ、**災害時等に使用する周波数帯の使用が保証されることにより通信網の遮断及びアクセス集中による通信障害のリスクを軽減させることができるようになった。**さらに、**複数のキャリア回線を設置**することにより、さらに**リスクの軽減**を見込んでいる。



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知
- 11 まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充

上里町

## ■まるごとまちごとハザードマップの整備

### 【背景】

- イメージがしづらい浸水深について、地域の洪水によるリスクを認識し、住民等の水災害に対する危機意識の高揚と、避難行動の促進を図る必要がある。
- 地域内の行政区長からも、電柱への浸水想定看板の設置要望が寄せられていた。

### 【実施状況・実施内容】

- 生活空間である「まちなか」にある電柱に浸水想定看板を設置し、日常生活の中で目に入ることで、日頃から水防災への意識を高めていくとする取り組み。
- 浸水深の深い地域内の電柱30箇所に設置。  
0.5m～3.0m：25箇所  
3.0m～5.0m：5箇所



【標示内容】  
・図記号  
・想定浸水深  
・内容説明



想定浸水深の高さを赤テープで標示

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知
- 11 まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充

葛飾区

## ■浸水リスク標示板の設置

- 防災活動拠点となる区内の公園35箇所に「浸水リスク標示板」を設置した。
- 浸水リスク標示板には、河川が氾濫した場合の浸水リスクのほか、各防災活動拠点の近くにある「洪水緊急避難建物」についても記載している。

<p>荒川が氾濫した場合の 青戸六丁目さくら公園の想定浸水深 Assumed Flood Water Depth of Arakawa</p>	<p>1.87 m</p>
<p>近くの洪水緊急避難建物 Nearby Emergency Evacuation building for Flood Hazard</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青戸小学校 Aoto Elementary School</li> <li>・青戸中央児童館 Aoto Central Children's Center</li> </ul>	

(浸水リスク標示板)



(防災活動拠点となる公園の防災倉庫)

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- 16 住民等への情報伝達方法の改善

五霞町

## ■五霞町防災の日 避難所体験会・見学会の開催(1)

本町では、毎年11月の最終日曜日を「五霞町防災の日」として位置付け、避難訓練やマイ・タイムライン作成説明会などを開催し、町民の防災に関する意識啓発を目的とした取り組みを実施してきました。今年度の取り組みは、実際の避難所を使用して、水害の想定によって避難した町民が避難所を自主運営する「体験会」と、避難所で実際に使用する資機材等の展示や防災士資格を所有する町職員によるマイ・タイムライン作成講座を実施する「見学会」を同施設で同時に開催しました。

**避難所体験会** 午前9時30分～11時30分

- 対象者 行政区長、町議会議員、町民生委員・児童委員、一般申込者（全約60名）
- 概要 町職員が不在となった避難所を避難者が主体となって運営する際、様々な出来事が想定されます。このとき避難はどのように対応できるかを体験し、また、講師の防災科学技術研究所職員からアドバイスを受け、避難所の運営において適切な環境整備に対する知識向上や協力意識の醸成を図りました。
- 設定
  - ・大型の台風が関東地方を直撃し、利根川上流域で特別警報級の大雨が降り続き、利根川の水位が上昇。今後も大雨が続くことが予想されている。
  - ・町では、町民に避難行動を開始させるため、午後6時に避難指示を発令。
  - ・水位の上昇により、8時間後の午前2時に利根川堤防が越水する見込み。
- 出来事
  - ・避難所(2階)への階段を上がれない避難者からの応援要請（助けて）
  - ・無線による協力依頼（1階に物資が到着、取りに来てください 等）
  - ・就寝のための消灯後に物音（赤ちゃんの泣き声、足音、扉の開閉音等）
  - ・災害対策本部から避難者の照会（〇〇さんはいますか？）
- ワーク
  - ・4グループに分かれ、リーダー及び係を決める
  - ・簡易トイレやプライベートテントの設営、食事場所等の各種スペースの配置設定 等
- 講義
  - ・避難所内の平等、不平等について
  - ・参加者による非常持ち出し品の品評会



体験会（グループ毎に検討）



体験会（就寝時の想定）

291

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- 16 住民等への情報伝達方法の改善

五霞町

## ■五霞町防災の日 避難所体験会・見学会の開催(2)

**避難所体験会**



体験会（非常持ち出し品の品評会）



体験会（GW発表）



見学会（パネル展示）



見学会（MT作成講座）

**避難所見学会** 午前9時00分～11時30分

- 対象者 全町民（自由参加）
- 概要
  - ・災害関連パネルの展示（警察、消防、自衛隊及び東電の協力）
  - ・防災士資格を持つ町職員によるマイ・タイムライン作成講座
  - ・避難所に配備する資機材（簡易トイレ、プライベートテント、蓄電池セット、ガス発電機、エアヘッド等）の展示及び使用体験
  - ・非常持ち出し品例（1人分）の参考展示及び説明
  - ・町民による浸水対策アイデア紹介（住宅床下への泥水浸入防止策）
  - ・試供品として町備蓄食料（非常食※買い換え予定分）の配布 等



見学会（避難所配備資材）

292

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- 16 住民等への情報伝達方法の改善

さいたま市

## ■住民等への情報伝達方法の改善

### ◇さいたま市防災アプリの構築・公開

#### 昨年度までの経緯・背景

- 災害時には防災行政無線放送、メール配信、市HP、テレ玉データ放送、災害時情報電話サービスなどの多様なツールを用いて市民への情報伝達を行っていた。
- 更なる情報伝達のツールとして、それらの情報を普及の進んだスマートフォンのアプリケーションで1つにまとめることで、日頃から、市民がより多くの防災知識を習得することができるとともに、災害時には、避難情報や防災情報等を迅速かつ正確に受け取ることが可能となる。
- 令和4年4月1日よりアプリをリリース

#### 実施内容・今年度の実施状況

- さいたま市総合防災訓練や市報をはじめ、多様な媒体を活用した周知 など

#### 実施効果

- ダウンロード：21,296件（令和5年5月末時点）
- 令和7年度までに累計登録件数30,000件を目標としている



293

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- 20 避難場所・避難経路の再確認と改善

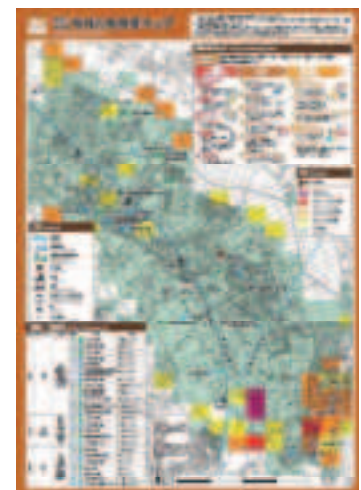
伊奈町

## ■防災マップの改訂

- 平成28年3月に作成した伊奈町防災マップについて、令和4年度中に想定最大規模降雨等の見直しを実施し、改訂作業を進めている。（令和5年4月完成予定）
- また、マップ上に洪水時の利用に適さない避難所や、避難方向の矢印を新たに追加することにより、住民にとって伝わりやすい内容となるよう改訂を行っている。



※地震HM



294

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善
- 22 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

守谷市

■ 要配慮者利用施設の避難計画作成及び訓練促進

【実施内容】

- 令和4年4月に守谷市地域防災計画を改定し、市内の浸水想定区域内にある要配慮者利用施設を地域防災計画に位置付けました。
- 現在、施設側と相互に連携しながら、全ての施設で避難確保計画の作成が完了するよう、対応を行っています。
- 作成完了後は、計画の実行性及び継続性確保のための点検を継続して行い、逃げ遅れゼロに向けて取り組む予定です。



作成状況	
地域防災計画に位置付けられている施設数	6 施設
避難確保計画作成済み施設数	5 施設
※令和4年11月末現在	

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等
- 26 氾濫特性を考慮した被害シナリオと緊急避難及び広域避難計画の策定

常総市

■ 共助の仕組み強化のための取組

- 「鬼怒川・小貝川下流域の大規模水害に関する広域避難計画」に基づく広域避難訓練

令和4年度の実施状況

- ※自主防災組織の迅速かつ的確な避難行動の取り組みとして、つくばみらい市及びつくば市への広域避難訓練と避難所運営訓練を実施する。
- つくばみらい市小絹中学校 令和4年7月31日（日）
  - ・水海道山田地区 ・水海道川又地区
- つくば市豊里柔剣道場 令和4年10月30日（日）
  - ・豊田地区



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等
- 28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知

取手市

## ■取手市総合防災マップの作成

### 【令和4年度の実施状況】

- 取手市では、市内で発生し得る災害リスクを総合的に認知できるよう、各種ハザードマップをまとめた冊子型の総合防災マップを作成しました。
- 総合防災マップには、ハザードマップの他に、マイ・タイムライン、避難行動判定フロー、広域避難計画、平時の備えに関してなど、災害時に必要な情報を掲載しています。

#### 【掲載内容】

- ・洪水ハザードマップ
- ・浸水継続時間
- ・内水実績ハザードマップ
- ・揺れやすさマップ
- ・液状化しやすさマップ
- ・避難に関する情報
- ・避難行動判定フロー
- ・地域の防災対策
- ・各種災害に関する備え
- ・避難時の心得
- ・マイ・タイムライン
- ・感染症対策
- ・わが家の防災メモ
- ・避難所一覧
- ・わが家の防災対策
- ・ペット同行避難
- ・備蓄品および非常時持ち出し品



297

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等
- 28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知

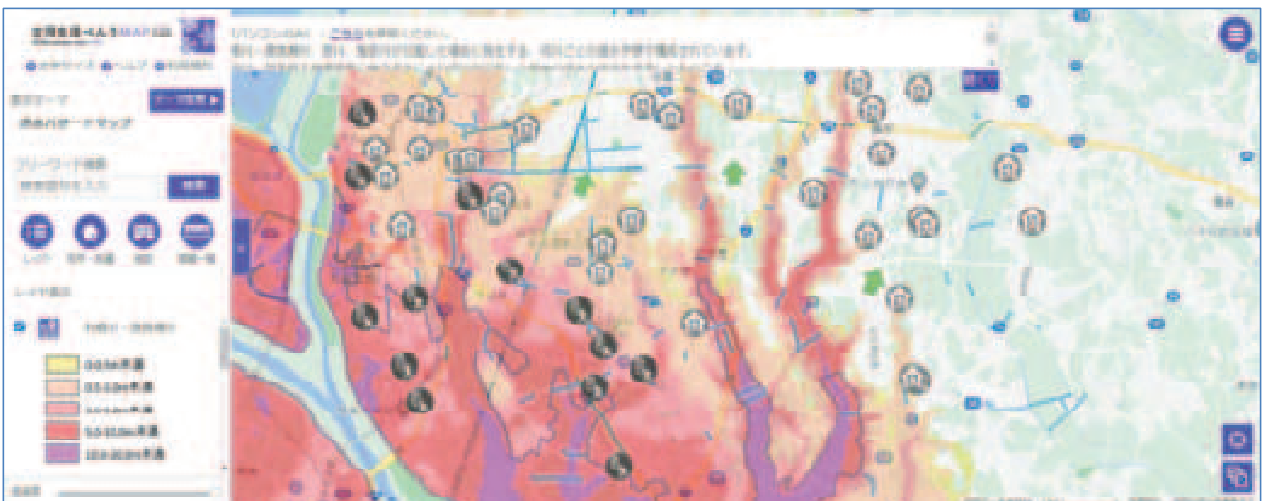
古河市

## ■デジタル地図でのハザードマップの公開

- 令和4年4月1日に市の様々な地図情報が閲覧できる「古河生活べんりMAP」を運用開始した。
- 古河市洪水ハザードマップ（利根・渡良瀬川、思川、鬼怒川）をGoogleマップや航空写真と重ね合わせて閲覧することが可能。
- 住所・地番検索やルートの検索など様々な機能を使用することができる。



こちらの二次元コードからアクセスできます



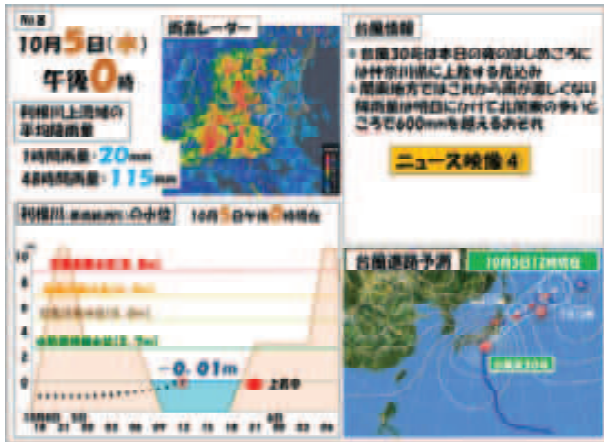
298

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等
- 28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知

古河市

■「古河市民洪水シミュレーションゲーム」を作成

- 古河市での避難のポイントをわかりやすく学んでもらうため、古河市洪水ハザードマップと車や人などの駒を使った「古河市民洪水シミュレーションゲーム」を作成した。
- 古河市に大型台風が接近した想定で、自身の自宅や避難先の駒などをハザードマップ上に配置して避難経路を確認し、時系列に付与された気象情報や水位情報をもとにプレイヤー自身でいつ避難を開始するかタイミングを考えてもらう。
- 古河市の水害特性やプレイヤーの自宅の位置・家族構成をふまえてゲームを行うことができるため、このゲームを行うことで個人の実情に合わせた避難方法を考えることができ、マイトimelineの作成につなげることができる。



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等
- 28 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知

杉戸町

■ハザードマップを活用した防災講座の実施

【実施内容・今年度の実施状況】

- 令和3年3月に洪水ハザードマップを更新し、更新したハザードマップを活用した防災講座を実施。
- 水防災に対する理解と関心を高めるために防災講座を実施し、一人一人の防災意識の向上を図る。
- 自治会等の団体や、市内小学校に対し、町職員による防災に関する出前講座を実施。



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- 29 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

利根川上流  
河川事務所

## ■ オンライン情報共有『防災意思疎通WEBライン』の体制構築

- ▶ 水位上昇時等にWEB会議（Teams）を活用して行政機関と情報共有を行うオンライン情報共有『WEBライン』の体制構築を進めている。
- ▶ 令和4年11月には減災対策協議会構成市区町向けにTeamsの利用環境に関するアンケートを実施し、WEBラインの運用上の課題等について把握した。
- ▶ 令和5年3月2日（木）に実施される「利根川中流 4 県境広域避難協議会 第2回広域避難判断訓練」はWEBラインの試行訓練も兼ねて行う予定。

### ■ オンライン情報共有（WEBライン）の概要

#### 【WEBラインの流れ】

台風や前線が利根川上流域に影響を及ぼす恐れがある状況

利根川上流区間の洪水により被害が発生する恐れがある状況



利根川上流河川事務所より対象者へメールでURL送付



『WEBライン』の実施

項目	内容
目的	✓ 台風や大雨に対する危機感や河川水位の到達状況・予測情報等の情報を共有し、出水対応に向けた意思疎通及び必要となる防災行動等の事前確認を行い、機関毎の出水対応や多機関連携の円滑化を図る
対象者	✓ 利根川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会の構成委員となっている自治体
運用方法	✓ 台風発生時等の危機感の共有や河川の水位情報等の共有をWeb会議にて実施
情報共有内容	✓ 以下の現在の状況と今後の見通しについて共有 ・気象状況 ・河川水位 ・防災対応
会議開始方法	✓ 利根川上流河川事務所よりメール送付により行う ✓ 会議URLは情報共有会議時に発行する
会議中	✓ 執務室の音声が入り会議進行の妨げとならないよう、 <b>マイク及びカメラは基本的にOFF</b> 。 <b>発言・質疑がある場合は、マイク及びカメラをON</b> にして発言する ✓ Web会議のメリットを最大限に発揮するため、 <b>情報提供は画面共有を活用</b> し、資料やWeb画面を共有することが望ましい
会議ツール	✓ Microsoft Teams

301

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- 30 タイムラインに基づく実践的な訓練

加須市

## ■ 総合水害広域避難訓練を実施

- ▶ 大型台風の接近・上陸を想定し、避難情報の発令、広域避難対象地域・地区住民の広域避難及び水害時避難場所の開設・運営等を総合的に訓練する「総合水害広域避難訓練」を実施しました。

- 日時：令和4年6月24日（金）・26日（日）
- 場所：本庁舎（災害対策情報収集室、災害対策本部）、各総合支所、水害時避難場所37か所）、バス発車場所（10か所）、水害時【緊急】避難場所（2か所）
- 参加者数等：896人  
【内訳】市職員355人、利根川上流河川事務所1人、埼玉県警察本部2人、加須警察署6人、加須消防署14人、自治協力団体377人、民生委員・児童委員73人、加須市・羽生水防事務組合水防団（加須市消防団）68人

日程	時間	実施要項	避難情報発令	訓練内容
6月24日（金）	10:00	6:00前	(1) 避難指示・発令	災害対策本部（本庁舎）に集結し、避難指示・発令（想定）
	10:30	7:00～7:30	(2) 広域避難場所開設訓練	広域避難場所開設訓練、避難指示・発令（想定）
6月26日（日）	8:00	7:00～7:30	災害対策本部	災害対策本部に集結し、避難指示・発令（想定）
	8:30	7:30～8:00	避難指示・発令	避難指示・発令（想定）
	8:30	8:00～8:30	避難指示・発令	避難指示・発令（想定）
8:30	8:30～9:00	避難指示・発令	避難指示・発令（想定）	



バス発車所（大利根東小）



水害時避難場所（ふじアリーナ）

302

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- 30 タイムラインに基づく実践的な訓練

葛飾区

### ■ 水害図上訓練の実施

- 広域避難時の対応事項に関する理解を深めるとともに、災害対応力の強化を図ることを目的とし、住民に広域避難を呼びかけた場合を想定した図上訓練を実施した。
- 訓練参加職員を対象とした事前研修を実施し、区内の水害リスクや広域避難の可能性等について知識を深めた。

【参加人数】  
 災害対策本部運営訓練：171名  
 避難所開設訓練：250名  
 【その他参加機関】  
 東京都：4名  
 消防：3名  
 警察：3名  
 自衛隊：3名

住民からの問い合わせ対応



災害対策本部会議の様子



各班で情報共有する様子



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- 30 タイムラインに基づく実践的な訓練

東京管区  
 気象台

### ■ 東京都版気象防災ワークショップの作成

・防災気象情報等の適切な利活用促進を図るため、各都県で気象防災ワークショップを実施。  
 ・しかし、グループワーク資料は全国一律であるため、実感が湧かないとの声も。  
 ↓ そこで・・・  
 ・今年度は、より実感を持って“我が事感”を持って取り組んでいただけるよう、  
**中小河川洪水編（あきる野市）、土砂災害編（八王子市、三宅村）の東京版資料を作成。**



東京版ワークショップ資料

東京版ワークショップ資料

あきる野市地図 浸水予想区域図

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- 30 タイムラインに基づく実践的な訓練

宇都宮地方  
気象台

■ **タイムラインに基づく実践的な訓練**

- 令和4年度栃木県・那須町防災図上総合訓練に参加。
- 想定気象状況として、令和元年東日本台風を利用し、現地災害対策本部（栃木県）と連携した防災対応を行う訓練において気象解説を実施。



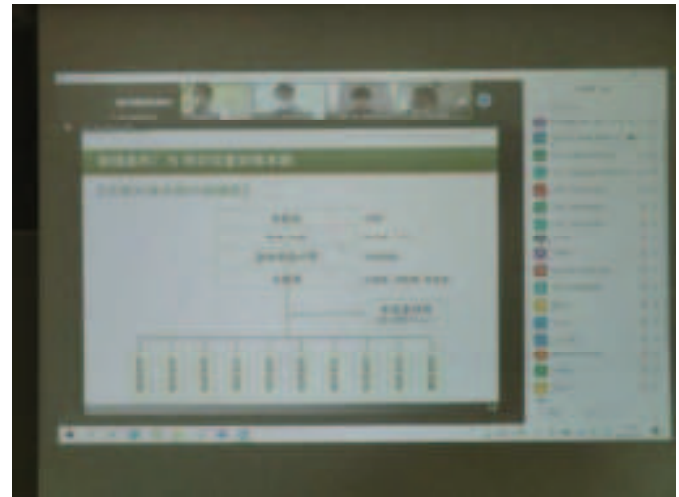
305

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- 30 タイムラインに基づく実践的な訓練

宇都宮地方  
気象台

■ **タイムラインに基づく実践的な訓練**

- 宇都宮地方気象台において、気象防災ワークショップ（土砂災害編）をオンライン形式で実施。
- 気象庁等から提供される気象情報を適切に使い、的確なタイミングで防災体制の強化や迅速な避難情報の判断・伝達を実施できるよう演習。



306

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- 30 タイムラインに基づく実践的な訓練

前橋地方  
気象台

## ■ワークショップの取り組み

- 群馬県の行政県税事務所と連携し、地域毎に市町村防災担当者に対して「気象防災ワークショップ」を開催。
- 県教育委員会と連携し、桐生市の学校関係者に対して「気象庁ワークショップ」を開催。



気象防災ワークショップ  
(令和4年10月24日 館林行政県税事務所)

気象防災ワークショップ  
(令和5年1月13日 高崎行政県税事務所)

307

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- 30 タイムラインに基づく実践的な訓練

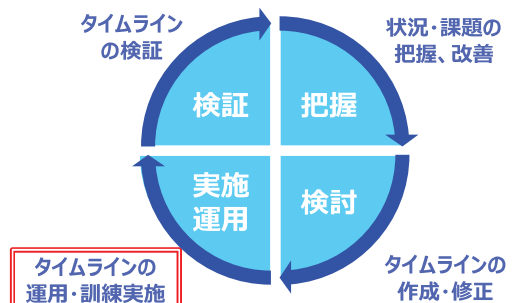
利根川上流  
河川事務所

## ■タイムラインに基づく実践的な訓練の実施に関する勉強会の実施

- 基準水位の変更等の影響を把握したうえで現行のタイムラインをチェックし、さらに今後の実践的な訓練の企画を支援することを目的として、『タイムラインに基づく実践的な訓練の実施に関する勉強会』を令和5年2月24日に開催された幹事会后に実施しました。

### ■ 背景と課題

- タイムラインは実運用や訓練を通して検証・見直ししていくことが重要だが、**実践的な訓練の実施率が低い**。(R4末時点進捗率：50%)
- 令和4年度から、利根川上流域管内の**基準水位が変更**になり、また、「**氾濫危険情報**」の**運用ルールも変更**された。
- これらの変更は、**避難情報の発令タイミングに影響**するものであり、事前にどのように発令タイミングが変わるのかを把握し、現在のタイムラインが実行可能かを確認し、見直すことが重要。



【タイムラインの見直しのイメージ】

### 勉強会の内容

#### 1. 基準水位等の変更内容と避難情報発令に与える影響について

- ・ 変更内容の概要説明
- ・ 避難情報発令等のタイミングへの影響の説明
- ・ タイムラインのチェックの観点の説明

#### 2. 実践的な訓練の企画方法について

- ・ 訓練の目的とレベルにあった訓練方法の紹介
- ・ 実践的な訓練の事例を市区町から紹介
- ★ 加須市、葛飾区からの取組事例紹介
- ・ 質疑応答

訓練実施に関する以下の内容についてご紹介いただきました。

- ・ 訓練の目的・対象者・対象とした災害（被災シナリオ）
- ・ 訓練方法
- ・ 訓練実施に至るまでの検討内容・準備内容
- ・ 連携した部署・機関
- ・ 訓練による効果 等

### 参加者からの主な感想・意見

- 他市事例をご紹介いただけたので、訓練のイメージを掴むことができた。また、今後の取組の参考とすることができた。
- オンラインの会議ではなかなか訓練の内容が伝わりにくい面がある。訓練の想定として発災の何時間前から始まるのかなどイメージが難しかった。
- 【今後、開催して欲しい勉強会のテーマ】気象、降雨に関する情報収集、分析に関すること。減災対策協議会の各種取組の中で、取組率の低い事項に関する先行事例の紹介。

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 33 地域防災力の向上のための人材育成

小山市

## ■ 地域防災力の向上のための人材育成

令和4年度 気象防災研修

- 高度な知識をもった専門家として、気象庁から委嘱された気象防災アドバイザーを講師にお招きし、市職員を対象として気象防災についての研修会（気象の専門知識を活用した災害のメカニズムなど、防災に対する知識向上に役立つ研修内容）を実施した。

【期日】令和4年7月29日（金）  
 【会場】小山市役所 6階大会議室  
 【参加者】67名

・講師 気象防災アドバイザー 内藤俊太郎氏  
 （ウェザーマップ気象予報士、防災士）



309

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 33 地域防災力の向上のための人材育成

熊谷市

## ■ 洪水ハザードマップやマイ・タイムラインについての講習会の実施

### 1. 自主防災組織等における講義

- 自主防災会等が行う防災訓練に合わせて、当課の職員が洪水ハザードマップの解説や、マイ・タイムラインの作成等の講義を行った。  
 15回実施、のべ350人受講【令和5年1月20日（金）現在】

### 2. 地元の大学や直実市民大学における講義

- 市内にキャンパスがある立正大学において、「地方自治論」のうちの1コマで防災に関する講義を行った。  
 【開催日】令和4年10月4日 【受講者数】58人
- 市が運営する、市内在住・在勤者を対象とした学習の場である、直実市民大学の共通学習において、洪水ハザードマップを使った防災に関する講義を行った。  
 【開催日】令和4年5月26日 【受講者数】40人

### 3. 地元の企業やクリニックにおける講義

- 企業の従業員に向けて防災の講義を行った。  
 【開催日】令和4年10月1日 【受講者数】76人
- 入院患者向けのマイ・タイムラインを作成するため、クリニックの防災担当者とマイ・タイムラインの作成方法について講義を行った。  
 【開催日】令和5年1月13日 【受講者数】10人

310

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 33 地域防災力の向上のための人材育成

加須市

■ 市長が国土交通大学校主催の研修に参加

➤ 令和4年度 特別課程 水害に対する危機管理能力向上（トップフォーラムコース）研修に加須市長が参加しました。

- 日 時：令和4年11月7日（月）9時50分～16時15分
- 会 場：砂防会館別館 立山会議室
- 主 催：国土交通大学校
- 概 要：【午前の部】
  - ・特別講演 講師：元内閣危機管理監 伊藤哲朗氏
  - ・豪雨時対応事例 発表者：熊本県人吉市 松岡市長
 【午後の部】
  - ・豪雨時の対応力強化 講師：岡村水管理・国土保全局長
  - ・ラウンドテーブル 進行：東京大生産技術研究所 沼田准教授  
(出席者が各市町の災害対応に係る取組について発表)



311

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 33 地域防災力の向上のための人材育成

越谷市

■ 避難所開設訓練の実施

背景

- 災害時の避難所の開設については、自主防災組織等が主体となって担っていくこととしているが、避難所の開設に関する知識や経験が不足している現状では、円滑な避難所開設は困難である。
- そこで、市内の指定避難所において消防団や自主防災組織等が顔の見える関係を築きながら、各避難所に合わせた内容の避難所開設訓練を実施し、円滑な避難所開設、防災意識の向上及び地域防災力の強化を図ることを目的に、避難所開設訓練を実施した。

実施場所

- 実施場所：指定避難所である市内小中学校 5 校及び県立学校 1 校

講習会内容

- 施設に特化した避難所開設キットを作成し、避難所開設キットに格納する手順書を基に訓練を実施。  
 実施形式：座学形式で手順書の説明  
 避難所となる施設の実際の図面を活用した図上訓練  
 市が備蓄している段ボールベッド等の組み立て訓練



手順書の説明の様子



図上訓練の様子



組み立て訓練の様子

312

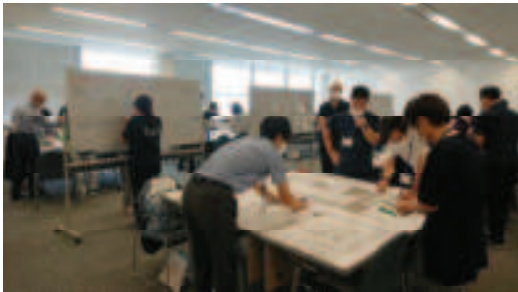
- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 33 地域防災力の向上のための人材育成

上里町

## ■避難所HUG（風水害版）研修

➤ 職員を対象に風水害を想定した避難所HUG(ハグ)（風水害版）により避難所で起こる様々な出来事を体験し、防災意識を高め、避難所運営要領に関して理解を深めました。

【開催日・参加人数】 令和4年6月29日（水） 36名  
 【講師】 一般財団法人 消防防災科学センター 図上訓練指導員



313

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 33 地域防災力の向上のための人材育成

宮代町

## ■宮代町防災・防犯マスター講座開催

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止しておりましたが、3年ぶりに防災・防犯マスター講座を開催しました。
- この講座は、全6回の講座で、防災と防犯の両分野において基礎知識を学びながら、講座を通して防災・防犯に関する地域のリーダーとなってもらうことを目的とした講座となります。

### 【講座一覧】

- 第1回：自主防災組織リーダー養成講座
- 第2回：マイ・タイムライン作成について
- 第3回：住まいの防犯対策  
自主防犯活動の進め方
- 第4回：宮代町地域防災訓練
- 第5回：振り込め詐欺被害防止ワークショップ  
よくわかる木造住宅の耐震化
- 第6回：防犯パトロールについて  
犯罪の発生傾向と対策について  
防火防災について



314

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 33 地域防災力の向上のための人材育成

葛飾区

### ■ 職員向け水害対応研修の実施

- 昨年度に引き続き、全職員を対象とし、最新の気象の動向やハザードマップ、災害対策本部や避難所運営、区民からの問い合わせ対応等について研修を実施した。
- 水害時の区民対応や避難所運営等のほか、広域避難について研修を実施した。
- 同内容の研修を26回実施し、約1000人の職員が参加した。

#### 令和4年度 参集職員向け研修

一 次 第 一

開会

1. 最新の気象の動向
  2. 葛飾区水害ハザードマップについて
  3. 参集時期及び災害対策本部の概要
  4. 令和元年台風19号における葛飾区の状況
  5. 令和3年度災害対策本部運営訓練の様子
  6. 江東5区大規模水害ハザードマップについて
  7. 広域避難対応について
  8. 避難所運営従事について
- 質疑応答・閉会



315

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 33 地域防災力の向上のための人材育成

栃木県

### ■ 県政出前講座の実施

#### 【取組の概要】

- 防災・減災に関する普及啓発及び理解促進を図ることを目的として、防災部局の職員が講師となり学生や防災士を目指す県民に対して減災・防災についての講座を実施した。

#### 【R4年度実績】

開催日	主催者・開催場所等	参加者数(名)
R4年5月	作新学院大学	67
R4年5月	地方自治研究センター	128
R4年7月	宇都宮大学	16
R4年7月	栃木県立南那須特別支援学校	75
R4年7月	白鷗大学	200
R4年8月	栃木県手話通訳問題研究所	30
R4年9月	宇都宮大学	36
R4年11月	下野市女性防火クラブ	23
R4年11月	大田原市防災士養成講座	70
R4年11月	作新学院大学防災士養成講座	70
R5年1月(予定)	鹿沼市防災士養成講座	約52
R5年2月(予定)	作新学院大学防災士養成講座②	約70



#### 【期待される効果】

- ☞ 県民の防災・減災に対する意識醸成、理解促進が図られる。

316

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 33 地域防災力の向上のための人材育成

栃木県

## ■ 避難指示等に関する研修会の実施

### 【取組の概要】

- 災害時の市町の初動対応のあり方や避難指示等の発令に関する理解を深めることを目的として、事例紹介やグループワークを交えた研修会を実施した。



- 実施時期：令和4年7月26日（火）
- 参加者：市町職員 25名
- 内容：
  - ・適切な避難指示等についての座学研修
  - ・避難指示等のあり方、過去の事例分析
  - ・風水害時の対応シミュレーション等についてのグループワーク
- 講師：（株）防災＆情報研究所

グループワークの様子

### 【期待される効果】

- ☞ 避難指示等の適切な発令等について理解を深め、市町担当者の災害対応力向上につながる。
- ☞ グループワークを通じて、市町担当者間の意見交換及び情報共有が図られ、平時・災害時の連携の強化につながる。

317

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 33 地域防災力の向上のための人材育成

栃木県

## ■ 栃木県・市町村防災トップセミナーの実施

### 【取組の概要】

- 災害時に市町長がリーダーシップを発揮し、的確な対応がとれるよう知識の習得を目的として、災害対応体験首長の体験談等を交えたセミナー(オンライン)を実施した。

- 実施時期：令和4年10月27日（木）
- 参加者：市町長等 19名
- 内容：
  - ・風水害対策における市町村長の役割
  - ・災害対応体験首長による体験談
- 実施主体：
  - ・栃木県
  - ・（一財）消防防災科学センター



### 【期待される効果】

- ☞ 災害時の市町長の役割について理解を深めることができる。
- ☞ 災害対応体験首長の体験談を通じ、過去の災害の教訓等を学ぶことができる。

318

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 33 地域防災力の向上のための人材育成

東京管区  
気象台

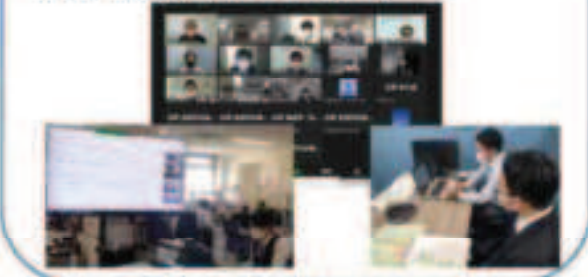
### ■ 定着化を目指した気象防災ワークショップの実施

- ・市区町村が発令する避難情報を疑似体験してもらうグループワーク。
- ・3年間で1巡できるよう、すべての自治体を対象に実施している（東京都は2年で1巡目標）。
- ・防災担当初心者をはじめ各自治体からは、防災気象情報等に対する理解も進むため、継続的に実施して欲しいとの評価もいただいている（実施後アンケートより）。
- ・オンラインを用いた効率的な手法も取り入れ**毎年の取組みとして定着化**を目指している。



このワークショップを通して、防災気象情報を適切に理解し、自治体の体制の強化や避難情報の発令のタイミングなど判断のポイントを学んでいただき防災対応力の向上を目指す。

- ・ここ数年はオンライン（Zoom）も用いて実施。
- ・気象台等から発表される様々な情報を参照し、少人数によるグループワーク（Zoomのブレイクアウトルーム機能を利用）を行っている。



気象庁HP「地方公共団体防災担当者向け気象防災ワークショップ」  
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/kinow/jma-ws2/index.html>

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 33 地域防災力の向上のための人材育成

熊谷地方  
気象台

### ■ オンラインによる気象防災ワークショップの実施

- 気象庁では、地域における防災対応推進を図る目的で、地方公共団体防災担当者向けの「気象防災ワークショッププログラム」を開発、平成30年5月から一般公開しています。
- パソコンやスマートフォン等によりテレビ会議を実施できるアプリケーション（Zoomミーティング）を活用して、有識者の指導と実践を通じて、オンラインで気象防災ワークショップを実施するためのノウハウを詰め込んだマニュアルを作成しています。
- コロナ禍においても、多くの地方公共団体の参加とグループワークを可能とする「オンラインワークショップ」を導入しています。今年度は令和4年に埼玉県と共催して実施しています。

【令和4年度のオンラインによる気象防災ワークショップ実施状況】  
中小河川洪水災害編：令和4年8月25日、令和5年1月18日  
土砂災害編：令和4年9月7日



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

常総市

■ 災害を我がことと考えるための取組

➤ 常総市における在留外国人を対象としたマイ・タイムラインの普及検討

令和4年度の取組状況

- 外国人の水防災意識向上を目的とし、市内在住の外国人を対象にマイ・タイムライン作成講習会を実施した。
- 2022年7月15日 @常総市役所市民ホール
- 対象者……中高校生9名（ブラジル人）・筑波大学 学生（留学生）
- 参加団体……下館河川事務所，筑波大学，河川情報センター，常総市
- 使用教材……試作品「逃げキッドやさしい日本語版」



321

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

境 町

■ 水防災に関する説明会

令和4年度の取組状況

- 自主防災組織および商工会会員に対し、境町の災害リスクである地震並びに水害の一般的特性、特に利根川等氾濫時の広域避難の必要性について教育し、参加者個々の防災意識の向上を図った。



松岡町自主防災会



上小橋行政区

自主防災組織説明  
(マイタイムライン研修を含む)



境町商工会会員に対する防災研修  
(水害避難タワー見学を含む)

322

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

佐野市

## ■ 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

### 【実施内容】

- 大雨による土砂災害を想定した避難訓練を実施した。

- 日 時：令和4年6月26日
- 対象地区：飛駒地区
- 訓練会場：旧飛駒小学校
- 主な訓練内容
  - ・避難に関する情報伝達訓練
  - ・避難所開設及び運営に関する訓練
  - ・自宅から避難所への避難訓練
  - ・防災講話、A E D講習等



避難者の受付



避難所用テントの設営

323

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

館林市

## ■ 市総合防災訓練（水災害想定）の実施

- 令和4年10月2日（日）に水災害を想定して総合防災訓練を実施した。
- 令和元年東日本台風レベルの台風の接近を想定し、災害時に行う意思決定の要領及び各種避難情報の発令基準の確認、システムを用いた職員参集訓練を実施した。
- また、並行して避難所開設・住民避難訓練、救援物資緊急輸送訓練、臨時災害放送局設置訓練、各種関係機関・協定締結事業者による防災関連展示等を実施し、総合的な防災力の強化を図った。



災害対策本部設置訓練



避難所開設訓練



救援物資緊急輸送訓練



臨時災害放送局設置訓練



防災関連展示（関係機関）



防災関連展示（協定事業者）

324

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

明和町

## ■ 明和町総合防災訓練

- 令和4年8月28日、町の地域防災力向上を目的に「第26回明和町総合防災訓練」を実施した。
- 住民参加型の大規模な防災訓練として、水防工法訓練や、昨年11月に完成した指定避難所である「明和メディアカルセンタービル」での避難所開設・運営訓練等を実施し、約400名ほどの住民が参加した。
- 今後も住民の防災意識を高揚させるため、イベントを企画・実行し、地域防災力を高めていきたい。



水防工法訓練の様子



避難所開設・運営訓練の様子

325

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

上尾市

## ■ 浸水想定区域内の住民に対する広域避難訓練

- **経緯・背景**  
令和元年東日本台風の教訓を基に、避難時の移動手段が無い又は限られている避難者を水害発生前に避難させるため、車両（バス）を利用した広域避難訓練を実施した。
- **実施内容**  
【広域避難訓練】
  - ・ 災害時応援協定を締結している東武バスウエスト株式会社の協力のもと、バス（1台）に避難者役の地域住民を乗せ、浸水想定区域外の指定避難所に移送した。
  - ・ また、移送先の指定避難所では、避難所開設訓練を行い、移送されてきた避難者の受付及び誘導を行った。
 【市民への周知啓発】
  - ① 災害時応援協定を締結している企業等のブースを複数設け、訓練参加者に各企業等の防災に関する活動内容の周知啓発を行った。
  - ② 気象予報士を講師として招き、参加者に対して、水害時の避難判断に関する講座を行った。



326

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

草加市

## ■水害啓発動画の作成

### 背景

- 近年、台風などの水害が発生するリスクが高まっていることから、市民に対し水害リスク及び命を守る方法を周知するために作成したものです。

### 実施内容

- 草加市特有の水害リスク、マイ・タイムラインの作成方法等を、わかりやすく動画でまとめ、You Tube配信しています。

### 実施効果

- 令和4年5月から放送を始め、総再生回数約6,000回となっています。(4部構成になっている動画の合計再生数)



327

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

桶川市

## ■防災教育の促進（出前講座の実施）

➤ 地域住民や学校向けに防災出前講座を実施

### 実施内容

- 防災講話の実施
- 段ボールベッドやパーテーションの展示
- 新たな避難情報や防災マニュアルブックの周知及び配布
- 防災ガイドについての解説

### 実施効果

- 地域住民の防災意識の啓発
- 地域防災力の向上



防災講話の様子



段ボールベッド展示の様子

328

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

白岡市

## ■ 自主防災組織・避難所運営職員による避難所開設運営訓練

### ① 避難所開設運営訓練・避難所レイアウト検討訓練（8月4日）

#### 目的

- 避難所となる施設の状況に応じたレイアウトや避難者の動線の事前検討。
- 自主防災組織や避難所運営職員が日頃から顔の見える関係を構築。

#### 参加者

- ・自主防災組織（学区内） 12名
- ・避難所運営職員 3名
- ・教職員 1名



### ② 避難所開設・運営訓練

#### 目的

- 感染症の拡大を想定した避難所の開設・運営に係る知識及び技術向上を目的と訓練を実施した。
- また、8月4日に実施した避難所レイアウト検討訓練で決めたレイアウトに基づき、実際に設営を実施した。

#### 参加者

- ・自主防災組織（学区内） 98名
- ・避難所運営職員 32名
- ・久喜警察署 2名
- ・教職員 2名



329

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

上里町

## ■ 防災講習会・避難所設営訓練

- 防災ガイド・ハザードマップを活用した防災講習会、パーティションや段ボールベッド等を利用した避難所設営訓練等を、自主防災会や公民館学級、ふれあいサロン等で開催しました。

#### 【内容】

- ① 防災ガイド・ハザードマップの説明
- ② 避難所設営訓練
- ③ 協議会提供の水防災に関する広報動画の視聴（「カスリーン台風」等）
- ④ 備蓄食料等の配布

#### 【開催日・参加人数】

- 令和4年 5月9日（月）10名【内容①②④】
- 9月9日（金）23名【内容①③④】
- 11月26日（土）25名【内容①④】
- 12月11日（日）11名【内容②④】



防災ガイド・ハザードマップの説明



「カスリーン台風」動画視聴



パーティション等の組み立て



全自動トイレの解説



ダンボールベッドの組み立て

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

茨城県

## ■「マイ・タイムライン」の普及

### 【目的】

- 災害時に住民が適切な避難行動を取れるようにするため、住民参加によるワークショップを開催し、適切な避難に役立つ「マイ・タイムライン」を作成する。
- 県では、平成30年度からマイ・タイムライン作成事業を実施しているが、令和4年度は新たな取り組みを実施。

### ○県独自様式「我が家のタイムライン」の作成

- 従来のマイ・タイムライン様式を簡略化し、誰でも簡単に作成できる「我が家のタイムライン」を作成。
- 県ホームページに掲載するほか、市町村を通して洪水ハザード内の世帯へ配布。



「我が家のタイムライン」様式

331

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

栃木県

## ■避難所運営に関する研修会の実施

### 【取組の概要】

- 避難所の開設・運営のための平時からの準備や災害時の対応、避難所の感染症対策等に関する理解を深めることを目的として、事例紹介やワークショップを交えた研修会を実施した。



- 実施時期：令和4年7月19日（火）
- 参加者：市町職員 18名
- 内容：
  - ・避難所の開設・運営に関する基礎知識についての座学研修
  - ・実際の避難所運営時の諸課題について実践的に学ぶワークショップ
  - ・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所運営についての座学研修
- 講師：（一社）減災・復興支援機構

避難所受付における検温の様子

### 【期待される効果】

- ☞ 避難所の開設や運營業務について理解を深めることにより、市町担当者の災害対応力向上につながる。
- ☞ 市町間の意見交換及び情報共有が図られ、平時・災害時の連携の強化につながる。

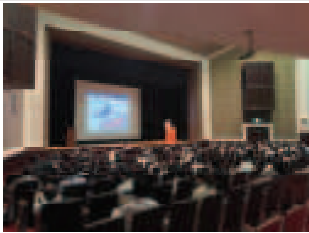
332

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

群馬県

**■マイ・タイムライン作成支援の実施**

- 市町村と連携し、マイ・タイムライン作成講習会を開催。
- 県HPにマイ・タイムライン（個人の避難行動計画）の特設サイトを開設。
- 県HPや公式YouTubeチャンネル「tsulunos」や台風接近時に群馬県防災ツイッターにマイ・タイムライン作成動画を投稿。



マイ・タイムライン作成講習会資料



県HP



群馬県防災  
ツイッター



マイ・タイムライン作成動画

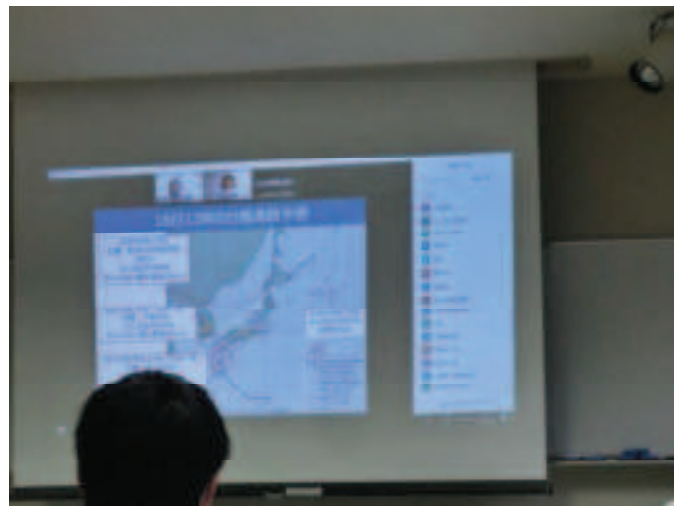
333

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

宇都宮地方  
気象台

**■水防災に関する説明会や避難訓練の開催**

- 台風の接近等に伴う影響や防災上の留意事項等について、台風説明会（気象台）を開催
- 関係機関に注意、警戒を呼びかけ解説資料を提供（栃木県関係部局と各市町等にはオンラインにても実施）



334

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 35 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

熊谷地方  
気象台

## ■ オンラインによる台風説明会の実施

- 県・自治体・報道機関等にZoomを使ったweb形式で開催
- 資料を熊谷地方気象台HPに掲載
- リアルタイムで参加できなかった機関向けにYouTubeに説明動画を限定公開

➢ 令和4年度台風説明会等は、計5回実施

大雨 7月13日  
大雨 7月15日  
台風第8号 8月12日  
台風第14号 9月16日  
熱帯低気圧 9月22日



台風説明会資料の一部

警報・注意報が予想される時間帯(9月16日14時現在)

観測所	種別	9/16		9/17		9/18	
		00:00-06:00	06:00-12:00	00:00-06:00	06:00-12:00	00:00-06:00	06:00-12:00
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						
熊谷	大雨						
熊谷	暴風						
熊谷	高波						
熊谷	暴風						

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 36 教員を対象とした講習会の実施

小山市

## ■教員を対象とした講習会の実施

令和4年度 防災教育セミナー

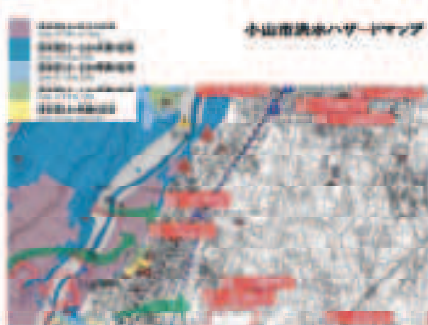
➤ 防災に関する演習や講話を通して、教職員の防災意識を高めるとともに、各校の防災教育の改善・充実を図ることを目的に平成24年度より開催している。

【期日】令和4年11月25日（金）  
 【会場】小山市役所本庁舎2階会議室  
 【参加者】32名

【内容】  
 (1) 講話「今、学校に求められる防災教育」  
 講師に常葉大学大学院環境防災研究科教授重川先生をお迎えし、学校における継続的な防災教育の重要性や命を守るための避難の在り方等についてご講話いただいた。  
 (2) 参加者による意見交換「各校の防災教育の取組について」  
 講話の内容や事務局より提示した視点をもとに、参加者が自校の避難訓練の在り方や防災に関わる取組等の検証を行い、中学校区ごとに意見交換を行った。



講師による講話



講師資料より



意見交換のようす

337

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 36 教員を対象とした講習会の実施

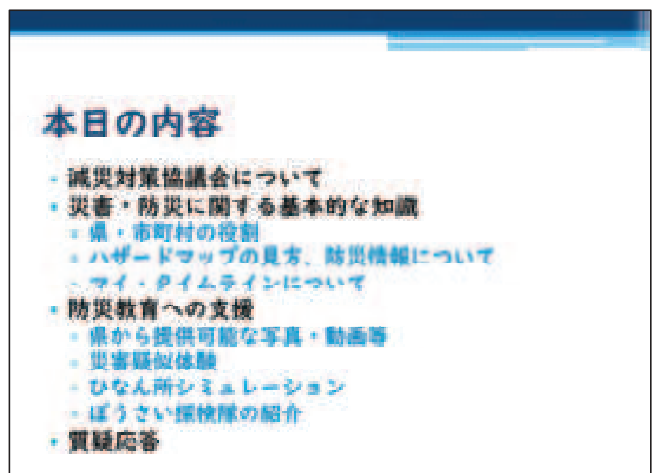
太田市

## ■教員を対象とした講習会の開催

➤ 市内小学校の教員を対象に防災講習会を開催した。

- ※多忙化する教育現場の状況を優先的に考慮し開催内容を検討した。
- ・授業の教材支援を中心とした内容を実施し、教員の授業準備時間の削減
- ・WEBでの実施により移動時間の削減

効果：授業効果の向上、教員自身の防災力向上、学校全体の防災力向上  
 参加者：市内小学校4学年担任 22校32名



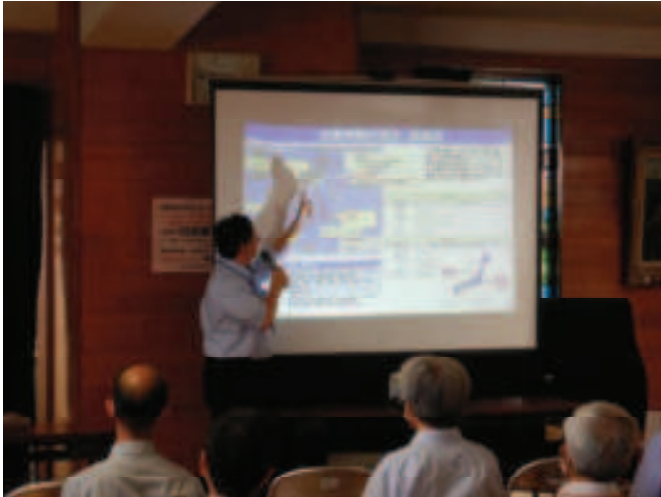
338

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 36 教員を対象とした講習会の実施

前橋地方  
気象台

■ 防災教育の取り組み

- 群馬県高等学校教育研究会地学部会の教員を対象に「群馬県の気象災害」などを講演
- 太田市の小中学校職員など教育関係者や地域住民を招いた防災教室において「気象災害に備えて」などを講演
- 群馬県河川課と連携し、県内の小学生を対象に急な大雨、雷、竜巻から身を守るための防災教育を実施



防災教室（令和4年8月18日 太田市立南中学校）

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 37 小中学生を対象とした防災教育の実施

常総市

■ 防災教育や防災知識の普及

- 小中学生を対象とした防災教育の実施  
常総市内の各小中学校（9校）の総合学習授業の中で、水災害教育を実施

令和4年度の実施状況

- 災害時における危険を認識し、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができるようにする。
  - 常総市内各小学校（7校） 令和4年9月9日～9月16日
    - ・マイ・タイムライン ・クロスロード ・垂直避難 ・避難所体験
  - 常総市内各中学校（3校） 令和4年9月14日～9月16日
    - ・クロスロード ・垂直避難 ・我が家のマイタイムライン



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 37 小中学生を対象とした防災教育の実施

境 町

## ■小学生・高校生に対する防災教育

### 令和4年度の取組状況

- 小学生および高校生に対し、境町の災害リスクである地震並びに水害の一般的特性、特に利根川等氾濫時の広域避難の必要性について教育し、参加者個々の防災意識の向上を図った。



R4.9.21



静小学校（4学年）に対する防災教育



R4.10.4

総和工業高校での防災教育

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 37 小中学生を対象とした防災教育の実施

栃木市

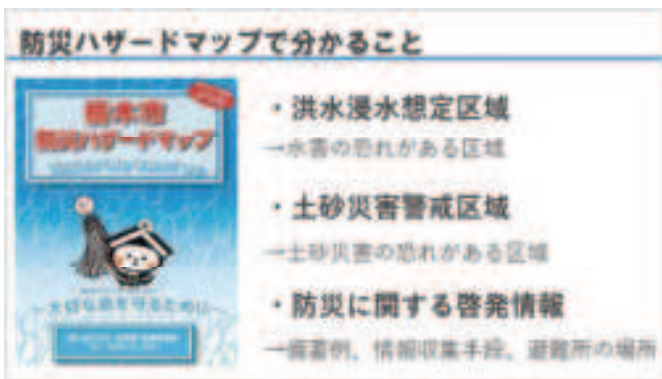
## ■防災対策について出前講座を実施

- 自治会等の市民団体や市内中学校に対し、市職員による防災に関する出前講座を実施した。  
令和4年度における出前講座実施件数：18件（R4.12.31時点）

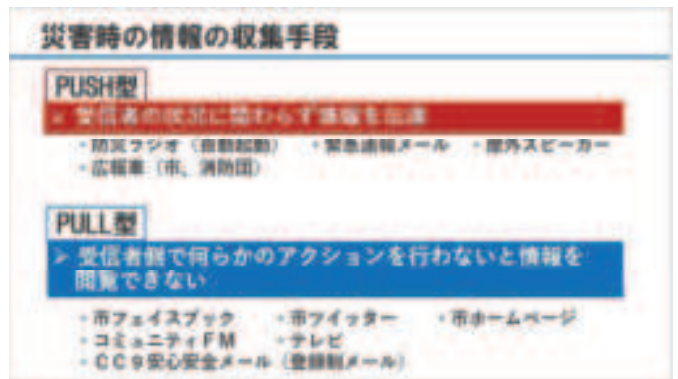
### <講義内容>

- ・日本と災害の関係
- ・適切な避難行動を考える
- ・大雨・洪水に関する避難情報について
- ・防災ハザードマップとは
- ・災害に関する情報の収集手段
- ・防災力の3要素（自助・共助・公助） など

### 使用したスライド（抜粋）



ハザードマップに掲載されている内容・見方などを説明



情報収集手段とその特徴について紹介

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 37 小中学生を対象とした防災教育の実施

小山市

## ■小中学生を対象とした防災教育の実施

令和4年度 防災体験学習

➤ 講話や体験活動を通して、子どもたちの防災への意識を高め、自分の命を守るとともに助け合い協力して活動することの大切さを学んでもらうことを目的に、過去に水害を受けた経験のある地域の小学校を会場に防災体験学習を実施した。

【期日】令和4年11月26日（土）

【会場】小山市立寒川小学校

【参加者】4～6年の希望する児童及び保護者 30名

【活動内容】講師：小山市消防本部危機管理課職員

(1) 防災講話「災害から命を守るために  
～災害時の対応と災害への備え～」

(2) 防災体験

①避難所開設体験

「段ボールベッド設置体験」「パーティション設置体験」

②防災グッズ作り体験「新聞紙スリッパづくり」

③非常食の説明・配付



防災講話



段ボールベッド設置体験



パーティション設置体験

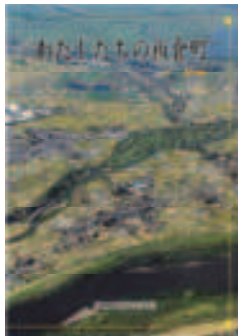
343

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 37 小中学生を対象とした防災教育の実施

板倉町

## ■小中学生を対象とした防災教育の実施

### ○学習指導計画に組み込んだ防災教育の実施



- 町内小学校の3・4年生が使用する社会科副読本「わたしたちの板倉町（十一訂版）」令和2年4月1日発行
- 4年生の学習項目「自然災害からくらしを守る」で、水防災に関する防災教育を実施
- 学習指導計画にあわせて「水防学校」を開催  
水防災に対する理解と関心を高めるため、見て、聞いて、体験して学ぶことのできる防災教育を実施し、災害時には、自らの安全を確保するための行動ができるようにすることで、地域の防災力向上を図る。

### ○水防学校

【利根川上流河川事務所】  
河川防災ステーション見学と  
「洪水」についての学習



【利根川上流河川事務所】  
災害対策車両見学

【NHK前橋放送局】  
気象予報士による、気象防災講話



【館林地区消防組合 板倉消防署】  
・消防・防災車両見学  
・簡易水防工法の体験

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 37 小中学生を対象とした防災教育の実施

邑楽町

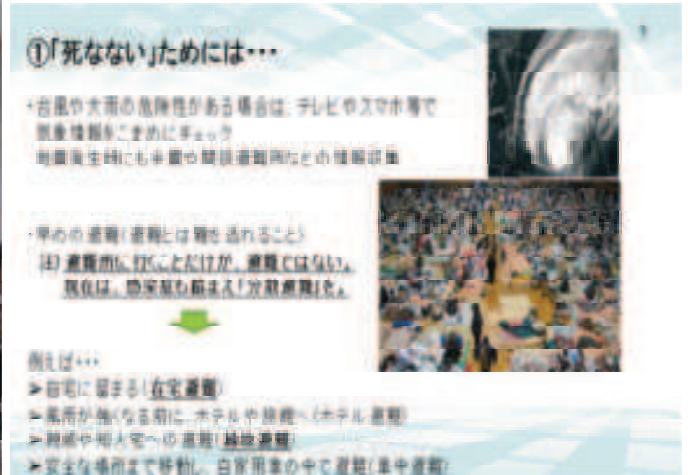
## ■小中学生を対象とした防災教育の実施

- 役場職員が講師となり、小学生親子を対象とした防災教室を実施しました。
- 防災情報の入手方法や分散避難を紹介するとともに、段ボールベッドの組立訓練を実施しました。

日 時：令和4年9月3日（土）  
場 所：邑楽町立長柄公民館  
参加者：22名



教室の様子



分散避難の紹介

345

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 37 小中学生を対象とした防災教育の実施

久喜市

## ■小学生を対象とした防災教育講座

### 背景

- 久喜市では令和元年度から小学生を対象に、子どもたちが災害時における危険を認識し、自らの安全を確保する行動がとれるようにするために授業を行っている。

### 実施内容・今年度の実施状況

- 災害図上訓練（通称：DIG「ディグ」）の授業を実施
- 実施校4校（R3年度は5校実施）  
（栗橋南小学校、東鷲宮小学校、清久小学校、久喜北小学校）

### 実施効果

- 通学路や普段生活する地域などに潜む危険箇所などを認識、把握するとともに、災害や自助・共助について学びきっかけとなる。また、地域の魅力を再発見し、自分たちのまちをもっと好きになってもらう機会づくりにもなる。
- 授業で学んだことを家庭に持ち帰り、家族と防災について話すきっかけにつながる。
- 将来の地域防災の担い手の育成につながる。



346

■職員による中学生を対象とした出前講座の実施

➤ 市内の中学校を対象として、市職員及び市消防職員による防災講座を実施。

**講座内容**

「災害時の避難行動について」の講義。映像コンテンツの活用（『地震だ！その時どうする？』（消防庁）、『カスリーン台風』（利根川上流河川事務所））また、消防車両の見学や、防災倉庫の備蓄品について説明を行った。

**実施状況**

日時 6月21日（火）  
 場所 蓮田市立蓮田中学校  
 参加人数 生徒129名、教員数名



講義の様子



生徒による備蓄品の使用体験

■「マイ・タイムライン」の普及

**【目的】**

- 災害時に住民が適切な避難行動を取れるようにするため、住民参加によるワークショップを開催し、適切な避難に役立つ「マイ・タイムライン」を作成する。
- 県では、平成30年度からマイ・タイムライン作成事業を実施しているが、令和4年度は新たな取り組みを実施。

○洪水ハザード内の小学校でのマイ・タイムライン作成講座の実施

- 県内の洪水ハザード内に所在する全ての公立小学校（100校）でのマイ・タイムライン作成講座実施を目指している。
- 100校のうち県に対して講座開催を希望しているのは60校であり、残りの学校は市町村、国河川事務所などへ開催を依頼予定。
- 県では、令和4年12月末までに55校で講座を開催。



小学校での授業の様子

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 37 小中学生を対象とした防災教育の実施

栃木県

## ■ 小中学校における水災害教育への取組

### 【概要】

➢ 台風やゲリラ豪雨等で急激に河川が増水することによる水難事故の発生防止のため、県内の小中学校等へ県土整備部職員（各出先土木事務所職員）が出向き、リーフレット等を用いた出前講座を実施した。

### 【令和4年度実施校（16校）】

- ・7月6日（水） 栃木市立部屋小学校
- ・7月6日（水） 那須町立那須中学校
- ・7月7日（木） 茂木町立茂木小学校
- ・7月7日（木） 那須町立那須高原小学校
- ・7月7日（木） 足利市立坂西小学校
- ・7月8日（金） 那須烏山市立荒川小学校
- ・7月8日（金） 佐野市立常盤小学校
- ・7月11日（月） 鹿沼市立板荷小学校
- ・7月11日（月） 日光市立今市小学校
- ・7月11日（月） 塩谷町玉生小学校
- ・7月13日（水） 上三川町立本郷小学校
- ・7月13日（水） 那須町立学びの森小学校
- ・7月13日（水） 那珂川町立馬頭小学校
- ・7月14日（木） 大田原市立佐久山小学校
- ・7月19日（火） 那須町立高久小学校
- ・7月21日（木） 宇都宮市立錦小学校

【パワーポイントによる説明】  
（栃木市立部屋小学校）



【ライフジャケット着用体験】  
（足利市立坂西北小学校）

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 37 小中学生を対象とした防災教育の実施

群馬県

## ■ 防災教育の実施

- 市町村と連携し、小中学生を対象に防災教育を実施。
- 台風第19号等の被災状況、気象情報、ハザードマップの見方、防災情報の確認方法等を説明。
- 対面実施だけでなく、WEB配信方式による実施や、タブレットを用いたAR浸水体験を取り込み実施。

### ■ 令和4年度 防災教育の実施状況

実施状況	学校名	防災教育内容
R4.6	渋川市立橋小学校(4年生)	出前講座(前橋地方気象台)
R4.9	伊勢崎市立豊受小学校(全学年)	水害に備えて(県)WEB配信
R5.2	高崎市立車郷小学校(6年生)	避難所の開設・運営について(高崎市、県)
R4.9	藤岡市美久里東小学校(4年生)	出前講座(藤岡市、県)
R4.10	富岡市立一ノ宮小学校(5年生)	ぼうさい探検隊(まち歩き)
R4.10	安中市立第一中学校(全学年)	水害に備えて(県)WEB配信
R4.12	嬬恋村立嬬恋中学校(4年生)	防災授業(NHK前橋放送局、県)
R4.11	沼田市立升形小学校(3年生)	沼田消防署との合同授業(消防、沼田市、県)
R4.7	太田市内の小中学校教職員	防災全般・副読本解説等(県)WEB配信
R4.10	桐生市立東小学校	防災授業見学+教育委員会との意見交換会
R5.2	館林市立第二小学校	防災授業、まちあるき+ハザードマップ作成



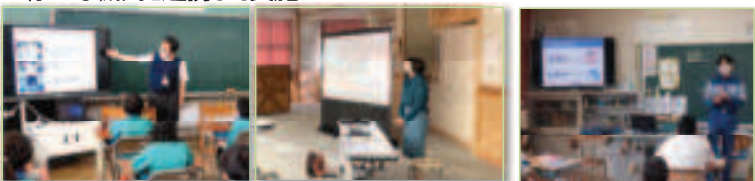
防災まちあるき



ハザードマップの見方

浸水体験 (AR)

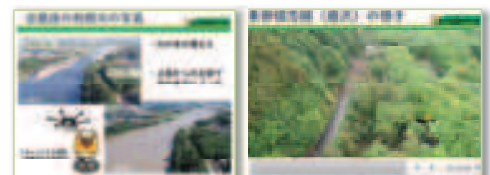
### ■ 様々な機関と連携して実施



(前橋地方気象台)

(NHK前橋放送局)

(市町村職員)



ドローン映像

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 37 小中学生を対象とした防災教育の実施

**■小中学生を対象とした防災教育の実施**

➤ 大洗町における学校安全総合支援事業への支援。大洗町教育委員会より学校安全総合支援事業実践委員会委員（自然防災アドバイザー）に委嘱され、実践委員会や研修会等に参加して助言等を行った。

- ・ 9月 2日（金）「大洗町立第一中学校、大洗小学校 合同引き渡し訓練及び意見交換会」
- ・ 10月20日（木）「大洗町立第一中学校、大洗小学校 自然防災教室講演等」



引き渡し訓練



自然防災教室講演

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 37 小中学生を対象とした防災教育の実施

**■小中学生を対象とした防災教育の実施**

➤ 茨城県教育研修センターの研究授業（台風と防災）への支援。大洗町立南小学校の5年生に対する研究授業において、助言や質問対応を行った。

- ・ 7月8日（金）、7月11日（月）、7月13日（水）「大洗町立南小学校と気象台コラボ授業（Web参加）」
- ・ 9月8日（木）「大洗町立南小学校にて研究授業（台風と防災）発表会」



研究授業（台風と防災）発表会



大日本図書\_小学5年理科【台風と防災】

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 37 小中学生を対象とした防災教育の実施

宇都宮地方  
気象台

## ■小中学生を対象とした防災教育の実施

- 栃木県教育委員会主催の、とちぎ子どもの未来創造大学の出前講座「体験気象学」において、実験を通じた気象に関する講座を実施。
- 気象庁（宇都宮地方気象台）の業務の説明や実験を通して、気象及び防災に関する意識高揚を図った。



353

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

千代田町

## ■「カスリーン75」の取組

### ○千代田町自主防災組織連絡協議会情報交換会

- 令和4年11月9日（水）午後6時30分から町役場2階大会議室において、「令和4年度千代田町自主防災組織連絡協議会情報交換会」を実施しました。
- それぞれの防災組織が今年度の取組の情報交換を実施後、「利根川のリスクを忘れない」取組として、カスリーン台風の映像を視聴していただきました。
- 視聴したそれぞれが、当町を流れる利根川のリスクについて再確認でき、とても有意義な会となりました。



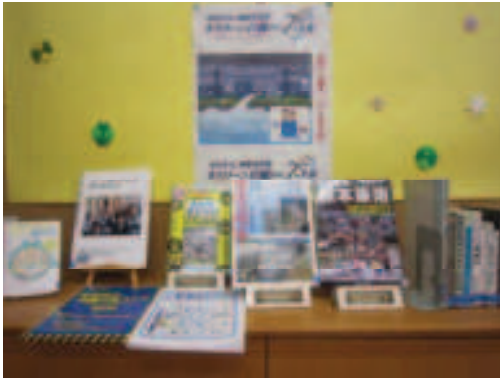
354

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

加須市

■ 図書館でカスリーン台風コーナーを設置

➤ カスリーン台風から75年を迎え、市内図書館4館で台風や水害に関連した本やパンフレットを展示し、市民への啓発を行った。



355

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

本庄市

■ 市民に対する研修、職員に対する訓練の実施

- 市民に対する研修
  - ・ ハザードマップを活用した出前講座の実施
  - ・ コロナ禍のため規模を縮小した「総合防災訓練」の実施
- 職員に対する訓練
  - ・ 避難所担当者に対して、マニュアルの配布及び説明会を実施
  - ・ 「安否確認訓練」及び「非常参集訓練」を実施。



洪水・内水氾濫ハザードマップ表紙



総合防災訓練

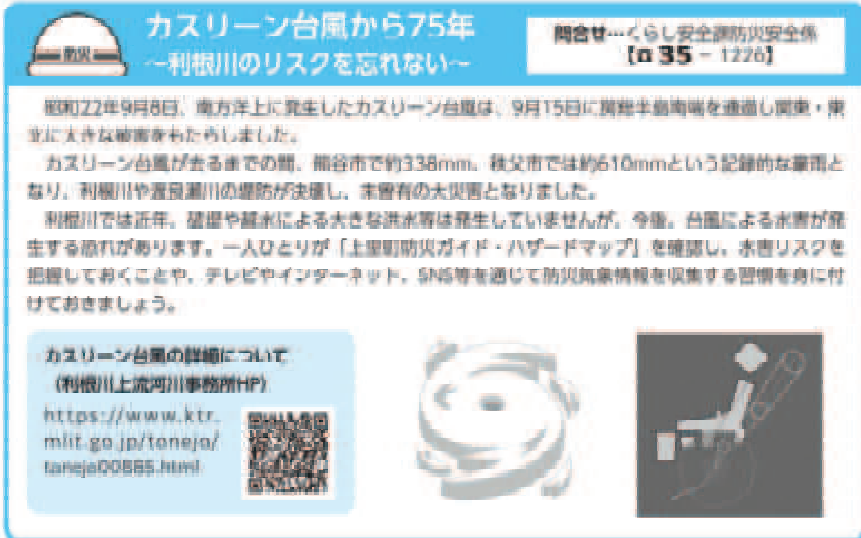
356

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

上里町

■カスリーン75の取り組み

- 令和4年が、カスリーン台風により利根川や渡良瀬川が決壊し、未曾有の大災害が発生してから75年目 になることを踏まえ、この節目の年に、防災意識の向上及び治水事業や防災対策の必要性を伝えることを目的として、広報展開を図りました。



ふれあいサロン「防災講座」  
 広報動画視聴  
 「カスリーン台風」他  
 令和4年9月9日（金）23名

広報「かみさと」10月号への掲載

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及
- 38 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

江戸川区

■水害からの避難に関する多言語の動画を作成

- 講演会に参加できない区民及び外国人のために、水害からの避難について説明する動画を作成。
- 外国人向けに作成した動画は、やさしい日本語、英語、中国語、韓国語及びヒンズー語の5種類となる。

やさしい日本語版



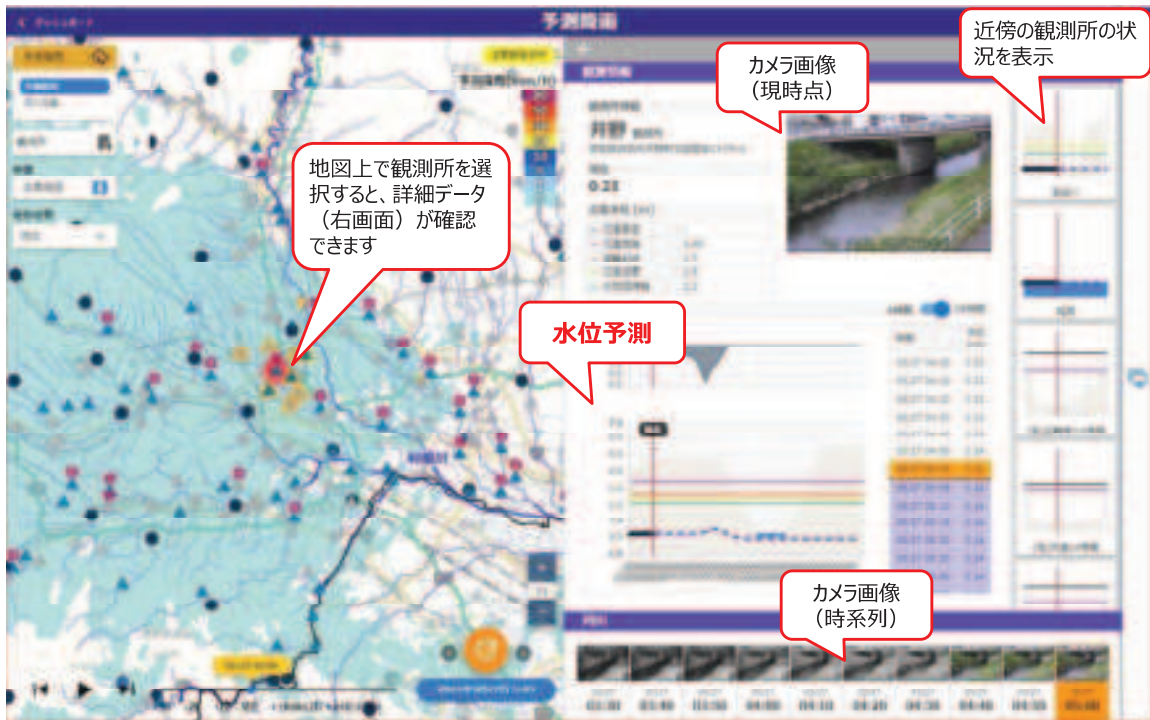
ヒンズー語版

- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- 39 河川水位等に係る情報提供

群馬県

### ■群馬県リアルタイム水害リスク情報システム

- 県管理河川の数時間先の河川水位や浸水範囲が予測できる「群馬県リアルタイム水害リスク情報システム」を構築
- R4.4 水防関係機関向け運用開始
- R4.5より県民向けに水位・雨量情報のほか、これまで整備した危機管理型水位計・河川監視カメラを集約して公開



359

- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- 46 関係機関及び住民が連携した実働水防訓練の実施

玉村町

### ■五料・川井・飯倉3区合同防災訓練

- 日時 令和4年7月31日(日) 午前8時00分から午前10時30分まで
- 場所 芝根小学校(天気:晴れ)
- 実施内容 情報伝達訓練(環境安全課から五料・川井・飯倉の各区長への情報伝達訓練)  
避難所受け入れ訓練(担当:役場職員) 避難所体験(担当:役場職員) 土のう体験(担当:消防団第6分団)  
応急救護講習(担当:玉村消防署員)
- 参加者数 3区住民:63名(川井36名、飯倉10名、五料17名) 他行政区の区長:2名(うち1名は、防災士も兼ねる)  
防災士:5名(うち1名は、区長も兼ねている) 町職員:15名(環境安全課4名、各課協力職員11名)  
消防団第6分団:4名 玉村消防署員:5名 **総合計:93名**



開会あいさつ(3区長より)



土のう体験(消防団第6分団)



避難所体験(役場職員)



応急救護講習(玉村消防署員)

五料・川井・飯倉地区合同防災訓練アンケート		
今後の防災対策に役立てたいと考えておりますので、次のアンケートにご協力ください。		
はじめに、下記についてご記入ください。		
・年齢(おまかせ下さい)		
[ 10歳未満 ]	[ 10代 ]	[ 20代 ]
[ (1) ]	[ (1) ]	[ (0) ]
・性別(おまかせ下さい)		
[ 男性 ]	[ 女性 ]	
[ (2) ]	[ (2) ]	
・居住している地区(おまかせ下さい)	※居住している地区の人数については、下の表身に○を記入します。	
[ 川井 ]	[ 飯倉 ]	[ 五料 ]
[ (3) ]	[ (8) ]	[ (13) ]
	[ 川中學校 ]	[ 飯倉 防災士 ]
		[ (2) ] [ (3) ]
質問1. 本日の訓練について		
災害の発生に備えるため、本日の訓練内容が役に立つと思われますか。		
避難所体験について	[ 役に立つと思う・役に立つと思わない・わからない ]	
	[ (4) ] [ (3) ] [ (2) ]	
土のう体験について	[ 役に立つと思う・役に立つと思わない・わからない ]	
	[ (4) ] [ (2) ] [ (1) ]	
応急救護講習について	[ 役に立つと思う・役に立つと思わない・わからない ]	
	[ (5) ] [ (1) ] [ (0) ]	
質問2. 日頃の防災対策について		
町では平成30年に総合防災マップ(ハザードマップ)を毎年更新しています。		
ハザードマップをご覧になったことがありますか。	はい	いいえ
	[ (8) ]	[ (3) ]
災害時の避難場所や避難方法について、ご家族で話し合ったことがありますか。		
	はい	いいえ
	[ (4) ]	[ (8) ]
防災に関する情報を何で確認していますか。(複数するもの全てに○をつけて下さい)		
	[ ①メルマガ(2) ]	
	[ ②太田ボイス(3) ]	
	[ ③テレビ(ケーブル放送)(2) ]	
	[ ④FMななみ(5) ]	
	[ ⑤環境安全課公式Instagram(5) ]	
	[ ⑥広報車両による広報(2) ]	
	[ ⑦その他(携帯電話・スマホ、顕鏡?) ]	
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。		

360

- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化
- 46 関係機関及び住民が連携した実働水防訓練の実施

足立区

### ■京成本線荒川橋梁部における水防訓練の実施

- 「京成本線荒川橋梁部における水防活動手順書」に基づく対策（土のう積み、止水板設置）を鉄道営業終了後の軌道敷内で実施。
- 鉄道の運行停止、軌道敷の安全確認、越水防止対策の実施の一連の行動を実施し、関係機関との連携方法等を確認・検証した。



361

- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- L) 緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施
- 52 関係機関、自治体が連携した排水訓練の実施

栃木県

### ■栃木県排水ポンプ車の排水操作訓練を実施

【概要】

- 災害発生時に迅速かつ的確な排水作業を行う目的で、栃木県排水ポンプ車の操作研修を兼ねた訓練を、関係機関と連携し実施した。今後も、毎年出水期前に訓練を実施する。
- なお、栃木県排水ポンプ車は、県内における浸水の早期解消を目的とし、令和3年度に合計3台配備した（栃木土木事務所1台、安足土木事務所2台）。



【栃木県排水ポンプ車全景】



【排水ポンプ車 排水操作訓練状況】

362

ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組  
 L) 緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施  
 52 関係機関、自治体が連携した排水訓練の実施

■区市町村との合同排水ポンプ車操作訓練

実施の目的

- ◆都職員及び水防管理団体職員による排水ポンプ車の操作習熟

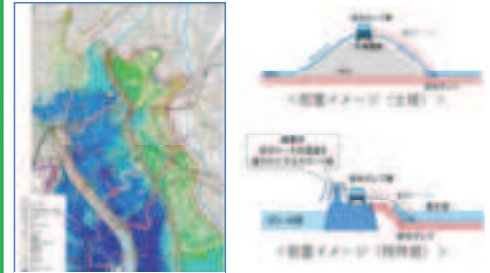
R4 実施結果

- ◆各事務所が主体となり、操作訓練を実施



移動式排水ポンプ車

- ◆大規模な高潮により浸水が発生した際に速やかな解消を図るため、排水施設や排水ポンプ車等の効率的な運用方法等を取りまとめた「東京都における排水作業準備計画」を作成し令和4年8月に公表



<標高図>

排水ポンプ車操作訓練に活用

令和5年度以降の訓練について

- ◆排水ポンプ車を有する事務所毎に操作訓練を実施予定
- ◆水防管理団体に操作訓練への参加を依頼
- ◆「東京都における排水作業準備計画」を踏まえた訓練も実施予定

# 令和3年度 各構成員の取組事例

364

## ハード対策

取組内容	実施主体者	ページ 番号
<b>A) 洪水を河川内で安全に流す対策</b>	－	－
<b>B) 危機管理型ハード対策</b>	－	－
<b>C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備</b>	－	－
広域避難のための避難場所の確保	境町	370
防災情報伝達システムの運用	館林市	371
適切な土地利用の促進	邑楽町	372
スマホ用 防災アプリの作成	加須市	373
対策本部、警戒本部等設置時の情報収集	草加市	374
排水ポンプ車の配備及び排水操作訓練の実施	栃木県	375
危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラの設置	栃木県	376
群馬県リアルタイム水害リスク情報システム	群馬県	377
水防災情報の発信強化	東京都	378
ポンプ車等の配備	水資源機構	379

365

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 (1/2)

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知</b>	—	—
まるごとまちごとハザードマップの拡充	野木町	380
まるごとまちごとハザードマップの整備	邑楽町	381
まるごとまちごとハザードマップの設置	三郷市	382
防災ガイド・ハザードマップの改訂	上里町	383
避難啓発リーフレットの作成・配布	栃木県	384
洪水時の確実な情報伝達のための顔が見えるホットラインの構築	利根上・自治体	385
<b>E) 避難計画、情報伝達方法等の改善</b>	—	—
避難行動要支援者個別避難計画モデル事業の実施	常総市	386
「渡良瀬川の減災に係る取組方針」の実施状況	足利市	387
洪水・土砂災害ハザードマップの改訂及び周知	佐野市	388
リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	玉村町	389
要配慮者利用施設における避難確保計画作成の推進	さいたま市	390
災害対策基本法の一部改正に伴う変更点周知チラシの全戸配布	熊谷市	391
洪水ハザードマップを改訂	加須市	392
洪水ハザードマップの作成	羽生市	393
住民への情報伝達方法の改善	桶川市	394
洪水ハザードマップの作成	幸手市	395
避難指示等に関する研修会の実施	栃木県	396
<b>F) 企業防災等に関する事項</b>	—	—
<b>G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等</b>	—	—
想定最大規模降雨に対応したハザードマップの作成	越谷市	397
利根川中流 4 県境 広域避難協議会幹事会の開催	利根上・自治体	398
<b>H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成</b>	—	—
タイムラインに基づく実践的な訓練	古河市	399
水害図上訓練の実施	葛飾区	400

366

ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 (2/2)

取組内容	実施主体者	ページ番号	取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>I) 防災教育や防災知識の普及</b>	—	—	マイ・タイムライン作成の周知・啓発	蓮田市	422
水防災に関する説明会及び避難訓練の実施	古河市	401	水防災に関する説明会の開催	伊奈町	423
「コミュニティ防災（市民）防災を指そう！」研修会を実施	取手市	402	防災講習会・避難所設営訓練	上里町	424
水防災に関する説明会を実施	坂東市	403	中学校と連携した防災教室	上里町	425
小中学生を対象とした防災教育の実施	坂東市	404	3 7 小中学生を対象とした防災教育の実施	杉戸町	426
五霞町防災の日 総合防災訓練	五霞町	405	あだち防災フェア 2 0 2 1 を実施	足立区	427
防災対策について出前講座を実施	栃木市	406	区職員向けの水害対応研修の実施	葛飾区	428
小中学生を対象とした防災教育の実施	小山市	407	水防災に関する説明会等の開催	茨城県	429
教員を対象とした講習会の実施	小山市	408	小中学生を対象とした防災教育の実施	茨城県	430
マイ・タイムライン作成支援の実施	太田市	409	マイ・タイムライン作成支援の実施	群馬県	431
小中学生を対象とした防災教育の実施	板倉町	410	防災教育の実施	群馬県	432
水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知	板倉町	411	気象、地震に関する講演、ワークショップ等を開催	水戸地方気象台	433
水防災に関する説明会及び避難訓練の実施	板倉町	412	水防災に関する説明会や避難訓練の開催	宇都宮地方気象台	434
令和3年度板倉町水防学校を開催	利根上・板倉町	413	小中学生を対象とした防災教育の実施	宇都宮地方気象台	435
板倉町行政区長会視察研修	利根上・板倉町	414	気象防災ワークショップ実施	前橋地方気象台	436
職員及び消防隊で実施したコロナ禍に対応した防災訓練	千代田町	415	中学生向け解説動画の作成	前橋地方気象台	437
防災講演会の実施	千代田町	416	防災に関するポスター等の常設	前橋地方気象台	438
水害時の避難に役立つ短編動画【新作】を作成	加須市	417	気象防災ワークショップ	東京管区気象台	439
カスリーン台風写真パネル展を開催	加須市	418	ソフト対策、ハード対策について自治体広報紙に掲載	利根上・自治体	440
警察と合同の避難誘導訓練を実施	加須市	419	取組について自治体広報誌に掲載	利根上	441
市民に対する研修の実施	本庄市	420	改札前の展示ブースでの広報（栗橋駅前）	利根上	442
防災教育講座を活用した講習会	久喜市	421	「治水の日」式典に代わり、「決壊の碑」の前で挨拶	利根上	443

367

■ ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化</b>	—	—
自主防災組織への防災備品配備	明和町	444

■ ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組

取組内容	実施主体者	ページ番号
<b>L) 緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施</b>	—	—
樋管操作及び排水訓練の実施	玉村町	445
区市町村との合同排水ポンプ車操作訓練	東京都	446
<b>M) BCP（業務継続計画）に関する事項</b>	—	—
職員に対する訓練の実施	本庄市	447
『葛飾区業務継続計画（BCP）〈水害編〉』の策定	葛飾区	448
<b>N) 生活再建及び社会経済活動の回復のための民間力の活用</b>	—	—
<b>O) 水防災社会構築に係る地方公共団体への財政的支援</b>	—	—
水防災社会構築に係る地方公共団体への財政的支援	境町	449
水防災社会構築に係る地方公共団体への財政的支援	境町	450
<b>P) 適切な土地利用の促進</b>	—	—
洪水浸水想定区域図作成及び市町村への提供	茨城県	451

368

■ その他

取組内容	実施主体者	ページ番号
新型コロナウイルス影響下における避難所設営訓練	守谷市	452
コロナ対策を踏まえた避難所開設訓練及び無線通信訓練を実施	五霞町	453
コロナ禍を想定した避難所開設訓練の実施	太田市	454
災害協定による避難所混雑状況の可視化	大泉町	455
避難所開設キットの導入	上尾市	456
自主防災組織、行政区、市職員による避難所開設訓練の実施	白岡市	457
避難所情報の見える化	宮代町	458
土のう作成、土のう積み訓練の実施	足立区	459
大規模水害時自主的広域避難補助金	江戸川区	460
車両を浸水被害から守る	東日本旅客鉄道株式会社	461
避難所運営に関する研修会の実施	栃木県	462
出前講座の実施について	埼玉県	463
宅地建物取引業者へ水害リスク情報の提供	東京都	464
あなたの町の予報官テレビ	東京管区気象台	465

369

- ハード対策
- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

境町

### ■ 広域避難のための避難場所の確保

➤ [八千代町・県立八千代高校・民間企業等との町外広域避難に関する覚書\(6月\)](#)



6月21日、八千代町役場で5者による覚書を締結



- ハード対策
- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

館林市

### ■ 防災情報伝達システムの運用

➤ [防災情報伝達の多重化・多様化](#)を図るため、令和2年度に整備工事を実施し、スマホアプリや戸別受信機などによる新たな情報伝達として、[防災・市政情報などを伝えるシステム](#)の運用を開始。

※ 一部運用: 令和3年3月15日～(アプリ、防災スピーカーのみ運用を開始)  
 本格運用: 令和3年4月1日～



- ハード対策
- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

邑楽町

## ■適切な土地利用の促進

### わが町ガイド おうら(GIS)

- 本町では**事務の効率化**と**住民サービスの向上**を目的として、**行政のデジタル化**を進めております。
- 今回その取組の一環として**GISシステムを構築し、全庁横断的な体制を整え、事務の効率化**を図りました。



<https://www2.wagmap.jp/ora/Portal>

- 浸水想定区域図を搭載
- 住所検索機能により、すばやく自宅の浸水深を検索可能



372

- ハード対策
- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

加須市

## ■スマホ用 防災アプリの作成

### スマートフォン用防災アプリを作成、公開

- 加須市の**防災情報を集約**したスマートフォン用アプリ「**加須市防災アプリ**」の**公開及び運用を開始**した。

1 公開日 令和3年4月1日

2 主な機能

#### ①防災地図

- ハザードマップや避難場所を地図で確認
- 避難場所の開設、満員・満車等の状況も表示

#### ②災害体験AR

- 現在位置の洪水による想定最大浸水深をカメラで映した建物などの画像に重ねて表示

#### ③お知らせ機能

- 防災情報、避難情報等をプッシュ通知

#### ④防災ライブラリ・リンク集

- 事前学習に役立つ防災ライブラリ
- 災害時に役立つリンク集



#### ①防災地図



#### ②災害体験AR



373

- ハード対策
- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

草加市

### ■ 対策本部、警戒本部等設置時の情報収集

- 災害発生時には、対策本部等に大量の情報が寄せられ、情報収集等が困難となるため、被害情報や避難所情報をはじめとする各種情報を収集・一元管理することで、災害対策本部における意思決定を支援し、職員の事務業務を軽減するクラウド型の災害情報共有システムを導入している。
- 今年度においては、災害対策本部職員及び避難所担当職員に対し、同システムの操作方法について、研修を行っている。
- また、指定避難所等には輻輳しにくい地域BWA回線を利用するWi-Fiルーターを配備している。

災害対策本部 情報の流れ



374

- ハード対策
- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

栃木県

### ■ 排水ポンプ車の配備及び排水操作訓練の実施

- 近年の地球温暖化に伴う気候変動により、全国各地で豪雨が頻発している。栃木県では、県内における浸水の早期解消を図ることを目的に、栃木土木事務所(小山詰所)及び安足土木事務所(安蘇庁舎、足利庁舎)に排水ポンプ車を合計3台配備した。
- また、災害発生時に迅速かつ的確な作業を行う目的で、排水ポンプ車の操作研修を兼ねた訓練を、関係機関と連携し、実施した。今後も、毎年出水期前に訓練を実施する。



排水ポンプ車全景



排水操作訓練実施状況

375

## ■ 危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラの設置

### 危機管理型水位計

- 洪水時のみの観測に特化した危機管理型水位計を設置し、きめ細かく水位観測をすることにより、洪水時の河川監視体制の強化を図り、住民の防災行動に役立てる。

⇒令和3年度は、蓮華川(栃木市)を含む19箇所に設置した。

### 簡易型河川監視カメラ

- 常設水位計や危機管理型水位計等の水位情報に加え、画像情報が乏しい中小河川に簡易型河川監視カメラを設置することで、洪水時の河川監視体制の強化を図り、住民の防災行動に役立てる。

⇒令和3年度は、赤津川(栃木市)を含む29箇所に設置した。



危機管理型水位計  
一級河川蓮華川(栃木市藤岡町)



簡易型河川監視カメラ  
一級河川赤津川(栃木市都賀町)

## ■ 群馬県リアルタイム水害リスク情報システム

- 県管理河川の数時間先の河川水位や浸水範囲が予測できる「群馬県リアルタイム水害リスク情報システム」を構築。
- R3.7より水防関係機関向け試験運用を開始。R3年度中にシステム改良を行い、R4.4より水防関係機関向け運用開始。
- R4.5より県民向けに水位・雨量情報のほか、これまで整備した危機管理型水位計・河川監視カメラを集約して公開。

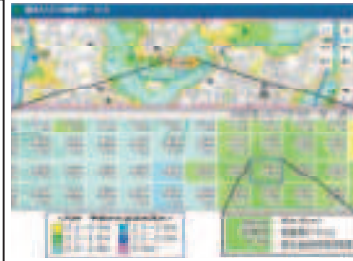


- ハード対策
- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

## ■水防災情報の発信強化

### 浸水リスク情報の提供

- ハザードマップの基となる浸水予想区域図について、**令和2年度末に全14区域**で想定最大規模降雨に対応した図への改定を完了
- ピンポイントの浸水リスクをスマートフォン等からでも簡単に検索できる「**浸水リスク検索サービス**」を提供
- 令和3年12月に「中川及び綾瀬川圏域」など5区域を追加し、**都内全14区域**での提供を開始



URL: [https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/river/chusho\\_seibi/risk/kensaku.html](https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/river/chusho_seibi/risk/kensaku.html)



▲QRコード

浸水リスク検索サービス

### 河川監視カメラの設置拡大

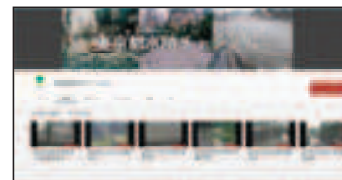
- 住民の避難行動に繋がる水防災情報の発信・充実を図るため、河川の状態を分かり易くリアルタイムに伝える**監視カメラの設置拡大**
- 令和3年度は、利根川水系毛長川を含む**40箇所**で増設し、計78箇所で映像公開



河川監視カメラ公開状況

### 河川監視カメラ映像のライブ動画配信

- これまでは「水防災総合情報システム」において、河川監視カメラ映像の静止画(5分更新)を公開
- 令和3年6月1日より、YouTubeを活用したライブ動画配信も開始**
- 今後は、河川監視カメラの増設にあわせて、順次公開数を拡大予定



URL: <https://www.youtube.com/channel/UCaydvLwWthLMBfKLEQSY2UQ>



▲QRコード

YouTube 東京都水防チャンネル

### 更なる情報発信に向けた取組

- 水防災情報発信の更なる強化に向け、河川監視カメラなど観測機器の設置拡大や**利用者の視点に立ったより使い易いシステムへの改善**等を行う。

- ハード対策
- C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

## ■ポンプ車等の配備

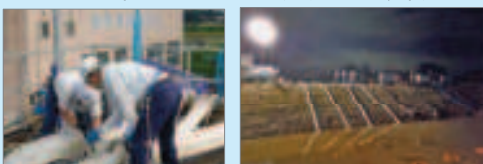
- 利根導水総合事業所に、**ポンプ車(60m<sup>3</sup>/分)1台、クレーン付トラック1台、ポンプパッケージ・発動機(10m<sup>3</sup>/分)2組**を配備。国、被災地方公共団体及びその他の関係機関から災害等に係る支援の要請を受けた場合、または災害発生の可能性のある段階での機構の自発的な判断も含め、業務に支障のない範囲で支援に努めている。

### ポンプ車

- ポンプ車は、災害等で排水が必要な場合や被災した農業用ポンプ施設の代わりに配水を行う等、現場の最前線に速やかに駆けつけ作業を行う車です。荷台には、作業が迅速かつ効率的に行えるように、発動発電機、ポンプ、ホースなどを装備しています。



ポンプ車60立方メートル/分(大型自動車)



支援事例(R1台風第19号における対応(栃木県小山市))

### ポンプパッケージ

- ポンプパッケージとは、5立方メートル/分の水中モーターポンプ×2台、25mホース×4本、水中ポンプと電源を制御する操作盤、電源の発動発電機(45kVA)とその他付属品をセットにしたものです。2.9t吊りクレーン付トラック(車両総重量8t)で運搬、設置を行います。



ポンプパッケージ(輸送状態)



支援事例(R1台風第19号における対応(埼玉県行田市))

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知

野木町

### ■ まるごとまちごとハザードマップの拡充

- 平成25年より河川氾濫時の浸水深を示した看板を設置
- 町ハザードマップの更新に伴い、既設の看板29箇所を表示内容を更新
- 新たに14箇所看板を設置



380

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知

邑楽町

### ■ まるごとまちごとハザードマップの整備

- 洪水時の指定緊急避難場所となっている町内小中学校(6校)に想定浸水深シートを設置し、水災害意識の向上を図りました。



邑楽町立中野小学校の施工例



381

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知

三郷市

### ■ まるごとまちごとハザードマップの設置

- 日常的には水害への意識を高めるとともに、発災時には安全かつスムーズな避難行動に繋げ、被害を最小限に留めることを目的としています。
- 電柱103か所、小・中学校の壁面27か所に設置。
- 防災教育での活用を目的に、小・中学校の壁面に取り付けられた看板には、過去に三郷市に大きな被害を及ぼしたカスリーン台風に関する説明を記載しています。



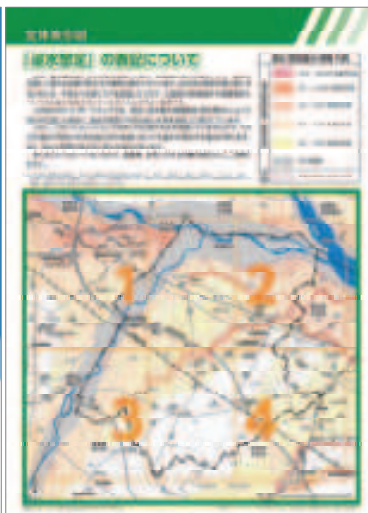
- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知

上里町

### ■ 防災ガイド・ハザードマップの改訂

- 埼玉県管理河川の最新の浸水想定が公表されたこと、また、災害対策基本法の一部改正により、新たな避難情報等が示されたことを受け、防災ガイド・ハザードマップの見直しを行いました。
- そのほか、迅速な避難行動を促すための平時からの取り組みに役立つよう「マイ・タイムライン」や「避難行動判定フロー」、「感染症対策」など内容の充実を図りました。
- また、外国語版(英語・ポルトガル語)も作成し、外国人居住者への防災情報の提供に努めています。
- ※令和3年9月に毎戸配布及び町ホームページ、広報誌で周知・啓発

- 全体索引図
- 避難所等一覧
- 浸水想定区域図(詳細図)
- 5段階の警戒レベル
- 避難行動判定フロー
- マイ・タイムライン
- 自宅にとどまった場合の備え
- 避難所について
- 感染症対策
- 風水害対策・避難対策
- 地震対策
- 地震の被害想定
- 火災・竜巻・雷・大雪対策
- わが家の安全対策
- 非常時持出品・備蓄品
- わが家の「防災・緊急情報」メモ



英語版



ポルトガル語版

作成: 令和3年8月  
配布: 令和3年9月 町内全世帯  
部数: 13,000部

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知

栃木県

■ 避難啓発リーフレットの作成・配布

➢ 水害・土砂災害時の適切な避難行動を促すことを目的として、令和3年度の災害対策基本法改正の内容を反映した避難啓発リーフレットを作成し、自治会等を通じて県民に配布した。

**【期待される効果】**  
 避難に関する情報を住民に広く周知することにより、平時からの防災意識の醸成及び災害時の適切な避難行動の促進が期待できる。



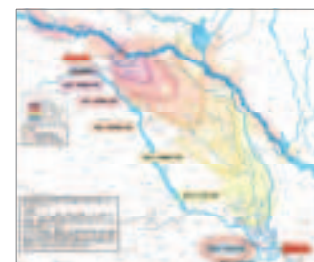
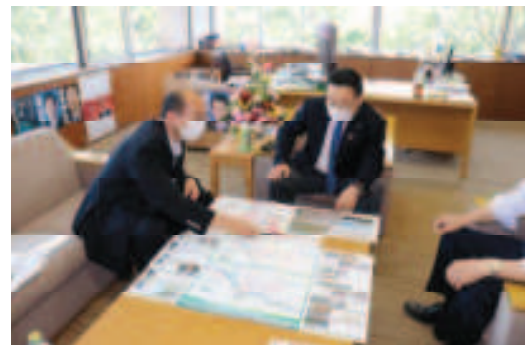
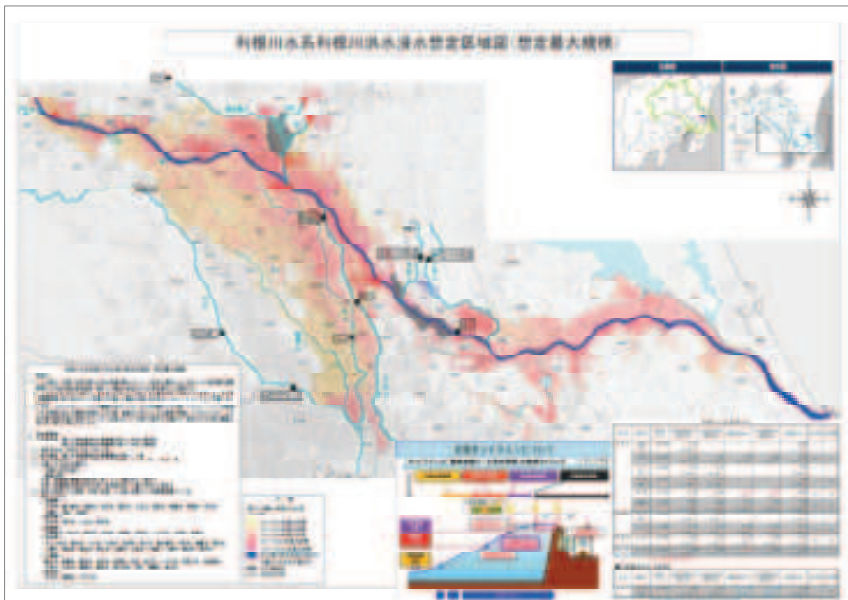
384

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知

利根川上流河川事務所 自治体

■ 洪水時の確実な情報伝達のための顔が見えるホットラインの構築

➢ 利根川上流河川事務所長が、利根川の沿川及び氾濫域の首長を訪問し、洪水時に確実に情報伝達できるよう『顔が見えるホットライン』を再確認。  
 ➢ 浸水想定区域図と水位基準観測所の関連や、利根川決壊時のリスクについて、『浸水ナビ』の検索結果を使用して説明。



首長への説明に用いた資料（例）

※浸水ナビ (URL <https://suiboumap.gsi.go.jp/>) による表示結果をもとに作成

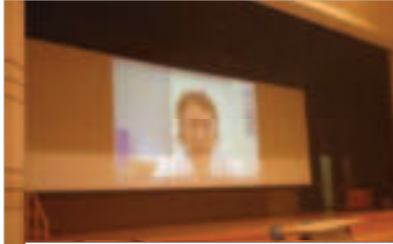
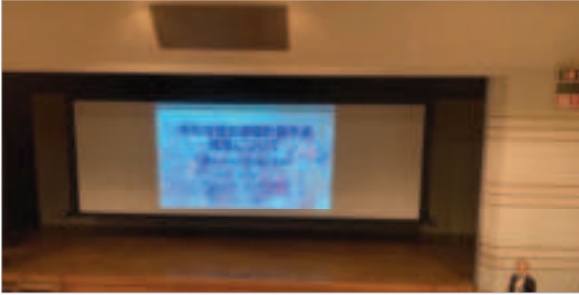
385

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善

常総市

■ 避難行動要支援者個別避難計画モデル事業の実施

➢ 個別避難計画作成5か年計画を作成しました。



**協働宣言**

1. 逃げ遅れゼロに向けた「地域の絆の強化」  
災害発生時に地域で助け合い、自治会や防災・福祉部局、福祉専門職、自主防災組織、防災士連絡協議会などが支援体制を構築し、逃げ遅れゼロに向けた地域の絆の強さを白紙す。
2. 「優先度合に応じた個別避難計画」の作成支援  
多タイム避難行動要支援者がいる中で、優先度付けやケース内の調整・検討、優先度付けガイドラインを策定し、個別避難計画の作成支援を行う。
3. わがこととして災害に備える「みんなでマイ・タイムラインづくり」  
災害を「ひとごと」ではなく「わがこと」として受け止め、災害時に自分の上乗せ行動を地域会社で定す、避難の避難行動がとれるようみんなの「マイ・タイムライン」を作成する。

常総市・つくばみらい市

キックオフ会合と協働宣言

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善

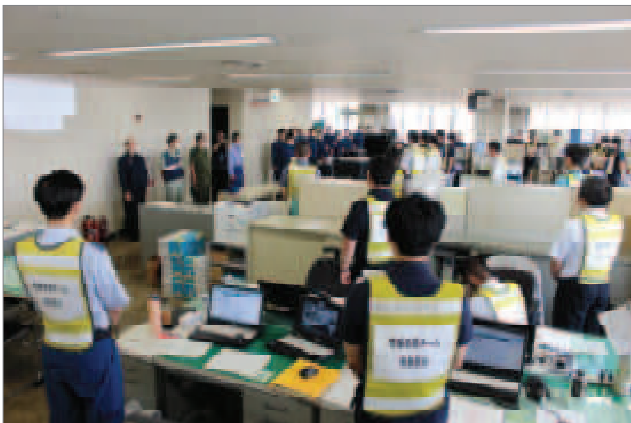
足利市

■ 「渡良瀬川の減災に係る取組方針」の実施状況

災害(風水害)時における情報伝達訓練

- 足利市では、昨年度に引き続き、令和元年東日本台風の教訓を踏まえ、同規模の風水害が今後発生した場合においても、市民の生命や財産を守るため、行政、関係機関、市民団体等が連携した情報伝達訓練を実施いたしました。
- 今年度は、災害情報共有システムを導入し、情報共有の迅速化を図るなどの取り組みを訓練に取り入れました。

**【実施概要】**  
 開催日時 令和3年8月7日(土) 午前9時30分～午前11時30分  
 実施場所 足利市役所本庁舎4階 他

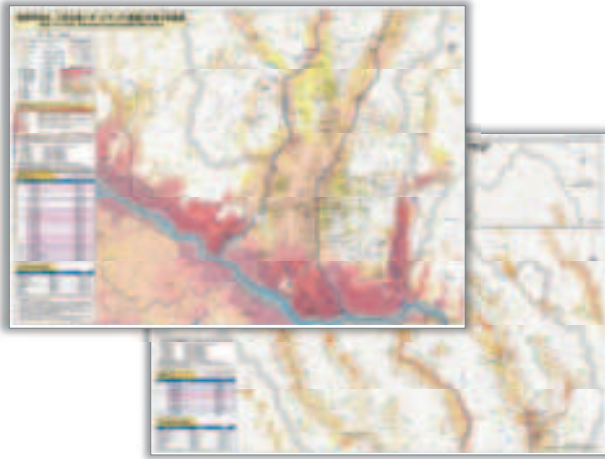


- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善

佐野市

### ■洪水・土砂災害ハザードマップの改訂及び周知

- 洪水・土砂災害ハザードマップの改訂を行った。
- 改訂後は、市民に徹底した周知を図るため、動画の作成やTV放送による解説を行った。
- また、防災講話を開催し、参加者各々の避難について参加者と一緒に検討した。



令和3年度佐野市洪水土砂災害ハザードマップ



ハザードマップの解説動画 (Youtubeに掲載中)

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善

玉村町

### ■リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信

- 登録者の固定電話や携帯電話、スマートフォンへ災害情報を一斉伝達するシステム「災害情報一斉伝達・収集システム(通称:たまボイス)」の導入。



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善

さいたま市

■ 要配慮者利用施設における避難確保計画作成の推進

- 埼玉県が公表した想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図等に基づき、令和3年3月に洪水ハザードマップを作成。
- この新たなハザードマップの内容等を踏まえ庁内関係部署と調整し、避難確保計画作成の対象となる施設の抽出作業を改めて実施し、対象施設を令和4年7月改定の地域防災計画に位置づけ。
- 対象施設に対し、避難確保計画作成の手順等を示したチラシを同封したうえで、避難確保計画の作成や避難訓練実施を依頼する趣旨の通知を発送。
- また、各施設が円滑に避難確保計画を作成できるように市ホームページにて避難確保計画作成に係る様式をダウンロードできるように措置をした。



対象施設に配布した避難確保計画作成の手順等を示したチラシ【表紙抜粋】

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善

熊谷市

■ 災害対策基本法の一部改正に伴う変更点周知チラシの全戸配布

- 令和3年5月の災害対策基本法の一部改正を受け、変更点を周知するチラシを作成し、全戸配布(約7万世帯(9月市報))しました。
- 単に変更内容をお知らせするチラシを作成するのではなく、既に配布済みの防災ハザードマップでの変更箇所を明示して、変更箇所に貼付できるようにキリトリ線を設け、同サイズで作成しました。



変更点周知のチラシ

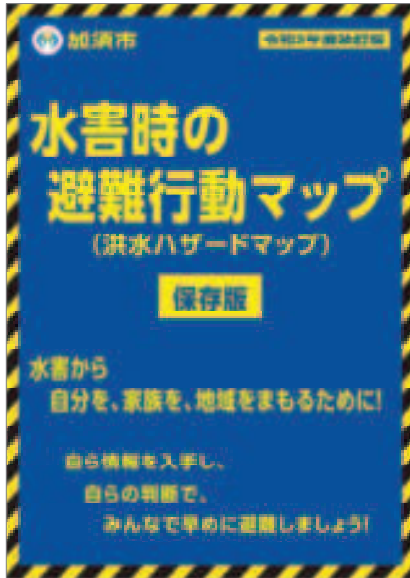
- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善

加須市

### ■ 洪水ハザードマップを改訂

#### 「水害時の避難行動マップ(洪水ハザードマップ)改訂版」を全戸配布

- 令和元年東日本台風(台風第19号)対応における課題を受け、見直した避難対策を反映したマップを全戸配布した。
- 災害対策基本法の改正に伴う避難情報の変更、自主避難等に関するチラシを作成し、マップに合わせて各戸配布した。



マップ表紙



周知チラシ

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善

羽生市

### ■ 洪水ハザードマップの作成

- 県管理河川の「洪水浸水想定区域」及び「水害リスク情報図」が公表されたことによる内容の追加に加え、より見やすい紙面の洪水ハザードマップを作成することにより市民に的確な情報を伝えることを目的とする。

#### 【実施状況】

- 令和3年9月に実施業者と契約
- 令和3年1月地図、掲載情報のデザイン化されたデータの校正予定
- 令和4年3月に納入予定
- 令和4年5月以降に市内全戸配
- ホームページへの掲載、転入世帯等への配布

#### 【実施効果】

市民の迅速かつ的確な行動につなげ、河川が氾濫した際の被害を最小限に抑える

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善

桶川市

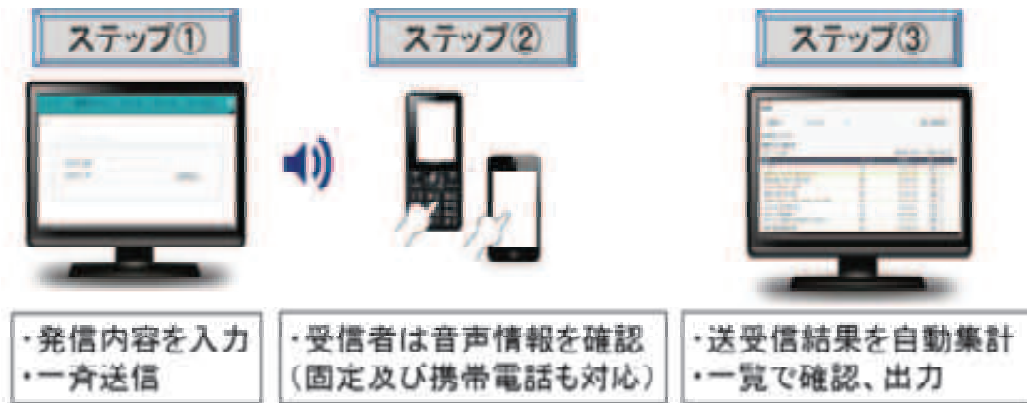
## ■ 住民への情報伝達方法の改善

### 災害時等情報伝達システム導入事業

- 災害発生時等に自主防災組織等に対して避難情報や避難所開設情報等を発信し、地域住民の避難行動につなげるため、新たな情報伝達手段として、固定電話や携帯電話に一斉配信するシステムを導入した。
- 固定電話や携帯電話の番号を事前に登録することで、自主防災組織等に対して一斉かつ確実に情報を伝達し、住民の迅速な避難誘導を図る。

#### システムの概要

事前に登録した電話番号に避難情報や避難所開設情報等を一斉配信するシステム。



394

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善

幸手市

## ■ 洪水ハザードマップの作成

- 幸手市に被害を及ぼすと想定される対象河川(利根川、江戸川、荒川、中川)ごとに各種資料や図を作成し、市民に周知する。

#### 【作成資料・図】

- ・ 浸水が想定される区域
- ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域
- ・ 想定される水深及び浸水継続時間の整理
- ・ 幸手市への影響や市民周知を考慮した破堤点による破堤後の時系列による浸水シミュレーションの作成
- ・ 指定緊急避難場所
- ・ 指定避難所
- ・ 内水実績箇所
- ・ アンダーパス等避難時危険箇所

…等



395

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- E) 避難計画、情報伝達方法等の改善

栃木県

## ■ 避難指示等に関する研修会の実施

- 災害時の市町の初動対応のあり方や避難指示等の発令に関して、事例紹介やグループワークを交えてより現実に即した理解を深めることを目的として研修会を開催した。

### 【実施概要】

実施時期 令和3年6月30日(水)

対象者 市町職員 32名

実施内容

- ・ 適切な避難指示等についての座学研修
- ・ 過去の事例分析
- ・ 風水害時の対応シミュレーション等についてのグループワーク等

講師 (株)防災&情報研究所



### 【期待される効果】

- ・ 避難指示等の適切な発令等について理解を深めることにより、市町担当者の災害対応力向上が期待できる。
- ・ 市町間の意見交換及び情報共有が図られ、平時・災害時の連携の強化につながる。

396

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

越谷市

## ■ 想定最大規模降雨に対応したハザードマップの作成

- 国及び埼玉県において、想定最大規模降雨による浸水想定区域図の見直しが行われたことに伴い、洪水ハザードマップの更新を令和3年4月1日に行いました。
- 越谷市では、越谷市総合防災ガイドブックとして、洪水ハザードマップのほかに地震ハザードマップ等を掲載し、越谷市の災害リスクと災害への備えに関する情報を一冊にまとめました。



397

- ソフト対策 ④逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

利根川上流  
河川事務所

自治体等

## ■ 利根川中流 4 県境 広域避難協議会幹事会の開催

- 令和3年7月28日に開催した幹事会において、第5回利根川中流4県境広域避難協議会(R2.6)で整理した、広域避難に関する基本的な考え方(以下、「考え方」)について、役割分担を明確にし具体的で実効性のある考え方を議論しました。
- 具体的には、利根上が招集する「情報共有の場」(仮称)と自治体が主体として議論する「共同検討の場」(仮称)にわけること、役割分担を明確にしました。

### <開催概要>

日時：令和3年7月28日（水）10:00～12:00

会場：加須市北川辺総合支所2階

出席：アドバイザー

東京大学大学院 片田特任教授（WEB）

メンバー

加須市、板倉町、古河市、境町、坂東市、館林市、佐野市  
利根川上流河川事務所、気象庁

オブザーバー

野木町、栃木市、明和町、千代田町  
水戸地方気象台、前橋地方気象台、宇都宮地方気象台、熊谷地方気象台  
群馬県、埼玉県、茨城県、栃木県



アドバイザー片田特任教授（WEB）



加須市北川辺総合支所での会議

398

- ソフト対策 ④逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

古河市

## ■ タイムラインに基づく実践的な訓練

### 水害対応図上訓練の実施

- 令和3年8月5日に利根川の氾濫を想定した、災害対策本部図上訓練を行った。
- 訓練は利根川の水害緊迫時と水害発生後の2つの状況を想定し行った。
- 警察・消防・自衛隊などの関係機関にも参加いただき、どのように対応を行うのか連携の確認を行った。



399

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

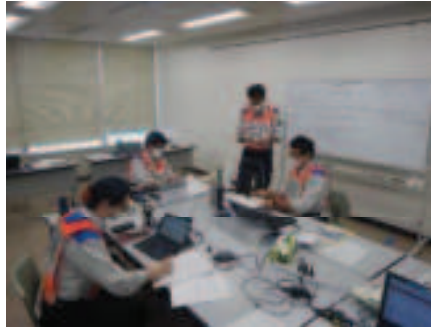
葛飾区

## ■水害図上訓練の実施

- 荒川や中川の氾濫に備えて、避難所の開設・運営や避難情報の発令判断をすることを目的に、災害対策本部を運営する図上訓練を実施した。
- コロナ禍での避難所運営や、地震発生による風水害との複合災害への対応、DIS(東京都災害情報システム)の操作も訓練シナリオに盛り込み、災害対応力の向上を図った。
- 同日、避難所開設訓練と水防図上訓練も併せて実施して、合計550名程が参加した。
- 訓練参加機関：東京都、消防、警察、自衛隊、国土交通省荒川下流河川事務所



災害対策本部会議の様子



会議結果共有の様子



住民からの問い合わせ対応

400

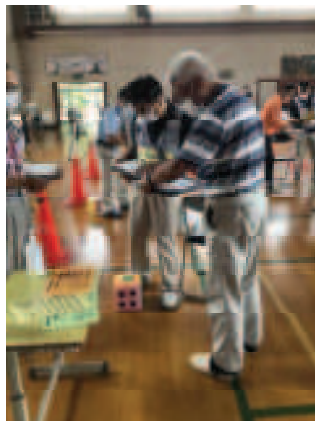
- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

古河市

## ■水防災に関する説明会及び避難訓練の実施

### マイ・タイムラインの作成を伴う「避難判断訓練」を実施

- 令和3年6月27日に行政自治会との共催で古河第三中学校区の自治会長などを対象に行った。
- 訓練は古河市に台風が直撃することを想定し、ハザードマップやマイ・タイムライン等を使って、報道情報や市からの防災・防犯メールの情報を基に自身で避難するタイミングを判断する実践的な内容を構成し行った。



401

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

取手市

## ■「コミュニティ防災（市民）防災を目指そう！」研修会を実施

➤ 取手市内のハザード地域の自主防災会・市政協力員・民生委員・市内の防災士を対象とした、コミュニティタイムラインの作成に関する講演会を全3回にわたって実施した。講演会を通じ、地域防災の要となる者が協力しながら地域のハザードリスクや課題、防災体制について今一度確認することで地域防災力の向上を図る。

### 【授業概要】

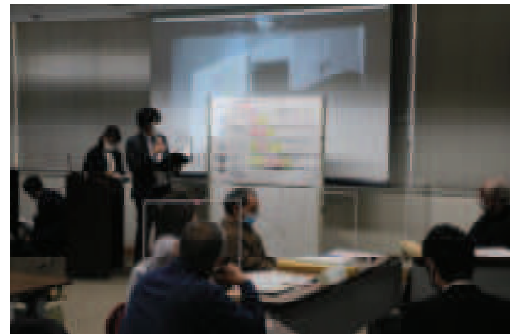
対象 ハザード地域の自主防災会、市政協力員、民生委員、市内の防災士  
 日時 令和3年12月～令和4年4月（予定）  
 構成 第1回 ①講義、②グループワーク③、第2回にまでの宿題  
 第2回 ①ブロック別グループ発表、②タイムライン作成  
 第3回 ①タイムライン発表、②総括講義

### 【学習内容のポイント】

- ・ <第1回>  
ハザードマップ等の資料を基に各地域ごとにハザードリスク、地域の課題などを再確認し、災害発生時に必要な対応等の洗い出しを行う。
- ・ <第2回>  
他班の発表、第1回で作成した資料を参考に、自分の住んでいる地域のコミュニティタイムラインを作成する。
- ・ <第3回>  
各班で作成したコミュニティタイムラインについて講師による講評と、総括講義の内容を踏まえ、タイムラインを今後適宜見直ししていただく。

### 【今後の見通し】

- ・ 講義に参加した方を中心に、各地域でタイムラインの作成し、継続して見直しをしていただくことで、防災意識の向上を図る。



402

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

坂東市

## ■水防災に関する説明会を実施

➤ 防災講座及びマイ・タイムライン作成講座を実施

### 防災講座(災害からの避難)

令和3年10月27日  
 坂東市食品生活改善協議会 42名



### マイ・タイムライン作成講座

令和3年11月13日  
 バンドウミライ楽考 7名



403

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

坂東市

## ■ 小中学生を対象とした防災教育の実施

- [小中学生を対象としたマイ・タイムライン作成講座及び防災授業を実施](#)

### マイ・タイムライン作成講習

令和3年4月21日

坂東市立東中学校2年生53名



### 防災授業(坂東市の防災対策について)

令和3年11月17日

坂東市立生子菅小学校4年生23名



404

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

五霞町

## ■ 五霞町防災の日 総合防災訓練 ～水害を想定した車両による一時避難の体験～

- 五霞町では、毎年11月最終日曜日を「防災の日」とし、[住民参加による避難訓練や自主防災組織による行政区の防災資機材点検を実施](#)しています。本年度は、R2.9に整備した水害時一時避難所(五霞町山王地先 高規格堤防の中腹)を活用し、水害を想定した避難訓練を主に実施しました。

### 【実施内容】

#### 1. 職員による避難車両の誘導訓練

- ・ 避難所の場内における車両の誘導作業は、事前に明確にした役割を会場に到着した職員に割り振り、ローテーションによって常時対応しました。
- ・ 車両誘導のほか、[避難者が記入する避難カードの回収、歩行者の安全確保等の対応](#)を行いました(職員89人参加)。

#### 2. 住民の車両による一斉避難訓練

- ・ 午前9時に防災無線で避難指示を発令し、一斉に避難会場に車両が集まりました(避難車両156台、約300人が避難)。
- ・ 実際と同様の避難手順を体験し、[自主的な避難行動を促しました](#)。

#### 3. 災害対策本部シミュレーションの実施

- ・ 災害対策本部 本部員(町特別職(三役)、各所属長、消防団長及び五霞分署長)が一堂に会し、[業務上における水害時タイムラインの確認](#)を行いました。

#### 4. 協力機関による防災関連ブースの設置

- ・ 江戸川河川事務所、陸上自衛隊古河駐屯地、境警察署、古河消防署五霞分署の協力を受け、[降雨体験や防災関連の展示、救急救命等のブースを設置し、来場者の興味・関心を促しました](#)。



405

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

栃木市

### ■ 防災対策について出前講座を実施

- 自治会等の市民団体や市内中学校に対し、市職員による防災に関する出前講座を実施した。
- 令和3年度における出前講座実施件数：11件（R4.1.31時点）

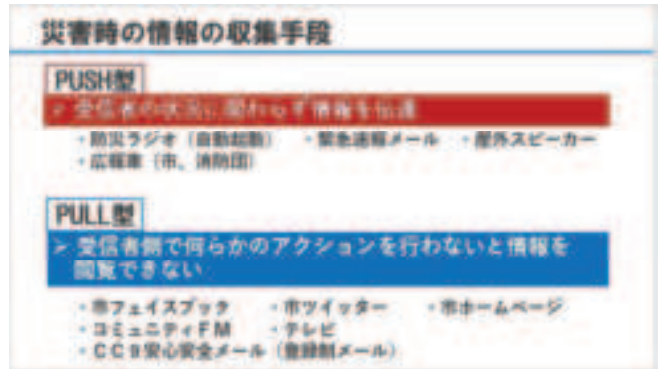
#### 【講義内容】

- ・日本と災害の関係
- ・適切な避難行動を考える
- ・大雨・洪水に関する避難情報について
- ・防災ハザードマップとは
- ・災害に関する情報の収集手段
- ・防災力の3要素（自助・共助・公助） など

使用したスライド(抜粋)



ハザードマップに掲載されている内容・見方などを説明



情報収集手段とその特徴について紹介

406

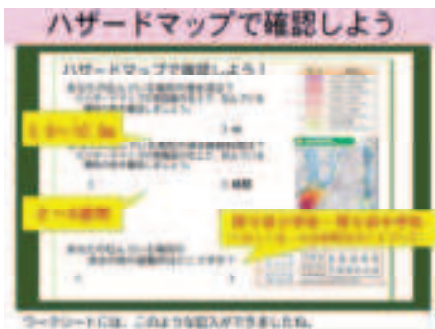
- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

小山市

### ■ 小中学生を対象とした防災教育の実施

- 例年、過去に水害を受けた経験のある地域の小学校を会場に、夏休みに「防災宿泊学習」を行っていたが、コロナウイルスの影響により、実施することができなかった。その代替として、会場の候補小学校であった下生井小学校向けの教材を市教委で作成し、出前授業の形で防災学習を実施した。（令和3年6月に全学年を対象に実施）
- 教材の内容として、4～6年生では、水害の起こり方や生井地区の水害の危険性、避難するための準備等について学び、マイ・タイムラインづくりを体験した。（「マイ・タイムライン」については、下館河川事務所作成資料を参考にした。）1～3年生では、防災クイズや防災グッズづくりなどを中心に実施し、発達段階に応じて防災への意識を高められるようにした。

教材内容



地域の水害の危険性を学ぶ画面の例



マイ・タイムライン作成について学ぶ画面の例



防災クイズ・防災グッズづくり

407

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

小山市

### ■ 教員を対象とした講習会の実施

- 防災に関する演習や講話をとおして、**教職員の防災意識を高めるとともに、各校の防災教育の改善・充実を図る**ことを目的に平成24年度より開催している。
- 講師に**常葉大学大学院環境防災研究科教授の重川先生**をお迎えし、「学校安全と防災教育」と題して、東日本大震災における釜石市の事例等から、**継続的な防災教育の重要性や命を守るための避難の在り方等についてご講話**いただいた。
- 新型コロナウイルス感染防止対策として参加者を市内各校1名に絞り、例年より規模を縮小しての開催とした。

令和4年度 防災教育セミナー

- ・開催日 令和3年6月18日(金)
- ・会場 小山市文化センター小ホール
- ・参加者 36名(市内各校1名)



【講話資料より】命を守るための避難について

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

太田市

### ■ マイ・タイムライン作成支援の実施

- **マイ・タイムラインの作成を支援するため講習会**を実施。
- 併せて**市ホームページ上にページを設けインターネットでも普及促進**を行っている。

主催:河川氾濫に関する群馬県減災対策協議会太田地域部会  
参加者:32名



講習会の様子



ホームページ

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

板倉町

### ■ 小中学生を対象とした防災教育の実施

#### 学習指導計画に組み込んだ防災教育の実施

- 4年生の学習項目「自然災害からくらしを守る」で、水防災に関する防災教育を実施
- 学習指導計画にあわせて「水防学校」を開催
- 水防災に対する理解と関心を高めるため、見て、聞いて、体験して学ぶことのできる防災教育を実施し、災害時には、自らの安全を確保するための行動ができるようにすることで、地域の防災力向上を図る。



町内小学校の3・4年生が使用する社会科副読本「わたしたちの板倉町(十一訂版)」令和2年4月1日発行

#### <水防学校>



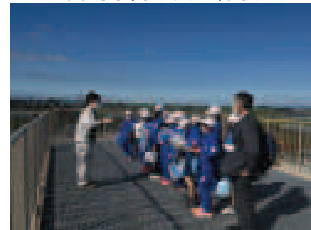
【利根川上流河川事務所】河川防災ステーション見学と「洪水」についての学習



【館林地区消防組合 板倉消防署】簡易水防工法の体験



【利根川上流河川事務所】災害対策車両見学



【板倉町】洪水避難施設の見学とハザードマップの学習

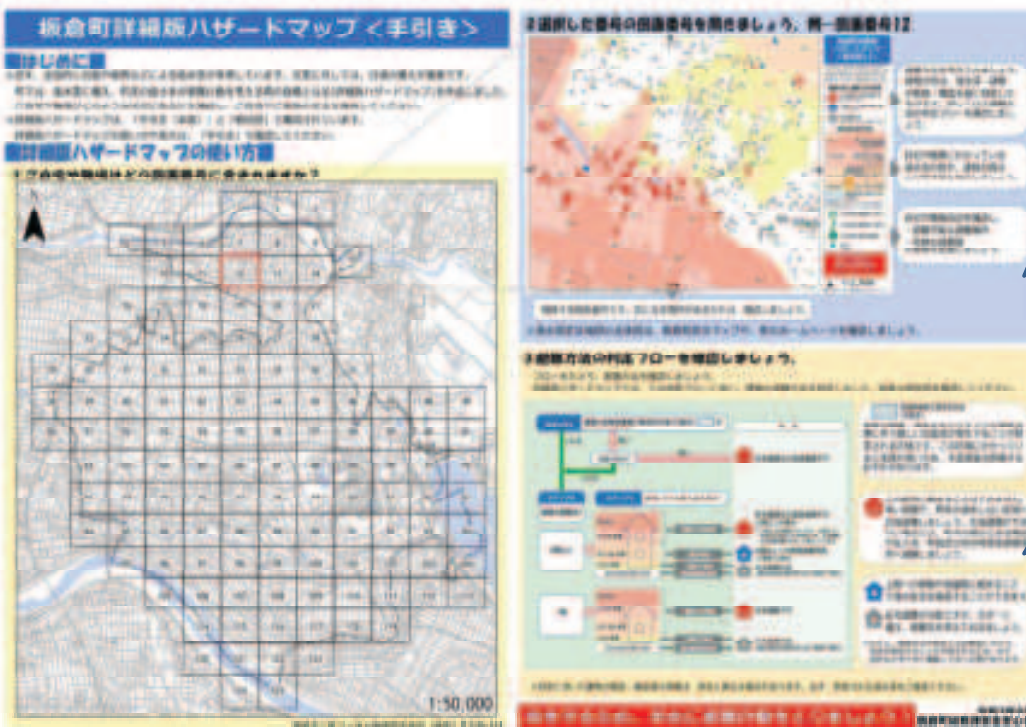
- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

板倉町

### ■ 水災害の被害や教訓の伝承、防災知識の住民への周知

#### 詳細版ハザードマップの作成

- 想定最大規模降雨での浸水状況を詳細に表示し、住戸一軒毎に在宅避難の可否を表示したもの



2,500分の1の縮尺にて浸水深を5mピッチで表示。家屋図等の固定資産情報を用いることで、より現状に即した地図データとした。

固定資産台帳より家屋の階数情報等を取得し、垂直避難を含めた在宅避難の可否を家屋ごとに表示。

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

## ■水防災に関する説明会及び避難訓練の実施

- 行政区長会視察研修を実施し防災に対する認識を深め、地域防災力の向上を図る。
- 利根川上流河川事務所 嵯峨保全対策官より、令和元年東日本台風以降の利根川の「堤防強化」「河道掘削」「樹木伐採」などの治水対策の取組状況や、「気づく」「考える」「行動する」といった「防災の3K」の重要性について、説明を受けました。また、この研修の様子は、令和4年1月7日の上毛新聞へ取り上げられました。
- 令和2年9月に整備された、約700台の車中避難可能な緊急避難場所を視察し、五霞町担当者より、運用方法等の説明を受けました。板倉町において現在整備中の、「洪水時緊急避難場所」の参考としている避難場所であり、完成後も積極的な情報共有・意見交換を検討しています。

【利根川上流河川事務所】  
利根川流域の防災対策について



【茨城県五霞町「情報・防災ステーション」】  
水害時一時避難場所の視察



- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

## ■令和3年度板倉町水防学校を開催

- 群馬県板倉町の小学校4年生を対象に水防学校を行いました。
- 板倉町職員と備蓄ヤードや災害施設の見学、板倉町消防署員との水のう作り。利根川上流河川事務所による、普段見ることのない災害対策車の説明や、洪水に関する動画視聴、クイズを行いました。
- 子供達は真剣に説明を聞き、たくさん質問をしていました。令和元年東日本台風(台風第19号)時の、利根川の写真をラミネートし配布した資料にも興味を示していました。
- また、配付した資料は、小学校に掲示され、活用されています。

### <開催概要>

日 時：令和3年10月22日、10月26日 9:30～11:30  
場 所：大高島河川防災ステーション 水防センター  
参加者：板倉町立東小学校、西小学校 4年生 109名



屋内での動画やクイズを使った学習



ラミネートして配付した資料



東小学校掲示状況



災害対策車の見学



水のう作り



東小学校掲示状況

### ■目的

- ・大規模水害に対する「逃げ遅れゼロ」を目指し、利根川上流域における「防災教育の促進」のための支援を行っています。実際に、河川防災ステーションや災害対策車両を見学したり、マイタイムラインを学習することで、小学生やその家族の防災意識の向上を図ります。

### ■成果

- ・水防学校に参加した小学生や学校関係者は、直接、防災施設を見たり、マイタイムラインについて学習することができました。
- ・配付した資料は、学校内に掲示され、日々目にすることで、防災意識の向上に繋がります。
- ・毎年継続して水防学校を開催することで、洪水時における板倉町と利根川上流河川事務所の信頼関係が構築されます。



今回の水防学校の情報を関係市区町で共有し、河川防災ステーション等を活用した、防災教育や防災知識の普及を推進します。

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

利根川上流  
河川事務所

## ■板倉町行政区長会視察研修

- 板倉町行政区長会視察研修において、利根川上流河川事務所の災害対策室で「利根川上流域の防災対策」をテーマに研修を行いました。(令和3年12月23日(木) 利根川上流河川事務所 災害対策室)
- 令和元年東日本台風と、決壊から74年のカスリーン台風の動画視聴、利根川左岸築堤や防災の3K等々や、自ら行動することの大切さを説明致しました。
- 行政区長の皆様をはじめ、板倉町長及び板倉町職員の方達は、時折質問を交えながら、熱心に聴講いただきました。

### <開催概要>

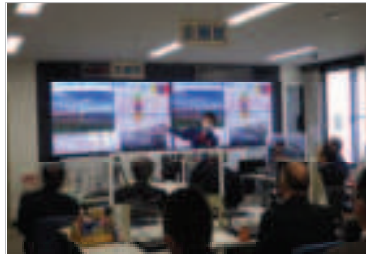
開催日：令和3年12月23日(木)  
場 所：利根川上流河川事務所 災害対策室  
参加者：板倉町長、板倉町職員



板倉町長のご挨拶



聴講されている様子



令和元年東日本台風の説明



お配りした資料

414

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

千代田町

## ■職員及び消防隊で実施したコロナ禍に対応した防災訓練

- 当初の訓練計画では、コロナ禍ということで区長・自主防災組織の参加のもと縮小しての実施予定であった。
- しかしながら「非常事態宣言」により更なる縮小となり職員間の確認作業を主体とした訓練とした。

### 非常招集訓練

非常招集訓練では、自宅から登庁するまでの途上での被害状況を調査し、所属長へ報告。災害対策本部へ報告するとにより、職員間・消防隊との情報共有の訓練とした。



非常招集による点呼の様子

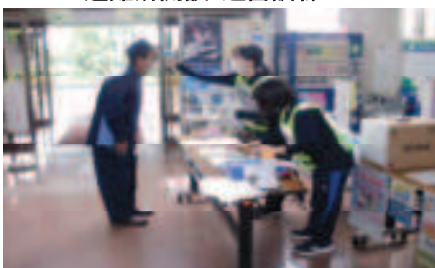


災害対策本部での消防隊との情報共有の様子



本部長への状況報告

### 避難所開設・運営訓練



避難所を開設し、受付・検温をしている様子

### 現場対応訓練



現場対応班からの活動状況無線により収集し、対応について指示をしている様

415

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

千代田町

## ■ 防災講演会の実施

- コロナ禍ではあるが、千代田町と千代田町自主防災組織連絡協議会の共催で「災害時における物流の停止と備え」と題して、流通経済大学 流通情報学部長の矢野裕児教授を招き、防災講演会を実施した。コロナ禍ということで、参加者についても縮小し、各地区自主防災会の役員及び町内防災士に絞って60名の参加者とした。
- 内容としては、洪水に特化した内容(地震災害が主)ではなかったが、災害が発生した際の物流の流れについての問題点・課題など多くの受講者が、参考になったと感想を述べていた。この内容は、参加できなかった人たちのために、館林ケーブルテレビにて1週間(1時間番組)の放送を実施した。



416

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

加須市

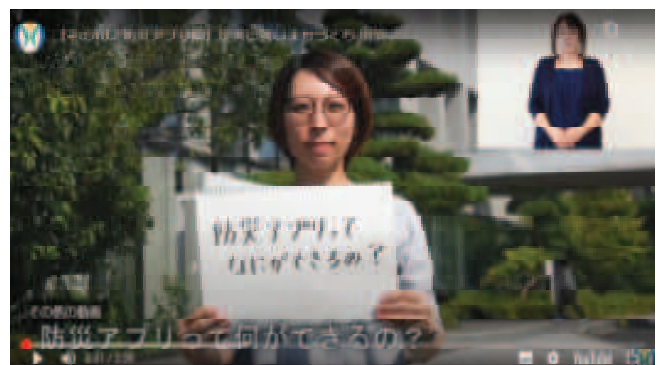
## ■ 水害時の避難に役立つ短編動画【新作】を作成

### 短編動画(10本)に新作1本を作成し、公開

- 水害時に市民が早い段階で、円滑に避難できるよう、スマホなどで短時間でみられる避難に役立つ短編動画(1本あたり約2分)を、令和2年度に全10本、作成した。
- 令和3年度には新作「防災アプリ偏」を作成、公開するとともに、作成済みの動画も法改正に伴う避難情報の変更に対応した。



フルバージョン(約22分)



防災アプリ偏

417

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

加須市

## ■カスリーン台風写真パネル展を開催

- 昭和22年に「カスリーン台風」がもたらした豪雨による利根川氾濫の堤防決壊地として、9月16日「治水の日」を機にあらためて大規模水害への備えの大切さを地域に訴えようと開催しました。
- この取組は令和3年9月12日の埼玉新聞に取り上げられました。

- 開催期間 9月7日(火)～30日(木)
- 開催場所 大利根文化・学習センター「アスタホール」
- 展示物 GHQ撮影の記録写真を基に制作された啓発用パネル「アメリカから見たカスリーン台風(B1判・6枚組)」  
市民から提供を受けた体験記と写真



418

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

加須市

## ■警察と合同の避難誘導訓練を実施

- 令和元年東日本台風時の避難において、北川辺地域と避難場所を結ぶ唯一の県道・埼玉大橋付近では、避難車両による大渋滞が発生した。
- 当時は加須市の要請に基づき、加須警察署が渋滞ポイントの信号を手動に切り替え、渋滞の解消を図った。
- 今回の訓練は、同様の対応への円滑な実施のため行われ、令和3年10月3日の読売新聞へ掲載された。

日 時： 令和3年9月29日(水)14時00分～14時30分  
場 所： 県道46号加須北川辺線 砂原交差点  
参加者： 加須警察署(主催)17名 加須市(協力)7名  
内 容： ①避難誘導訓練 警察官の手信号による交通整理等  
②防災キャンペーン チラシ配布による啓発



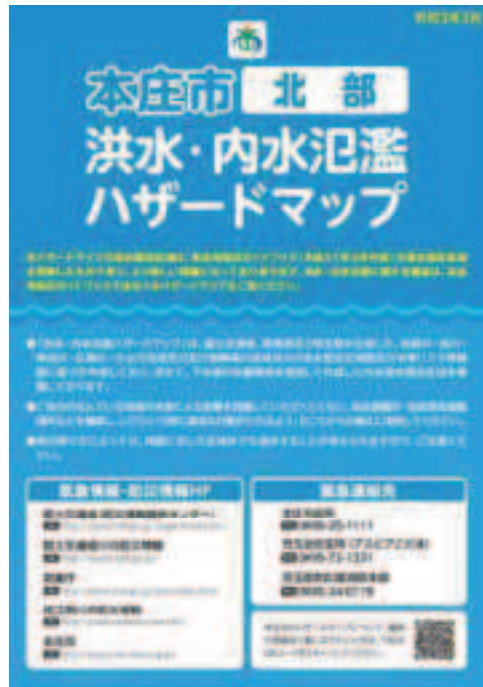
419

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

本庄市

## ■ 市民に対する研修の実施

- ケアマネジャー、特別支援学校PTA等に対し、令和3年に作成した洪水・内水氾濫ハザードマップに関する出前講座をそれぞれ実施した。



洪水・内水氾濫ハザードマップ表紙

420

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

久喜市

## ■ 防災教育講座を活用した講習会

### 防災教育講座を活用した講習会

- 久喜市では令和元年度から小学生を対象に、子どもたちが災害時における危険を認識し、自らの安全を確保する行動がとれるようにするために授業を行っている。

#### 実施内容・今年度の実施状況

- 災害図上訓練(通称: DIG「ディグ」)の授業を実施
- 実施校5校(R2年度も5校実施)(青葉小学校、久喜東小学校、桜田小学校、鷺宮小学校、栗橋西小学校)

#### 実施効果

- 通学路や普段生活する地域などに潜む危険箇所などを認識、把握するとともに、災害や自助・共助について学びきっかけとなる。また、地域の魅力を再発見し、自分たちのまちをもっと好きになってもらう機会づくりにもなる。
- 授業で学んだことを家庭に持ち帰り、家族と防災について話すきっかけにつながる。
- 将来の地域防災の担い手の育成につながる。



421

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

蓮田市

## ■マイ・タイムライン作成の周知・啓発

- 住民一人ひとりが避難行動計画を作成できるよう、以下の媒体でマイ・タイムラインの周知・啓発を実施。

### 実施内容・今年度の実施状況

- 蓮田市公式ホームページ
- マイ・タイムライン及びハザードマップの周知・啓発に関する動画の作成・公開  
(蓮田市後援「うたやの森フェスティバルオンライン」のホームページ上)
- 「防災への備え」通信に掲載(年2回発行)



蓮田市公式HP



うたやの森オンラインフェスティバル



「防災への備え」通信 第26号

422

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

伊奈町

## ■水防災に関する説明会の開催

- 伊奈町栄中央区自主防災会防災講話を開催。
- 防災講話を通して、災害時における地域の弱点・課題を参加者自らが認識し、また、その対策方法を検討することにより、地域住民の防災意識向上に繋がった。

### 伊奈町栄中央区自主防災会 防災講話

#### 実施内容

- 日時: 令和3年11月24日(水)15:00~16:00
- 場所: 栄中央センター



423

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

上里町

## ■ 防災講習会・避難所設営訓練

- 防災ガイド・ハザードマップを活用した防災講習会、パーティションや段ボールベッド等を利用した避難所設営訓練等を、自主防災組織や各種女性団体等を対象に開催しました。

### 【自主防災組織】

- ・防災ガイド・ハザードマップの説明
- ・避難訓練
- ・避難所設営訓練
- ・消火訓練
- ・備蓄食料等の配布 他

令和3年 5月23日(日)19名  
 11月21日(日)30名  
 12月 5日(日)23名  
 12月12日(日)18名



### 【女性団体】

- ・防災ガイド・ハザードマップの説明
- ・避難所設営訓練
- ・備蓄食料等の配布 他

令和3年10月19日(火)14名  
 10月29日(金)27名  
 11月 4日(木)16名  
 11月 8日(月)11名



424

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

上里町

## ■ 中学校と連携した防災教室

- 昨今多発する豪雨災害、予想される首都直下地震などに対して、いざという時を想定して日頃から準備できるような意識を高める。
- 実際にパーティションの設営を行うことで避難所の状況をイメージし、実際の行動につなげる。
- 平日の日中に地元にいる中学生が、高齢者や児童などの避難や避難生活を支援し、地域の役に立つという意識を高める。

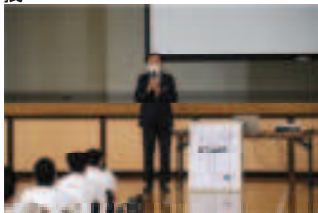
とき:7月14日(水)

対象:上里中学校 2年生 161人

内容:①町長からの講話

②避難所パーティションの設営(40張)

③担当職員による令和元年東日本台風時の町の状況・災害時に中学生に期待すること等について講義



町長の講話



防災倉庫からのパーティション搬出



パーティション設営



パーティション設営完了



パーティション避難体験



担当職員の講義

425

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

杉戸町

### ■ 37小中学生を対象とした防災教育の実施

#### 昨年度までの経緯・背景

- 国や県において河川が氾濫した場合の浸水想定区域が公表されたことを受けて、利根川、江戸川、荒川、大落古利根川の氾濫による浸水の可能性がある区域を図面に示したほか、指定避難所や災害に対する日頃の備えなどを記載した洪水ハザードマップを作成

#### 実施内容・今年度の実施状況

- 令和3年4月に[広報紙と一緒に洪水ハザードマップを全戸配布](#)
- 町内の小中学校に洪水ハザードマップを校内に掲示
- 洪水ハザードマップの活用した防災講座の実施



426

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

足立区

### ■ あだち防災フェア2021を実施

- 令和3年度は、防災週間(8月30日～9月5日)及び防災の日(9月1日)に合わせ、[アリオ西新井 及びイトーヨーカ堂アリオ西新井店と協力・連携した防災普及啓発を実施した。](#)
- [配布したチラシ・パンフレット類は約2,700部](#)にのぼり、多くの来場者が訪れた。



427

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

葛飾区

## ■ 区職員向けの水害対応研修の実施

- 区職員の風水害に備えた災害対応力の向上を図るため、最新の気象の動向やハザードマップ、災害対策本部や避難所運営、区民からの問い合わせ対応等に関する研修を実施した。
- 同内容の研修を30回実施して、約1,000名の職員が受講した。

### 令和3年度 参集職員向け研修

一 次 第 一

#### 開会

1. 最新の気象の動向
2. 葛飾区水害ハザードマップについて
3. 水害BCPIについて
4. 参集時期及び災害対策本部の概要

#### 休憩

5. 令和元年台風19号における葛飾区の状況
  6. 令和2年度災害対策本部運営訓練の様子
  7. 災害対応時に役立つサイトやアプリ
  8. 風水害に備えた住民からの主な問合せQ&A集
  9. 避難所運営従事について
- 質疑応答・閉会



428

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

茨城県  
危機管理課

## ■ 水防災に関する説明会等の開催

### マイ・タイムラインの作成促進

#### 1 住民等を対象としたマイ・タイムライン作成講習会

- 災害時の「逃げ遅れ」を防止するため、浸水想定区域に居住する県民等を対象としたワークショップを開催し、マイ・タイムラインの作成を通じ、災害時における県民の適切な避難行動について、意識啓発を行っている。
- 令和3年度実績:10回(500人)※令和3年12月末現在

#### 2 WEB版マイ・タイムライン作成システムの構築

- 講習会等に参加できなくても、自宅で簡単にマイ・タイムラインを作成することができるWEBサイトを構築し、公開した。(令和3年8月公開)

WEB版には、ハザードマップや避難を開始するタイミングの確認を行いながら作成する「通常版」と、より簡単にマイ・タイムラインを作成することができる「入門版」がある。  
作成したマイ・タイムラインを電子データで保存することで、いつでも見直すことが可能。

(作成後のイメージ→)



429

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

茨城県  
危機管理課

### ■小中学生を対象とした防災教育の実施

- 県庁見学で来庁した小学生に対し、[茨城県災害対策室等の見学と併せ、ペッパーによる防災講座を開催し、ハザードマップの見方や避難情報の意味を説明した。](#)
- 小学校からの依頼を受け、ペッパーによる出前講座を実施した。[ペッパーからの説明のもと、ハザードマップによる地域の災害リスクや避難情報の意味を確認した後、マイ・タイムラインを作成した。](#)

#### ペッパーを活用した防災講座

1 県庁見学の際の防災講座 令和3年度実績:19校(975人)

※令和3年12月末現在

※浸水ハザードマップにおいて、学校及び学校周辺が浸水想定区域に指定されている小学校を対象に実施

2 出前講座による防災講座 令和3年度実績:2校(88人)

※令和3年12月末現在



430

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

群馬県

### ■マイ・タイムライン作成支援の実施

- 市町村と連携し、[マイ・タイムライン作成講習会を開催。](#)
- 県HPに[マイ・タイムライン\(個人の避難行動計画\)の特設サイトを開設。](#)
- 県HP、公式YouTubeチャンネル「tsulunos」、台風接近時に群馬県防災ツイッターに[マイ・タイムライン作成動画](#)を投稿。



マイ・タイムライン作成講習会



県HP



群馬県防災  
ツイッター



マイ・タイムライン作成動画

431

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

群馬県

## ■ 防災教育の実施

- 前橋市と連携し、共愛学園中高生を対象に**防災教育を実施**。
- ロングホームルームの時間を活用し、ハザードマップや防災情報の確認方法を説明。
- **てYouTubeライブ配信を用いて各教室で受講**。
- 防災情報のコロナ対策とし確認方法の説明では、**全生徒に支給されているiPadを用いた操作演習を実施**。

日程:令和3年10月14日  
 対象:共愛学園中高生 約1,300名  
 時間:50分  
 科目:ロングホームルーム  
 内容:ハザードマップや防災情報の確認方法等  
 配布資料:



432

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

水戸地方  
気象台

## ■ 気象、地震に関する講演、ワークショップ等を開催

### 本年度の水戸地方気象台の主な取り組み

- 6月18日(金) **「茨城県防災気象連絡会」**(Web開催)
- 7月6日(火)、7月13日(火)、7月20日(火)、7月27日(火) 茨城放送において**防災に関する解説**
- 7月14日(水)、9月2日(木)、10月26日(火) **「気象防災ワークショップ」**(Web開催)
- 8月18日(水) **「茨城県市町村防災担当者向け勉強会」**(Web開催)
- 10月3日(日) **「いばらき防災大学」気象、地震に関する講演と気象庁ワークショップ**を開催



いばらき防災大学(気象庁ワークショップ)

433

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

宇都宮地方  
気象台

### ■ 水防災に関する説明会や避難訓練の開催

- 台風の接近等に伴う影響や防災上の留意事項等について、台風説明会(気象台・県庁)を開催し、関係機関に注意、警戒を呼びかけ解説資料を提供。(栃木県関係部局と各市町にはオンラインにて実施)



434

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

宇都宮地方  
気象台

### ■ 小中学生を対象とした防災教育の実施

- 栃木県教育委員会主催の、とちぎ子どもの未来創造大学の出前講座「体験気象学」において、実験を通じた気象に関する講座を実施。
- 気象庁(宇都宮地方気象台)の業務の説明や実験を通して、気象及び防災に関する意識高揚を図った。



435

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

前橋地方  
気象台

■ 気象防災ワークショップ実施

➢ 自治体防災担当者向けの気象防災ワークショップを実施した(令和3年度内にあと2回実施予定)。



気象防災ワークショップの様子(令和3年12月16日 利根沼田振興局)

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

前橋地方  
気象台

■ 中学生向け解説動画の作成

➢ 伊勢崎市立殖蓮(うえはす)中学校と連携して、中学生向けの「天気予報についての解説動画」を作成し、同校に提供した。

伊勢崎市学校教育情報誌「ISM」での紹介(一部抜粋)

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

前橋地方  
気象台

### ■ 防災に関するポスター等の常設

- 令和3年5月の災対法改正に伴う「新たな避難情報に関するポスター」(内閣府・消防庁)を、庁舎の掲示板に常時掲示している。
- 「キキクル」等のパンフレット・リーフレット類を、庁舎のチラシ置き場に常時設置(必要に応じて補充・交換)している。また、防災イベント等での配布も行っている。



新たな避難情報に関するポスター  
(内閣府・消防庁)



リーフレット「キキクル 大雨・洪水警報の危険度分布」(気象庁)



前橋地方合同庁舎1階エントランスの掲示板、及びチラシ置き場

438

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

東京管区  
気象台

### ■ 気象防災ワークショップ

- 東京都の区市町村の自治体担当者を対象に、各種の防災気象情報を適切に理解し、避難情報の発令のタイミングなどに関する検討を行い、防災対応力向上に向けて、気象防災ワークショップをオンラインを使用し実施しています。

**取組内容**

- ・オンライン(Zoom)を用いて、災害対策基本法改正に対応した内閣府「避難情報に関するガイドライン」を基本とし、防災気象情報に基づく地方公共団体の防災対応を疑似体験する。
- ・気象台等から発表される様々な情報を参照しながら、少人数によるグループワーク(Zoomのブレイクアウトルーム機能を利用)を行う。

・防災気象情報を適切に理解し、有効に活用するとともに、体制の強化や避難情報の発令のタイミングなどに関する検討を行い、判断のポイントを学んでいただくことによって防災対応力の向上を目指す。

**実施風景**

気象防災ワークショップ  
(オンライン)時の画面  
キャプチャ

439

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

自治体

利根川上流  
河川事務所

### ■ ソフト対策、ハード対策について自治体広報紙に掲載

- 自治体ではソフト対策だけでなくハード対策を広報誌に掲載することで、多くの住民に治水の大切さを伝えている。また、出水時の斜め写真等を活用して東日本台風を風化させないよう工夫しています。



五霞町（茨城県）・2021年8月号



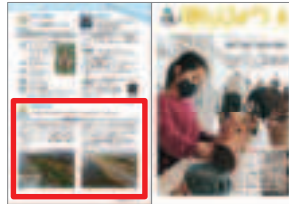
野田市（千葉県）・2022年2月15日号



久喜市（埼玉県）・2021年9月号 表紙



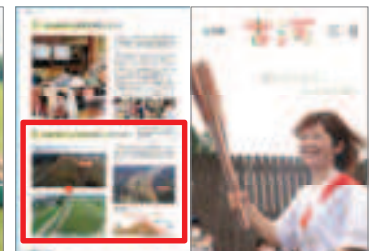
板倉町（群馬県）・2021年7月号



本庄市（埼玉県）・2021年6月号



玉村町（群馬県）・2021年8月号



古河市（茨城県）・2021年8月号

440

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

利根川上流  
河川事務所

### ■ 取組について自治体広報誌に掲載

- この1年間で、利根川沿川をはじめとする数多くの自治体広報誌に、利根川上流河川事務所の取組を掲載いただきました。
- 掲載いただいた記事は、事務所長室前に展示し、利根上職員や事務所へ来訪される多くの方々へご覧いただいています。



事務所長室前の展示の様子

441

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

## ■改札前の展示ブースでの広報（栗橋駅前）

- 栗橋駅前の改札前の展示ブースで広報を行っています。
- 令和2年2～3月は渡良瀬遊水地を紹介。渡良瀬貯水池（谷中湖）は、令和2年4月で供用開始30周年。
- 令和3年8月は、「利根川が溢れる」を広報。令和元年の台風19号では、利根川の計画水位を超え、まさに越水する寸前でした。
- 令和3年9月は「栗橋は利根川の難所です」を広報。栗橋周辺に残る、3つの決壊口跡碑を紹介。



令和2年2～3月 展示ブースの様子



令和3年8月 展示ブースの様子



令和3年9月 展示ブースの様子

- ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- I) 防災教育や防災知識の普及

## ■「治水の日」式典に代わり、「決壊の碑」の前で挨拶

- コロナ禍のため、昨年度に続き、今年度も「治水の日」の式典をやむなく中止にしましたが、9月16日当日は、式典に代わり、「決壊の碑」の前で利根川上流河川事務所長が挨拶を行いました。
- 挨拶では、犠牲者の方々のご冥福を祈るとともに、今後とも、カスリーン台風の記憶を後世に語り継ぎ、利根川の治水の重要性を広く理解していただけるよう、治水の取組をしっかりと進めることを誓いました。



カスリーン台風の碑（平成9年建立）

- ソフト対策 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
- ソフト対策 J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

明和町

### ■ 自主防災組織への防災備品配備

- 災害時の共助の中心となる自主防災組織に対し、防災備蓄倉庫、炊出しセット、発電機等を配備しました。
- 更に、それらを用いて自主防災組織主導の防災訓練を行いました。



配備した防災備蓄倉庫



防災訓練の様子

- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- ソフト対策 L) 緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施

玉村町

### ■ 樋管操作及び排水訓練の実施

- 利根川と烏川の合流地点に近く、内水氾濫が発生しやすい「五料矢川樋管」で、樋管の操作と合わせて排水ポンプを設置し、排水訓練を実施。

訓練の場所(位置図)



排水ポンプの設置



堤内への排水



- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- L) 緊急排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施

東京都建設局

## ■ 区市町村との合同排水ポンプ車操作訓練

- 排水ポンプ車の性能紹介
- 水防管理団体職員による排水ポンプ車操作体験

### 合同訓練の拡充

◆ 令和3年は7建設事務所で実施し、11区11市が参加  
(令和2年は1建設事務所で実施し、4市が参加)

### R3実施事務所等

事務所名	水防管理団体
一建	千代田区、中央区、港区
二建	大田区、世田谷区
三建	中野区、新宿区、杉並区
四建	豊島区、板橋区、練馬区
南西建	日野市
北南建	三鷹市、府中市、狛江市 調布市、小金井市、武蔵野市
北北建	東村山市、清瀬市 東大和市、武蔵村山市



排水ポンプ車概要説明



水中ポンプ取扱体験

### 令和4年度以降の訓練について

◆ 排水ポンプ車を有する全10事務所各所で連携訓練を実施予定

### 移動式排水ポンプ車



### 配備台数

- ・ 西多摩建設事務所を除く10建設事務所に1台ずつ計10台を配備



### 特徴

- ・ 毎分5m<sup>3</sup>の排水が可能な水中ポンプを2台積載
- ・ 揚程10mでの排水距離は50m
- ・ 排水ホースは、100m分(25m・15m・10mそれぞれ2セット)を積載
- ・ 発動発電機を積載しており、連続で10時間程度の運転が可能

- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- M) BCP(業務継続計画)に関する事項

本庄市

## ■ 職員に対する訓練の実施

- 職員に対し、令和元年度策定した「災害対策本部設置・運営マニュアル」、「業務継続計画(BCP)」を踏まえ、災害対策本部設置訓練を新たな試みとして実施した。



災害対策本部設置訓練写真



災害対策本部室のレイアウト図  
(災害対策本部設置・運営マニュアルより抜粋)

- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- M) BCP (業務継続計画) に関する事項

葛飾区

### ■『葛飾区業務継続計画 (BCP) 〈水害編〉』の策定

➢ 荒川や中川の氾濫等、区に浸水被害をもたらす発生可能性の高い洪水の想定について共有し、災害時優先業務を抽出するために、BCPの水害編を策定した。

#### 第4章 災害時優先業務一覧

本章では、洪水による浸水被害発生からおよそ1か月後までの応急対応期のなかで、区として取り組むべきことを整理しました。(一部、浸水被害発生前から取り組む業務も含まれます)

##### 1 応急対策業務、早期復旧・復興業務一覧

###### (1) 区民の生命を守るための最優先業務

業務名	受援(応援職員)の受け入れ態勢の確保				
業務概要	<p>国・都・他自治体・救助機関等、様々な主体からの人的支援を迅速・的確に受け入れて情報共有や各種調整等を行えるように、災害対策本部内に危機管理担当官をリーダーとして、受援担当者を選定し、統括兼任とする。受援担当者は2名以上が情報共有しつつ、専任的に対応できるようにする。</p> <p>早急に応援職員の執務スペースを設けて、宿泊先については近隣区の宿泊施設の借り上げについて、都に要請する。</p>				
担当部署	災害対策本部・健康部(地域保健課)				
	1日以内	3日以内	1週間以内	2週間以内	1か月以内
スケジュール	受援担当選定	受援対応	受援対応	受援対応	受援対応

抽出した災害時優先業務の例

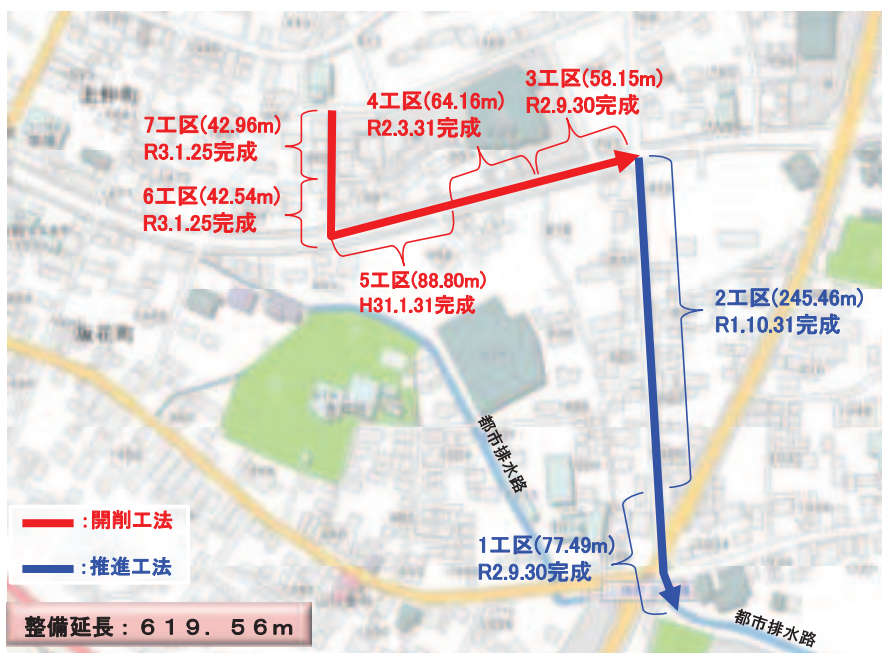
- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- O) 水防災社会構築に係る地方公共団体への財政的支援

境町

### ■水防災社会構築に係る地方公共団体への財政的支援

#### 雨水排水施設(雨水バイパス管)による内水氾濫対策

➢ 総事業費約1億7,599万円(防災安全交付金及び地方交付税:約1億3千万円活用)



平成27年関東・東北豪雨の浸水災害の被害を受け、市街地の冠水対策として都市排水路に接続する雨水バイパス管を整備 (1回/7年クラスに対応)



- ◆ 54mm/hの豪雨に対応
- ◆ 排水管内径1.5m

- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- 〇) 水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援

境町

### ■ 水防災社会構築に係る地方公共団体への財政的支援

#### 「染谷川」の冠水対策整備事業及び河川維持管理事業

- 防災安全交付金及び社会資本整備交付金活用



450

- ソフト対策 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組
- P) 適切な土地利用の促進

茨城県  
河川課

### ■ 洪水浸水想定区域図作成及び市町村への提供

- 洪水ハザードマップの基礎資料となる洪水浸水想定区域図について、茨城県では、これまでに17河川について作成し市町村へ提供をしていたが、**新たに13河川(10河川を新規作成、3河川を区域延伸)**について作成したことから、**関係市町村へ情報提供**を行った。

利根川上流河川事務所管轄内における追加河川  
 ・向堀川(古河市、境町)

浸水想定区域図作成河川一覧	
<b>R3 新規作成河川(10河川)</b>	桜川(水戸)、藤井川、飯田川、山田川、中通川、谷田川、北浦川、大正堀川、田川、向堀川
<b>R3 区域延伸河川(3河川)</b>	湊沼川、恋瀬川、桜川(土浦)
<b>作成済み河川(17河川)</b>	八間堀川、五行川、恋瀬川、前川、巴川、湊沼川、久慈川、押川、里川、浅川、茂宮川、花貫川、十王川、関根川、桜川(土浦)、大北川、花園川



451

### ■ 新型コロナウイルス影響下における避難所設営訓練

- 令和3年10月3日(日)に大野小学校をモデル避難所として防災訓練を実施した。
- 当訓練参加者は、感染拡大防止のため大野地区のまちづくり協議会の役員、大野地区の区長及び大野地区の自主防災組織の代表者のみとした。
- 訓練当日は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための避難所テントや要配慮者用の段ボールベッドを訓練参加者に組立ててもらい、コロナ禍の避難所の設営について理解を深めてもらった。
- 消防団も訓練に参加し、避難行動要支援者を避難所に搬送する訓練を行った。



訓練の様子

### ■ コロナ対策を踏まえた避難所開所訓練及び無線通信訓練を実施

- 町職員による、水害を想定した避難所の開所訓練を7月15日(木)に実施し、職員の非常時の円滑な対応と新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた避難所の開所方法を確認しました。

#### 実施内容

- (1) 避難所の開所方法等に関する研修  
 研修会場では、用意した3つのブース(受付説明・資機材説明・MCA操作要領説明)を避難所班毎に回り、開所手順や運営のポイントを確  
 認しました。  
 場所 五霞町B&G海洋センター  
 概要 ○感染症に対応した受付方法  
 ○新たに導入した資機材の活用方法  
     ※プライベートテント、ソーラー蓄電池、MCA無線機 等  
 ○MCA無線機による通信方法
- (2) 避難所開所訓練(受付準備、備蓄品等の確認、報告作業)  
 避難所毎に割り振りをしている職員班により、各避難所で開所訓練を  
 実施しました。  
 概要 ○公共施設10箇所、民間事業所4社で実施  
 ○職員配置、受付準備、導線の確認、備蓄品等の確認  
 ○MCA無線機を使用し、災害対策本部へ開所状況等を報告



### ■ コロナ禍を想定した避難所開設訓練の実施

- 避難所開設における手段や役割分担等を確認し、避難所運営に万全を期すため訓練を実施。
- 感染症対策を考慮した運営についても併せて確認した。

対象者：避難所運営担当職員 111名

訓練内容：避難所レイアウト・物品展示、避難者の誘導・受付、ダンボールベッド組み立て



避難者の受付



ダンボールベッド組み立て

### ■ 災害協定による避難所混雑状況の可視化

- 株式会社VACANと「災害時避難施設に係る情報の提供に関する協定」を締結。VACANのシステムを活用して、町内各避難所の混雑状況をリアルタイムで配信する。
- 避難所混雑状況の可視化はコロナ禍において求められている分散避難に有効である。



■ 避難所開設キットの導入

- 避難所開設において、
  - 1 必ずしも開設の動きが具体的に記述されていない
  - 2 実際に現場で開設作業を行う際に必要な情報を参照することが難しい
  - 3 複数人での分散作業がしづらい
  - 4 事前の知識が無い人にはマニュアルの活用が難しい
  - 5 必要な資器材や様式、掲示物が整理されていないという課題がある。
- この課題を解消するために、避難所開設に必要な活動の手順書と、使用する様式等を、活動事にファイルケースに整理した避難所開設キットを導入した。
- 導入の利点として、
  - ①現場に居合わせた人でも開設作業が可能になる
  - ②避難所開設作業が具体化・統一化されることで作業の漏れをなくすることができる
  - ③各避難所での訓練ツールとして活用することで、自主防災会や職員のスキルアップにつながるほか、自主防災会の主体的な避難所運営を促すことができる
 といったものが挙げられる。



避難所開設キット



避難所開設キットを使った訓練

■ 自主防災組織、行政区、市職員による避難所開設訓練の実施

- ①市職員避難所開設・運営訓練(8月4日、5日)
  - 1 目的
 

災害時に市民の方が安心して避難所に避難できるよう、新型コロナウイルスなどの感染症を踏まえた、避難所の開設・運営に従事する市職員の知識及び技術の向上を目的とした職員訓練を実施した。
  - 2 対象者
 

各課等から選出された避難所運営職員 129名
- ②自主防災組織役員避難所開設・運営訓練(9月15日、16日)
  - 1 目的
 

避難所の開設、運営に御協力いただく自主防災組織などの役員の皆様の知識及び技能の習得を目的とした訓練を実施した。
  - 2 対象者
 

自主防災組織から選出された役員 33名
- ③感染症等を踏まえた避難所開設・運営訓練(10月3日)
  - 1 目的
 

台風等の災害や新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応など、昨今の社会状況等を踏まえた訓練を行った。
  - 2 対象者
 

市職員24名、行政区、自主防災組織役員、29名



### ■避難所情報の見える化

➤ 災害発生時に避難者がリアルタイム情報(どこの避難所が開設されているのか、混雑状況はどうなっているのか)を知ることができなかつたため、株式会社バカンと「災害時避難施設に係る情報の提供に関する協定」を結び、災害時に避難所の開設や混雑情報などを、インターネットを通じて確認することができるようにした。

QRコード



イメージ図



### ■土のう作成、土のう積み訓練の実施

○土のう作成訓練の実施(令和3年6月)



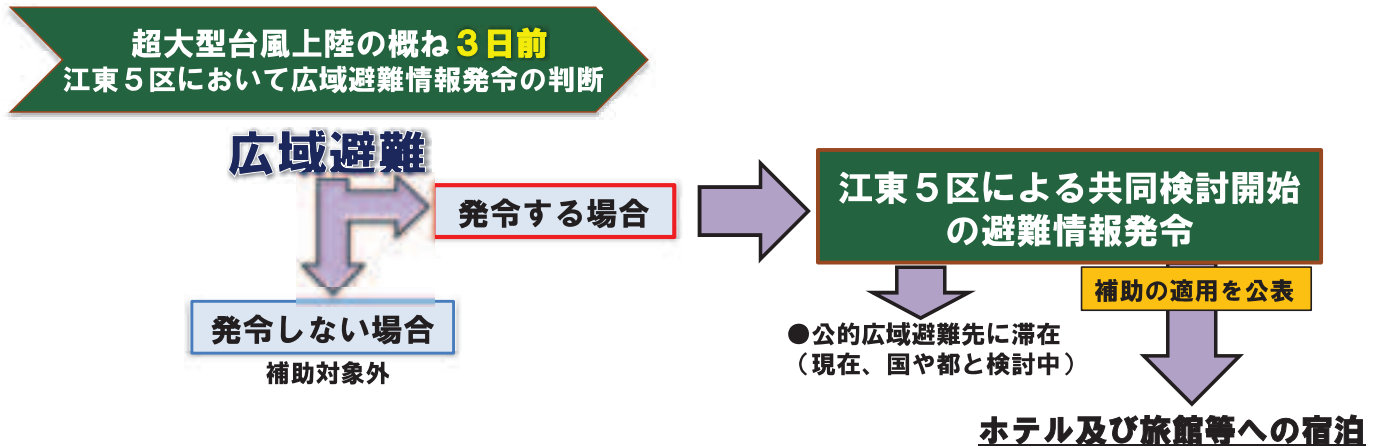
○土のう積み訓練の実施(令和3年5月)



### ■大規模水害時自主的広域避難補助金

- 自主的な広域避難を促すための取組として宿泊施設への広域避難に掛かった宿泊費を補助する制度を創設。
- 江東5区で広域避難情報を発令した場合に、自主的に区外の宿泊施設を確保して広域避難を行った区民に対し、補助金を交付。
- 金額は1人あたり1泊一律3,000円を3泊まで。

#### ◇補助金交付の流れ



### ■車両を浸水被害から守る

- 2019年の台風19号の影響で新幹線車両が冠水し被害を受けた。
- 車両の浸水被害を防止し車両避難※1を円滑に行うことを目的に、車両疎開判断支援システム(流域降雨量・河川水位)※2を開発。
- 車両疎開の判断指標のひとつとしている。気象情報(台風の規模・進路予測)、自治体や河川事務所の情報と合わせ、車両疎開を総合的に判断している

※1 当社では、車両避難を「車両疎開」と表現

※2 基準値を超過した場合にアラートが鳴動するシステムを当社が開発

#### 車両疎開判断支援システムの概要

- ①河川水位(6時間先までの予測)
  - ②流域雨量指数(6時間先までの予測)
  - ③流域降雨量(39時間先までの予測)
- ⇒JR東日本専用端末  
(基準値超過時アラート鳴動)

## ■ 避難所運営に関する研修会の実施

- 避難所の開設・運営のための平時からの準備や災害時の対応、避難所の感染症対策等に関して、[事例紹介](#)や[ワークショップ](#)を交えてより現実に即した理解を深めることを目的として研修会を開催した。



- (1)実施時期: 令和3年6月30日(水)  
(2)対象者: 市町職員 29名  
(3)実施内容:  
・ 避難所の開設・運営に関する基礎知識についての座学研修  
・ 実際の避難所運営時の諸課題について実践的に学ぶワークショップ  
・ 感染症蔓延下の避難所運営について、座学及びシミュレーションによる研修 等  
(4)講師: (一社)減災・復興支援機構

### 【期待される効果】

- ・ 避難所の開設・運営業務について理解を深めることにより、市町担当者の災害対応力向上が期待できる。
- ・ 市町間の意見交換及び情報共有が図られ、平時・災害時の連携の強化につながる。

462

## ■ 出前講座の実施について

- [消防学校の生徒を対象とした出前講座](#)(水防工法)

日時: 令和3年11月17日 9:30~12:20  
対象者: 消防学校の生徒36名(採用1年目~2年目)  
実施場所: 埼玉県消防学校  
実施内容: 水防工法(土のうづくり、積み土のう工)



463

## ■ 宅地建物取引業者へ水害リスク情報の提供

### 宅地建物取引業者へ最新の水害リスク情報を提供

- 令和2年8月に宅地建物取引業法施行規則の一部が改正
- 宅地建物取引業者は、宅地又は建物の取引に際して、洪水などの水害リスクを購入者等に事前に説明することが義務付けられた。
- 宅地建物取引業者向けの講習会において、水害リスクに関する情報の解説を実施

#### ① 宅地建物取引業者向けの講習会での講演

- ・日時: 令和3年12月20日(月)
- ・場所: なかのZERO大ホール
- ・参加対象: 不動産関連団体に属さない不動産業者
- ・参加人数: 205名
- ・主催: 住宅政策本部住宅企画部不動産業課
- ・説明: 建設局河川部防災課
- ・説明概要:
  - 宅建業法改正にかかる水害リスク情報(ハザードマップ、洪水浸水想定区域図など)の位置付けについて
  - 東京都水防災総合情報システムなどの紹介について



講習会での水害リスク情報に関する講演の様子

#### ② 建設局HPに「水害リスク情報の提供」を創設

- ・建設局HPに宅地建物取引業者向けの「水害リスク情報の提供」に関するページを新たに創設
- ・URL: <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/kasenbu0028.html>



## ■ あなたの町の予報官テレビ

- 東京都の区市町村向けに平日の11時15分からWeb会議サービスを用いて、毎日気象解説を実施しています。

**取組内容**

- ・「あなたの町の予報官テレビ」(以下、「あな町TV」)の名称でZoomミーティングにより実施。
- ・平日11時15分から5分程度区市町村向けに気象解説を実施。
- ・天気図や気象衛星を用いた実況、警報等の見込み、週間天気予報等を解説。
- ・発言やチャットにより質問も受け付け、東京都担当予報官が回答。
- ・放送終了後、録画をメールで共有。その際、ポイントをまとめた資料をPDFにして添付。
- ・台風接近時には、台風説明会としてより詳しい資料を用いて説明を実施。

予報官による解説の様子

あな町TVの画面のキャプチャ